

「中野区立学校における働き方改革推進プラン」の改定に向けた進捗状況について

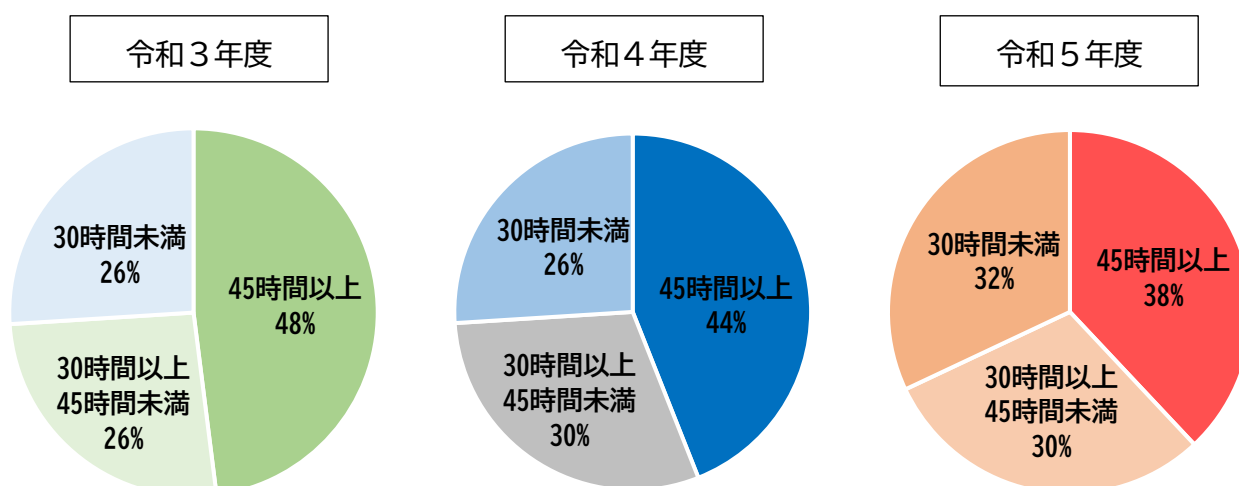
平成31(2019)年3月に策定した「中野区立学校における働き方改革推進プラン」(以下、「プラン」という。)については、令和4年に取組目標の見直し等を行い、策定当初の目標「週当たりの在校等時間が60時間を超える教員をゼロにする」から、「月当たりの時間外在校等時間が45時間を超える教員をゼロとする」に変更したところであるが、プランの改定については、新型コロナウイルス感染症や児童生徒1人1台端末の導入による教育環境の変化の状況がある程度落ち着いた後に、取組の効果を検証したうえで行うこととしていた。

については、改定に向けて、教員実態調査を実施したところであり、当該調査結果を踏まえ、プラン改定に向けた検討を進めていく。

1 学校における働き方改革の目的

教員一人ひとりの心身の健康保持の実現と、誇りとやりがいをもって職務に従事できる環境を整備することにより、中野区の学校教育の質の向上を図る。

2 中野区立小中学校教員の月当たりの時間外在校等時間(直近3か年の比較)



※月当たりの平均時間(庶務事務システムにより算出)

3 教員勤務実態調査の概要

プランの改定にあたり、教員の勤務実態の把握等、中野区の現状や課題等を把握するため、中野区公立学校の全教員を対象とする勤務実態調査を実施した。

(1) 調査期間 令和6(2024)年9月24日(火)～30日(月)

(2) 調査対象 中野区立小中学校に常時勤務する教員
(産休、育休、休職中等、不在の教員は除く。)

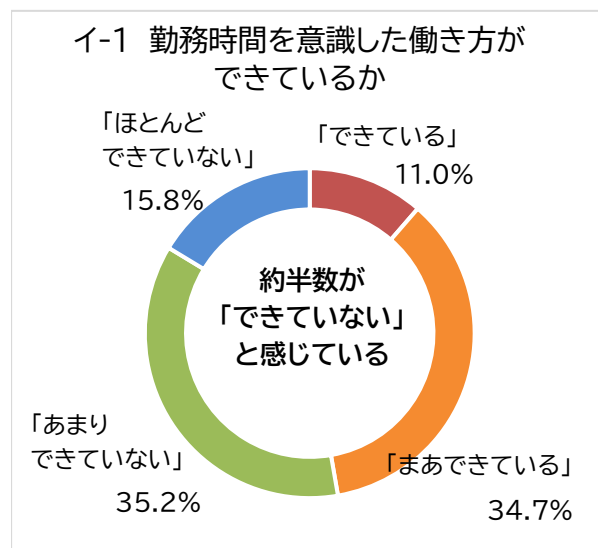
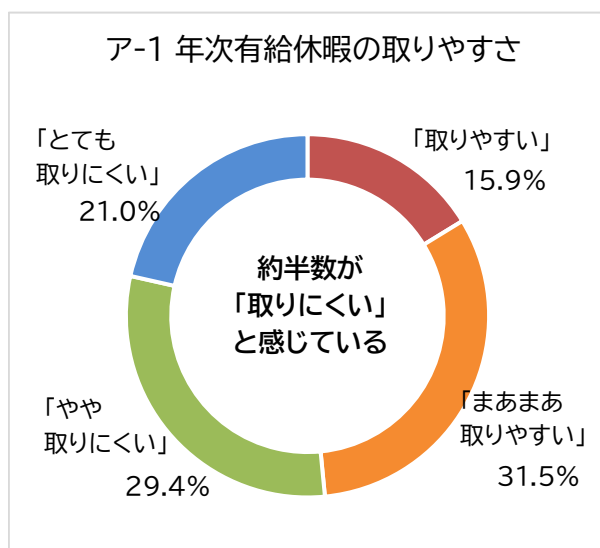
(3) 回収率 93.2%(対象805人 回収750人)

(4) 調査内容 ■勤務実態、仕事に対する意識、校務運営等に係るアンケートなど
■業務記録(指定する1週間分の業務を業務記録調査票に記録)

(5) 調査結果 別紙のとおり

※ 前回調査は平成30(2018)年10月に実施

(6) 調査結果の一部抜粋



ア-2 《休暇が取れない主な理由》(自由意見) イ-2 《勤務時間が長時間化する主な要因》(自由意見)

- 他の教員に負担をかける
- 休めない雰囲気がある
- 仕事が滞る、仕事が増える
- 担任をしているため休めない
- 会議がある など

- 授業時数の増加
- 行事が多い
- 生徒数の増加による事務処理等の増加
- 書類作成や教科指導の増加
- 雑務が軽減されない
- 授業準備や事務作業を時間外に行うことが多い など

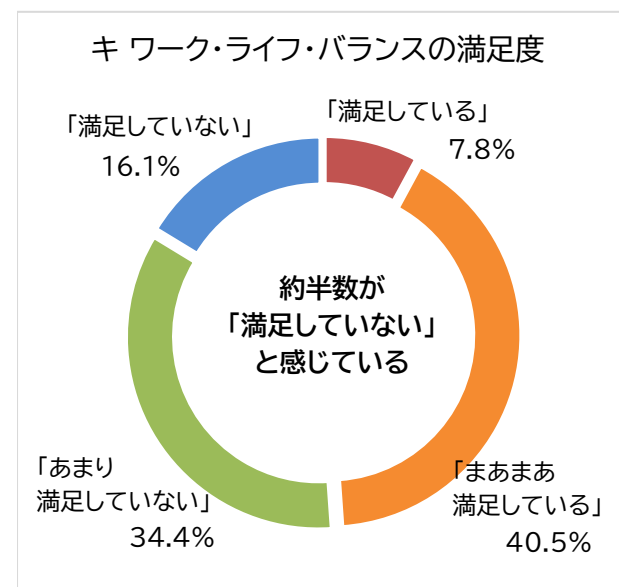
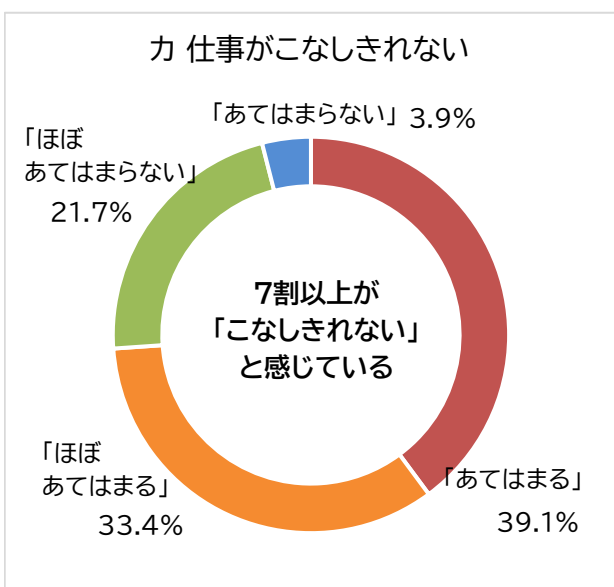
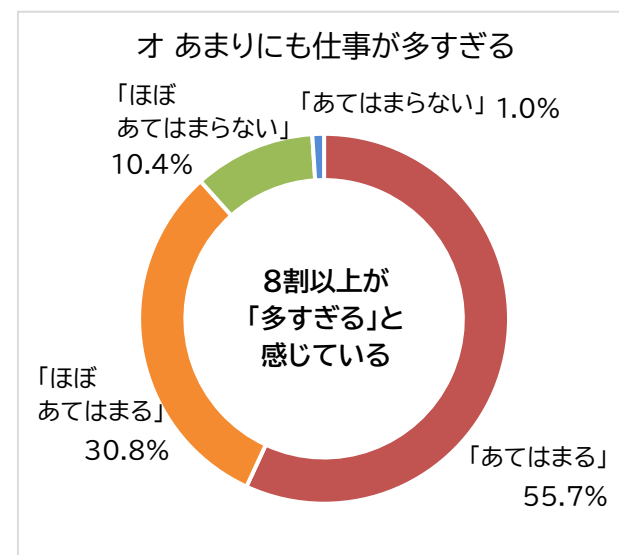
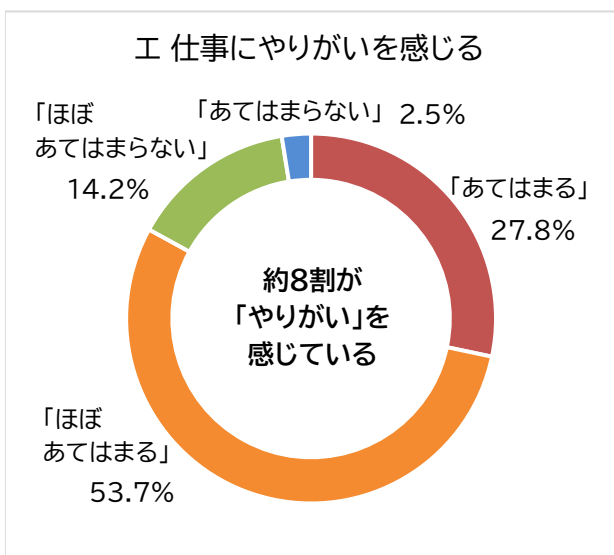
ウ 教員の多忙や負担の軽減について効果がある（あった）対応策（抜粋）（複数回答）

【小学校】

1位 「会議や研修の見直し」	53.7%
2位 「授業の持ち時数の軽減」	51.4%
3位 「留守番電話・転送電話サービスの導入」	48.4%
4位 「外部人材の活用」	39.1%

【中学校】

1位 「部活動指導員の配置」	51.2%
2位 「留守番電話・転送電話サービスの導入」	40.9%
3位 「多機能印刷機の導入」	39.4%
4位 「授業の持ち時数の軽減」	37.9%



※ア～キは管理職以外の教員の調査結果であり、回答は、無回答者の割合（%）を除いている。

4 実態調査からみる課題

(1) 教員の働き方に係る意識について

- 教員と管理職別に調査の結果を比較すると、管理職は、勤務時間を意識した働き方が「できている・まあまあできている」と回答した割合が66.7%の一方で、教員は45.7%となっており、管理職と教員との意識に差がみられる。
- 1週間あたりの在校時間について、全体的には前回調査より改善傾向がみられるが、依然として、副校長先生の在校時間が長い傾向が続いている。
- 学校によって、行事の種類や数などが異なる他、定時退勤日などの勤務時間の見直しに向けた取組内容に差がみられる。

(2) 業務の改善について

- 「自分の能力が発揮できる」「仕事にやりがいを感じる」教員が多数を占める一方、「あまりにも仕事が多すぎる」「仕事がこなしきれない」と回答する教員も同じく多数を占めている。
- 教員の勤務時間が長時間化する主な要因については、行事や保護者対応などが多く挙げられている。
- 育児や介護と仕事との両立にあたり、業務負担の軽減や各種休暇が取りやすくなること、勤務場所を選択できることが、今後望む支援策の上位に挙げられている。

(3) 支援人材の確保について

- 育児休業の他、短期の休暇時における代替教員の確保が困難であり、支援人材の確保・外部人材の活用が求められている。
- 前回調査時と比較すると、様々な支援人材が学校内に入っているものの、事務的な業務を負担に感じる教員が多い。
- 前回調査と比較して、部活動は「顧問や指導は主に外部に委ねるべき」とする回答の割合が上昇している。一方、外部人材の確保が難しい面もある。

(4) 教育委員会の体制について

- 作成しなければならない事務書類が多いと感じる教員が全体の8割以上を占める他、教員委員会が学校現場の状況を把握していないと考えている教員が全体の7割以上を占めている。
- 行政対応や調査回答にあたっている時間は小学校・中学校ともに長時間化しており、1時間以上と回答した管理職の割合が8割弱となっている。
- 地域への働き方改革の周知や行事の削減、地域や一部の保護者からの問い合わせ対応など、学校単位では対処しにくい事項については、教育委員会としての対応が求められている。

5 今後のスケジュール

- | | | |
|------|----|--------------|
| 令和7年 | 4月 | 教職員から意見等募集 |
| | 4月 | 改定版プラン（案）の策定 |
| | 6月 | 改定版プランの策定 |

中野区立学校教員勤務実態調査

報告書

令和7年2月
中 野 区

中野区立学校教員勤務実態調査 報告書

目 次

I	調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	I-1～2
II	学校調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	II-1～31
III	管理職調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	III-1～78
IV	教員調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	IV-1～72
V	業務記録調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	V-1～20
VI	参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	VI-1～28

I 調査の概要

1. 調査目的

中野区立学校における教員の勤務実態を正確に把握するため。

2. 回答数（調査対象数・率）

調査の名称	調査対象
学校調査	中野区立小学校：20 校、中野区立中学校：9 校 (29 校中 29 校回答：回答率 100.0%)
管理職調査	中野区立小学校の各校長・副校長：41 人 中野区立中学校の各校長・副校長：18 人 (59 人中 59 人回答：回答率 100.0%)
教員調査 ※	中野区立小学校教員：488 人 (531 人中 488 人回答：回答率 91.9%)
	中野区立中学校教員：203 人 (215 人中 203 人回答：回答率 94.4%)
業務記録調査	中野区立小学校の各校長・副校長：41 人 (41 人中 41 人回答：回答率 100.0%) 中野区立小学校教員：463 人 (531 人中 463 人回答：回答率 87.2%) 中野区立中学校の各校長・副校長：18 人 (18 人中 18 人回答：回答率 100.0%) 中野区立中学校教員：197 人 (215 人中 197 人回答：回答率 91.6%)

※常時勤務する教員全員（主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭、主幹養護教諭・主任養護教諭・養護教諭、主幹栄養教諭、栄養教諭等）が対象

3. 調査方法

学校ごとにアンケート調査を発送・配布、学校ごとにまとめて回収・返送
ただし、うち学校調査と管理職の勤務実態調査はメールで回収

4. 調査期間

令和6年9月24日（火）から9月30日（月）までの7日間

5. 調査項目

調査の名称	主な調査項目
学校調査	1 基本属性 2 児童・生徒数 3 学校運営 4 部活動について 5 業務改善 6 勤務時間縮減 7 外部人材の活用 8 校務支援システム 9 学納金 10 働き方改革への取り組み
管理職調査	1 基本属性 2 ワーク・ライフバランスについて 3 勤務実態について 4 学校経営の充実について 5 小学校における専科教員について 6 仕事に対する意識について 7 教員の多忙や負担の軽減について
教員調査	1 基本属性 2 ワーク・ライフバランスについて 3 校務運営について 4 学級担任・担任教科について 5 中学校の部活動について 6 教科指導に対する意識について 7 電子機器の使用状況について 8 仕事に対する意識について 9 教員の多忙や負担の軽減について
業務記録調査	※令和6年9月24日（火）から9月30日（月）までの7日間の業務記録 1 勤務形態 2 出勤・退勤時間 3 休憩時間 4 勤務中のストレス 5 職名 6 業務記録（30分単位）

Ⅱ 学校調査

1 基本属性

問2 学校の種類（SA）

本調査では、中野区立の小学校 20 校・中学校 9 校全てを対象とし、全校（29 校）から回答を得た。

学校の種類

回答者数（校）	小学校	中学校
29	20	9
100.0%	69.0%	31.0%

2 児童・生徒数

問3 児童・生徒数（令和6年5月1日時点）について （数値）

令和6年5月1日時点で、小学校は全20校のうち、児童数500～599人が6校、300～399人が4校などとなっている。中学校は全9校のうち、生徒数が300～399人が5校、400～499人が3校などとなっている。

小学校の児童数合計は11,083人、1校あたりの平均児童数は554.2人である。そのうち特別支援学級の在籍者数は平均22.0人、不登校者数は平均6.4人、巡回指導対象児童数は平均18.5人、通級指導対象児童数は平均4.8人、特別な教育的支援（巡回指導・通級の児童・生徒は除く）が必要な児童数の平均は32.3人、日本語指導が必要な児童数は平均3.4人、生活保護・就学援助（要保護、準要保護）を受けている児童数は平均62.3人となっている。

中学校の生徒数合計は3,632人、1校あたりの平均生徒数は403.6人である。そのうち特別支援学級の在籍者数は平均23.3人、不登校者数は平均16.8人、巡回指導対象生徒数は平均9.9人、特別な教育的支援（巡回指導・通級の児童・生徒は除く）が必要な生徒数の平均は25.6人、日本語指導が必要な生徒数は平均5.8人、生活保護・就学援助（要保護、準要保護）を受けている生徒数は平均84.2人となっている。

前回調査（平成30年9月1日時点 以下同じ）と比較すると、小学校は児童数が1,636人増加し、中学校は生徒数が545人増加している。

(今回の調査結果)

		児童・生徒数	うち特別支援学級（固定） 在籍者数	不登校者数 （30日以上 の欠席者のうち「不登校」を理由とする者）	巡回指導 対象児童・ 生徒数	通級指導 対象児童・ （小学校のみ） 生徒数	特別な教育的 支援が必要な 児童・生徒数 （巡回指導・ 通級の児童・ 生徒は除く）	日本語指導が 必要な児童・ 生徒数	生活保護・ 就学援助を受 けている児童・ 生徒数（要保 護・準要保護）
小学校	人数	11,083	132	127	369	96	645	68	1,246
	平均人数	554.2	22.0	6.4	18.5	4.8	32.3	3.4	62.3
中学校	人数	3,632	70	151	89	-	230	52	758
	平均人数	403.6	23.3	16.8	9.9	-	25.6	5.8	84.2

(前回の調査結果)

		児童・生徒数	うち特別支援学級（固定） 在籍者数	不登校者数 （30日以上 の欠席者のうち「不登校」を理由とする者）	巡回指導 対象児童・ 生徒数	通級指導 対象児童・ 生徒数	特別な教育的 支援が必要な 児童・生徒数 （巡回指導・ 通級の児童・ 生徒は除く）	日本語指導が 必要な児童・ 生徒数	生活保護・ 就学援助を受 けている児童・ 生徒数（要保 護・準要保護）
小学校	人数	9,447	108	26	139	74	722	18	1,387
	平均人数	410.7	4.7	1.1	6.0	3.2	31.4	0.8	60.3
中学校	人数	3,087	56	96	104	24	114	18	727
	平均人数	281.2	5.6	9.6	10.4	2.4	11.4	1.8	72.7

問3 ①-1 児童・生徒数 × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問3 ①-1 児童・生徒数						
		合計	300～399人	400～499人	500～599人	600～699人	700～799人	800人以上
問2 学校の種類	全体	29 100.0	9 31.0	6 20.7	7 24.1	3 10.3	2 6.9	2 6.9
	小学校	20 100.0	4 20.0	3 15.0	6 30.0	3 15.0	2 10.0	2 10.0
	中学校	9 100.0	5 55.6	3 33.3	1 11.1	-	-	-

問3 ①-2（うち特別支援学級（固定）在籍者数） × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問3 ①-2（うち特別支援学級（固定）在籍者数）							
		合計	0～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～24人	25～29人	30人以上
問2 学校の種類	全体	9	-	-	1	2	2	3	1
		100.0	-	-	11.1	22.2	22.2	33.3	11.1
		6	-	-	1	2	-	2	1
	小学校	100.0	-	-	16.7	33.3	-	33.3	16.7
中学校	3	-	-	-	-	2	1	-	
	100.0	-	-	-	-	66.7	33.3	-	

問3 ②不登校者数（30日以上欠席者のうち「不登校」を理由とする者） × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問3 ②不登校者数（30日以上欠席者のうち「不登校」を理由とする者）							
		合計	0～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～24人	25～29人	30人以上
問2 学校の種類	全体	29	12	3	5	5	3	-	1
		100.0	41.4	10.3	17.2	17.2	10.3	-	3.4
		20	12	3	2	2	-	-	1
	小学校	100.0	60.0	15.0	10.0	10.0	-	-	5.0
中学校	9	-	-	3	3	3	-	-	
	100.0	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	

問3 ③巡回指導対象児童・生徒数 × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問3 ③巡回指導対象児童・生徒数						
		合計	0～9人	10～19人	20～29人	30～39人	40～49人	50人以上
問2 学校の種類	全体	29 100.0	10 34.5	11 37.9	5 17.2	2 6.9	-	1 3.4
	小学校	20 100.0	5 25.0	8 40.0	4 20.0	2 10.0	-	1 5.0
	中学校	9 100.0	5 55.6	3 33.3	1 11.1	-	-	-

問3 ④通級指導対象児童（小学校のみ）×問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問3 ④通級指導対象児童（小学校のみ）							
		合計	0～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～24人	25～29人	30人以上
問2 学校の種類	全体	20 100.0	17 85.0	-	1 5.0	-	-	1 5.0	1 5.0
	小学校	20 100.0	17 85.0	-	1 5.0	-	-	1 5.0	1 5.0
	中学校	-	-	-	-	-	-	-	-

問3 ⑤特別な教育的支援が必要な児童・生徒数（巡回指導・通級の児童・生徒は除く）×問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問3 ⑤特別な教育的支援が必要な児童・生徒数（巡回指導・通級の児童・生徒は除く）						
		合計	0～19人	20～39人	40～59人	60～79人	80～99人	100人以上
問2 学校の種類	全体	29 100.0	16 55.2	4 13.8	2 6.9	3 10.3	2 6.9	2 6.9
	小学校	20 100.0	12 60.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	2 10.0	1 5.0
	中学校	9 100.0	4 44.4	3 33.3	1 11.1	-	-	1 11.1

問3 ⑥日本語指導が必要な児童・生徒数×問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問3 ⑥日本語指導が必要な児童・生徒数						
		合計	0～4人	5～9人	10～14人	15～19人	20～24人	25人以上
問2 学校の種類	全体	29 100.0	20 69.0	7 24.1	1 3.4	-	-	1 3.4
	小学校	20 100.0	14 70.0	5 25.0	1 5.0	-	-	-
	中学校	9 100.0	6 66.7	2 22.2	-	-	-	1 11.1

問3 ⑦生活保護・就学援助を受けている児童・生徒数（要保護、準要保護）×問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問3 ⑦生活保護・就学援助を受けている児童・生徒数（要保護、準要保護）								
		合計	0～19人	20～39人	40～59人	60～79人	80～99人	100～119人	120～139人	140以上
問2 学校の種類	全体	27 100.0	1 3.7	2 7.4	5 18.5	7 25.9	7 25.9	3 11.1	1 3.7	1 3.7
	小学校	20 100.0	3 5.6	2 11.1	5 27.8	3 16.7	3 16.7	3 16.7	-	1 5.6
	中学校	9 100.0	-	-	-	4 44.4	4 44.4	-	1 11.1	-

問3 ⑦生活保護・就学援助を受けている児童・生徒数（要保護、準要保護）×問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問3 ⑦生活保護・就学援助を受けている児童・生徒数（要保護、準要保護）									
		合計	0～19人	20～39人	40～59人	60～79人	80～99人	100～119人	120～139人	140以上	無回答
問2 学校の種類	全体	29 100.0	1 3.4	2 6.9	5 17.2	7 24.1	7 24.1	3 10.3	1 3.4	1 3.4	2 6.9
	小学校	20 100.0	1 5.0	2 10.0	5 25.0	3 15.0	3 15.0	3 15.0	-	1 5.0	2 10.0
	中学校	9 100.0	-	-	-	4 44.4	4 44.4	-	1 11.1	-	-

3 学校運営

問4 地域主導の学校・地域交流行事回数について（年間／令和5年度実績）（数値）

小学校では、1回以上5回未満が7校、5回以上10回未満が5校、10回以上15回未満が4校となっている。

中学校では、10回以上15回未満が3校、5回以上10回未満が2校、20回以上が2校となっている。

問4 地域主導の学校・地域交流行事回数（年間／令和5年度実績） × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問4 地域主導の学校・地域交流行事回数（年間／令和5年度実績）						
		合計	0回	1以上5回 未満	5以上10回 未満	10以上15回 未満	15以上20回 未満	20以上
問2 学校の種類	全体	29 100.0	4 13.8	8 27.6	7 24.1	7 24.1	1 3.4	2 6.9
	小学校	20 100.0	4 20.0	7 35.0	5 25.0	4 20.0	- -	- -
	中学校	9 100.0	- -	1 11.1	2 22.2	3 33.3	1 11.1	2 22.2

問5 運営困難学級数等（数値）

小学校で3校8学級が運営困難学級となっている。

前回調査では、小学校は23学級、中学校は1学級であり、大幅に減少している。

問5 運営困難学級数等 × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問5 運営困難学級数等				
		合計	0学級	1学級	2学級	3学級以上
問2 学校の種類	全体	29 100.0	26 89.7	1 3.4	- -	2 6.9
	小学校	20 100.0	17 85.0	1 5.0	- -	2 10.0
	中学校	9 100.0	9 100.0	- -	- -	- -

問6 平日の補充学習教室実施の有無（S A・数値）

平日の補充授業学習教室を実施しているのは、小学校で17校、週平均3.9回、平均時間は39分となっている。中学校は8校、週平均3.5回、平均時間は1時間10分となっている。

土曜日の補充授業学習教室を実施しているのは0校である。

前回と比較すると、中学校の週当たりの平均回数が小学校、中学校とも増えている。

（今回の調査結果）

平日

回答者数(校)	実施有(校)	週あたりの平均回数	平均時間(1回あたり)
小学校(20校)	17(校)	3.9(回)	39(分)
中学校(9校)	8(校)	3.5(回)	1時間10(分)

（前回の調査結果）

平日

回答者数(校)	実施有(校)	週あたりの平均回数	平均時間(1回あたり)
小学校(23校)	21(校)	2.8(回)	40(分)
中学校(10校)	10(校)	1.3(回)	1時間20(分)

問6 平日の補充学習教室実施の有無 × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問6 平日の補充学習教室実施の有無		
		合計	有	無
問2 学校の種類	全体	29 100.0	25 86.2	4 13.8
	小学校	20 100.0	17 85.0	3 15.0
	中学校	9 100.0	8 88.9	1 11.1

問7 勤務時間外に学校にかかってくる保護者等からの電話件数(1週間あたりの平均件数)(SA)

朝の電話件数については、小学校は10件未満が55.0%(11校)と最も高率の一方で、20件以上が20.0%(4校)ある。中学校においても10件未満が55.6%(5校)の一方で、20件以上が33.3%(3校)となっている。

放課後の電話件数については、小学校は10件以上20件未満が40.0%(8校)と最も高率だが、20件以上も35.0%(7校)。中学校は10件以上20件未満が55.6%(5校)と最も高率で、20件以上は33.3%(3校)となっている。

問7 ①朝の電話件数 × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問7 ①朝の電話件数				
		合計	10件未満	10～20件未満	20～30件未満	30件以上
問2 学校の種類	全体	29 100.0	16 55.2	6 20.7	4 13.8	3 10.3
	小学校	20 100.0	11 55.0	5 25.0	2 10.0	2 10.0
	中学校	9 100.0	5 55.6	1 11.1	2 22.2	1 11.1

問7 ②放課後の電話件数 × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問7 ②放課後の電話件数				
		合計	10件未満	10件～20件未満	20件～30件未満	30件以上
問2 学校の種類	全体	29 100.0	6 20.7	13 44.8	4 13.8	6 20.7
	小学校	20 100.0	5 25.0	8 40.0	3 15.0	4 20.0
	中学校	9 100.0	1 11.1	5 55.6	1 11.1	2 22.2

<小学校のみ>

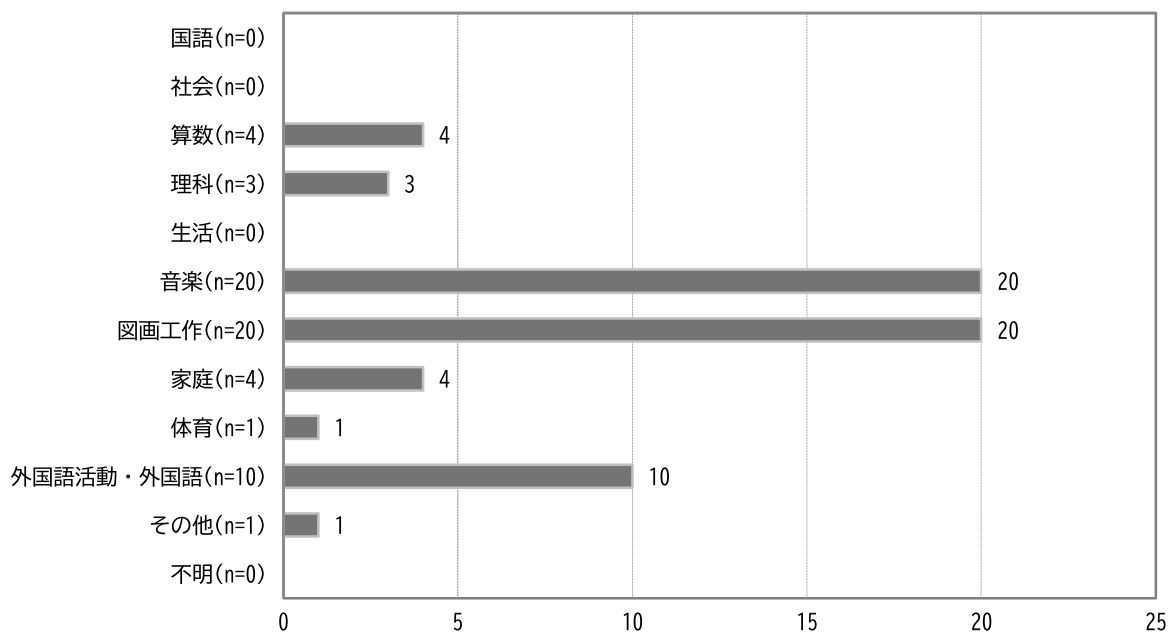
問8 小学校の専科教員の担当教科・領域（MA）

小学校で専科教員の担当教科・領域になっているのは、音楽と図画工作が全校（20校）の他、外国語活動・外国語（10校）、算数（4校）、家庭（4校）、理科（3校）、体育（1校）となっている。

前回と比較すると、外国語活動・外国語と体育が新たに担当教科・領域として入っている。

問8 ①小学校の専科教員の担当教科・領域

N = 20



問8 ①小学校の専科教員の担当教科・領域

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	国語	0	0.0	0.0
2	社会	0	0.0	0.0
3	算数	4	20.0	20.0
4	理科	3	15.0	15.0
5	生活	0	0.0	0.0
6	音楽	20	100.0	100.0
7	図画工作	20	100.0	100.0
8	家庭	4	20.0	20.0
9	体育	1	5.0	5.0
10	外国語活動・外国語	10	50.0	50.0
11	その他	1	5.0	5.0
	不明	0	0.0	
	N (%へ -ス)	20	100	20

問9 小学校の専科指導のあり方について（自由記入）

小学校の専科指導のあり方については、外国語活動・外国語の担当者の増員についての意見がみられる他、準備や後片付けに時間がかかる理科についても導入を求める意見がある。専科指導については、専門性の向上面での評価がある一方で、人数が少ないとかえって時間割が組みにくいことや、小規模校にも広げて専門性の高い授業を行うことが求められている。

以下、代表的な意見を抽出。テーマごとのカウントには重複あり

（外国語活動・外国語について 3件）

- ・外国語活動・外国語は担任が専科担当として指導しているが、各校1名を配置してほしい。
- ・学級担任が指導することが多岐にわたるので、外国語などの専科教員が、学級数にかかわらず一人でも増えることが望まれる。
- ・本校では、専科ではないが、外国語・外国語活動を時間講師が担っており、ALTとの打ち合わせも時間講師が行っている。このことにより、担任の負担を低減できている。

（理科について 3件）

- ・学級担任が指導することが多岐にわたるので、外国語や家庭科、理科などの専科教員が、学級数にかかわらず一人でも増えることが望まれる。
- ・準備や片付けに時間が必要な理科も専科にできるとよい。
- ・（理科において）一部の学年に業務軽減講師を配置しているが、配置できない学年もあり、毎年確実に見込める配置ではないこと、また任用した人材の指導力等により軽減を実感できるかどうかは違うので、専科の配置は正規の教員が学年等に平等に、安定して行われることが大切だと思う。

（家庭科について 2件）

- ・（家庭科において）一部の学年に業務軽減講師を配置しているが、配置できない学年もあり、毎年確実に見込める配置ではないこと、また任用した人材の指導力等により軽減を実感できるかどうかは違うので、専科の配置は正規の教員が学年等に平等に、安定して行われることが大切だと思う。
- ・家庭科も講師に指導をお願いしているが、専科担当として各校1名配置してほしい。

（音楽・図工について 1件）

- ・音楽・図工などの専門的な教科については低学年から専科教員（常勤）の配置をしていただけるとありがたい。

（専門性の向上について 4件）

- ・教材研究を深めて専門的な指導ができるところはよい。
- ・専科教員の指導技術の向上について育成し担保する必要がある。
- ・専門性が重視される教科については、専科教員による指導が望ましいと考える。
- ・専科教員がつくことで児童に専門性の高い授業が実施できる上に、担任の授業に対する負担も軽減できていると思っている。本校では、教員に欠員がでるような状況なので、ぜひ教員を増やしていただき、専科指導について充実を図りたい。

（その他 3件）

- ・高学年では部分的に教科担任制を取り入れている、時間割を組むうえで複雑になる。教員が増員すれば中学年・高学年の部分的な教科担任制が組みやすくなる。
- ・現在の学校規模に応じた専科教員配置の基準を、もう少し学級数が少ない学校にも広げ、専科教員が配置できるようになると良いと思う。
- ・専門性を生かした、「分かる・できる・楽しい」授業を実施する。

4 部活動について

<中学校における部活動のあり方>

問10 現在設置している運動部、文化部について（SA）

現在設置している部活動においては、吹奏楽・弦楽器部、美術部、茶道部、華道部、陸上部においては、概ね男女合同の部活動となっている。

問10 現在設置している運動部、文化部について

部活動	合同	男子	女子	設置無し	
1 野球部	4	5	0	0	
2 サッカー部	3	5	0	1	
3 バレーボール部	1	2	6	2	※男女それぞれ設置 2校
4 バスケットボール部	1	8	7	0	※男女それぞれ設置 7校
5 陸上部	2	0	0	7	
6 卓球部	8	1	1	0	※男女それぞれ設置 1校
7 テニス部	3	2	4	2	※男女それぞれ設置 2校
8 バドミントン部	6	1	1	2	※男女それぞれ設置 1校
9 柔道部	0	0	0	9	
10 剣道部	1	0	0	8	
11 吹奏楽部・弦楽器部	9	0	0	0	※吹奏楽部のみ
12 茶道部	4	0	0	5	
13 華道部	1	0	0	8	※茶道華道で1つの部活 1校
14 美術部	8	0	0	1	
15 和太鼓部	1	0	0	8	

その他運動系部活動

水泳部（合同：3校）、ラグビー部（男子：1校）

その他文科系部活動

科学部（合同：1校）、自然科学部（合同：1校）、科学技術部（合同：1校）、文芸部（1校）、家庭科部（家庭生活部含む）（3校）、演劇部（1校）、文化継承部（1校）、パソコン部（2校）、ロボコン部（1校）、社会科探検部（1校）、英語部（1校）

問10 ①野球部

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	4	44.4	44.4
2	男子	5	55.6	55.6
3	女子	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	
	N (% ⁺ -s)	9	100	9

問10 ②サッカー部

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	3	33.3	37.5
2	男子	5	55.6	62.5
3	女子	0	0.0	0.0
	無回答	1	11.1	
	N (% ⁺ -s)	9	100	8

問10 ③バレーボール部

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	1	11.1	14.3
2	男子	2	22.2	28.6
3	女子	6	66.7	85.7
	無回答	2	22.2	
	N (% ⁺ -ス)	9	100	7

問10 ④バスケットボール部

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	1	11.1	11.1
2	男子	8	88.9	88.9
3	女子	7	77.8	77.8
	無回答	0	0.0	
	N (% ⁺ -ス)	9	100	9

問10 ⑤陸上部

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	2	22.2	100.0
2	男子	0	0.0	0.0
3	女子	0	0.0	0.0
	無回答	7	77.8	
	N (% ⁺ -ス)	9	100	2

問10 ⑥卓球部

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	8	88.9	88.9
2	男子	1	11.1	11.1
3	女子	1	11.1	11.1
	無回答	0	0.0	
	N (% ⁺ -ス)	9	100	9

問10 ⑦テニス部 (硬式・軟式)

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	3	33.3	42.9
2	男子	2	22.2	28.6
3	女子	4	44.4	57.1
	無回答	2	22.2	
	N (% ⁺ -ス)	9	100	7

問10 ⑧バドミントン部

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	6	66.7	85.7
2	男子	1	11.1	14.3
3	女子	1	11.1	14.3
	無回答	2	22.2	
	N (% ⁺ -ス)	9	100	7

問10 ⑨柔道部

(MA)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	0	0.0	0.0
2	男子	0	0.0	0.0
3	女子	0	0.0	0.0
	無回答	9	100.0	
	N (% ⁺ -ス)	9	100	0

問10 ⑩剣道部

(MA)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	1	11.1	100.0
2	男子	0	0.0	0.0
3	女子	0	0.0	0.0
	無回答	8	88.9	
	N (%^ -ス)	9	100	1

問10 ⑪吹奏楽・弦楽器部

(MA)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	9	100.0	100.0
2	男子	0	0.0	0.0
3	女子	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	
	N (%^ -ス)	9	100	9

問10 ⑫茶道部

(MA)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	4	44.4	100.0
2	男子	0	0.0	0.0
3	女子	0	0.0	0.0
	無回答	5	55.6	
	N (%^ -ス)	9	100	4

問10 ⑬華道部

(MA)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	1	11.1	100.0
2	男子	0	0.0	0.0
3	女子	0	0.0	0.0
	無回答	8	88.9	
	N (%^ -ス)	9	100	1

問10 ⑭美術部

(MA)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	8	88.9	100.0
2	男子	0	0.0	0.0
3	女子	0	0.0	0.0
	無回答	1	11.1	
	N (%^ -ス)	9	100	8

問10 ⑮和太鼓部

(MA)

No.	カテゴリー	件数	(全体)%	(除不)%
1	合同	1	11.1	100.0
2	男子	0	0.0	0.0
3	女子	0	0.0	0.0
	無回答	8	88.9	
	N (%^ -ス)	9	100	1

問11 顧問はどのように決めているか（SA）

部活動の顧問の決め方については、88.9%（8校）が「全教員が顧問に当たることを原則とし、一つの部に複数名の顧問を配置することとしている」と回答している。

問11 ①顧問はどのように決めているか		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	全教員が顧問に当たることを原則とし、一つの部に複数名の顧問を配置することとしている	8	88.9	88.9
2	全教員が顧問に当たることを原則とし、部ごとの顧問の人数は部員数等に応じて配置している	1	11.1	11.1
3	全教員が複数の顧問に当たることを原則としている	0	0.0	0.0
4	運動部のみ複数名の顧問を配置している	0	0.0	0.0
5	希望する教員が顧問に当たることを原則としている	0	0.0	0.0
6	その他	0	0.0	0.0
	無回答	0	0.0	
	N（%へ→）	9	100	9

問12 週当たりの活動日数についての決まりはあるか（SA・数値）

週当たりの活動日数についての決まりは、88.9%（8校）が「ある」と回答している。

「ある」と回答した学校の日数については、5日以内が77.8%（7校）となっている。

問12 ①週当たりの活動日数について決まりがあるか		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	ある	8	88.9	88.9
2	ない（顧問等の判断）	1	11.1	11.1
	無回答	0	0.0	
	N（%へ→）	9	100	9

問12 ②（何日以内か）		(数量)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	1日	0	0.0	0.0
2	2日	0	0.0	0.0
3	3日	0	0.0	0.0
4	4日	1	11.1	12.5
5	5日	7	77.8	87.5
	無回答	1	11.1	
	N（%へ→）	9	100	8

問13 今後の部活動についての考え方（SA）

今後の部活動については、「部活動はこれまで通りに行うが、顧問や指導は主に部活動指導員や外部へ委ねるべき」「部活動の日数や時間を減らし、顧問や指導も主に部活動指導員や外部へ委ねるべき」がそれぞれ33.3%（3校）となっている。

問13 ①今後の部活動についての考え		(SA)		
No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不)%
1	部活動はこれまで通りに行い、顧問や指導も主に教員が行うべき	1	11.1	11.1
2	部活動はこれまで通りに行うが、顧問や指導は主に部活動指導員や外部へ委ねるべき	3	33.3	33.3
3	部活動の日数や時間を減らし、顧問や指導は主に教員が行うべき	0	0.0	0.0
4	部活動の日数や時間を減らし、顧問や指導も主に部活動指導員や外部へ委ねるべき	3	33.3	33.3
5	学校の課外活動としての部活動は廃止すべき	0	0.0	0.0
6	その他	2	22.2	22.2
	無回答	0	0.0	
	N（％ベース）	9	100	9

※その他 2校…1,2の折衷案がよいと回答

問14 今後の部活動についての考え方の理由（自由記入）

部活動の顧問教員への負担が大きいため、外部指導員の充実を求める意見がある一方で、「部活動の指導を重視している教員もいる」という意見もある。「生徒の部活動体験の機会を確保しつつ教員の働き方改革を進めること」が求められている。

以下、意見を抽出。

・部活動によって救われている生徒も多数いる。生徒の違う一面を教員が見ることができる点も部活動の大きな意義である。生活指導面でも、部活動が果たしている役割は大きい。世の中の流れは、十分に理解しているが、安易に外部に委託することには大きな危険があるように感じる。顧問は教員がやるかわりに、適切な対価を支払うシステムが構築されることを望む。
・専門的な技術指導ができない教員が顧問となった場合は、積極的に外部指導員に委ねたほうがよいと思うが、一方で部活動の指導も重視している教員もいるため。
・活動の機会は保証しつつ、受益者負担により運営されることが望ましい。・教員によっては、部活動指導を望んでいる者もいるので、兼業に対して柔軟に対応できるようになってほしい。
・部活動の顧問への負担が大きいため、部活動指導員の人数を増やしてほしい。
・各部活動で運営が異なるので、各部活動の実態にあった対応をしていきたい。
・生徒の体験の機会は確保しつつ、教員の働き方改革を進めなければならないため。

5. 業務改善

問15 業務改善に向けた取組等の実施回数について(数値)

業務改善に向けた取組の中で、まず職員会議については、小学校では月あたり1回が80.0%(16校)。中学校は全ての学校で月あたり1回開催している。

問15 ①職員会議の実施回数(月あたり) × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問15 ①職員会議の実施回数(月あたり)			
		合計	0回	1回	2回以上
問2 学校の種類	全体	29	4	25	-
		100.0	13.8	86.2	-
	小学校	20	4	16	-
		100.0	20.0	80.0	-
	中学校	9	-	9	-
		100.0	-	100.0	-

ノー残業デーについては、全体の約半数が0回と回答している。一方で、中学校の33.3%(3校)、小学校の25.0%(5校)が3～4回と回答しており、学校による差があるとみられる。

問15 ②ノー残業デー(月あたり) × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問15 ②ノー残業デー				
		合計	0回	1～2回	3～4回	5以上
問2 学校の種類	全体	29	14	7	8	-
		100.0	48.3	24.1	27.6	-
	小学校	20	9	6	5	-
		100.0	45.0	30.0	25.0	-
	中学校	9	5	1	3	-
		100.0	55.6	11.1	33.3	-

校内研修については、小学校は85.0%(17校)が1～2回の方で、0回も5.0%(1校)みられる。中学校は77.8%(7校)が1～2回と回答している。校内研修についても、学校により状況が大きく異なっている。

問15 ③校内研修(月あたり) × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問15 ③校内研修				
		合計	0回	1～2回	3～4回	5回以上
問2 学校の種類	全体	29	2	24	2	1
		100.0	6.9	82.8	6.9	3.4
	小学校	20	1	17	1	1
		100.0	5.0	85.0	5.0	5.0
	中学校	9	1	7	1	-
		100.0	11.1	77.8	11.1	-

中学校のノー部活デーについては、66.7%(6校)が0回と回答している。

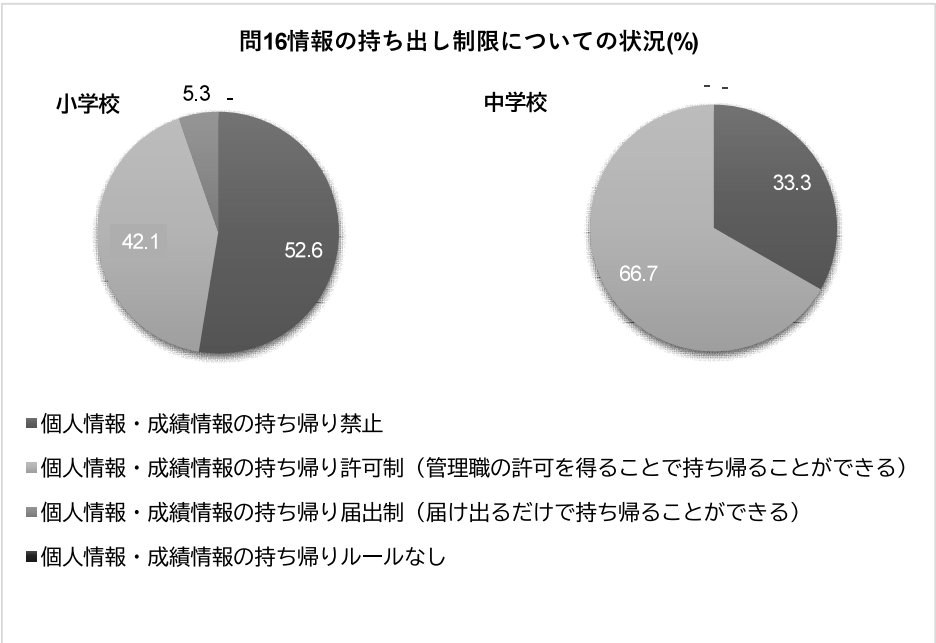
問15 ④ノー部活動デー(中学校のみ) × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問15 ④ノー部活動デー(中学校のみ)				
		合計	0回	1～2回	3～4回	5以上
問2 学校の種類	中学校	9	6	1	2	-
		100.0	66.7	11.1	22.2	-

問 16 情報の持ち出し制限についての状況（S A）

小学校では 50.0%（10 校）が「個人情報・成績情報の持ち帰り禁止」、40.0%（8 校）が「個人情報・成績情報の持ち帰り許可制（管理職の許可を得ることで持ち帰ることができる）」と回答している。

中学校では、66.7%（6 校）が「個人情報・成績情報の持ち帰り許可制（管理職の許可を得ることで持ち帰ることができる）」、33.3%（3 校）が「個人情報・成績情報の持ち帰り禁止」と回答している。



（今回の調査結果）

問16 情報の持ち出し制限についての状況 × 問2 学校の種類

上段:度数		問16 情報の持ち出し制限についての状況					
下段:%		合計	個人情報・成績情報の持ち帰り禁止	個人情報・成績情報の持ち帰り許可制 (管理職の許可を得ることで持ち帰ることができる)	個人情報・成績情報の持ち帰り届出制 (届け出るだけで持ち帰ることができる)	個人情報・成績情報の持ち帰りルールなし	無回答
問2 学校の種類	全体	29 100.0	13 44.8	14 48.3	1 3.4	-	1 3.4
	小学校	20 100.0	10 50.0	8 40.0	1 5.0	-	1 5.0
	中学校	9 100.0	3 33.3	6 66.7	-	-	-

（前回の結果）

問16 情報の持ち出し制限についての状況 × 問2 学校の種類

上段:度数		問16 情報の持ち出し制限についての状況					
下段:%		合計	個人情報・成績情報の持ち帰り禁止	個人情報・成績情報の持ち帰り許可制 (管理職の許可を得ることで持ち帰ることができる)	個人情報・成績情報の持ち帰り届出制 (届け出るだけで持ち帰ることができる)	個人情報・成績情報の持ち帰りルールなし	無回答
問2 学校の種類	全体	33 100.0	15 45.5	18 54.5	-	-	-
	小学校	23 100.0	14 60.9	9 39.1	-	-	-
	中学校	10 100.0	1 10.0	9 90.0	-	-	-

問 17 現在使用している I C T 機器や各種システム等の使い勝手や改善してほしい点について（自由記入）

I C T 機器や各種システムの使い勝手や改善して欲しい点については、まず用途によって P C やタブレットを使い分ける必要があることの煩雑さの改善を求める声が 5 件ある。同時に、校務支援システムと情報配信（欠席連絡）システムが連動していないなど、各機器間でのシステムが連動していないことの不便も 7 件みられる。ソフト面では、児童タブレットと教員タブレットの O S が違うなど、指導上の問題に至る意見がある。さらに、教員にはメールアドレスが付与されていないため、外部との交渉等に不便が生じているという意見もある。

以下、代表的な意見を抽出。テーマごとのカウントには重複あり

（I C T 機器の使い分けの困難さ、煩雑さについて 5 件）

- ・セキュリティ上の措置とは思いますが、用途によって使用するパソコンが違う（庁内用インターネット可、教員の校務用インターネット不可、教員指導用、一人 1 台端末）ので使い分けが煩雑。
- ・管理職、教員ともに、一人当たりのパソコンやタブレットの種類が多く、仕事が非常に煩雑。一つにまとめることができれば、仕事の効率が大幅に改善され则认为る。
- ・管理職は校務 P C と庁内 P C の 2 台を併用しているが、調査等でデータを職員渡さなければならない場面では煩雑さを感じる。
- ・管理職は最大 4 台のデバイスを使わなければならない点で煩雑さを感じる。
- ・校務 P C と指導用 P C（授業用）と 2 台貸与されているので、使い勝手が悪い。

（O S やアプリ使用時の煩雑さについて 7 件）

- ・ネットワークの安定・児童のアクセス制限
- ・ログインの I D がアプリ毎、サービス毎に違い、使用するたびに煩雑である。
- ・児童タブレットと教員タブレットの O S が違う。
- ・教員指導用端末と、生徒が使用する一人 1 台端末を同じものにしたいほうがよい。
- ・庁内用の P C と校内用の P C とのデータのやり取りが直接できないため、非常に手間がかかる。庶務事務システムがわかりにくい。
- ・校務支援システムと情報配信（欠席連絡）システムが連動していないので、業務が煩雑。
- ・データ移行やメールの転送など不便さを感じることもある。
パソコン間のファイルの移動が困難である。DVD の書き込みエラーが頻発する。ネットワーク経由等の方法などへ改善されないため、教職員へのデータの配付や収集に大変な時間が掛かっている。

（ネットワーク環境や P C やタブレットのスペック向上について 6 件）

- ・校務 P C の処理速度がかなり落ちているので、バージョンアップを求む。また、データ容量の不安があるため増やしてほしい。
- ・指導用タブレットがようやくリプレースとなったが、バッテリーが古くなり、アダプターを接続していないとまったく作動しない状態が数か月。リース期間の再考をしてほしい。
- ・いろいろなアプリを使っているのに iPad の容量がすぐ無くなり、それに伴ってアップデートができなくなることが困る。
- ・共有のフォルダの容量が少ない。
- ・校務 P C の LAN 回線の速度をあげてほしい。回線が細く、区サーバとの通信が遅いため、C4th などの動作が遅い。
- ・機器、データともに校内での扱いが基本で、在宅勤務は不可能な状況が変わらなければ、軽減は実感できないと思う。

（インターネットへのアクセスやメールの使い勝手について 8 件）

- ・外部とのメールでのやり取りが管理職アカウントのみとなり、外部との連携を図れば図るほど負担増となっている。
- ・教員にもアドレスを付与し、外部とメールでのやり取りができるようにした方がよい

- ・ネット環境がすべての場所で活用できるように、校内 LAN の増設をした方がよい（校庭、特別教室等）・管理職の使用する PC を一台にまとめてほしい。
- ・校務 PC がインターネットにつながらないこと。
- ・教員一人一人にメールアドレスがないため、宿泊行事等のメールのやりとりに大きな手間がかかる。
- ・庁内 PC と校務 PC がつながっていないため、データの共有等に膨大な手間がかかる。
- ・すべての教員にインターネットメールのアカウントを付与することで、業務改善につながると思われる。
- ・教員一人ひとりにメールアドレスが付与されていないので、職場体験や宿泊行事などの外部折衝でメールでのやりとりができない。

（ICT 支援人材の配置について 3件）

- ・ICT が得意な教員とそうでない教員がいるので、ICT 支援をする人材を毎日配置し各教室の授業の支援ができるようにしてほしい。そうすることで、得意ではない教員もすすんで活用することができるようになる。
- ・新規事業、日々の機器メンテナンス等における、校内スタッフ常駐化を希望する。
- ・ヘルプデスクを充実させていただきたい。

（プリンターへの接続について 2件）

- ・生徒用 iPad から直接印刷ができるプリンターが欲しい
- ・機器によって印刷できる媒体が違っていることが不便である。

（その他 6件）

- ・現在のところ良好に機能している。
- ・年度途中での変更等が多い。
- ・使うことが目的となってしまう、効果検証が十分に行われていない。
- ・同じ機器やシステムなどを継続的に使えるようにしていただきたい。何年かで変更すると覚えるまで時間がかかる。
- ・自治体によって iPad や Chromebook など、使っている端末が違うので異動したときに戸惑うことが多い。
- ・校務 PC を遠隔で自宅でも使えるようにしてほしい。

問 18 あらたに導入を希望する I C T 機器や各種システム等について（自由記入）

新たに導入を希望する I C T 機器や各種システム等については、前問の改善点の意見にもみられたように、使用する P C やタブレットなどの端末を統合することや、機器間の O S を統一することが意見としてあった。新たに導入したいアプリ等については、全職員へのメールアドレスの付与の他、業務用のスマートフォン、動画編集ソフト、音読や音声入力を行うアプリなどの希望がある。また、校外でも端末が利用できる様な Wi-Fi 環境の整備やテレワークシステムの導入についての意見もみられる。

以下、代表的な意見を抽出。テーマごとのカウントには重複あり

（Wi-Fi などインターネット環境について 5 件）

- ・メールの添付ファイル容量限度を大きくしてほしい。外部メールの添付ファイルが無効化されてしまう際に、学校で許可したものを確認できるようにしてほしい。
- ・体育や生活科などで、校舎内外で指導者も学習者もタブレット等を使用する。多様な授業を展開するためにも校内全域で使用可能な Wi-Fi 環境が必要。
- ・校庭や校外学習でも一人 1 台端末等が使用できるように、モバイル Wi-Fi があると良い。
- ・校舎内（敷地内）全域におけるインターネット環境の整備（つながらない場所をゼロにする）。
- ・校務 P C のネットワークの無線化。

（自宅からのリモートアクセスやテレワークシステムについて 3 件）

- ・必要に応じて自宅等からのリモートアクセス機能。
- ・自治体テレワークシステム for LGWAN は使い勝手が良かった。
- ・校外で使用可能な P C の配当と持ち出し化のルール作り、校外で業務データが扱えるような仕組みづくり（書き出し、印刷禁止等の制約をつけるなど）

（機器やソフトの統一について 6 件）

- ・児童用タブレットが iPad であれば、教員タブレットも iPad に統一してほしい。また、iPad にデフォルトで入っているアプリを活用し、アップルの G I G A スクール対応を最大限活用できるようにした方が、デバイスの特徴を最大限発揮できる。教員には自宅でも作業できるような環境や機器を整備してほしい。
- ・管理職の使用する P C を一台とする。
- ・公務 P C と庁内 P C 間の DVD-RW でのデータのやりとりを撤廃する。
- ・校務支援システムと情報配信システムの一元化。
- ・ファイルの移動に関するシステムの改善。

（新たな機器やアプリソフトの導入について 8 件）

- ・全教職員へのメールアドレスの付与。
- ・個人の私物ではなく業務専用のスマートフォンの配当。
- ・庁内 P C を持ち運ぶ際に使用する収納ケースの配布
- ・外付けのハードディスク等を配備してほしい。
- ・動画編集ソフトの導入。
- ・教科書の音読をしてくれるアプリは全児童 iPad にいれてよいと考える。また、文章を書くことが苦手な児童に対して音声入力（漢字変換をしない）で文章に起こせるアプリがあれば、書くことへの抵抗を少なくできると考える。
- ・全教科の指導者用デジタル教科書の配布。
- ・学習用端末や生徒タブレットにウィンバードと動画編集ソフトがほしい。

（その他 2 件）

- ・区市町村ごとに異なるシステムや端末が導入されているため、異動しても同じであってほしい。（都立学校はすべて TAIMS で統一されている）
- ・学校に I C T 技術者が常駐していただけるとありがたい。

6. 勤務時間縮減

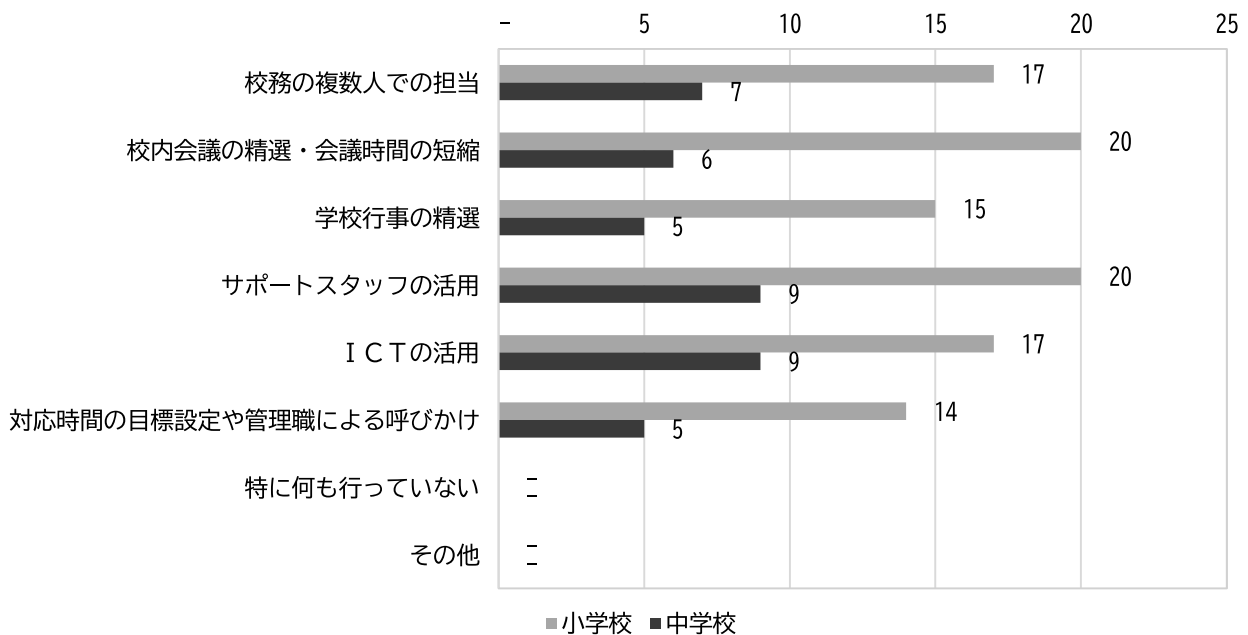
問19 勤務時間縮減に向け、実施している取組（MA）

勤務時間縮減に向けて実施している取組について、小学校では前回調査で11校だった「サポートスタッフの活用」が20校に増加している他、「校務の複数人での担当」が12校から17校へ増加している。

中学校では、「サポートスタッフの活用」が前回調査の4校から9校へ増加している。

「サポートスタッフの活用」については、小・中学校のすべての学校において取り組まれている。

問19 勤務時間縮減に向け、実施している取組



（今回の調査結果）

問19 ①勤務時間縮減に向け、実施している取組について × 問2 学校の種類

上段:度数		問19 ①勤務時間縮減に向け、実施している取組について								
下段:%		合計	校務の複数人での担当	校内会議の精選・会議時間の短縮	学校行事の精選	サポートスタッフの活用	I C Tの活用	対応時間の目標設定や管理職による呼びかけ	特に何も行っていない	その他
問2 学校の種類	全体	29 100.0	24 82.8	26 89.7	20 69.0	29 100.0	26 89.7	19 65.5	-	-
	小学校	20 100.0	17 85.0	20 100.0	15 75.0	20 100.0	17 85.0	14 70.0	-	-
	中学校	9 100.0	7 77.8	6 66.7	5 55.6	9 100.0	9 100.0	5 55.6	-	-

（前回の調査結果）

問19 ①勤務時間縮減に向け、実施している取組について × 問2 学校の種類

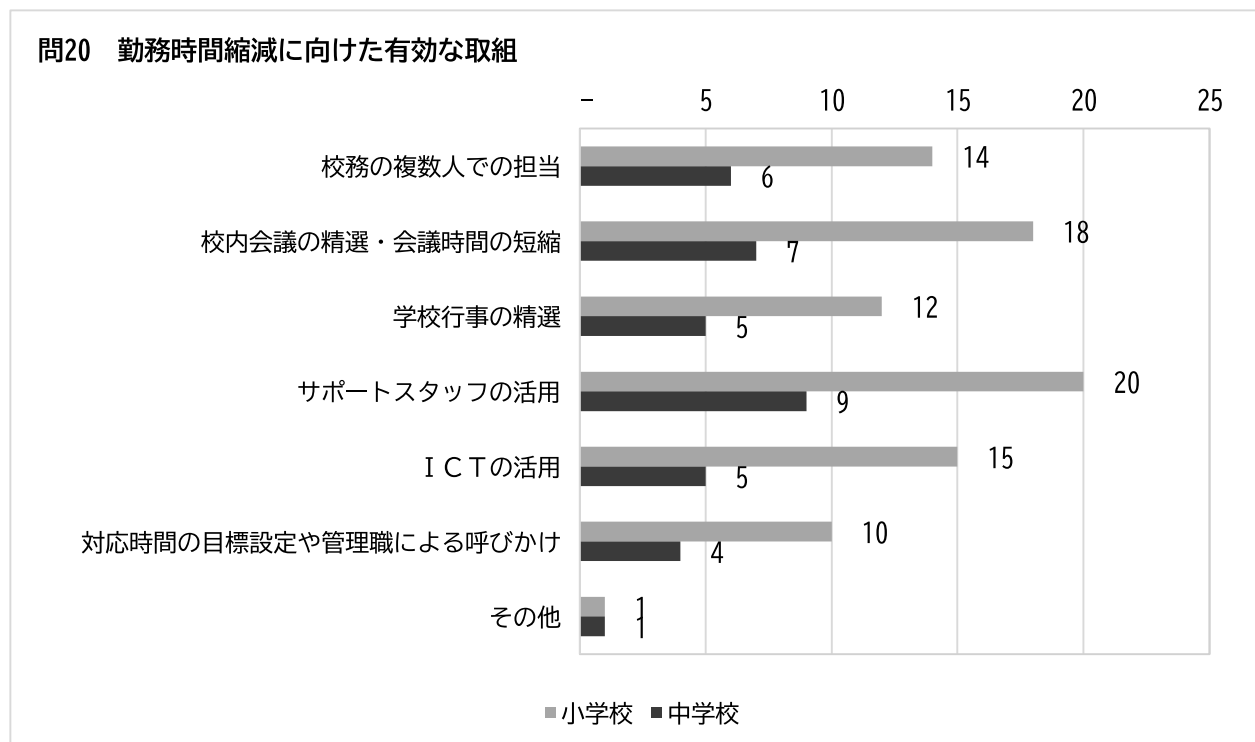
上段:度数		問19 ①勤務時間縮減に向け、実施している取組について								
下段:%		合計	校務の複数人での担当	校内会議の精選・会議時間の短縮	学校行事の精選	サポートスタッフの活用	I C Tの活用	対応時間の目標設定や管理職による呼びかけ	特に何も行っていない	その他
問2 学校の種類	全体	33 100.0	19 57.6	30 90.9	18 54.5	15 45.5	21 63.6	25 75.8	-	1 3.0
	小学校	23 100.0	12 52.2	21 91.3	13 56.5	11 47.8	13 56.5	16 69.6	-	1 4.3
	中学校	10 100.0	7 70.0	9 90.0	5 50.0	4 40.0	8 80.0	9 90.0	-	-

問 20 勤務時間縮減に向けた有効な取組について（MA）

勤務時間縮減に向けた有効な取組について、小学校では前回調査で 11 校だった「サポートスタッフの活用」が 20 校に増加している他、「校務の複数人での担当」が 10 校から 14 校へ増加している。

中学校では、前回調査と今回調査結果に特に大きな変化はみられない。

「サポートスタッフの活用」については、小・中学校のすべての学校において有効な取組となっている。



※その他：職務内容の精選

（今回の調査結果）

問20 ①勤務時間縮減に向けた有効な取組について × 問2 学校の種類

上段:度数		問20 ①勤務時間縮減に向けた有効な取組について							
下段:%		合計	校務の複数人での担当	校内会議の精選・会議時間の短縮	学校行事の精選	サポートスタッフの活用	ICTの活用	対応時間の目標設定や管理職による呼びかけ	その他
問2 学校の種類	全体	29 100.0	20 69.0	25 86.2	17 58.6	29 100.0	20 69.0	14 48.3	2 6.9
	小学校	20 100.0	14 70.0	18 90.0	12 60.0	20 100.0	15 75.0	10 50.0	1 5.0
	中学校	9 100.0	6 66.7	7 77.8	5 55.6	9 100.0	5 55.6	4 44.4	1 11.1

（前回の調査結果）

問20 ①勤務時間縮減に向けた有効な取組について × 問2 学校の種類

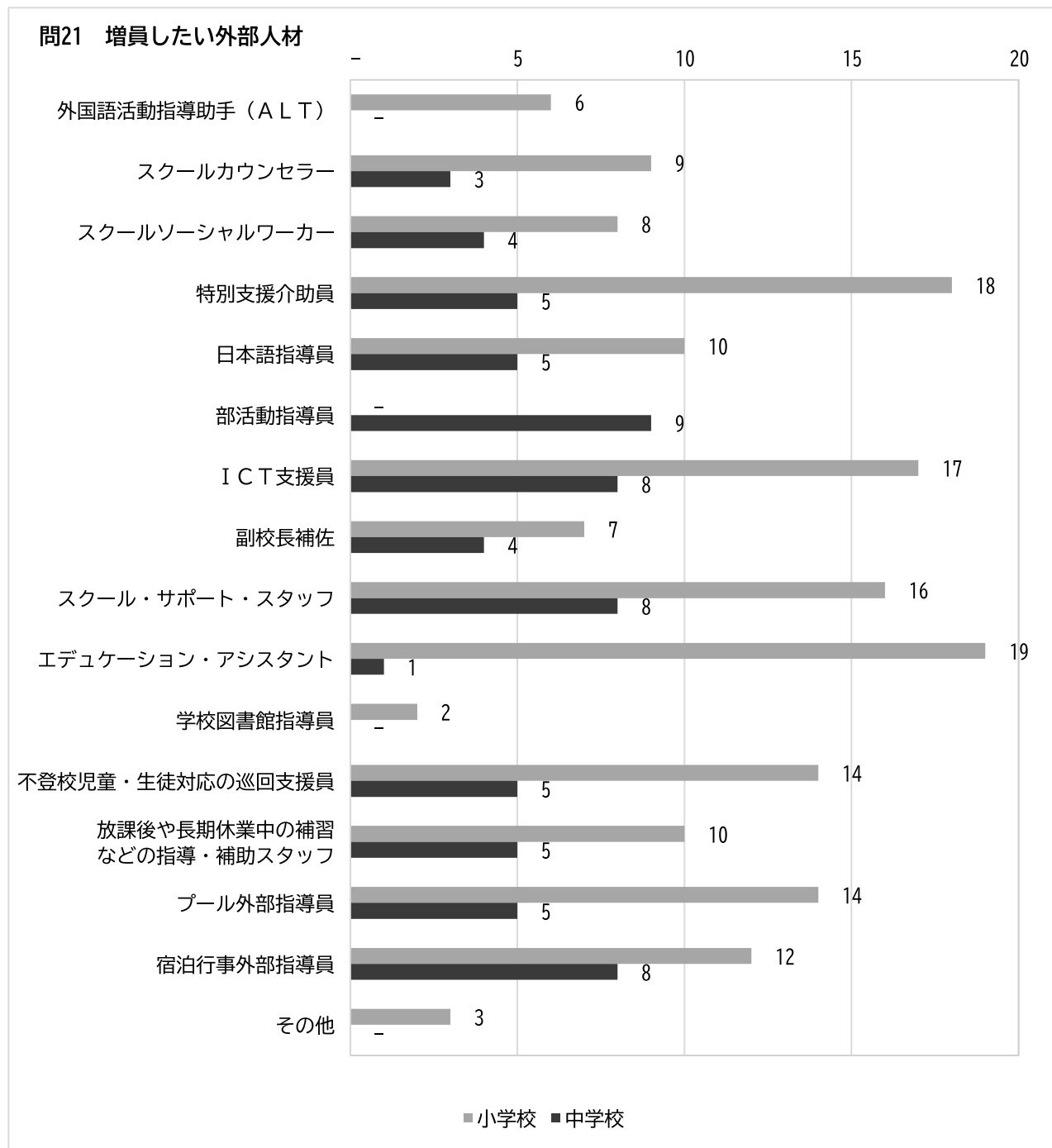
上段:度数		問20 ①勤務時間縮減に向けた有効な取組について								
下段:%		合計	校務の複数人での担当	校内会議の精選・会議時間の短縮	学校行事の精選	サポートスタッフの活用	ICTの活用	対応時間の目標設定や管理職による呼びかけ	特に何も行ってない	その他
問2 学校の種類	全体	33 100.0	16 48.5	27 81.8	18 54.5	20 60.6	17 51.5	18 54.5		2 6.1
	小学校	23 100.0	10 43.5	20 87.0	12 52.2	11 47.8	10 43.5	13 56.5	-	2 8.7
	中学校	10 100.0	6 60.0	7 70.0	6 60.0	9 90.0	7 70.0	5 50.0	-	-

7. 外部人材の活用

問21 増員したい外部人材（MA）

増員したい外部人材について、小学校では「エデュケーション・アシスタント」が19校と最も多い。次いで「特別支援介助員」が前回と同様に18校となっている。

中学校では、「部活動指導員」が9校と最も多い他、「ICT支援員」「スクール・サポート・スタッフ」「宿泊行事外部指導員」がともに8校となっている。



※その他：校外学習コーディネーター、校外学習コーディネーター学校窓口専門員（保護者、外部からの一次受け）、調査等対応専門員、事務職員、区独自の臨任・時間講師など

(今回の調査結果)

問21 ①増員したい外部人材 × 問2 学校の種類

上段:度数		問21 ①増員したい外部人材								
下段:%		合計	外国語活動 指導助手 (A L T)	スクールカ ウンセラー	スクール ソーシャル ワーカー	特別支援介 助員	日本語指導 員	部活動指導 員	I C T 支援 員	副校長補佐
問2 学校の種類	全体	29	6	12	12	23	15	9	25	11
		100.0	20.7	41.4	41.4	79.3	51.7	31.0	86.2	37.9
	小学校	20	6	9	8	18	10	-	17	7
		100.0	30.0	45.0	40.0	90.0	50.0	-	85.0	35.0
	中学校	9	-	3	4	5	5	9	8	4
		100.0	-	33.3	44.4	55.6	55.6	100.0	88.9	44.4
	下段:%	スクール・ サポート・ スタッフ	エデュケー ション・ア シスタント	学校図書館 指導員	不登校児 童・生徒対 応の巡回支 援員	放課後や長 期休業中の 補習 などの指 導・補助ス	プール外部 指導員	宿泊行事外 部指導員	その他	
	全体	24	20	2	19	15	19	20	3	
		82.8	69.0	6.9	65.5	51.7	65.5	69.0	10.3	
	小学校	16	19	2	14	10	14	12	3	
		80.0	95.0	10.0	70.0	50.0	70.0	60.0	15.0	
	中学校	8	1	-	5	5	5	8	-	
		88.9	11.1	-	55.6	55.6	55.6	88.9	-	

(前回の調査結果)

問21 ①増員したい外部人材 × 問2 学校の種類

上段:度数 下段:%		問21 ①増員したい外部人材							
		合計	外国語活動指導助手（ALT）	JET青年	スクールカウンセラー	スクールソーシャルワーカー	特別支援教員	日本語指導員	理科観察実験アシスタント
問2 学校の種類	全体	33 100.0	17 51.5	- -	14 42.4	9 27.3	24 72.7	4 12.1	10 30.3
	小学校	23 100.0	15 65.2	- -	10 43.5	5 21.7	18 78.3	2 8.7	8 34.8
	中学校	10 100.0	2 20.0	- -	4 40.0	4 40.0	6 60.0	2 20.0	2 20.0
	下段:%	部活動指導員	ICT支援員	学校行事の補助員（スクール・サポート・スタッフ、副校長補佐）	学校図書館指導員	不登校児童・生徒対応の巡回支援員	放課後や長期休業中の補習などの指導・補助スタッフ	学校スタッフ	その他
	全体	9 27.3	21 63.6	23 69.7	8 24.2	13 39.4	19 57.6	11 33.3	2 6.1
	小学校	1 4.3	14 60.9	16 69.6	7 30.4	6 26.1	11 47.8	7 30.4	2 8.7
	中学校	8 80.0	7 70.0	7 70.0	1 10.0	7 70.0	8 80.0	4 40.0	-

問 22 外部人材活用による効果（自由記入）

外部人材活用による効果については、「スクール・サポート・スタッフ」（８件）、「エデュケーション・アシスタント」（５件）、「副校長補佐」（５件）などの評価が高い。一方で「あくまで、「担任・担当がやる・できる業務」という仕事量を基本に考えていかなければいけない」という意見や、「本来は担任や副校長がやるべき業務をやらなくなっていることで、一人一人の仕事そのものの理解が低くなっていると感じる」、「他者から学校に期待されていることに対し、学校がきちんと応えられていない状況につながる原因になっているのではないかと危惧している」、「部指導員の手配が学校任せになっており、副校長の負担が大きい」、「区として外部人材を一括して取りまとめられないか」というような懸念や意見もみられる。

以下、代表的な意見を抽出。テーマごとのカウントには重複あり

（個別の外部人材について効果があったと評価する意見数 22 件）

- ・スクール・サポート・スタッフ：８件
- ・副校長補佐：５件
- ・エデュケーション・アシスタント：５件
- ・特別支援介助員：２件
- ・プール外部指導員：１件
- ・宿泊行事外部指導員：２件
- ・部活動指導員：１件
- ・校内別室指導支援員：１件

（新たな外部人材の配置希望について ２件）

- ・不登校児童の対応をする担当教員を配置してもらえると、別室登校を促すことができ不登校児童の減少につながると考える。
- ・学生ボランティアの活用。

（外部人材活用に関わる効果について 15 件）

- ・SSS や副校長補佐に事務作業を任せることで、教職員の業務削減につながっている。
- ・個別対応が必要な生徒が増えてきていることから、生徒対応の支援員がいることで、生徒の見守りや事故・いじめ防止に役立っている。補充教室などの指導をしてくれるスタッフがいることで、生徒の学力向上の一助となっている。
- ・部活動への教員の負担軽減だけでなく、生徒の専門的な技能向上にも有効な効果がある。
- ・放課後の補習を希望する生徒のための学習スペースの確保ができる。
- ・日本語の学習を充実させることにより、来日間もない生徒にとって安心して普段の授業を受けるための機会となっている。

（外部人材活用に関わる懸念について ７件）

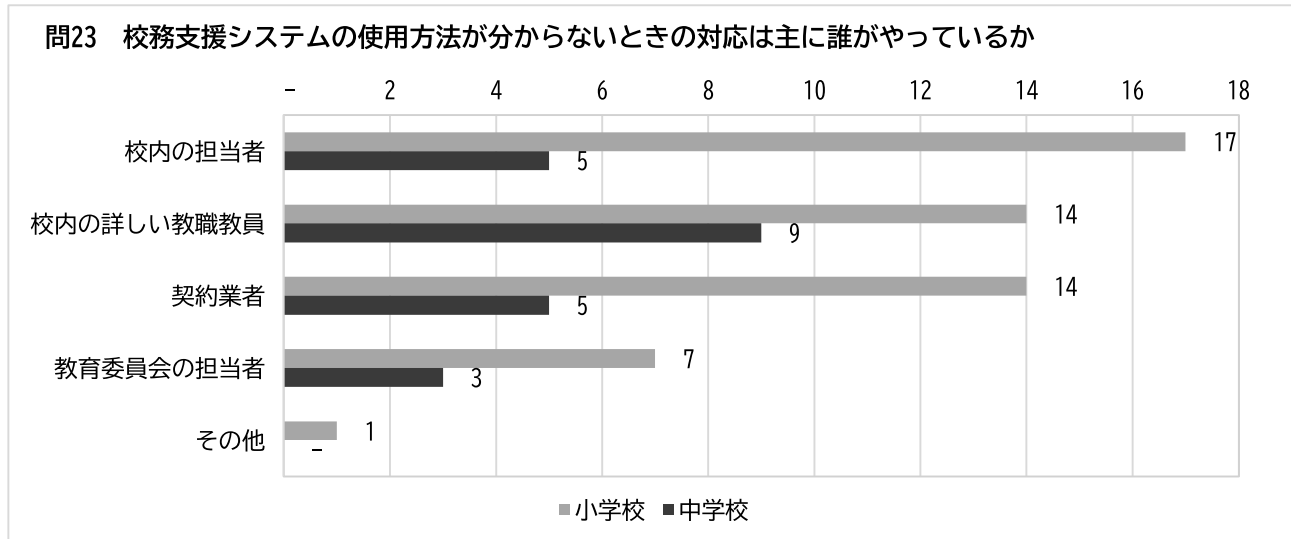
- ・あくまで、「担任・担当がやる・できる業務」という仕事量を基本に考えていかなければいけない。
- ・本来は担任や副校長がやるべき業務をやらなくなっていることで、一人一人の仕事そのものの理解が低くなっていると感じる。他者から学校に期待されていることに対し、学校がきちんと応えられていない状況につながる原因になっているのではないかと危惧している。
- ・外部指導員の手配が学校任せになっており、副校長の負担が大きい。区として外部人材を一括して取りまとめられないか。
- ・勤務時間削減や教員の負担軽減には確実につながる反面、人員を確保するための労力が大きい。
- ・活用によっては、効果的である場合と、かえって煩雑になる場合がある（例 採用手続き、サービス管理）。

8. 校務支援システム

問23 校務支援システムの使用方法がわからない時の対応を行っている人について(MA)

校務支援システムの使用方法がわからない時の対応について、小学校では20校中17校が「校内の担当者」、14校が「校内の詳しい教職員」「契約業者」と回答している。

中学校では、9校すべてが「校内の詳しい教職員」と回答している他、「校内の担当者」「契約業者」がともに5校となっている。



※その他：管理職

(今回の調査結果)

問23 校務支援システムの使用方法が分からないときの対応は主に誰がやっているか × 問2 学校の種類

上段:度数		問23 ①校務支援システムの使用方法が分からないときの対応は主に誰がやっているか					
下段:%		合計	校内の担当者	校内の詳しい教職教員	契約業者	教育委員会の担当者	その他
問2 学校の種類	全体	29 100.0	22 75.9	23 79.3	19 65.5	10 34.5	1 3.4
	小学校	20 100.0	17 85.0	14 70.0	14 70.0	7 35.0	1 5.0
	中学校	9 100.0	5 55.6	9 100.0	5 55.6	3 33.3	-

(前回の調査結果)

問23 校務支援システムの使用方法が分からないときの対応は主に誰がやっているか × 問2 学校の種類

上段:度数		問23 ①校務支援システムの使用方法が分からないときの対応は主に誰がやっているか				
下段:%		合計	教員	教員以外の学校職員	契約業者	その他
問2 学校の種類	全体	33 100.0	30 90.9	1 3.0	6 18.2	4 12.1
	小学校	23 100.0	20 87.0	-	5 21.7	4 17.4
	中学校	10 100.0	10 100.0	1 10.0	1 10.0	-

問 24 校務支援システムのメリットについて（自由記入）

校務支援システムのメリットにより、名簿や書式が必要な各種書類の作成の負担軽減に繋がっている。また、情報の蓄積や共有がスムーズになったことにより、校務の時間短縮や職員会議などの削減、書類紛失・ミスの減少に繋がっていることが分かる。

以下、代表的な意見を抽出。テーマごとのカウントには重複あり

（情報の蓄積や共有をスムーズに行うことができる 5件）

- ・情報の共有やデータの蓄積を図ることができる。
- ・児童・生徒の情報等の共有がしやすい。
- ・生徒の情報の共有に役立つこと。

（職員会議の削減につながっている 4件）

- ・教職員間の連絡をすることができ、職員会議を削減することができた。
- ・会議を減らしても連絡掲示板で伝達ができる。教職員との個別連絡（自己申告データのやり取り等）ができる。
- ・週案や行事予定等の共有ができる。
- ・校務の時間短縮につながっている。

（データ管理による紛失やミスの減少 2件）

- ・勤怠管理をデータですることができ、ミスが減って修正に費やす時間を削減することができた。
- ・データ管理できるようになったことで、紛失等の心配がなくなった。

（各種の名簿や書類作成作業の軽減、効率化につながっている 7件）

- ・週案や行事予定等の共有ができる。
- ・週案簿、児童名簿、成績表の作成が比較的スムーズに行える。
- ・必要な情報が一元化されることで、類似の業務を整理し、仕事の効率性につながると思う。
- ・出欠席等のデータが各種書類等にも反映されること。
- ・指導要録の記入の時間短縮。
- ・普段からこまめに入力することで、生徒の出欠管理、諸帳簿の入力負担の軽減が期待できること。
- ・データの入力を行えば、各種書式等が作成できる。

（その他 6件）

- ・A Iドリルにより、児童の課題を中心に問題を出題することができ効率よく学習させることができる。
- ・紙類の削減、情報共有におけるペーパーレス化が進むこと。
- ・いつでも誰でも作業ができること。
- ・エクセルの関数など、難しい技術を必要としない。
- ・毎日必ず開くプラットフォームにすることで誰もが情報を共有することができる。

問 25 校務支援システムの課題や改善点について（自由記入）

校務支援システムの課題や改善点については、校務PCと指導用PC間のデータ移行に手間がかかる、学校情報配信システムと校務支援システムとが連動していない等、PC間やシステム間の連動がスムーズではないため手間がかかるという意見がみられる。また、各システムの内容に制限があるため、ローカライズやカスタマイズにも一定の制限がかかっており、柔軟な使い方ができないという意見もある。

以下、代表的な意見を抽出。テーマごとのカウントには重複あり

（PC間・システム間のデータ移行に関わる課題について 4件）

- ・校務PCで個人情報を取り扱うため、写真や成績などを保存しているが、指導用PCでホームページを作成するためにも写真が必要となる。データの移動をSDカードなどで行う必要があるため、セキュリティに注意しつつもあまり手間をかけずに作業がすすめられるとよい。
- ・学校への調査は管理職が行うだけでなく、担当に依頼するものもある。庁内で届いたデータを校務PCに移動するのもその逆も手間がかかる。技術的に可能であれば、管理職は1台のPCで校務と庁内の両方にアクセスできるようになるといい。
- ・学校情報配信システム（保護者からの欠席連絡）と連動していないので、校務支援システムに欠席者情報をいちいち入力しなければならない。
- ・保健に関する調書など、繰り返し入力しなくとも反映されるようにしてもらいたい。

（外部からのアクセスについて 2件）

- ・週末や帰宅後のちょっとした時間にアクセスできる環境があると働き方が改善され则认为る。
- ・校外に持ち出せず、在宅での業務が不可能なこと

（各学校に合わせたローカライズやシステムの使い勝手・制限について 9件）

- ・校務に特化しているとはいえ、学校ごとのローカライズが十分でないので、対応できないこと、不十分なことがある。学校に合わせた変更、不具合の改修等に時間がかかる。（契約の範囲外になってしまうと対応すらできない。）
- ・調査関係等で、昨年度の記録を振り返りたいときがあるが、それができない。（容易ではない）
- ・機能が制限されている点が残念
- ・システムのフォーマットによっては、やりにくいものがあること
- ・同じシステム内に一元化できる業務がもっとあると思うこと
- ・通知表等のレイアウト変更が自由にできない
- ・C4thの連絡において、ファイルを添付する場合に、ZIPファイル以外は、その都度添付作業をしないといけない。一度の添付できると時間短縮になる。
- ・成績処理計算を、教員がそれぞれ独自の方法（エクセルなど）で計算するのではなく、校務支援システムの中で完了するようにできれば、転記ミスなどによるエラーを防ぐことができると思われる。

（インターネット環境について 2件）

- ・反映に時間がかかる
- ・回線が細い。太くなれば、さらに効率があがる。

（その他 2件）

- ・さらに便利なツールを増やしてほしい。
- ・複雑な物もあるため、使い方が簡単な物にしてほしい。慣れるまでに時間がかかる教員もいる。

9. 学納金

問 26 学納金の徴収は誰が主に担当しているか（S A）

学納金の徴収については、小学校の 90.0%（18 校）が事務職員と回答している。前回調査と比較すると、事務職員の割合が上昇している。

中学校では、9 校すべてが事務職員と回答している。

（今回の調査結果）

問26 ①-1 学納金の徴収は誰が主に担当しているか × 問2 学校の種類

上段:度数		問26 ①-1 学納金の徴収は誰が主に担当しているか					
下段:%		合計	副校長	学級担任	学級担任以外の教員	事務職員	その他
問2 学校の種類	全体	29 100.0	- -	2 6.9	- -	27 93.1	- -
	小学校	20 100.0	- -	2 10.0	- -	18 90.0	- -
	中学校	9 100.0	- -	- -	- -	9 100.0	- -

（前回の調査結果）

問26 ① 学納金の徴収は誰が主に担当しているか × 問2 学校の種類

上段:度数		問26 ①-1 学納金の徴収は誰が主に担当しているか					
下段:%		合計	副校長	学級担任	学級担任以外の教員	事務職員	その他
問2 学校の種類	全体	33 100.0	- -	3 9.1	- -	30 90.9	- -
	小学校	23 100.0	- -	3 13.0	- -	20 87.0	- -
	中学校	10 100.0	- -	- -	- -	10 100.0	- -

部活動に係る費用（中学校のみ）については、55.5%（5 校）が「顧問の教員」、33.3%（3 校）が「PTA」と回答している。

問26 ②-1 部活動に係る費用は誰が主に担当しているか × 問2 学校の種類

上段:度数		問26 ②-1 部活動に係る費用は誰が主に担当しているか						
下段:%		合計	副校長	顧問の教員	顧問以外の教員	事務職員	P T A	その他
問2 学校の種類	全体	9 100.0	- -	5 55.6	- -	- -	3 33.3	1 11.1
	中学校	9 100.0	- -	5 55.6	- -	- -	3 33.3	1 11.1

問 27 未納金の督促は誰が主に担当しているか（SA）

学納金の督促について、小学校では「事務職員」が65.0%で（13校）あり、前回調査69.6%（16校）から低下している。一方で今回は「副校長」が15.0%（3校）みられる。

中学校でも「事務職員」が88.9%（8校）の他、今回新たに「副校長」が11.1%（1校）みられる。

（今回の調査結果）

問27 ①-1 未納金（学納金）の督促は誰が主に担当しているか × 問2 学校の種類

上段:度数		問27 ①-1 未納金（学納金）の督促は誰が主に担当しているか					
下段:%		合計	副校長	学級担任	学級担任以外の教員	事務職員	その他
問2 学校の種類	全体	29 100.0	4 13.8	4 13.8	- -	21 72.4	- -
	小学校	20 100.0	3 15.0	4 20.0	- -	13 65.0	- -
	中学校	9 100.0	1 11.1	- -	- -	8 88.9	- -

（前回の調査結果）

問27 ①-1 未納金（学納金）の督促は誰が主に担当しているか × 問2 学校の種類

上段:度数		問27 ①-1 未納金（学納金）の督促は誰が主に担当しているか					
下段:%		合計	副校長	学級担任	学級担任以外の教員	事務職員	その他
問2 学校の種類	全体	33 100.0	- -	7 21.2	2 6.1	24 72.7	- -
	小学校	23 100.0	- -	7 30.4	- -	16 69.6	- -
	中学校	10 100.0	- -	- -	2 20.0	8 80.0	- -

部活動に係る費用の督促については、「顧問の教員」が75.0%（6校）となっている。ちなみに前回調査には「顧問の教員」という選択肢がなく、「学級担任」が70.0%（7校）であった。

（今回の調査結果）

問27 ②-2 未納金（部活に係る費用）の督促は誰が担当しているか × 問2 学校の種類

上段:度数		問27 ②-2 未納金（部活に係る費用）の督促は誰が担当しているか					
下段:%		合計	副校長	顧問の教員	顧問以外の教員	事務職員	その他
問2 学校の種類	全体	8 100.0	- -	6 75.0	- -	1 12.5	1 12.5
	小学校	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	中学校	8 100.0	- -	6 75.0	- -	1 12.5	1 12.5

（前回の調査結果）

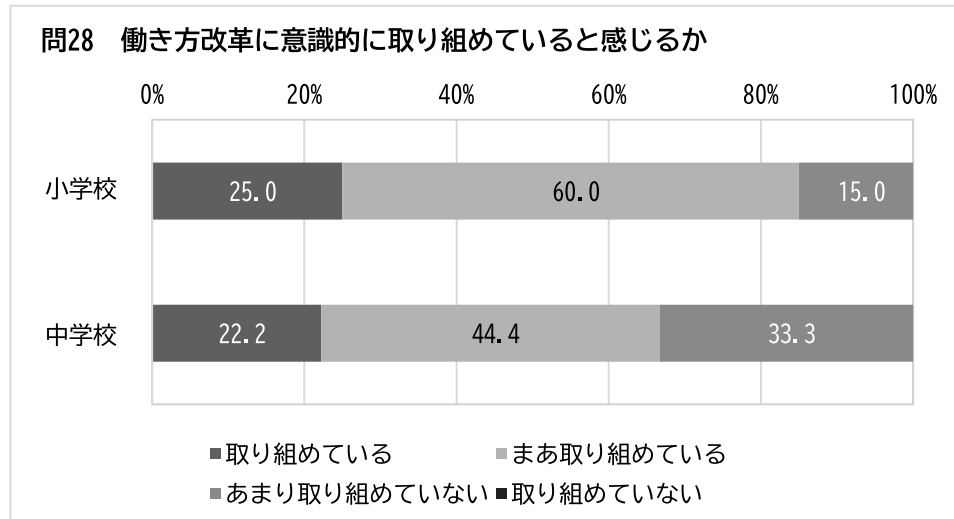
①-1 未納金（学納金）の督促は誰が主に担当しているか × 問2 学校の種類

上段:度数		問27 ①-1 未納金（学納金）の督促は誰が主に担当しているか						
下段:%		合計	副校長	学級担任	学級担任以外の教員	事務職員	その他	無回答
問2 学校の種類	全体	10 100.0	- -	7 70.0	- -	- -	2 20.0	1 10.0
	小学校	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	中学校	10 100.0	- -	7 70.0	- -	- -	2 20.0	1 10.0

10. 働き方改革への取り組み

問 28 あなたの学校は、働き方改革に意識的に取り組んでいると感じるか（S A）

働き方改革に意識的に取り組んでいると感じるかについて、小学校では 85.0%（17 校）が「取り組んでいる・まあ取り組んでいる」と回答し、中学校では 66.6%（6 校）が「取り組んでいる・まあ取り組んでいる」と回答している。



問28 働き方改革に意識的に取り組んでいると感じるか × 問 2 学校の種類

上段:度数		問28 働き方改革に意識的に取り組んでいると感じるか				
下段:%		合計	取り組んでいる	まあ取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
問 2 学校の種類	全体	29	7	16	6	-
		100.0	24.1	55.2	20.7	-
	小学校	20	5	12	3	-
		100.0	25.0	60.0	15.0	-
	中学校	9	2	4	3	-
		100.0	22.2	44.4	33.3	-

問 29 働き方改革に意識的に取り組んでいる、あるいは取り組めていない理由（自由記入）

働き方改革について、意識的に取り組んでいる理由については 15 件、取り組めていない理由については 7 件の回答がみられる。

取り組んでいる理由については、有給休暇取得の増加や長時間勤務の教員減少、会議数の削減、休日出勤の減少、在校時間の減少などのエビデンスを背景とした回答がある他、「職員の要望を聞き、少しずつ改善策を検討・実施している」、「校務分担の整理など働く環境の改善に取り組んでいる」などが主な理由となっている。

取り組めていない理由としては、「時短ばかりが求められ、本来求められるべき仕事の効率のよさとはかけ離れている」「学校としてできることはやっているつもりだが、物理的に削減できないことが多い」「意識はもっているが、それ以上に業務量が上回っている」「事務処理や研究授業など、意欲的に取り組むとその分、仕事量は増えて、勤務時間も長くなっている」などとなっている。

以下、代表的な意見を抽出。テーマごとのカウントには重複あり

（働き方改革に意識的に取り組んでいる理由について 15 件）

- ・ 個人作業の時間の確保や、平日の有給休暇取得、会議の精選等に取り組み、長時間勤務の教員が昨年度よりも減っているから。
- ・ 主幹教諭を中心に職員の要望を聞き、経営会議の中で少しずつ具体的な改善策を検討し、実施しているから。
- ・ 全体としての在校時間が基準内に収まっている。
- ・ 休職者等がない。
- ・ 面談等での回答が概ね良好である。
- ・ 異動対象者が残留を望んでいる。
- ・ 十分とは言えないが、教員側の思いや要望を、連絡調整会議などを利用し、聞き入れる場を設けている。そこで出た内容を検討し、業務の削減につなげている。例）通知表の押印廃止、弁当無し運動会を午前 5 コマで実施し振替休業日ありなど
- ・ 外部人材を適切に活用しながら、授業や児童に関わる時間を増やしつつ、勤務時間についても自覚をしながら仕事をすすめられていると思うから。
- ・ 教員の休日出勤が減った。退勤時刻が早くなった。
- ・ 職員の時差勤務への対応ができています
- ・ 教員自身へのタスク管理、時間管理という面で意識が高まっている。
- ・ 適切な休暇取得が推進されている。
- ・ 時差勤務や男性の育児参加休暇の取得がある。
- ・ 校務等の分担を整理させることで、組織として職務にあたる意識を高めさせている。
- ・ 時間が有限であることを意識できるように、具体的な数値として示すことができています。

（働き方改革に意識的に取り組めていない理由について 7 件）

- ・ 学校としてできることはやっているつもりだが、物理的に削減できないことが多い。また、やっていることに意義を感じない業務や雑務を学校の判断だけで削減できないことや、重複する調査を学校判断ではやめられない。
- ・ 時短ばかりが求められ、本来求められるべき仕事の「効率のよさ」とはかけ離れている気がするから。仕事の充実を実感できることとセットで進めていかなければならないのだが、仕事そのものの価値が多様化しすぎて、児童や保護者が実感できるサービスの方が低下してしまっていると感じるから。
- ・ 退勤時間を過ぎても毎日遅くまで残っている教員が多く、業務のスリム化が進んでいないと思われるから。
- ・ 意識はもっているが、それ以上に業務量が上回っているのので、さらなる業務の精選が必要であると考えている。

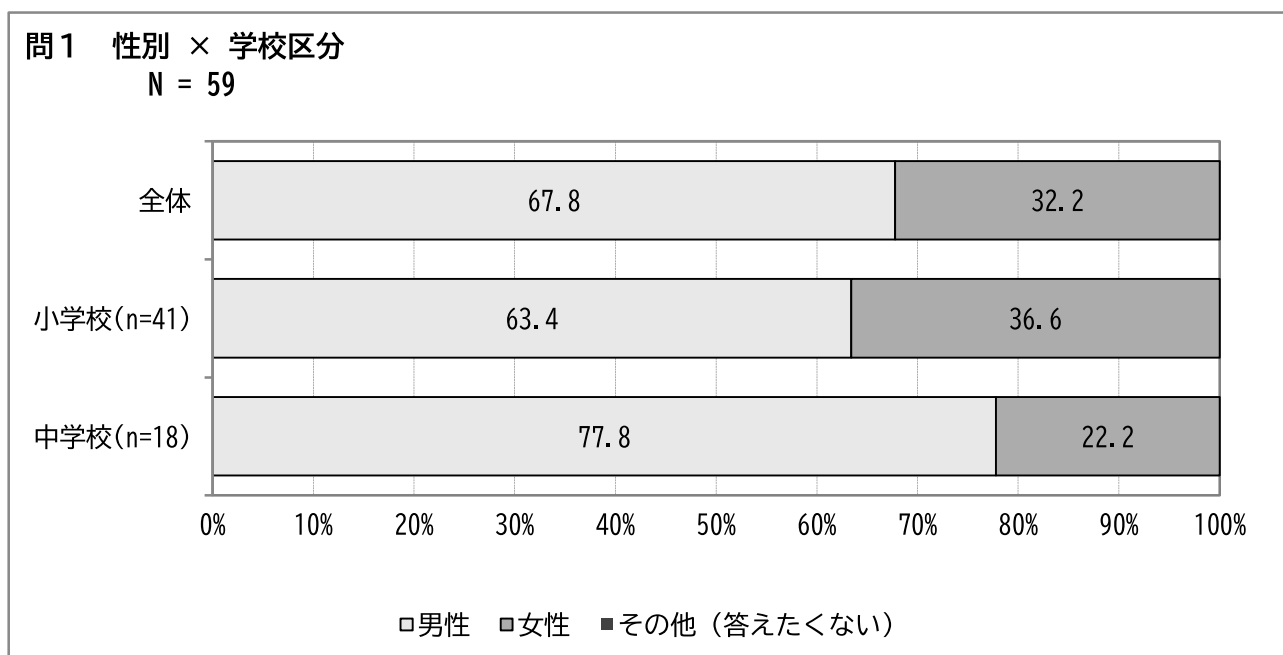
- ・ 取り組もうとしているが、実際のところ、取り組めているとはいいいがたい。事務処理や研究授業など、意欲的に取り組むとその分、仕事量は増えて、勤務時間も長くなっている。
- ・ 諸会議の資料が紙ベースで行われている
- ・ 授業での ICT 活用が遅れている（取り組みに後ろ向き）教員が多い

Ⅲ 管理職調査

1 基本属性

問1 性別（SA）

小学校全体の男女比は約6：4、中学校は約8：2となっている。前回調査の割合と比べて小学校はあまり変化がないものの、中学校では約10ポイント女性が高率となっている（前回は約9：1）。



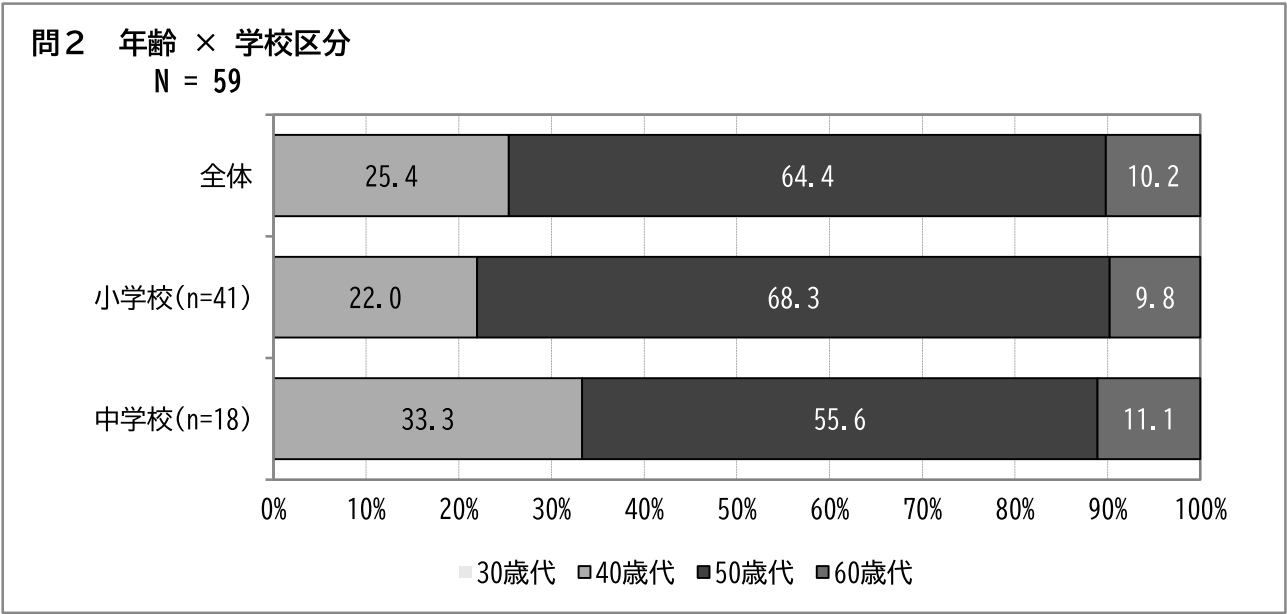
問1 性別 × 学校区分

上段:度数		問1 性別			
下段:%		合計	男性	女性	その他（答えたくない）
学校区分	全体	59 100.0	40 67.8	19 32.2	-
	小学校	41 100.0	26 63.4	15 36.6	-
	中学校	18 100.0	14 77.8	4 22.2	-

問2 年齢（SA）※令和7年3月31日現在の年齢

管理職の年齢は、小学校は 68.3%が 50 歳代、22.0%が 40 歳代である。中学校では、55.6%が 50 歳代、33.3%が 40 歳代である。

前回調査と比較すると、小学校（8.7%→22.0%）、中学校（5.0%→33.3%）ともに 40 歳代の割合が高くなり、50・60 歳代の割合が低下している。



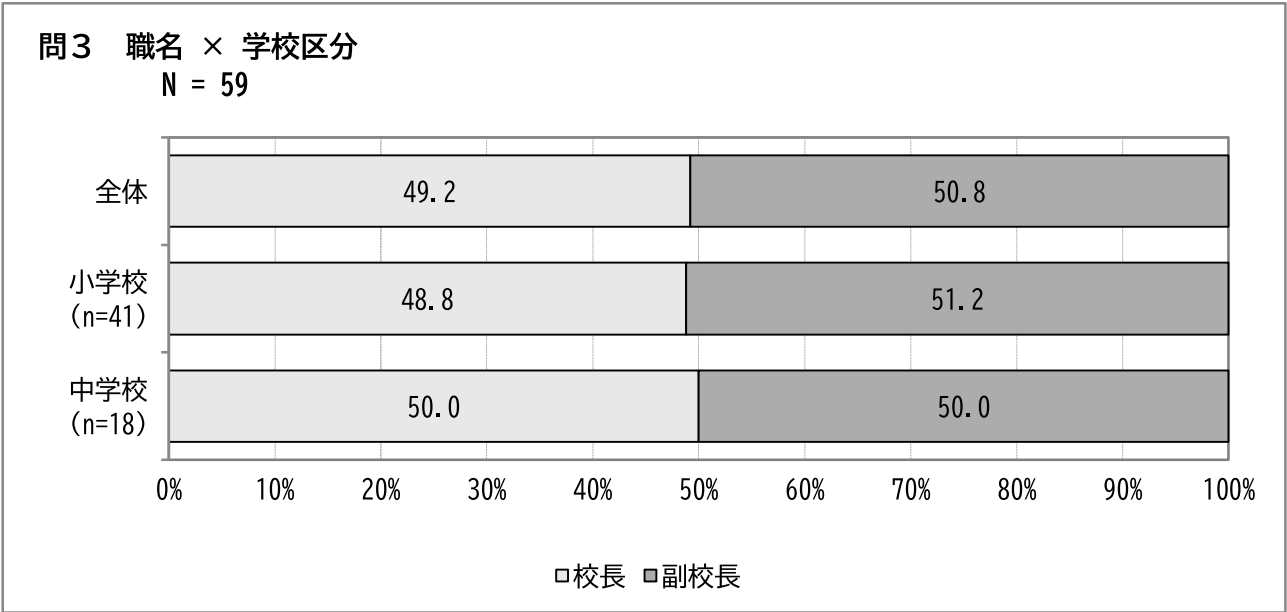
問2 年齢 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問2 年齢				
		合計	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
学校区分	全体	59 100.0	-	15 25.4	38 64.4	6 10.2
	小学校	41 100.0	-	9 22.0	28 68.3	4 9.8
	中学校	18 100.0	-	6 33.3	10 55.6	2 11.1

問3 職名（SA）

本調査では、中野区立学校（小学校・中学校）の全校から回答があったため、職名の回答比率は全体で校長が49.2%、副校長が50.8%となっている。

小学校においては副校長が2人いる学校があるため、割合が1：1とならない。

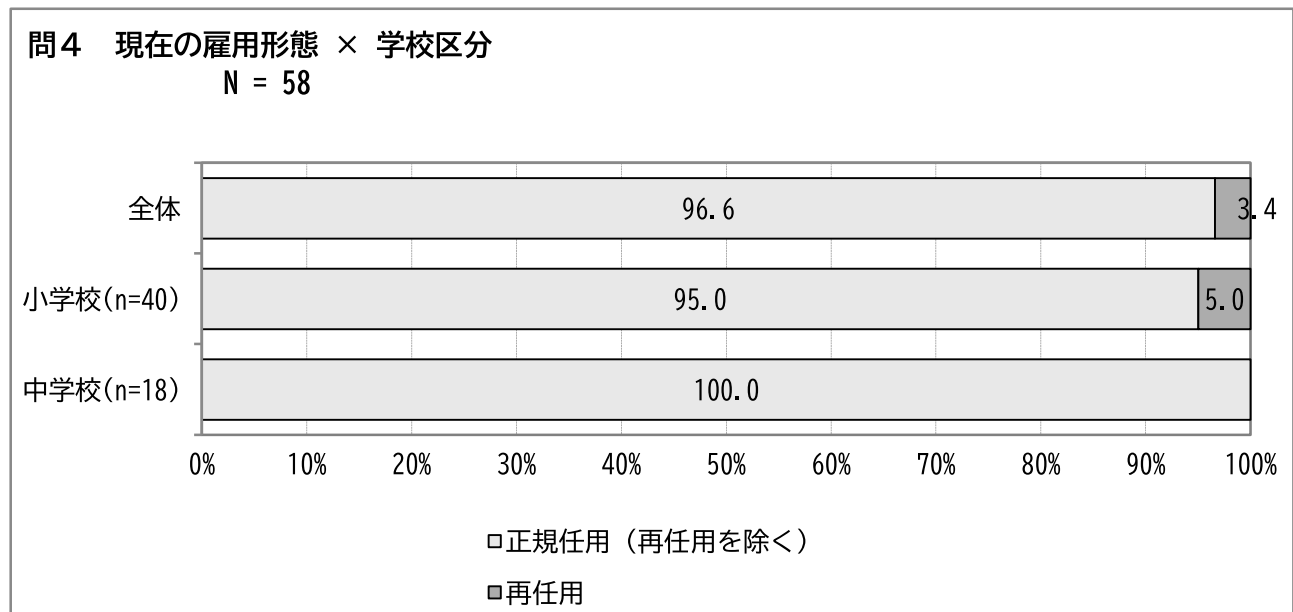


問3 職名 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問3 職名		
		合計	校長	副校長
学校区分	全体	59 100.0	29 49.2	30 50.8
	小学校	41 100.0	20 48.8	21 51.2
	中学校	18 100.0	9 50.0	9 50.0

問4 現在の雇用形態（SA）

現在の雇用形態は、小学校は正規任用が95.0%、中学校は100%となっている。



問4 現在の雇用形態 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問4 現在の雇用形態		
		合計	正規任用	再任用
学校区分	全体	58 100.0	56 96.6	2 3.4
	小学校	40 100.0	38 95.0	2 5.0
	中学校	18 100.0	18 100.0	- -

問5 経験年数（数値） ※令和7年3月31日現在の年齢

現在の雇用形態についての「通算年数」は、小学校の校長は平均 32 年 7 か月、副校長は平均 25 年 2 か月となっている。中学校の校長の平均は 32 年 9 か月、副校長は平均 24 年 5 か月となっている。

前回調査と比較すると、全体的に 40 歳代が増加した影響があり、経験年数が短くなっている。

○教員としての通算年数

（今回の調査結果）

小学校（平均）

校長	32 年 7 か月
副校長	25 年 2 か月

中学校（平均）

校長	32 年 9 か月
副校長	24 年 5 か月

（前回の調査結果）

小学校（平均）

校長	34 年 2 か月
副校長	28 年 6 か月

中学校（平均）

校長	35 年 6 か月
副校長	32 年 6 か月

○うち、正規任用年数（再任用を除く）

「うち、正規任用年数（再任用を除く）」について、小学校の校長は平均 31 年 2 か月、副校長は平均 25 年 1 か月となっている。中学校の校長は平均 32 年 4 か月、副校長は平均 23 年 5 か月となっている。

正規任用年数についても、通算年数と同様に前回調査よりも短くなっている。

（今回の調査結果）

小学校（平均）

校長	31 年 2 か月
副校長	25 年 1 か月

中学校（平均）

校長	32 年 4 か月
副校長	23 年 5 か月

（前回の調査結果）

小学校（平均）

校長	33 年 4 か月
副校長	27 年 2 か月

中学校（平均）

校長	33 年 8 か月
副校長	32 年 3 か月

○うち、再任用年数

「うち、再任用年数」について、小学校の校長は2人で平均2年6か月、副校長は該当者なし。中学校は、校長・副校長とも該当者なし。

(今回の調査結果)

小学校 (平均)

校長	2年6か月
副校長	-

中学校 (平均)

校長	-
副校長	-

(前回の調査結果)

小学校 (平均)

校長	3年2か月
副校長	-

中学校 (平均)

校長	2年0か月
副校長	-

○うち、臨時的任用年数

「うち、臨時的任用年数」について、小学校の校長は2人で平均2年6か月、副校長は該当なしとなっている。中学校の校長は1人で3年0か月、副校長は該当なしとなっている。

(今回の調査結果)

小学校 (平均)

校長	2年6か月
副校長	-

中学校 (平均)

校長	3年0か月
副校長	-

(前回の調査結果)

小学校 (平均)

校長	-
副校長	13年0か月

中学校 (平均)

校長	-
副校長	-

○うち、非常勤講師年数

「うち、非常勤講師年数」について、小学校の校長は2人で平均2年7か月、副校長は2人で平均7か月となっている。中学校の校長は2人で平均4か月、副校長は4人で平均2年3か月となっている。

(今回の調査結果)

小学校 (平均)

校長	2年7か月
副校長	7か月

中学校 (平均)

校長	4か月
副校長	2年3か月

(前回の調査結果)

小学校 (平均)

校長	1年7か月
副校長	-

中学校 (平均)

校長	-
副校長	-

○うち、指導主事等の行政経験年数

「うち、指導主事等の行政経験年数」について、小学校の校長は5人で平均7年0か月、副校長は2人で4年0か月となっている。中学校の校長は4人で平均7年8か月、副校長は1人で2年0か月となっている。

（今回の調査結果）

小学校（平均）

校長	7年0か月
副校長	4年0か月

中学校（平均）

校長	7年8か月
副校長	2年0か月

（前回の調査結果）

小学校（平均）

校長	5年6か月
副校長	2年0か月

中学校（平均）

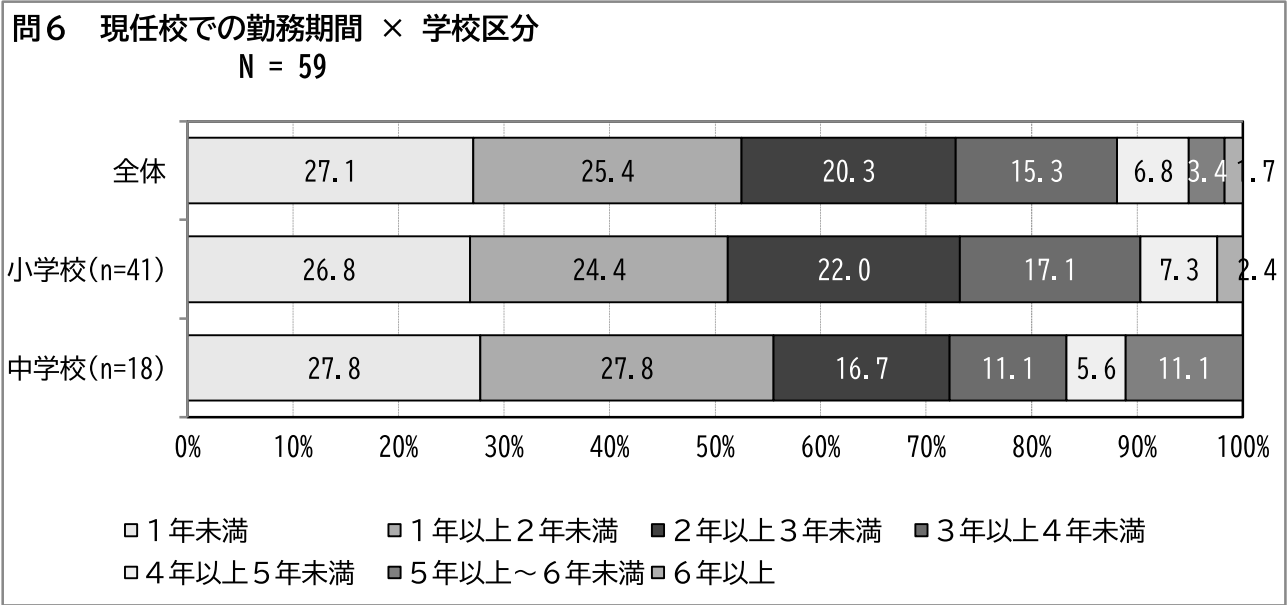
校長	2年5か月
副校長	1年0か月

問6 現任校での勤務期間（SA）

現任校での勤務期間について、小学校では「1年未満」が26.8%、「1年以上2年未満」が24.4%、「2年以上3年未満」が22.0%となっている。

中学校では、「1年未満」と「1年以上2年未満」が27.8%、「2年以上3年未満」が16.7%となっている。

前回調査と比較すると、特に小学校（44.0%→51.2%）において、2年未満の割合が高くなっている。



問6 現任校での勤務期間 × 学校区分

上段:度数		問6 現任校での勤務期間							
下段:%		合計	1年未満	1年以上～ 2年未満	2年以上～ 3年未満	3年以上～ 4年未満	4年以上～ 5年未満	5年以上～ 6年未満	6年以上
学校区分	全体	59 100.0	16 27.1	15 25.4	12 20.3	9 15.3	4 6.8	2 3.4	1 1.7
	小学校	41 100.0	11 26.8	10 24.4	9 22.0	7 17.1	3 7.3	-	1 2.4
	中学校	18 100.0	5 27.8	5 27.8	3 16.7	2 11.1	1 5.6	2 11.1	-

2 ワーク・ライフバランスについて

問7 昨年度に取得した年次有給休暇の日数、及び取得した有給休暇のうち、長期休業中に取得した日数について（数値）

昨年度に取得した年次有給休暇の日数について、小学校では平均 11.9 日、うち長期休業中に取得した日数は 6.5 日となっている。中学校では年次有給休暇の日数は平均 9.3 日、うち長期休業中に取得した日数は 3.9 日となっている。

前回調査と比較すると、小学校・中学校ともに取得日数が増加している。

（今回の調査結果）

小学校（平均）

	昨年度取得した年次有給休暇の日数(日)	うち、長期休業中も取得した日数(日)
校長(20人)	13.7	6
副校長(21人)	10.2	7
合計(41人)	11.9	6.5

中学校（平均）

	昨年取得した年次有給休暇(日)	うち、長期休業中に取得した日数(日)
校長(9人)	10.0	4.2
副校長(9人)	8.5	3.7
合計(18人)	9.3	3.9

（前回の調査結果）

小学校（平均）

	昨年取得した年次有給休暇の日数(日)	うち、長期休業中も取得した日数(日)
校長(23人)	11.3	7.2
副校長(23人)	5.9	3.6
合計(46人)	8.5	5.5

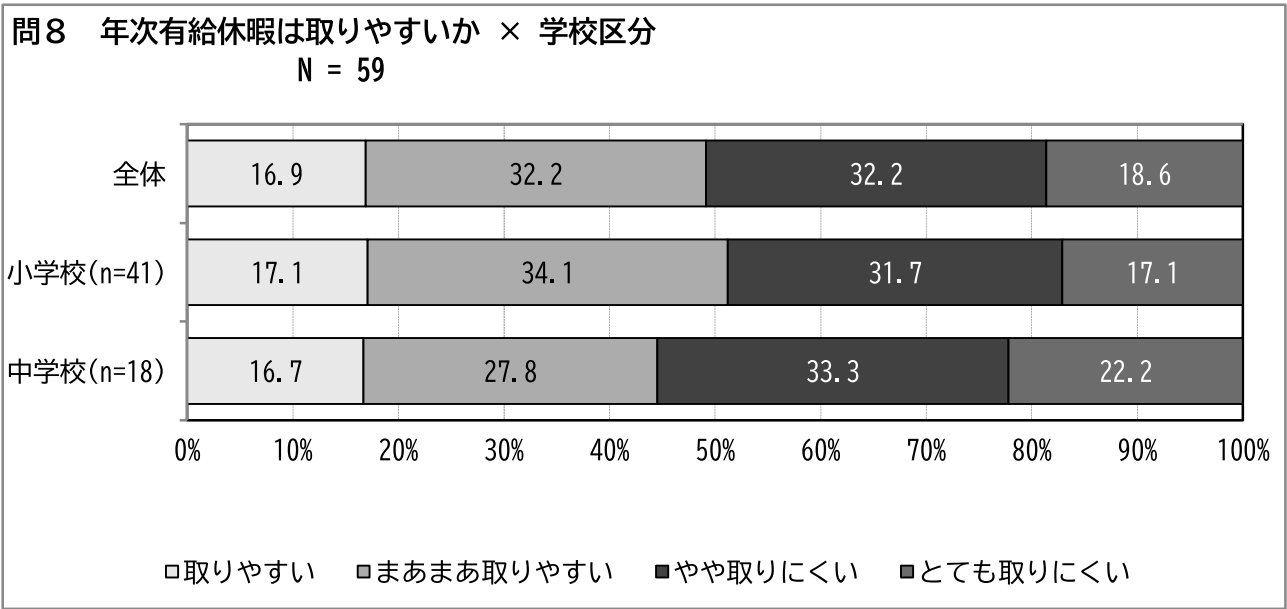
中学校（平均）

	昨年取得した年次有給休暇(日)	うち、長期休業中に取得した日数(日)
校長(10人)	8.6	4.4
副校長(10人)	2.7	1.0
合計(20人)	6.2	3.0

問8 年次有給休暇は取りやすいですか（SA）

年次有給休暇の取りやすさについて、小学校では51.2%が「取りやすい・まあまあ取りやすい」と回答しており、「やや取りにくい・とても取りにくい」（48.8%）よりも若干高率となっている。

一方、中学校では、44.5%が「取りやすい・まあまあ取りやすい」と回答しており、「やや取りにくい・とても取りにくい」（55.5%）よりも低率となっている。



問8 年次有給休暇は取りやすいか × 学校区分

上段:度数		問8 年次有給休暇は取りやすいか				
下段:%		合計	取りやすい	まあまあ取りやすい	やや取りにくい	とても取りにくい
学校区分	全体	59	10	19	19	11
		100.0	16.9	32.2	32.2	18.6
	小学校	41	7	14	13	7
		100.0	17.1	34.1	31.7	17.1
	中学校	18	3	5	6	4
		100.0	16.7	27.8	33.3	22.2

問9 年次有給休暇が取りにくい理由（自由記入）

○問8で「やや取りにくい」「とても取りにくい」と回答した方（回答者：22名）

主なご意見 ※項目ごとのカウントには重複あり

（業務量が多いため：15件）

- ・業務量が多い。
- ・春は、年度末、年度初めの仕事や会議が多く、休暇を取ることは難しい。
- ・立場上、業務量過多のため、年次有給休暇を取った分、残業しなければ追いつかないから。
- ・休んだ分の仕事が積もってしまう。
- ・休むとメールと起案の量が多くなり処理に時間がかかる。
- ・まだまだ覚えなければならない作業手順が多いことや、日々の業務量が膨大で、作業完了までに時間がかかるため。
- ・業務量が多いこと、出張等の予定が多く、振休を優先し、有給が取れる日がないため。

（緊急対応に備えるため：4件）

- ・緊急対応があるときに備え、授業日は休暇を取る気持ちにならない。
- ・長期休業中は、校長か副校長のどちらかが勤務し、緊急対応できるようにしている。
- ・学校での事故対応を考えると、管理職は学校にいたることが望ましい長期休業中以外は、何か理由がない限り年次有給休暇は取りにくい。

（外部との連絡調整や授業、行事があるため：5件）

- ・職務上、外部との連絡調整や日々の事務処理が滞ってしまうことを考えると、よほどの理由がない限り長期休業以外での取得はしにくい。
- ・外部と関わる業務が多く、また教職員の業務状況を把握したり、不定期に報告を受けたりすることも多く、長期休業中以外は自己の都合で休むことは難しい。
- ・外部との折衝が必要となるため。
- ・地域に関わることが土日祝にあるため、振休を先にとると年次有給休暇が残ってしまう。

（代わりがいがないため：9件）

- ・実際に児童が登校してくる日は、授業や行事等があり、補教要員や替わりがいがないので、簡単にはとりにくい。
- ・責任が大きい職であるため。代わりがいがない。
- ・管理職だから。（どちらかが出勤するため）
- ・不在だと決裁等の業務が滞ってしまうから。
- ・教職員が出勤している間の出退勤の管理をしなくてはならないため。1日休むと、仕事がぐっと増える。

（立場上、言い出しにくいため：9件）

- ・立場上、職責上の思いから。業務量過多のため、年次有給休暇を取った分、残業しなければ追いつかないから。
- ・管理職として長期休業日にはできるだけ校長・副校長のどちらかがいることが望まれるため。
- ・言い出しにくい。
- ・ほかの人の方が大変そうだと遠慮してしまう。
- ・ほかの人に迷惑をかけてしまうという気持ちになってしまう。
- ・副校長という立場上、気を遣ってしまう。
- ・学校の最終責任者として、様々な判断および指示を迫られるため。出張に加え、自分自身が対応しなければならない案件が多く、何も特別な予定がない日が少ない。

（その他）

- ・昨年度は、複数の退職者が出て、副校長で担任業務を行っていたので、休暇は取りにくかった。
- ・児童、保護者の対応で、教員が毎日ぎりぎりの状態であるので、相談が非常に多い。

問 10 昨年度の週休日の出勤や変更について（数値）

週休日の変更を行って出勤した日数について、小学校では平均 5.7 日、週休日の変更をせず自主的に出勤した日数は平均 11.3 日、週休日の変更をせず、地域や PTA の行事または部活動等に参加した日数は平均 5.6 日となっている。

中学校では、週休日の変更を行って出勤した日数は平均 7.9 日、週休日の変更をせず自主的に出勤した日数は平均 14.9 日、週休日の変更をせず、地域や PTA の行事または部活動等に参加した日数は平均 10.9 日となっている。

前回調査と比較すると、いずれの取得日も少なくなっており、特に小学校の、週休日の変更をせず自主的に出勤した日数は 17.5 日から 11.3 日へ 6.2 日減少している。

（今回の調査結果）

小学校（平均）

	週休日の変更を行って出勤した日数(日)	週休日の変更をせず自主的に出勤した日数(日)	週休日の変更をせず、地域や PTA の行事または部活動等に参加した日数(日)
校長 (20 人)	6.0	9.7	6.2
副校長 (21 人)	5.3	13	5
合計 (41 人)	5.7	11.3	5.6

中学校（平均）

	週休日の変更を行って出勤した日数(日)	週休日の変更をせず自主的に出勤した日数(日)	週休日の変更をせず、地域や PTA の行事または部活動等に参加した日数(日)
校長 (9 人)	8.3	16.6	11.2
副校長 (9 人)	7.4	13.2	10.6
合計 (18 人)	7.9	14.9	10.9

（前回の調査結果）

小学校（平均）

	週休日の変更を行って出勤した日数(日)	週休日の変更をせず自主的に出勤した日数(日)	週休日の変更をせず、地域や PTA の行事または部活動等に参加した日数(日)
校長 (23 人)	7.9	9.0	13.9
副校長 (23 人)	7.5	26.0	10.6
合計 (46 人)	7.7	17.5	12.2

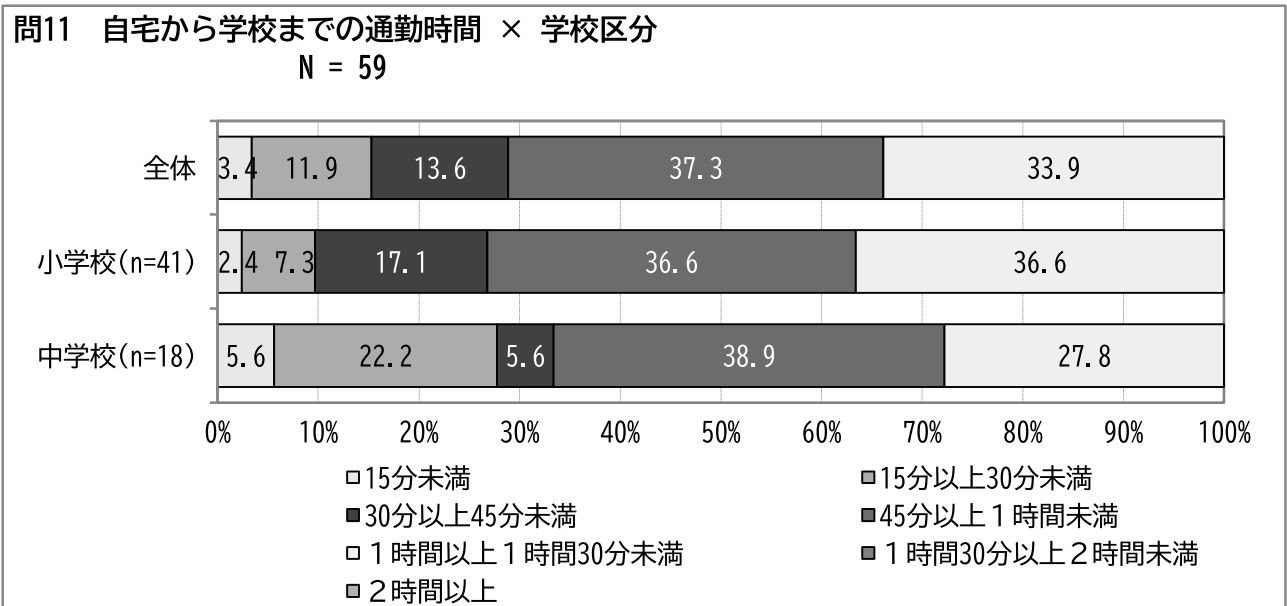
中学校（平均）

	週休日の変更を行って出勤した日数(日)	週休日の変更をせず自主的に出勤した日数(日)	週休日の変更をせず、地域や PTA の行事または部活動等に参加した日数(日)
校長 (10 人)	8.9	9.2	11.2
副校長 (10 人)	7.0	19.8	9.1
合計 (20 人)	8.1	13.9	10.3

問11 自宅から学校までの通勤時間について（SA）

自宅から学校までの通勤時間について、小学校では「45分以上1時間未満」と「1時間以上1時間30分未満」が36.6%と最も高率で、次いで「30分以上45分未満」が17.1%となっている。

中学校では、「45分以上1時間未満」が38.9%と最も高率で、次いで「1時間以上1時間30分未満」が27.8%、「15分以上30分未満」が22.2%となっている。



問11 自宅から学校までの通勤時間 × 学校区分

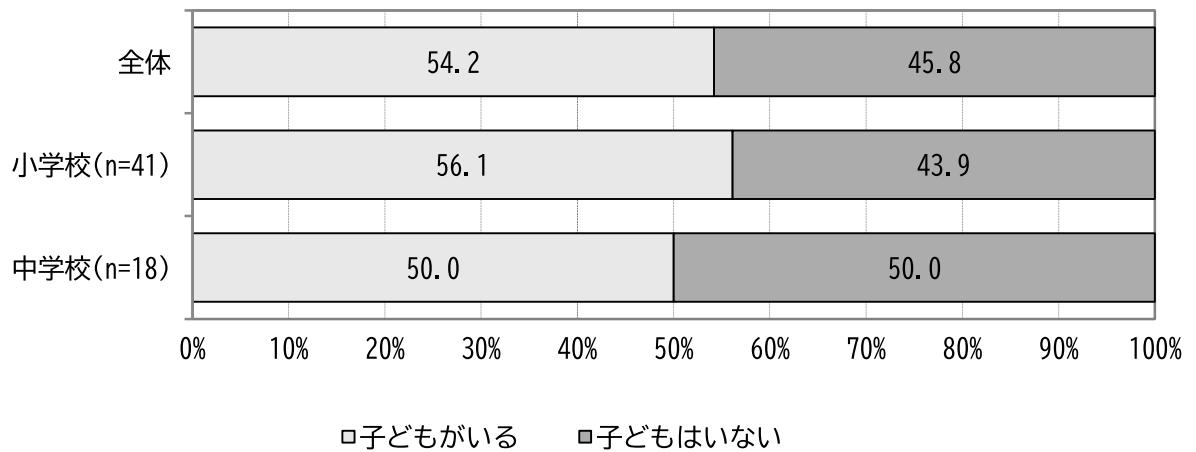
上段:度数		問11 自宅から学校までの通勤時間							
下段:%		合計	15分未満	15分以上～ 30分未満	30分以上～ 45分未満	45分以上～ 1時間未満	1時間以上 ～1時間30 分未満	1時間30分 以上～2時 間未満	2時間以上
学校区分	全体	59	2	7	8	22	20	-	-
		100.0	3.4	11.9	13.6	37.3	33.9	-	-
	小学校	41	1	3	7	15	15	-	-
		100.0	2.4	7.3	17.1	36.6	36.6	-	-
	中学校	18	1	4	1	7	5	-	-
		100.0	5.6	22.2	5.6	38.9	27.8	-	-

問12 ① 同居するお子さんの有無について（SA）

同居する子どもの有無について、小学校では56.1%、中学校では、50.0%が「いる」と回答している。
 前回調査では、「子どもがいる」割合が全体で75.8%だったが、21.6ポイント低下している。

問12 ①同居するお子さんの有無 × 学校区分

N = 59



問12 ①同居するお子さんの有無 × 学校区分

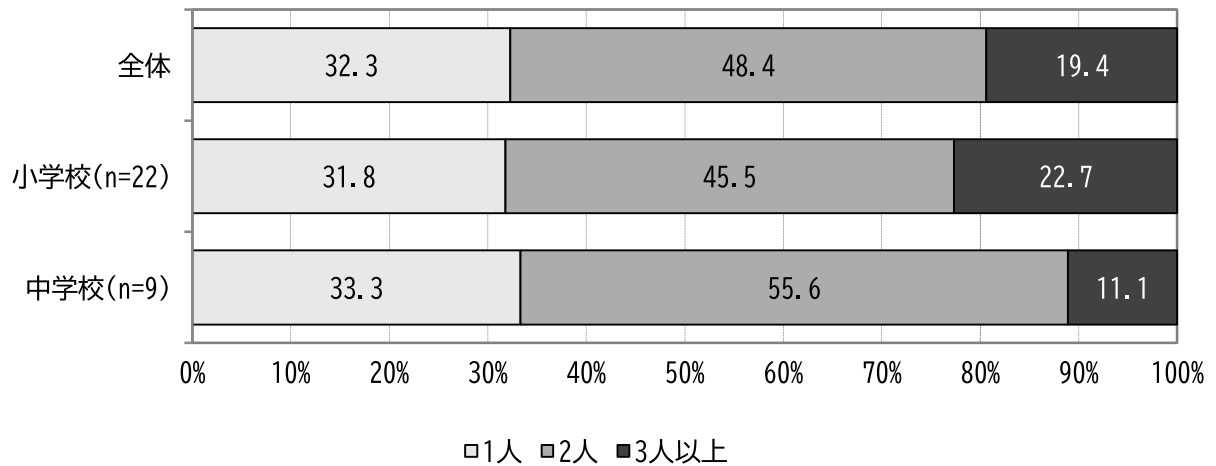
上段:度数		問12 ①同居するお子さんの有無		
下段:%		合計	子どもがい る	子どもはい ない
学校区分	全体	59 100.0	32 54.2	27 45.8
	小学校	41 100.0	23 56.1	18 43.9
	中学校	18 100.0	9 50.0	9 50.0

問12 ② 同居するお子さんの人数（SA）

同居する子ども人数は、小学校では2人が45.5%、1人が31.8%、3人以上が22.7%となっている。
中学校では、2人が55.6%、1人が33.3%、3人以上が11.1%となっている。

問12 ②-1 有の場合のお子さんの人数 × 学校区分

N = 31



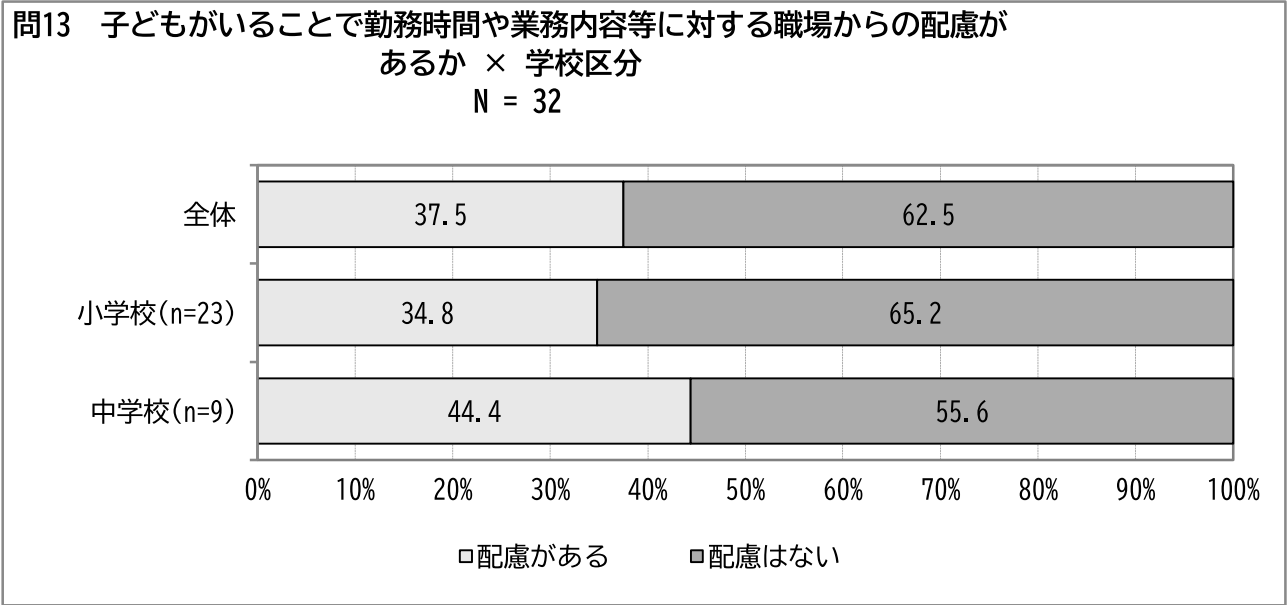
問12 ②-1 有の場合のお子さんの人数 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問12 ②-1 有の場合のお子さんの人数			
		合計	1人	2人	3人以上
学校区分	全体	31 100.0	10 32.3	15 48.4	6 19.4
	小学校	22 100.0	7 31.8	10 45.5	5 22.7
	中学校	9 100.0	3 33.3	5 55.6	1 11.1

問13 子どもがいることで勤務時間や業務内容などに対する職場からの配慮の有無について（S A）

子どもがいることによる勤務時間や業務内容に対する職場からの配慮について、小・中学校全体で37.5%が「配慮がある」と回答している。

前回調査と比較すると、「配慮がある」が8.0%から37.5%へ大幅に上昇している。



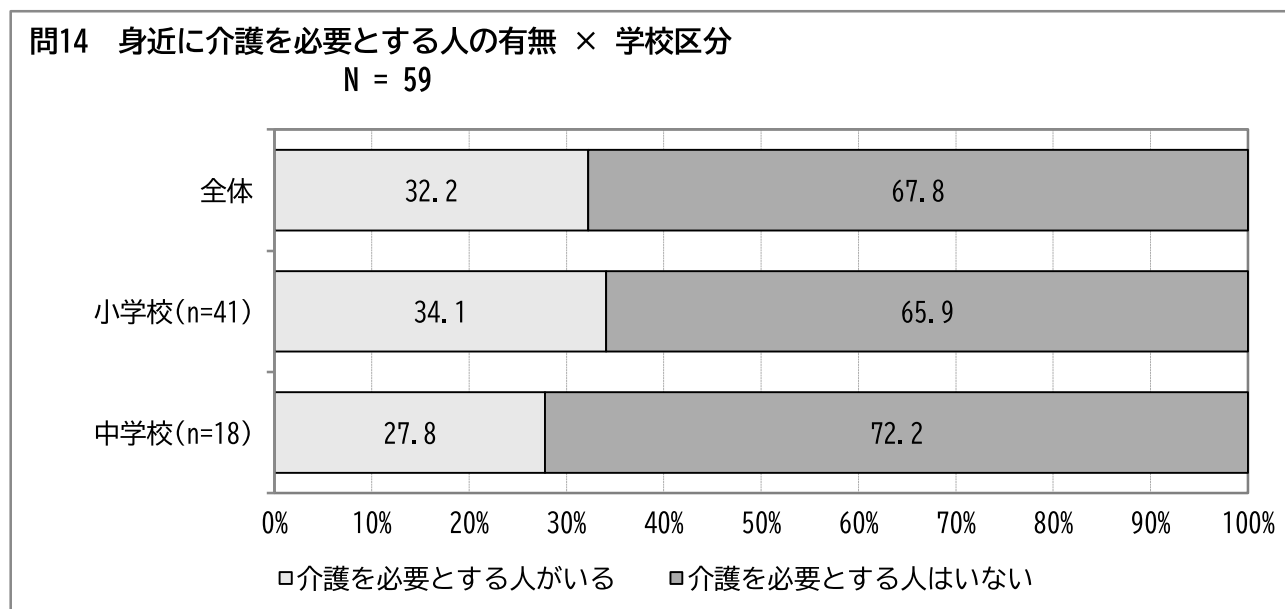
問13 子どもがいることで勤務時間や業務内容等に対する職場からの配慮があるか × 学校区分

上段:度数		問13 子どもがいることで勤務時間や業務内容等に対する職場からの配慮があるか		
下段:%		合計	配慮がある	配慮はない
学校区分	全体	32	12	20
		100.0	37.5	62.5
	小学校	23	8	15
		100.0	34.8	65.2
	中学校	9	4	5
		100.0	44.4	55.6

問14 身近に介護を必要とする人の有無について（SA）

身近に介護を必要とする人の有無について、小学校では34.1%、中学校では27.8%が「いる」と回答している。

前回調査と比較すると、小・中学校とも「いる」割合が低下しており、全体では14.8ポイント低下している。



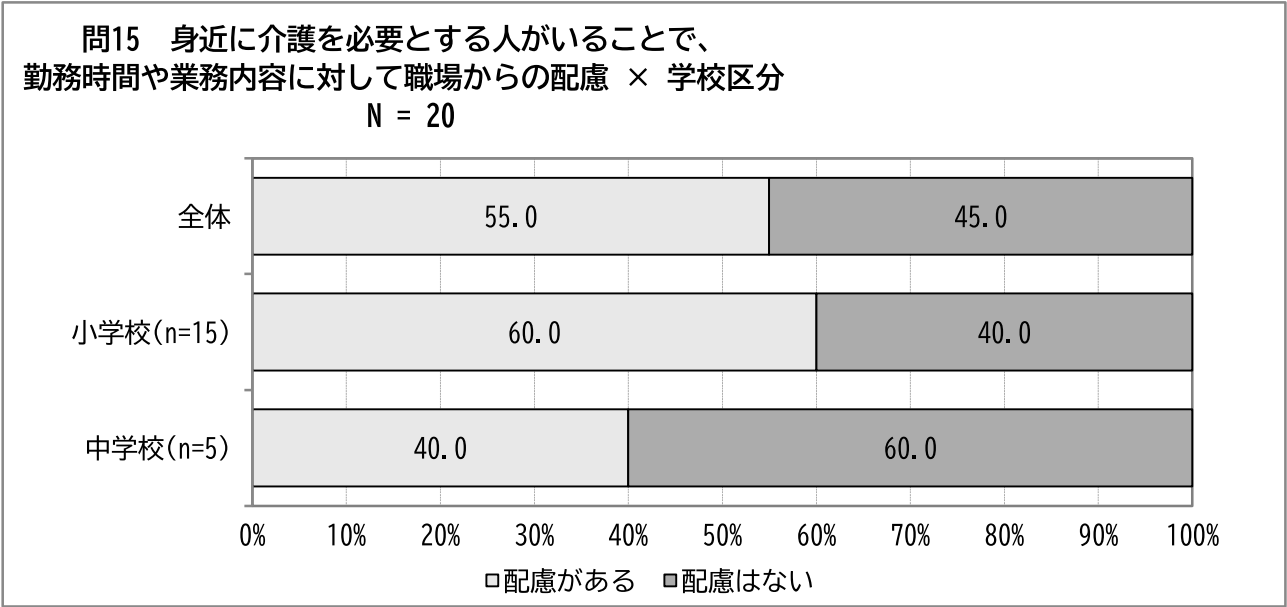
問14 身近に介護を必要とする人の有無 × 学校区分

上段:度数		問14 身近に介護を必要とする人の有無		
下段:%		合計	介護を必要とする人がいる	介護を必要とする人はいない
学校区分	全体	59 100.0	19 32.2	40 67.8
	小学校	41 100.0	14 34.1	27 65.9
	中学校	18 100.0	5 27.8	13 72.2

問 15 身近に介護を必要とする人がいることで勤務時間や業務内容に対して職場からの配慮の有無について（SA）

身近に介護を必要とする人がいることによる勤務時間や業務内容に対する配慮について、小学校では60.0%、中学校では40.0%が「配慮がある」と回答している。

前回調査と比較すると、小・中学校とも「配慮がある」割合が上昇しており、全体では29.2ポイント上昇している。



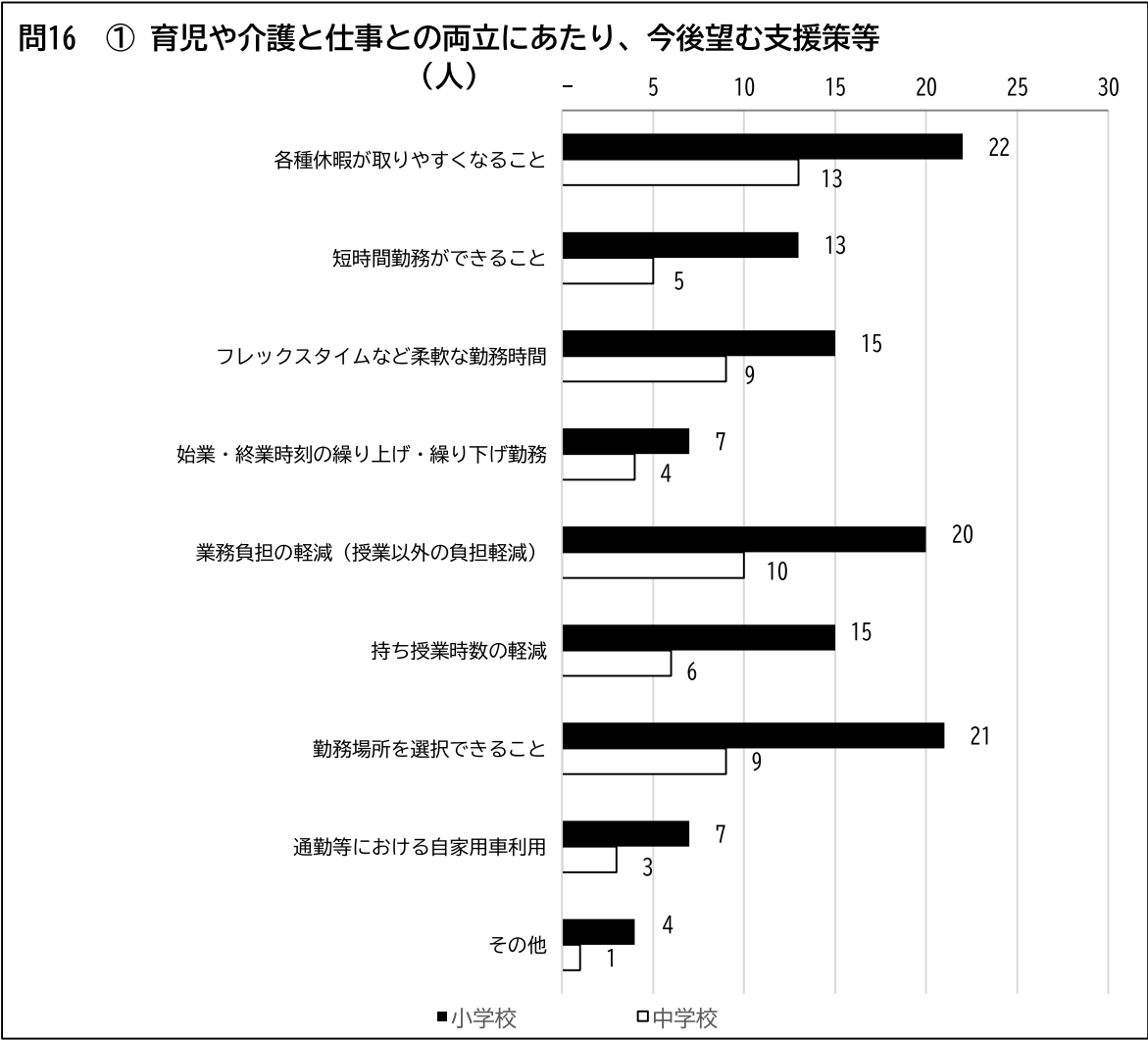
問15 身近に介護を必要とする人がいることで、勤務時間や業務内容に対して職場からの配慮 × 学校区分

上段:度数		問15 身近に介護を必要とする人がいることで、勤務時間や業務内容に対して職場からの配慮があるか		
下段:%		合計	配慮がある	配慮はない
学校区分	全体	20	11	9
		100.0	55.0	45.0
	小学校	15	9	6
		100.0	60.0	40.0
	中学校	5	2	3
		100.0	40.0	60.0

問 16 育児や介護と仕事の両立に当たり今後望む支援策等について（MA）

育児や介護と仕事の両立にあたり、今後望む支援策等について、小学校では「各種休暇が取りやすくなること」が22人と最も多く、次いで「勤務場所を選択できること」が21人、「業務負担の軽減（授業以外の負担軽減）」が20人などとなっている。

中学校では、「各種休暇が取りやすくなること」が13人と最も多く、次いで「業務負担の軽減（授業以外の負担軽減）」が10人、「フレックスタイムなどの柔軟な勤務時間」と「勤務場所を選択できること」が9人などとなっている。



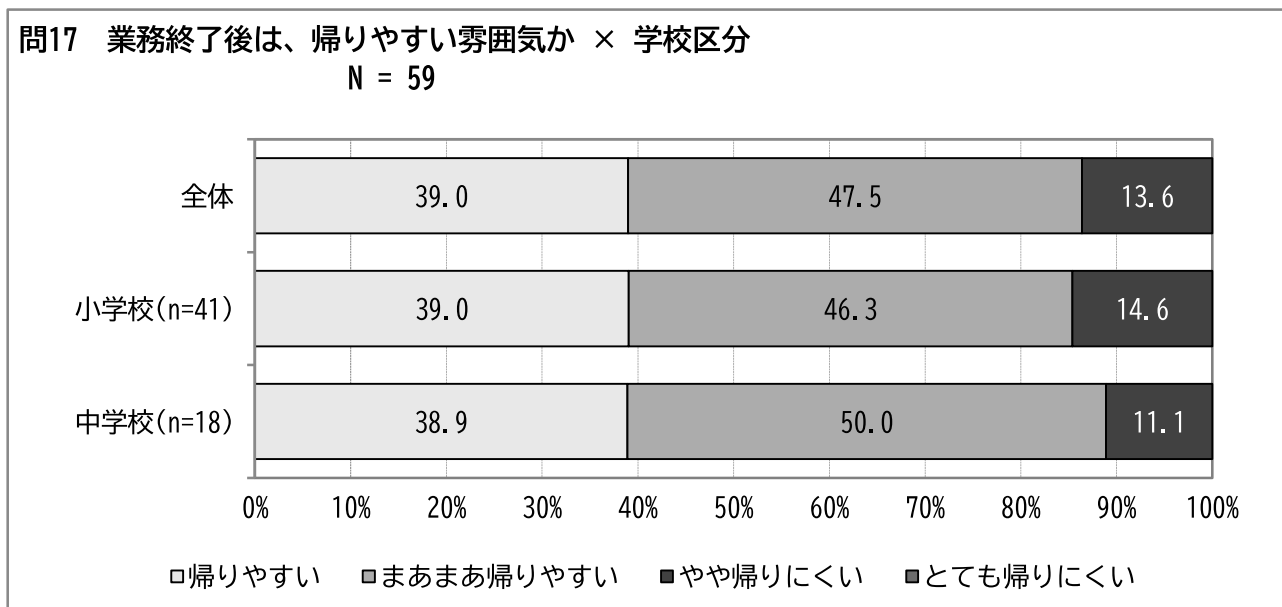
※その他：教員の加配（4件）

問16 ① 育児や介護と仕事との両立にあたり、今後望む支援策等 × 学校区分

上段:度数		問16 ① 育児や介護と仕事との両立にあたり、今後望む支援策等									
下段:%		合計	各種休暇が 取りやすく なること	短時間勤務 ができるこ と	フレックス タイムなど 柔軟な勤務 時間	始業・終業 時刻の繰り 上げ・繰り 下げ勤務	業務負担の 軽減（授業 以外の負担 軽減）	持ち授業時 数の軽減	勤務場所を 選択できる こと	通勤等にお ける自家用 車利用	その他
学校区分	全体	56	35	18	24	11	30	21	30	10	5
		100.0	62.5	32.1	42.9	19.6	53.6	37.5	53.6	17.9	8.9
	小学校	39	22	13	15	7	20	15	21	7	4
		100.0	56.4	33.3	38.5	17.9	51.3	38.5	53.8	17.9	10.3
中学校		17	13	5	9	4	10	6	9	3	1
		100.0	76.5	29.4	52.9	23.5	58.8	35.3	52.9	17.6	5.9

問17 業務終了後は帰りやすい雰囲気か（SA）

業務終了後は帰りやすい雰囲気かについて、小・中学校ともに「帰りやすい」が約4割、「まあまあ帰りやすい」が約5割、「やや帰りにくい」が1割強となっている。



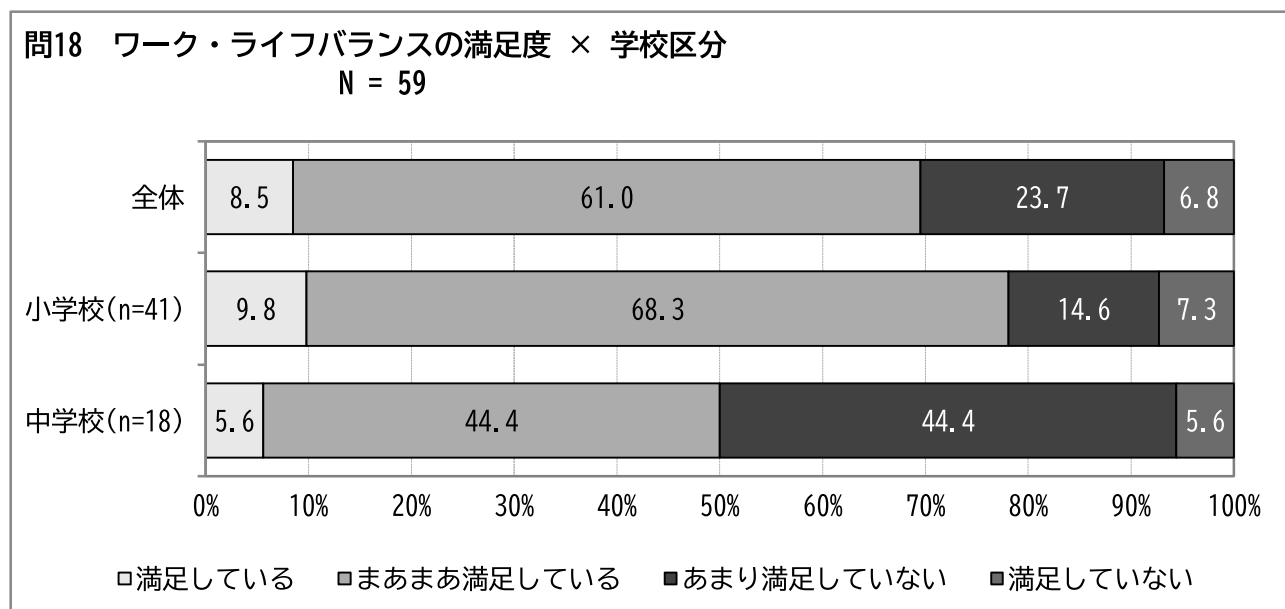
問17 業務終了後は、帰りやすい雰囲気か × 学校区分

上段:度数		問17 業務終了後は、帰りやすい雰囲気か				
下段:%		合計	帰りやすい	まあまあ帰りやすい	やや帰りにくい	とても帰りにくい
学校区分	全体	59 100.0	23 39.0	28 47.5	8 13.6	-
	小学校	41 100.0	16 39.0	19 46.3	6 14.6	-
	中学校	18 100.0	7 38.9	9 50.0	2 11.1	-

問18 ワーク・ライフバランスの満足度について（SA）

ワーク・ライフバランスの満足度について、小学校は「満足している」が9.8%、「まあまあ満足している」が68.3%と併せて78.1%が満足している。

中学校では、「満足している」が5.6%、「まあまあ満足している」が44.4%と併せて50.0%が満足と回答している一方で、「あまり満足していない」が44.4%、「満足していない」が5.6%と併せて50.0%となり、満足度は5割にとどまっている。



問18 ワーク・ライフバランスの満足度 × 学校区分

上段:度数		問18 ワーク・ライフバランスの満足度				
下段:%		合計	満足してい る	まあまあ満 足している	あまり満足 していない	満足してい ない
学校区分	全体	59 100.0	5 8.5	36 61.0	14 23.7	4 6.8
	小学校	41 100.0	4 9.8	28 68.3	6 14.6	3 7.3
	中学校	18 100.0	1 5.6	8 44.4	8 44.4	1 5.6

問 19 問 18 で（ワーク・ライフバランスの満足度について）回答した理由（自由記入）

○「満足している」と回答した理由（回答者：5名）

主なご意見 ※項目ごとのカウントには重複あり

- ・毎日元気に仕事ができる。子どもたち、教職員、保護者と楽しく、学校で過ごせる。家庭も平和に過ごしている。
- ・職場の雰囲気が良い。帰りやすい、休みやすい。校長先生のリーダーシップにより働きがいを感じる。
- ・大変な中でも充実して仕事も家庭も進めることができている。
- ・仕事を楽しめるという感覚で遂行することができている。

○「まあまあ満足している」と回答した理由（回答者：36名）

主なご意見 ※項目ごとのカウントには重複あり

（自分のペースで仕事や時間管理ができている：5件）

- ・現在は自分のペースで仕事ができるようになってきたから。
- ・突発的な問題が起きない限り、自分で仕事や時間の管理ができる。
- ・業務や勤務時間を管理しにくかったのが、少しずつ改善されてきたため。

（休日にリフレッシュできている：6件）

- ・休日は好きなことをしてリフレッシュできている。
- ・土日は基本的に自分のペースで仕事や趣味をすすめられているから。
- ・有意義な休日を過ごせるようになったから。

（職場の人間関係が良い、理解が進んでいる：2件）

- ・職場の人間関係が良いから。
- ・職場が仕事と家庭のバランスを配慮した雰囲気になっている。教職員の理解が進んでいる。

（家庭環境が良い：4件）

- ・家族の支えがあるから。
- ・育児に参加できているから。
- ・子育てや介護がなく、身が軽く、自由になる時間が今のところあるため。

（立場上、割り切っている：7件）

- ・割り切っているから。
- ・勤務時間で仕事が終わることはまずないが、副校長とはそういうものだと思ってこの仕事に就いたので、まあまあ満足しています。時間内に目いっぱい働いて、退勤時刻で帰れる仕事量になる時代が来るといいな、とは思いますが、イメージが湧きません。でも、満足しています。
- ・管理職として休日、時間外を含め様々な対応は職務上、必要なことだと考えている。それはその性質上、管理職しかできないことだと考えていることと、教職員に過度な負担を強要したくないからである。
- ・管理職ということもあり、地域や PTA 関連の週休日出勤がある。しかし、管理職以外の教員の負担を減らすためには仕方ない。

（その他のご意見：8件）

- ・自分の職務の責任を果たす上では満足しているが、教職員の立場で考えると全く満足していない。
- ・特に困ってはいないが、土日などの地域やイベントへの参加が当然だという雰囲気はある。
- ・所属職員の構成や地域、児童の状況によって、年休の習得のしやすさなども変わってくるかと感じる。
- ・定時に帰宅している。一方、地域行事で土日に出勤することが多い。
- ・勤務時間外の各種会議への参加、週休日等における地域行事への参加による。
- ・自由に休暇を取りやすい雰囲気があるとよい。

- ・まだ、見通しが持てずに効率的に校務が終わらず時間がかかることがある。
- ・業務量が削減できるとなおよい。

○「あまり満足していない」と回答した理由（回答者数：14 件）

主なご意見 ※項目ごとのカウントには重複あり

（休日の出勤が多く、十分に休めない：7 件）

- ・管理職という立場上、休日の PTA や地域の行事、勤務時間以降にかかる会議や地域の会合への参加が必要になっていて、地域にもよるが年々その頻度も上がっているから。
- ・思うように休暇が取れないこと。週休日に、地域行事などが入り、休めないことがあること。
- ・土曜の公開授業は行ったとしても振替休業日が翌週月曜にないこと。
- ・土日に地域の行事や部活動の大会などで、勤務ではない仕事をしている。報酬も出ない。

（勤務時間を減らすことができず、バランスが良くない：7 件）

- ・休憩時間中も仕事をしている、しても終わらない。
- ・勤務時間を減らすことが困難なため。
- ・校内でいろいろ考えて取り組むものの、学校全体の業務自体が減っているわけではないので、自身のためにはなっていないと感じるから。
- ・突発な対応や慣例的に行われている地域行事や区のイベント等に管理職の出席が求められることが多く、バランスは決していいとは思えない。
- ・自分で仕事と家庭とのバランスを調整しているが、仕事量の比重が高く、バランスが悪いと感じる。

（その他：5 件）

- ・帰りやすい雰囲気はあるが、定時で退勤することはできない。
- ・教員とのコミュニケーションに時間を取りたい。
- ・ストレスを強く感じ、疲れが取れず、身体に不調があるため。
- ・業務量が多いため副校長補佐の配置に感謝している。
- ・自身のための時間がほしいから。

○「満足していない」と回答した理由（回答者数：4 件）

主なご意見 ※項目ごとのカウントには重複あり

- ・仕事量が多すぎる。
- ・時間内に効率よく進められなければ、能力が低いとみなされる。
- ・職責に伴う夜の付き合い等も必要以上に多く、ストレスや体調を回復する時間すらない。
- ・副校長の仕事をしながら担任をしているため。
- ・業務量が多く、勤務の負担が多い為。
- ・平日の時間外勤務時間が長い上に、週休日でも自宅で仕事をしなければならない日が多い。

3 勤務実態について

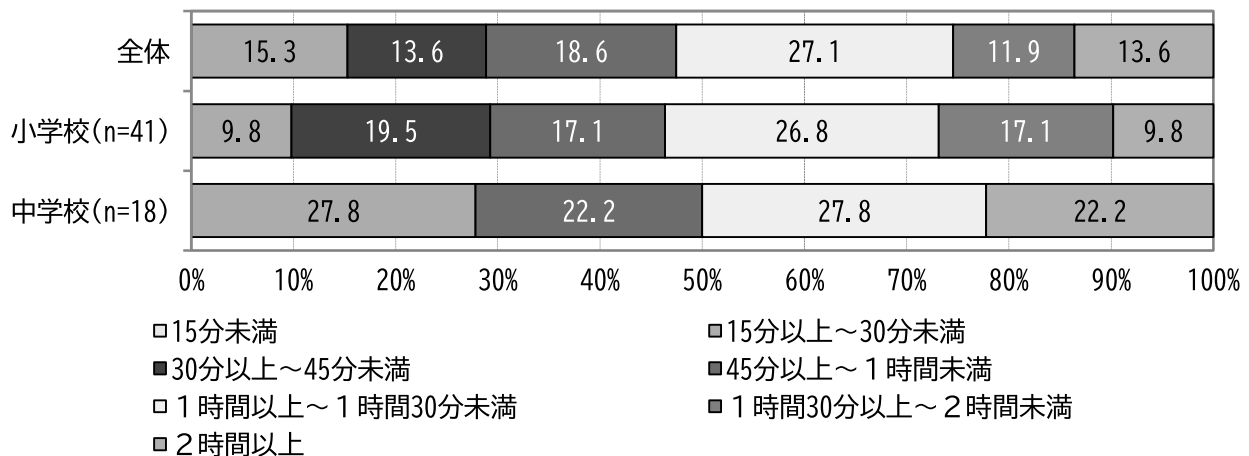
問 20 1日のうち、授業観察や教員への指導に当たっている、およその時間について（SA）

1日のうち、授業観察や教員への指導に当たっているおよその時間について、小学校は「1時間以上～1時間30分未満」が26.8%、「30分以上～45分未満」が19.5%、「45分以上～1時間未満」と「1時間30分以上～2時間未満」が17.1%となっている。中学校は「15分以上～30分未満」と「1時間以上～1時間30分未満」が27.8%、「45分以上～1時間未満」と「2時間以上」が22.2%である。

前回と比較すると、全体的に時間の減少傾向がみられる。小学校は、前は1時間以上が併せて76.1%を占めていたが、今回調査では53.7%となっている。

中学校は、前回調査では1時間未満が45.0%、1時間以上が55.0%となっていたが、今回調査では1時間未満、1時間以上ともに50.0%となっている。

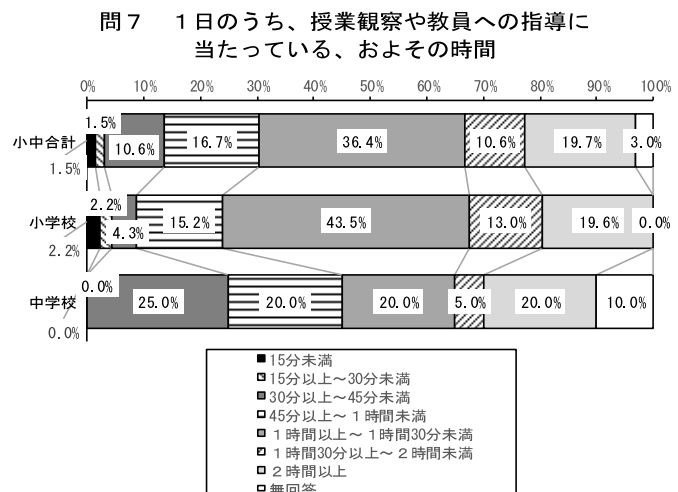
問20 授業観察や教員への指導に当たっている、およその時間 × 学校区分
N = 59



問20 授業観察や教員への指導に当たっている、およその時間 × 学校区分

上段:度数		問20 授業観察や教員への指導に当たっている、およその時間							
下段:%		合計	15分未満	15分以上～30分未満	30分以上～45分未満	45分以上～1時間未満	1時間以上～1時間30分未満	1時間30分以上～2時間未満	2時間以上
学校区分	全体	59	-	9	8	11	16	7	8
		100.0	-	15.3	13.6	18.6	27.1	11.9	13.6
	小学校	41	-	4	8	7	11	7	4
		100.0	-	9.8	19.5	17.1	26.8	17.1	9.8
中学校		18	-	5	-	4	5	-	4
		100.0	-	27.8	-	22.2	27.8	-	22.2

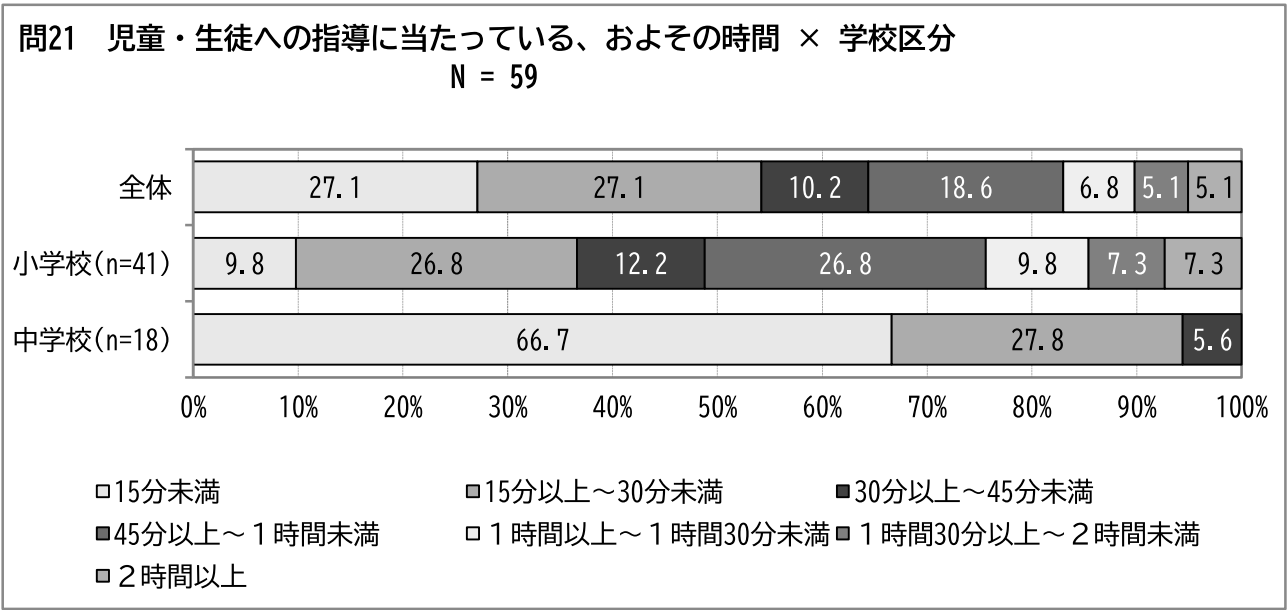
（前回の調査結果）



問 21 1日のうち、児童・生徒への指導に当たっているおよその時間について（SA）

1日のうち、児童・生徒への指導に当たっているおよその時間について、小学校は「15分以上～30分未満」と「45分以上～1時間未満」が26.8%、「30分以上～45分未満」が12.2%となっている。中学校は「15分未満」が66.7%、「15分以上～30分未満」が27.8%である。

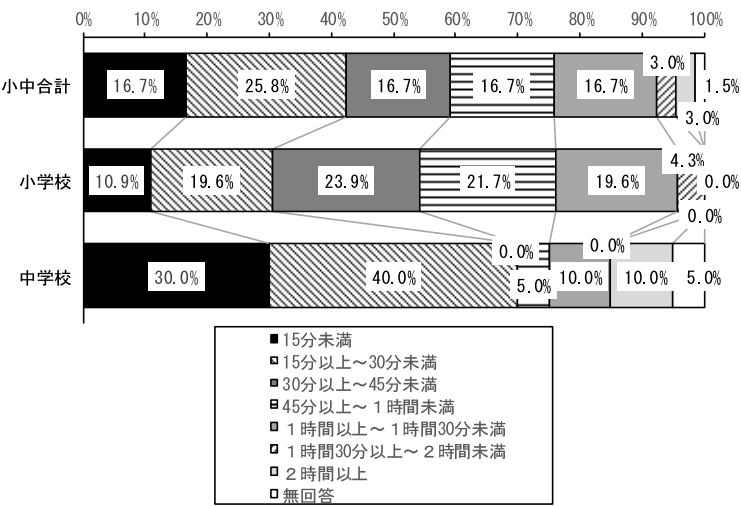
前回と比較すると、小学校は、45分以上が併せて45.6%だったが、今回調査では51.2%となっている。一方、中学校は、前回調査では45分以上が30.0%となっていたが、今回調査では0%となっており、15分未満が30.0%から66.7%へ上昇している。



上段:度数		問21 児童・生徒への指導に当たっている、およその時間							
下段:%		合計	15分未満	15分以上～30分未満	30分以上～45分未満	45分以上～1時間未満	1時間以上～1時間30分未満	1時間30分以上～2時間未満	2時間以上
学校区分	全体	59	16	16	6	11	4	3	3
		100.0	27.1	27.1	10.2	18.6	6.8	5.1	5.1
	小学校	41	4	11	5	11	4	3	3
		100.0	9.8	26.8	12.2	26.8	9.8	7.3	7.3
	中学校	18	12	5	1	-	-	-	-
		100.0	66.7	27.8	5.6	-	-	-	-

（前回調査結果）

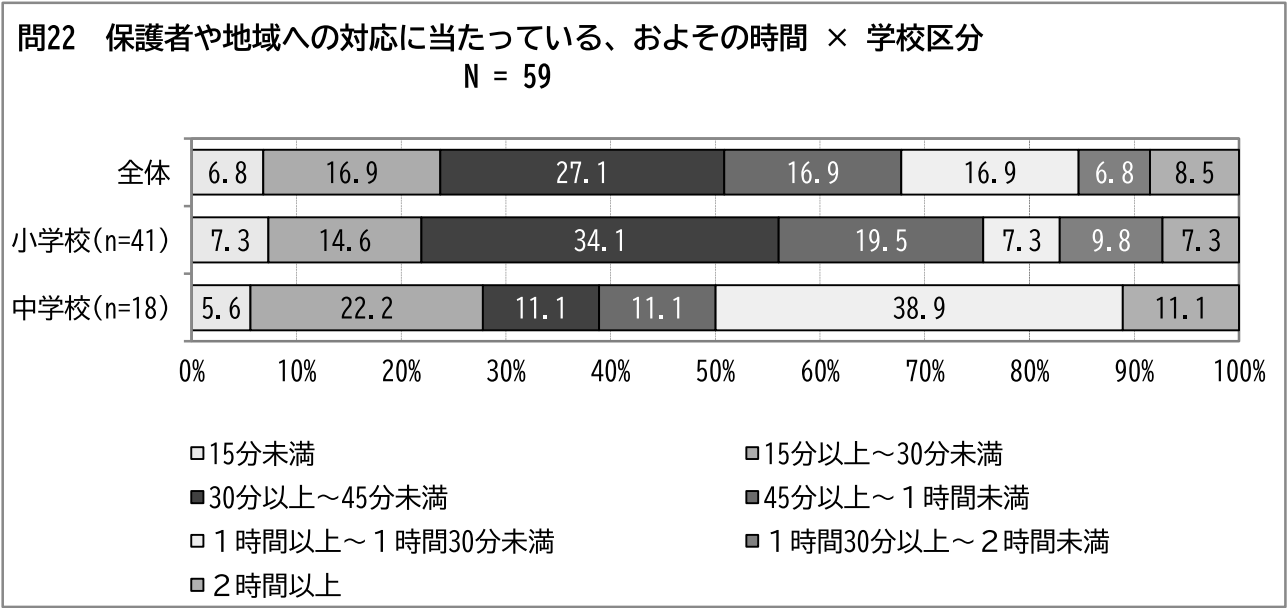
問 8 1日のうち、児童・生徒への指導に当たっているおよその時間



問 22 1日のうち保護者や地域への対応に当たっているおよその時間について（S A）

1日のうち、保護者や地域への対応に当たっているおよその時間について、小学校は「30分以上～45分未満」が34.1%、「45分以上～1時間未満」が19.5%、「15分以上～30分未満」が14.6%となっている。中学校は「1時間以上～1時間30分未満」が38.9%、「15分以上～30分未満」が22.2%である。

前回と比較すると、小学校は、45分以上が併せて58.7%だったが、今回調査では43.9%へ低下している。一方、中学校は、前回調査では45分以上が55.0%となっていたが、今回調査では61.1%へ上昇している。

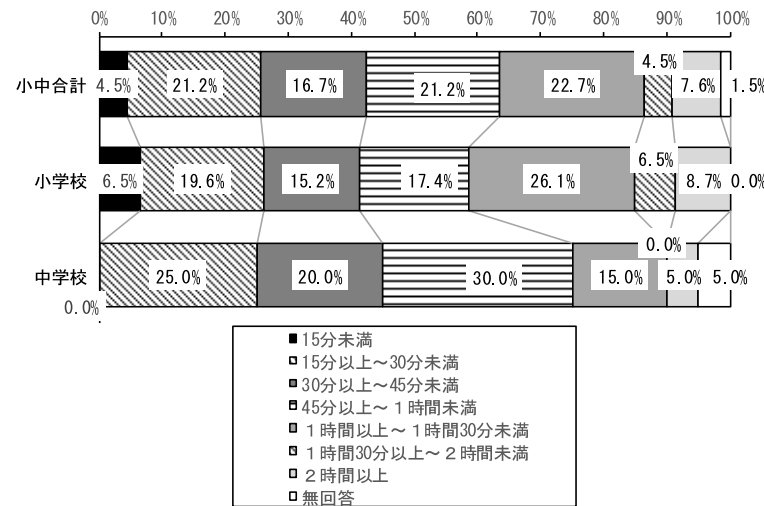


問22 保護者や地域への対応に当たっている、およその時間 × 学校区分

上段:度数		問22 保護者や地域への対応に当たっている、およその時間							
下段:%		合計	15分未満	15分以上～30分未満	30分以上～45分未満	45分以上～1時間未満	1時間以上～1時間30分未満	1時間30分以上～2時間未満	2時間以上
学校区分	全体	59 100.0	4 6.8	10 16.9	16 27.1	10 16.9	10 16.9	4 6.8	5 8.5
	小学校	41 100.0	3 7.3	6 14.6	14 34.1	8 19.5	3 7.3	4 9.8	3 7.3
	中学校	18 100.0	1 5.6	4 22.2	2 11.1	2 11.1	7 38.9	-	2 11.1

（前回の調査結果）

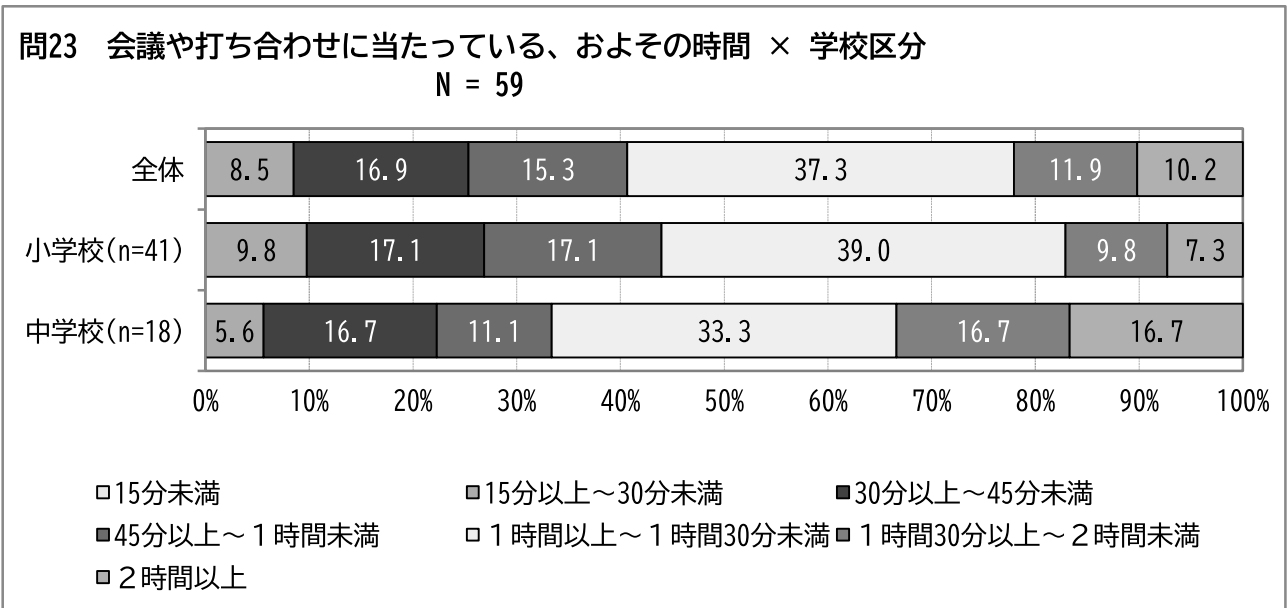
問 9 1日のうち、保護者や地域への対応に当たっている、およその時間



問23 1日のうち、会議や打ち合わせに当たっているおよその時間について（SA）

1日のうち、会議や打ち合わせに当たっているおよその時間について、小学校は「1時間以上～1時間30分未満」が39.0%、「30分以上～45分未満」と「45分以上～1時間未満」が17.1%となっている。中学校は「1時間以上～1時間30分未満」が33.3%、「30分以上～45分未満」と「1時間以上～1時間30分未満」が16.7%である。

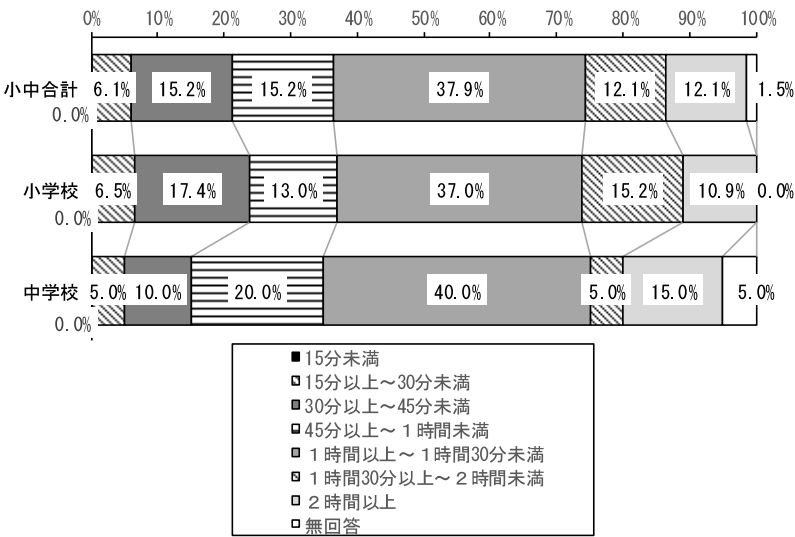
前回と比較すると、小学校は、45分以上が併せて76.1%だったが、今回調査では73.2%。中学校は、前回調査では45分以上が80.0%だったが、今回調査では77.8%。いずれも長時間の割合はやや低下している。



問23 会議や打ち合わせに当たっている、およその時間 × 学校区分

上段:度数		問23 会議や打ち合わせに当たっている、およその時間							
下段:%		合計	15分未満	15分以上～30分未満	30分以上～45分未満	45分以上～1時間未満	1時間以上～1時間30分未満	1時間30分以上～2時間未満	2時間以上
学校区分	全体	59	-	5	10	9	22	7	6
		100.0	-	8.5	16.9	15.3	37.3	11.9	10.2
	小学校	41	-	4	7	7	16	4	3
		100.0	-	9.8	17.1	17.1	39.0	9.8	7.3
	中学校	18	-	1	3	2	6	3	3
		100.0	-	5.6	16.7	11.1	33.3	16.7	16.7

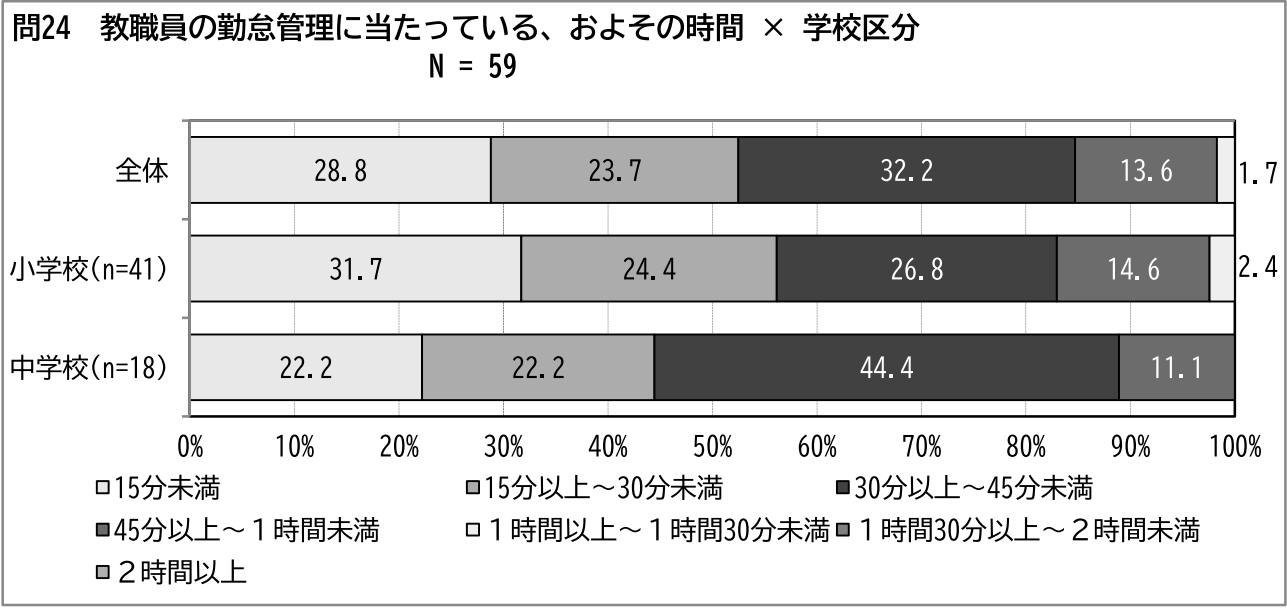
問10 1日のうち、会議や打ち合わせに当たっている、およその時間
（前回の調査結果）



問24 1日のうち、教職員の勤怠管理に当たっているおよその時間について（SA）

1日のうち、教職員の勤怠管理に当たっているおよその時間について、小学校は「15分未満」が31.7%、「30分以上～45分未満」が26.8%、「15分以上～30分未満」が24.4%となっている。中学校は「30分以上～45分未満」が44.4%、「15分未満」と「15分以上～30分未満」が22.2%ある。

前回と比較すると、小学校は45分未満が併せて67.3%だったが、今回調査では82.9%。中学校は、前回調査では45分未満が65.0%だったが、今回調査では88.8%。全体的に勤怠管理にあたっている時間が短くなっている。

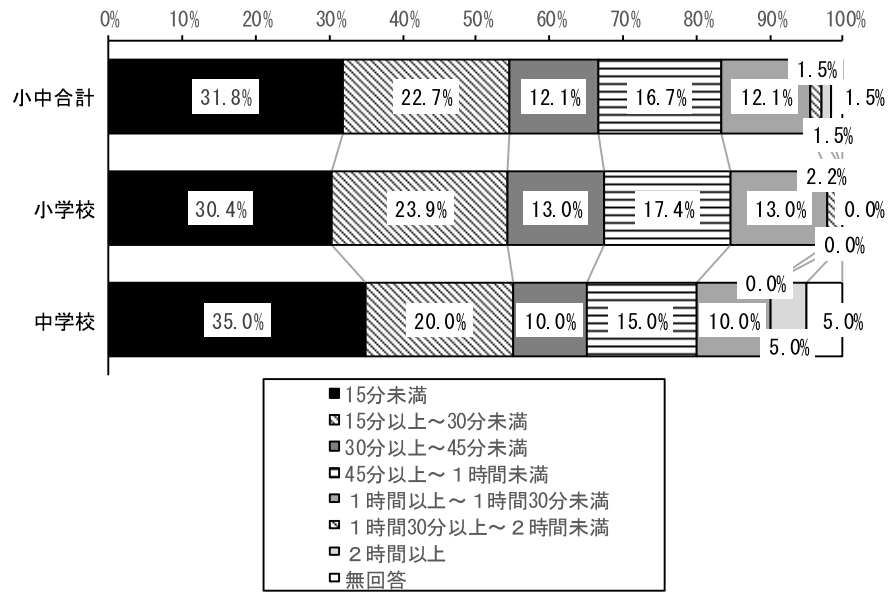


問24 教職員の勤怠管理に当たっている、およその時間 × 学校区分

上段:度数		問24 教職員の勤怠管理に当たっている、およその時間							
下段:%		合計	15分未満	15分以上～30分未満	30分以上～45分未満	45分以上～1時間未満	1時間以上～1時間30分未満	1時間30分以上～2時間未満	2時間以上
学校区分	全体	59	17	14	19	8	1	-	-
		100.0	28.8	23.7	32.2	13.6	1.7	-	-
	小学校	41	13	10	11	6	1	-	-
		100.0	31.7	24.4	26.8	14.6	2.4	-	-
	中学校	18	4	4	8	2	-	-	-
		100.0	22.2	22.2	44.4	11.1	-	-	-

（前回の調査結果）

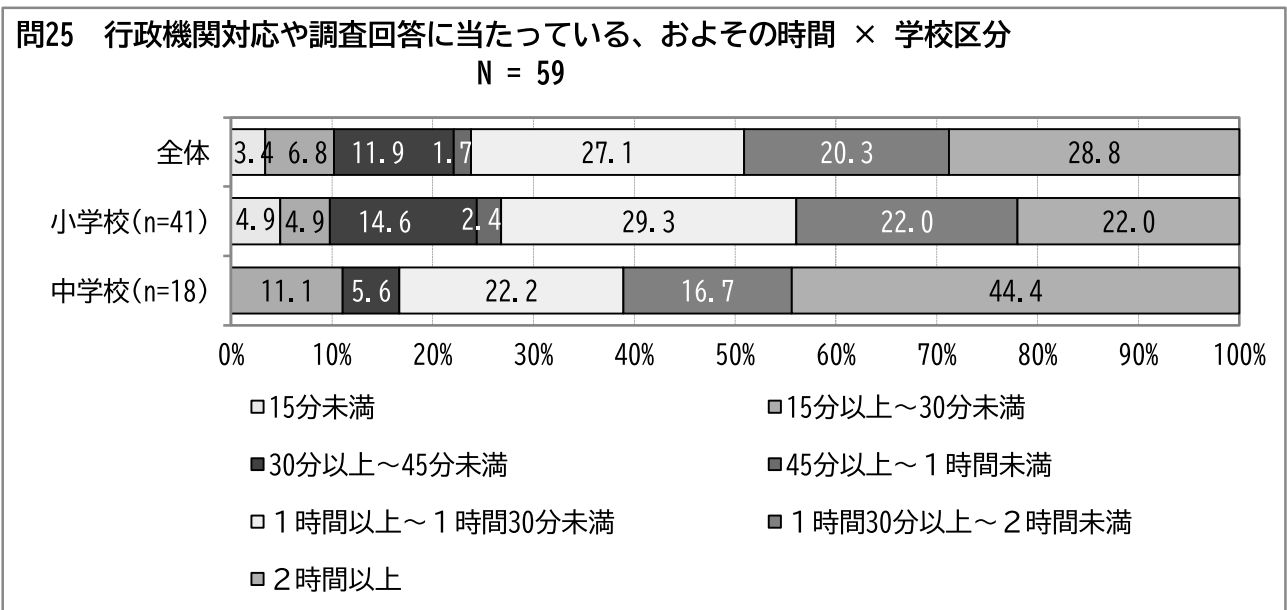
問11 1日のうち、教職員の勤怠管理に当たっている、およその時間



問25 1日のうち行政機関対応や調査回答にあっているおよその時間について（SA）

1日のうち、行政機関対応や調査回答に当たっているおよその時間について、小学校は「1時間以上～1時間30分未満」が29.3%、「1時間30分以上～2時間未満」と「2時間以上」が22.2%となっている。中学校は「2時間以上」が44.4%、「1時間以上～1時間30分未満」が22.2%、「1時間30分以上～2時間未満」が16.7%である。

前回と比較すると、小学校は1時間以上が併せて63.0%から73.3%へ、中学校は1時間以上が65.0%から83.3%へ上昇しており、全体的に長時間化している。

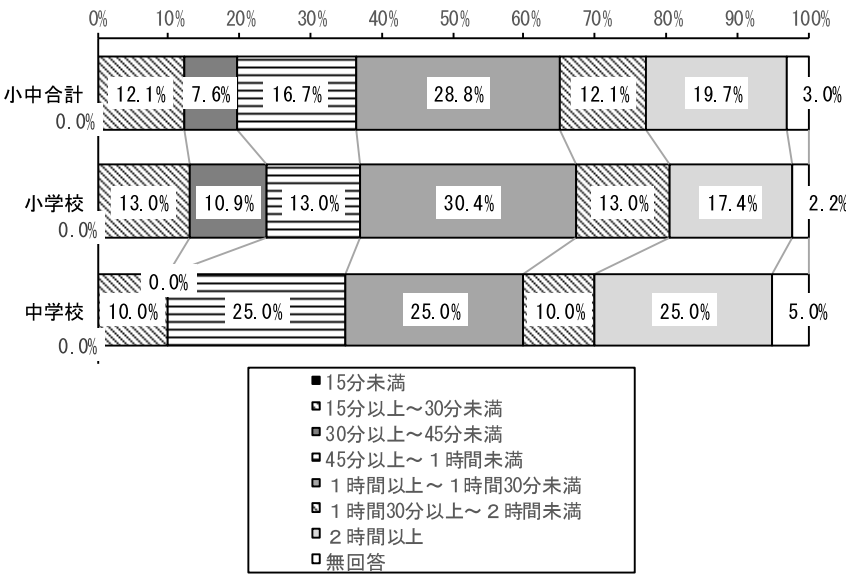


問25 行政機関対応や調査回答に当たっている、およその時間 × 学校区分

上段:度数		問25 行政機関対応や調査回答に当たっている、およその時間							
下段:%		合計	15分未満	15分以上～30分未満	30分以上～45分未満	45分以上～1時間未満	1時間以上～1時間30分未満	1時間30分以上～2時間未満	2時間以上
学校区分	全体	59	2	4	7	1	16	12	17
		100.0	3.4	6.8	11.9	1.7	27.1	20.3	28.8
	小学校	41	2	2	6	1	12	9	9
		100.0	4.9	4.9	14.6	2.4	29.3	22.0	22.0
	中学校	18	-	2	1	-	4	3	8
		100.0	-	11.1	5.6	-	22.2	16.7	44.4

（前回の調査結果）

問12 1日のうち、行政機関対応や調査回答に当たっている、およその時間



問 26 1日のうち、もっと増やしたい、または減らしたい時間について（回答者数：42 人）
（自由記入）

主なご意見 ※項目ごとのカウントには重複あり

○「もっと増やしたい時間」について（26 人）

－授業観察や教員への指導の時間－23 件

- ・授業観察及び先生たちへの助言、相談の時間などを増やしたい。
- ・授業観察や教員の指導・支援（授業力アップ）の時間を増やしたい。
- ・教職員との対話、コミュニケーション。
- ・若手教員を中心にした指導技術向上の指導時間を増やしたい。

－児童・生徒への指導に当たる時間－12 件

- ・児童に関する相談を受ける、個別のケース会議など、直接的、間接的に児童に向き合うための時間を増やしたい。
- ・休み時間（中休み、昼休み）の児童観察の時間を増やしたい。
- ・子どもの様子を把握したりかかわったりする時間。
- ・生徒と直接関わる時間を増やしたい。

－保護者や地域への対応－1 件

- ・保護者対応はしっかりと確保して答えられるようにしたい。

－その他－8 件

- ・学校 HP、学校だよりなど校長からの発信する原稿づくり。
- ・学校の経営方針を実現するための、調査・準備。
- ・打合せなどをする時間。
- ・施設の点検。
- ・人材育成に充てたい。
- ・休憩時間をしっかり確保するための時間。
- ・地域の窓口として本校の教育のために外部諸機関と打ち合わせをする時間は、もっと増やしたい。
- ・教員の授業準備の時間や児童についての情報交換の時間を増やしたい。

○「もっと減らしたい時間」について（37 人）

－行政機関対応や調査回答の時間－26 件

- ・行政機関対応や調査回答は削減してほしい。時間がかかるわりに何のフィードバックもない。
- ・行政機関対応、調査回答、区教委からくる各種案内を仲介役として自校の教員に配布する時間。
- ・副校長が回答する調査などの時間を減らすこと。

－人事や勤怠管理に関わる時間－4 件

- ・人事管理の調査、処理をする時間を減らしたい。
- ・勤怠管理が煩雑で減らしたい。

－保護者や地域への対応の時間－6 件

- ・教員の保護者対応（面談や電話対応）の時間を削減したい。
- ・保護者対応のうち教育の範疇を超えているような要望がある案件は、減らしたい時間。

－その他の時間－8 件

- ・ＩＣＴ機器の導入や正常な稼働のために、かえって時間と手間、ストレスが増えている状況を改善したい。
- ・パソコンを見ている時間。
- ・副校長補佐に依頼している内容（郵送物の仕分け、電話対応など）については、自身の判断で進められるようにし、確認の時間や回数は減らしたい。
- ・議会对応等の時間を減らしたい。

- ・通勤時間を減らしたい。
- ・文書・諸帳簿の確認。関係団体等の会議・イベントへの参加。あいさつ。講師等を探す。異動や評価に関する書類の作成。

○その他のご意見：3件

- ・現在、特に校内で大きなトラブルが発生していないため、勤務に関しては特に問題はない。トラブルや問題が発生すると一気に状況が変わる。
- ・校長の補佐である副校長に対し、副校長業務を指導しなければならないのは、自身の軽減に全くつながらない。仕事のできる副校長が、校長業務の補佐をしっかりやってくれば、本来の自身の仕事にもっと時間をかけることができるのに、副校長に任せられることが少ない。これは、副校長ばかりが軽減のための補佐を与えられていることで、副校長自身の質が低下していることが大きな要因だと思う。
- ・現状のバランスでいい。

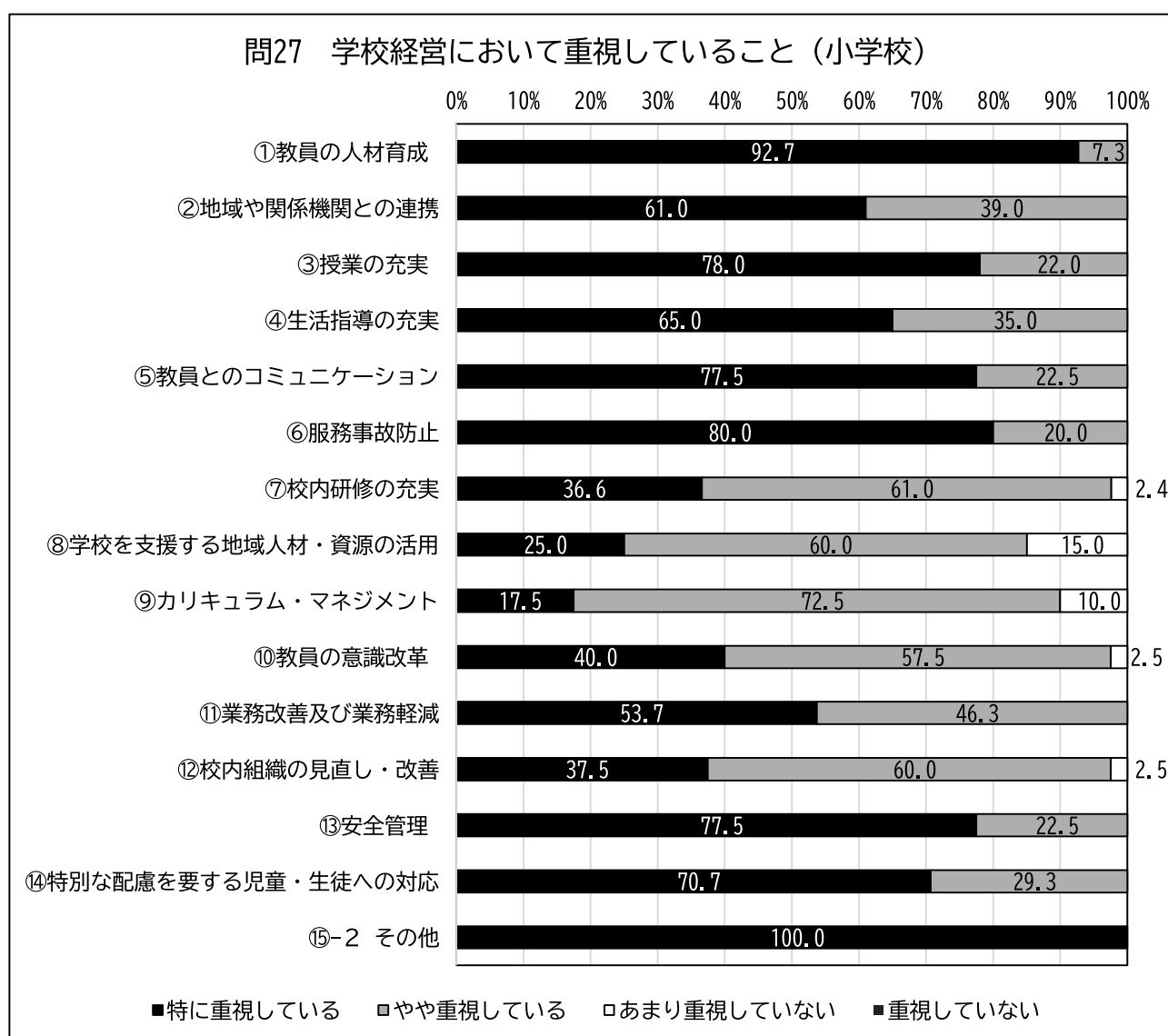
4 学校経営の充実について

問27 現在、学校経営において重視していること（SA）

1日のうち、学校経営において重視することについて、小学校で「特に重視している」とする回答は「教員の人材育成」が92.7%と最も高く、次いで「服務事故防止」が80.0%、「授業の充実」が78.0%、「教員とのコミュニケーション」「安全管理」が77.5%等となっている。

中学校で「特に重視している」とする回答は「服務事故防止」が93.8%と最も高く、次いで「教員の人材育成」と「教員とのコミュニケーション」が88.2%等となっている。

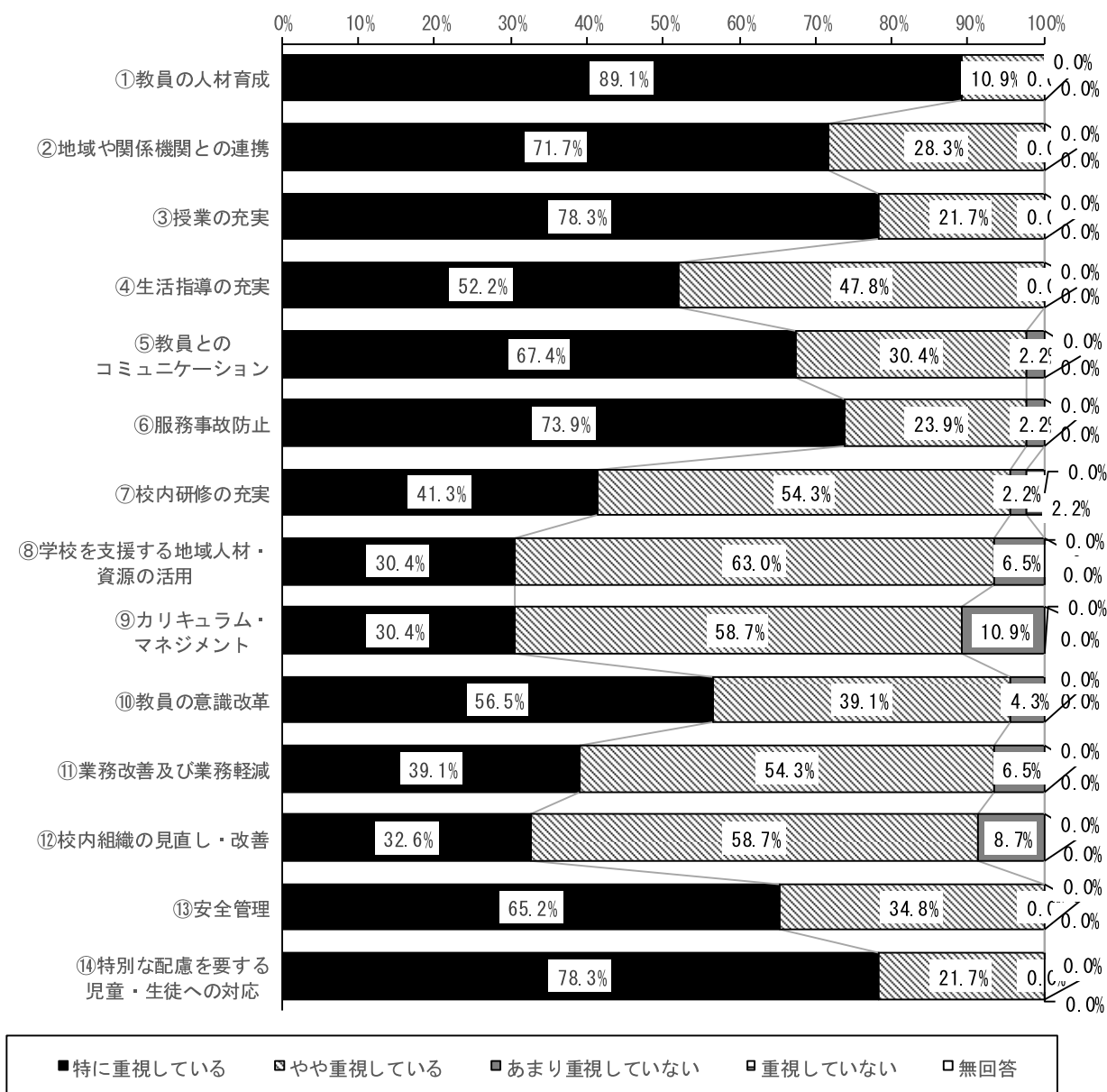
前回調査と比較すると、「教員の人材育成」や「授業の充実」、「教員とのコミュニケーション」などの項目は、前回も今回も高率となっているが、今回調査においては特に「服務事故防止」や「安全管理」が高率になっていることが注目される。



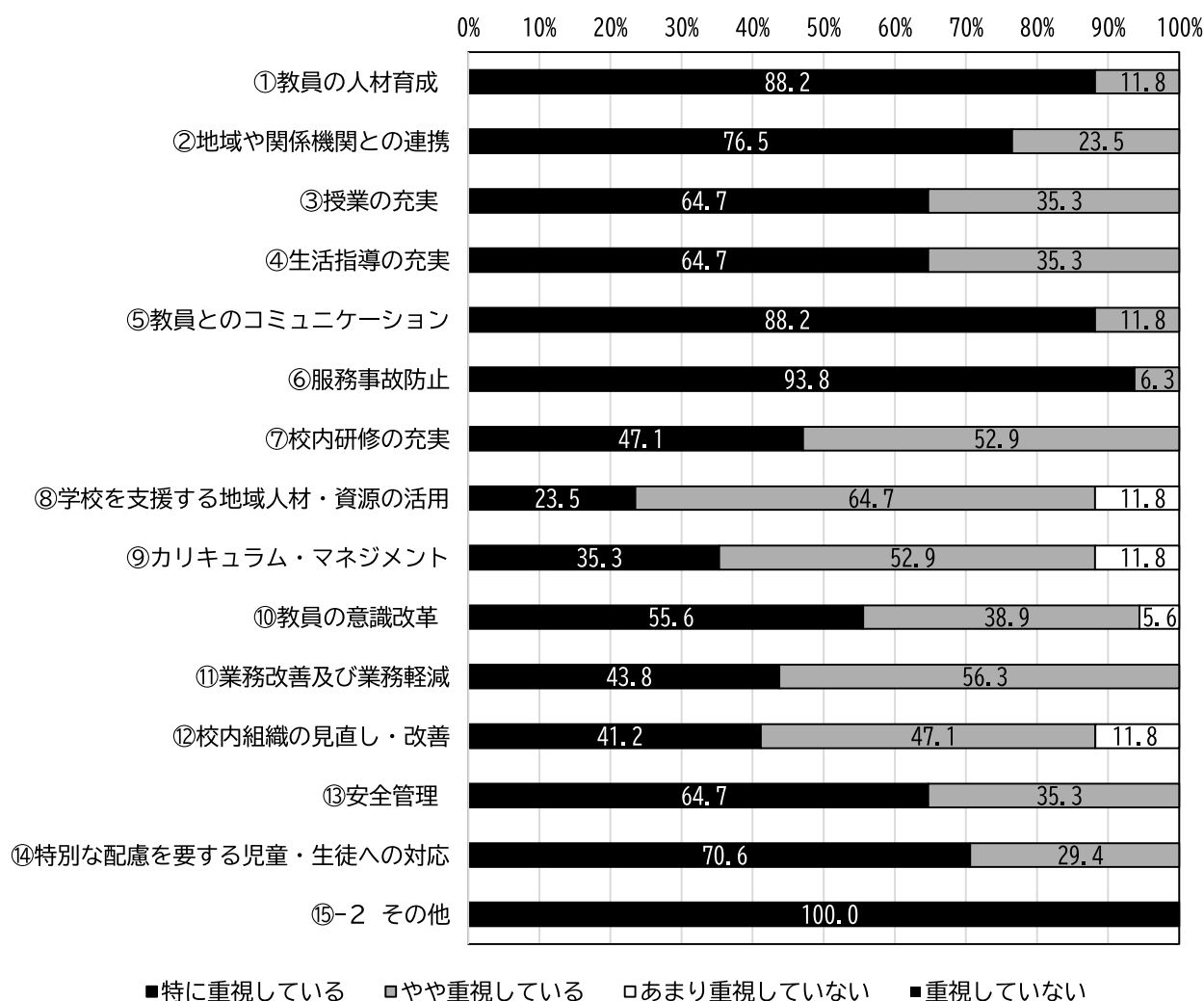
※その他：特に重視している…校舎移転対応（1件）、不登校対応（1件）

(前回の調査結果)

問24 現在、学校経営において重視していること（小学校）



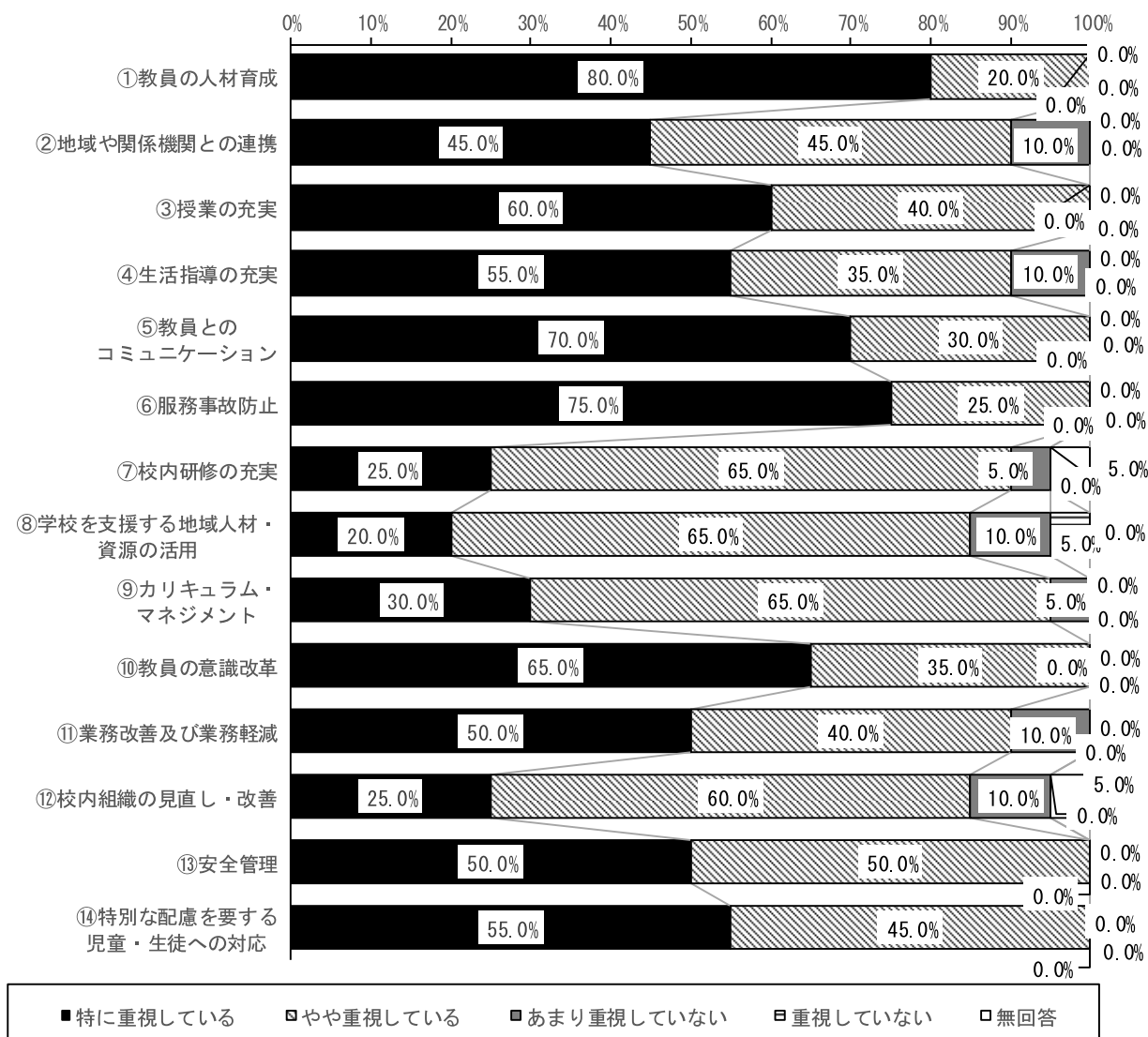
問27 学校経営において重視していること（中学校）



※その他：特に重視している…自身の果たすべき業務内容を覚えること（１件）、
人権を意識した教育活動（１件）

(前回調査結果)

問24 現在、学校経営において重視していること（中学校）

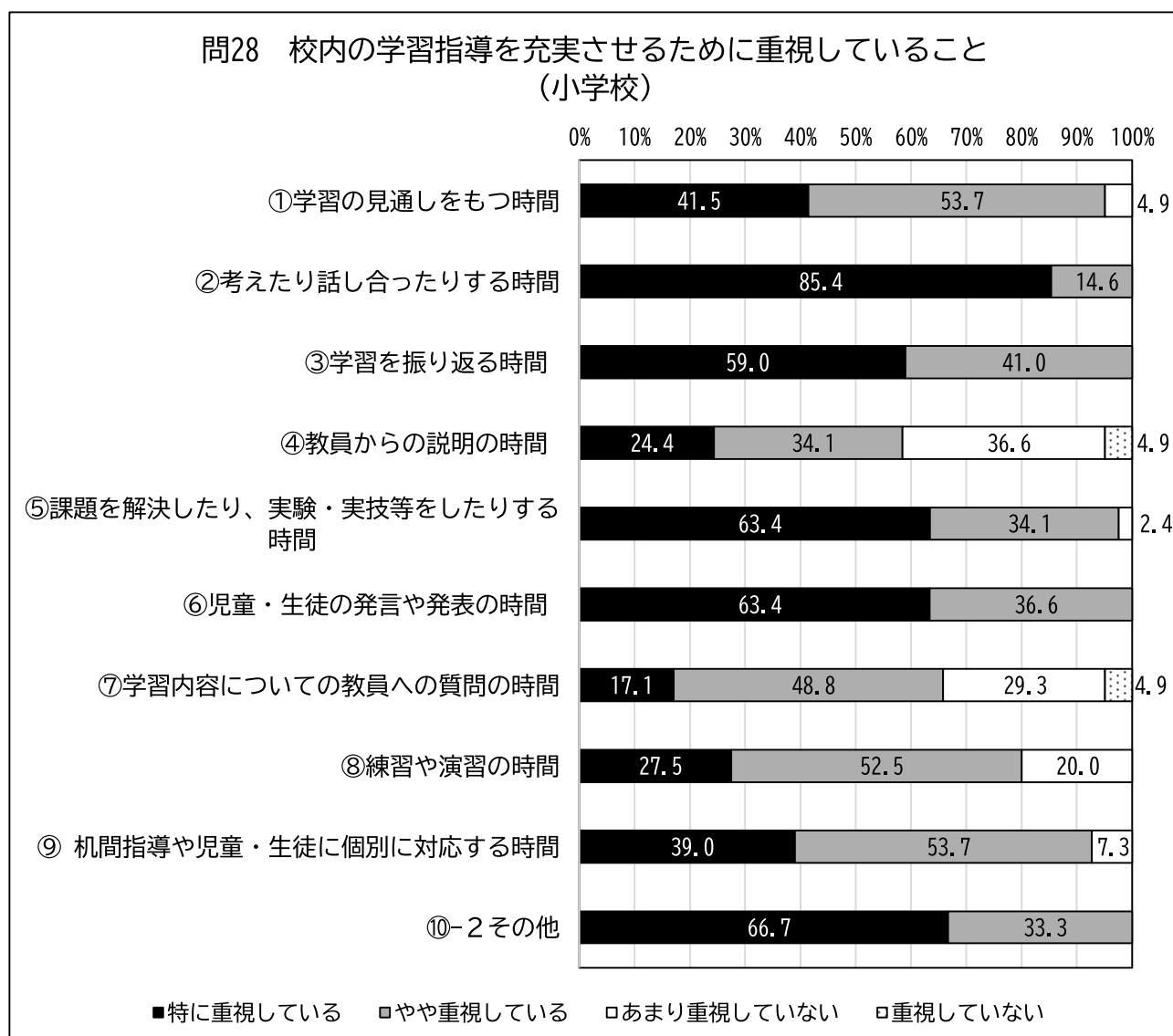


問 28 現在、校内の学習指導を充実させるために重視していること（SA）

現在、校内の学習指導を充実させるために重視していることについて、小学校で「特に重視している」とする回答は「考えたり話し合ったりする時間」が 85.4%と最も高率で、次いで「課題を解決したり、実験・実技等をしたりする時間」と「児童・生徒の発言や発表の時間」が 63.4%等となっている。

中学校で「特に重視している」とする回答は「考えたり話し合ったりする時間」が 88.2%と最も高率で、次いで「課題を解決したり、実験・実技等をしたりする時間」が 72.2%、「学習の見通しをもつ時間」が 70.6%、「学習を振り返る時間」と「児童・生徒の発言や発表の時間」が 66.7%等となっている。

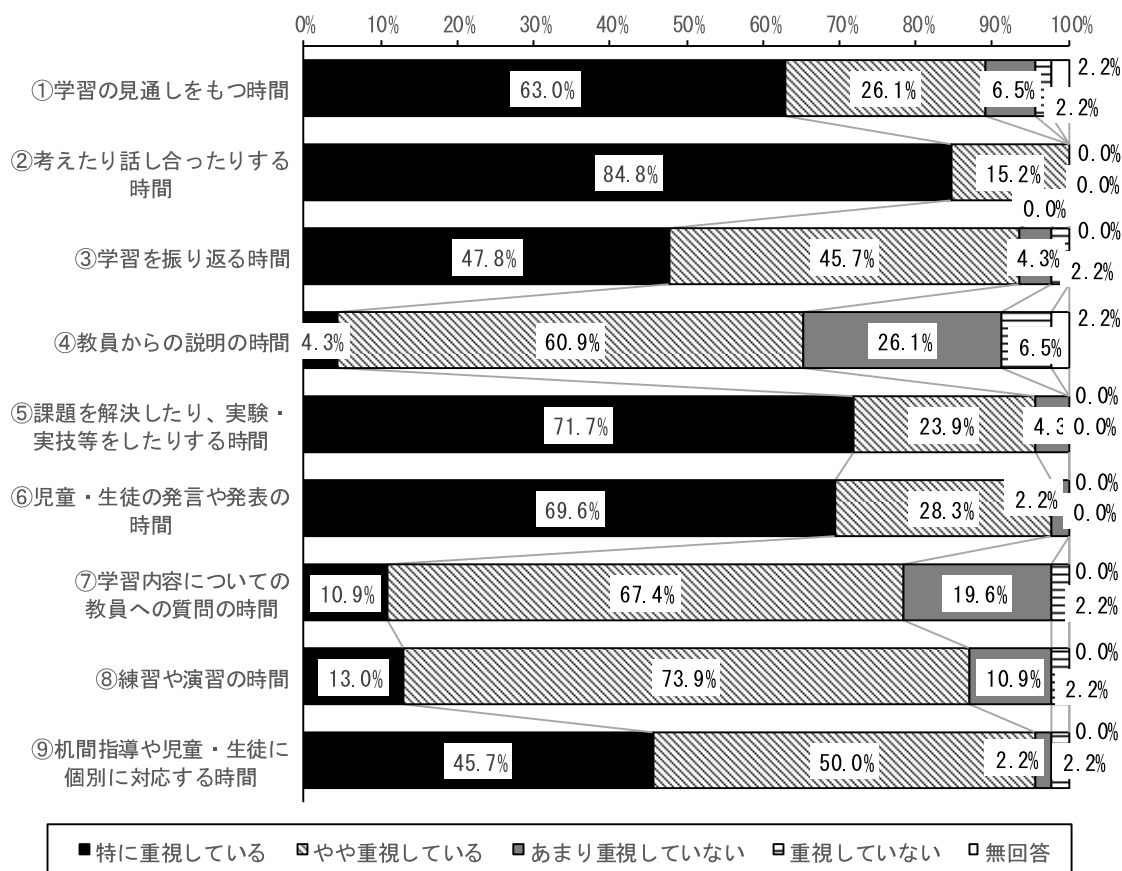
前回調査と比較すると、「考えたり話し合ったりする時間」や「課題を解決したり、実験・実技等をしたりする時間」、「児童・生徒の発言や発表の時間」などの項目は、前回も今回も高率となっているが、今回調査において中学校において特に「学習の見通しをもつ時間」（45.0%→70.6%）や「学習を振り返る時間」（55.0%→66.7%）を特に重視する率が高くなっていることが注目される。



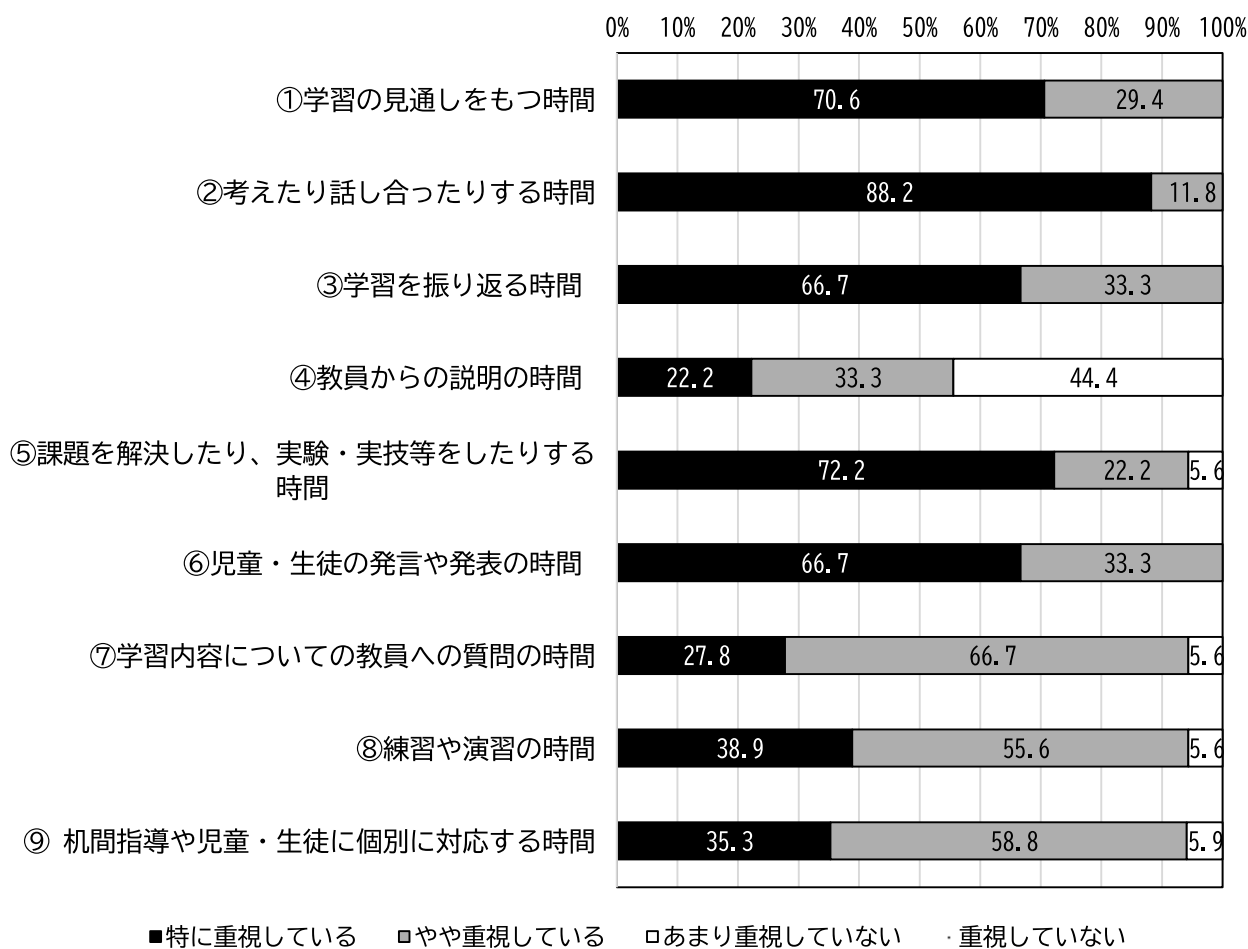
※その他：特に重視している…ICTの活用（2件） やや重視している…評価方法（1件）

(前回の調査結果)

問27 現在、校内の学習指導を充実させるために
重視していること（小学校）

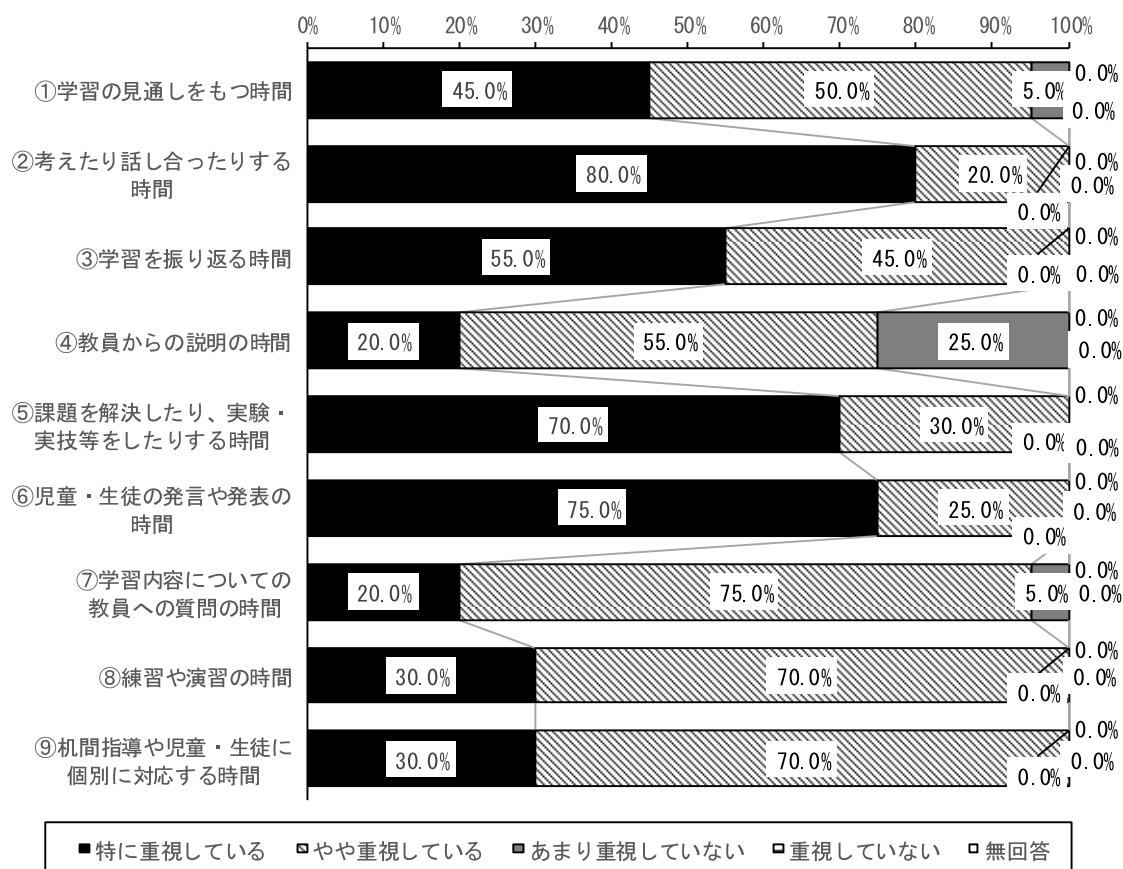


問28 校内の学習指導を充実させるために重視していること
(中学校)



(前回の調査結果)

問27 現在、校内の学習指導を充実させるために
重視していること（中学校）

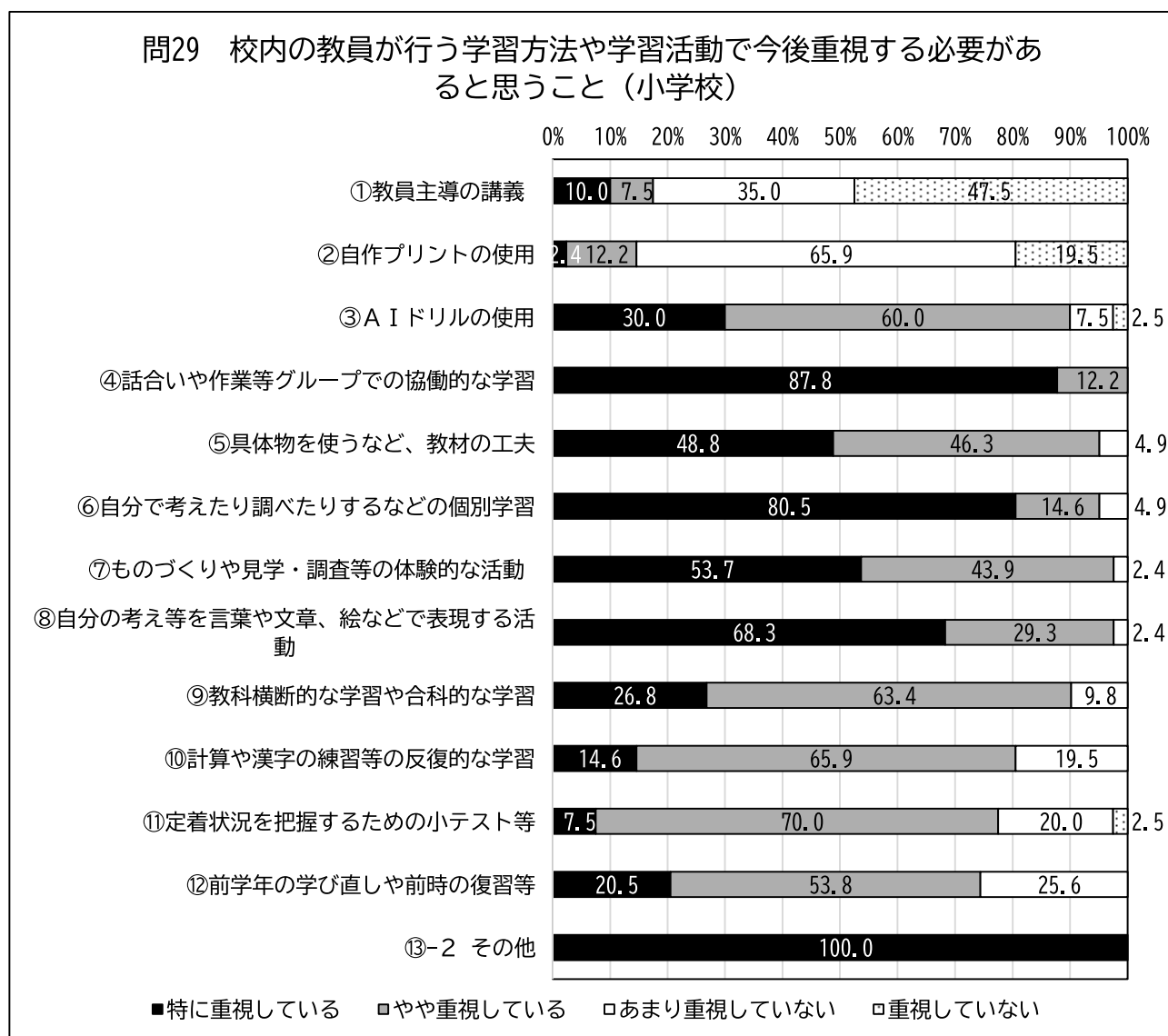


問 29 校内の教員が行う学習方法や学習活動で、今後重視する必要があると思うこと（S A）

現在、校内の教員が行っている学習方法や学習活動で、今後重視する必要があると思うことについて、小学校で「特に必要」とする回答は「話し合いや作業等グループでの協働的な学習」が87.8%と最も高率で、次いで「自分で考えたり調べたりするなどの個別学習」が80.5%、「自分の考え等を言葉や文章、絵などで表現する活動」が68.3%、「ものづくりや見学・調査等の体験的な活動」が53.7%等となっている。

中学校で「特に必要」とする回答は「話し合いや作業等グループでの協働的な学習」と「自分の考え等を言葉や文章、絵などで表現する活動」が83.3%と最も高率で、次いで「自分で考えたり調べたりするなどの個別学習」が77.8%、「ものづくりや見学・調査等の体験的な活動」が58.8%等となっている。

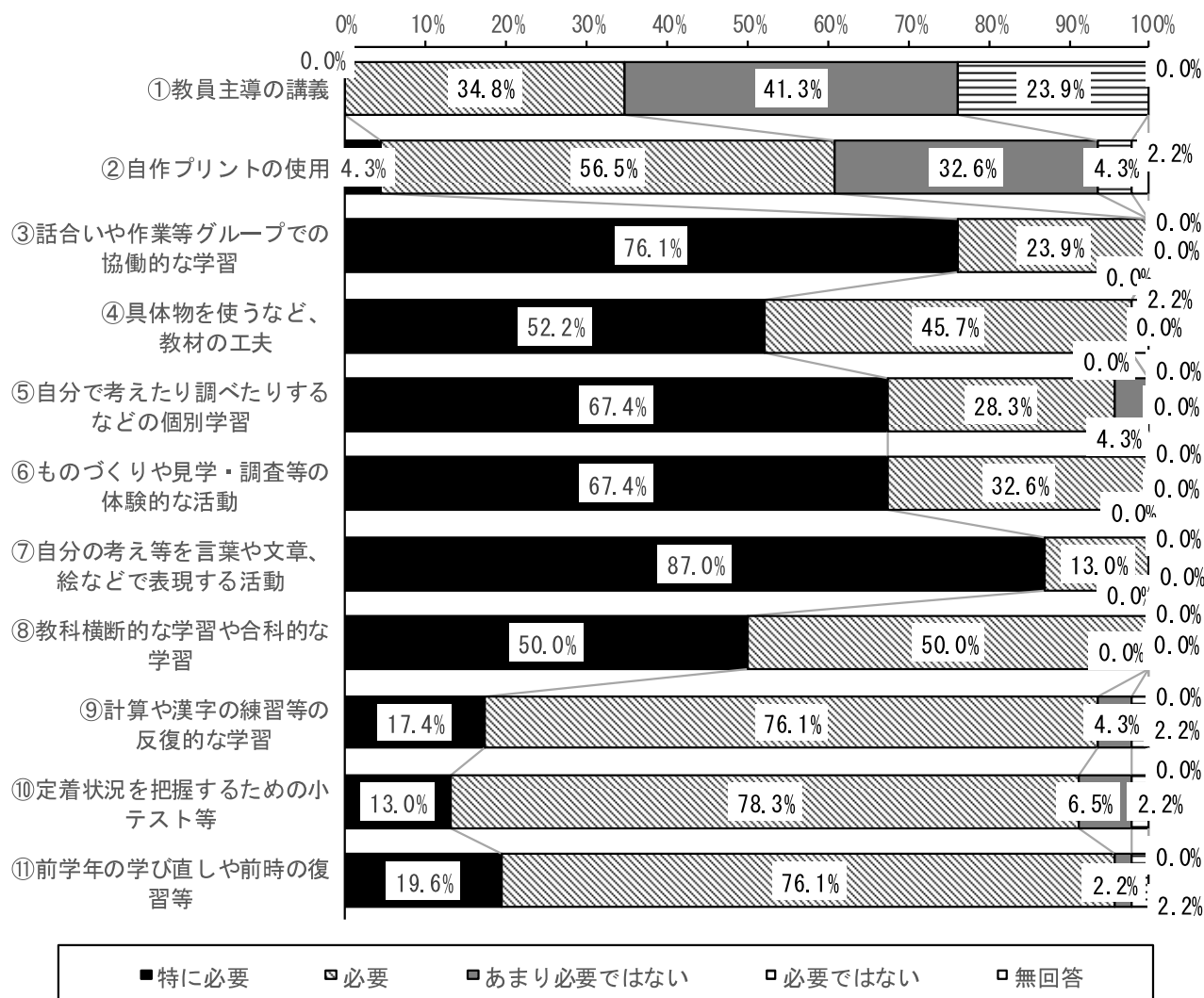
前回調査と比較すると、多少順位に違いがみられるものの、重視している項目は同じとなっている。



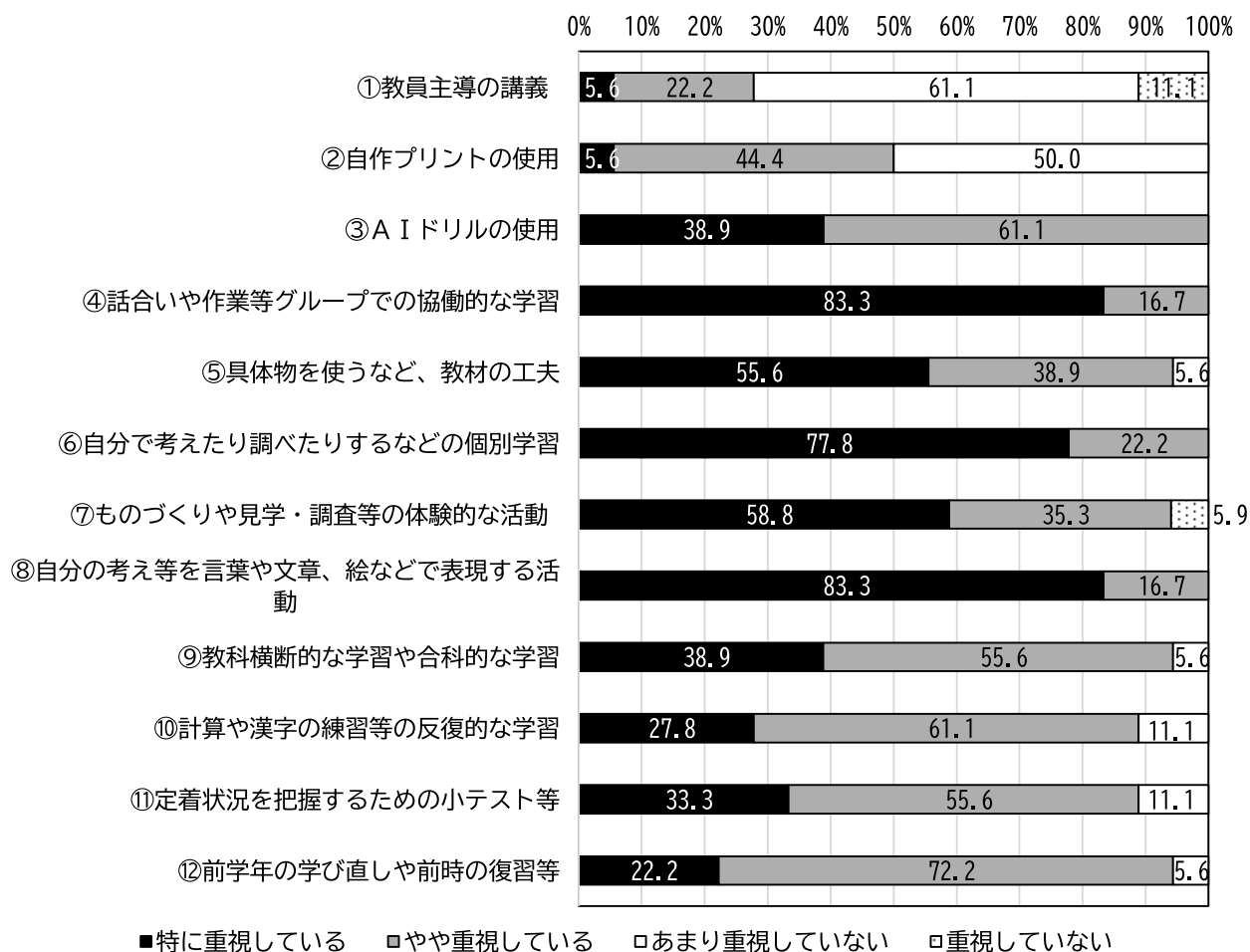
※ その他：特に重視している…問題解決学習（1件）

(前回の調査結果)

問29 現在、校内の教員が行っている学習方法や学習活動で、
今後重視する必要があると思うこと（小学校）

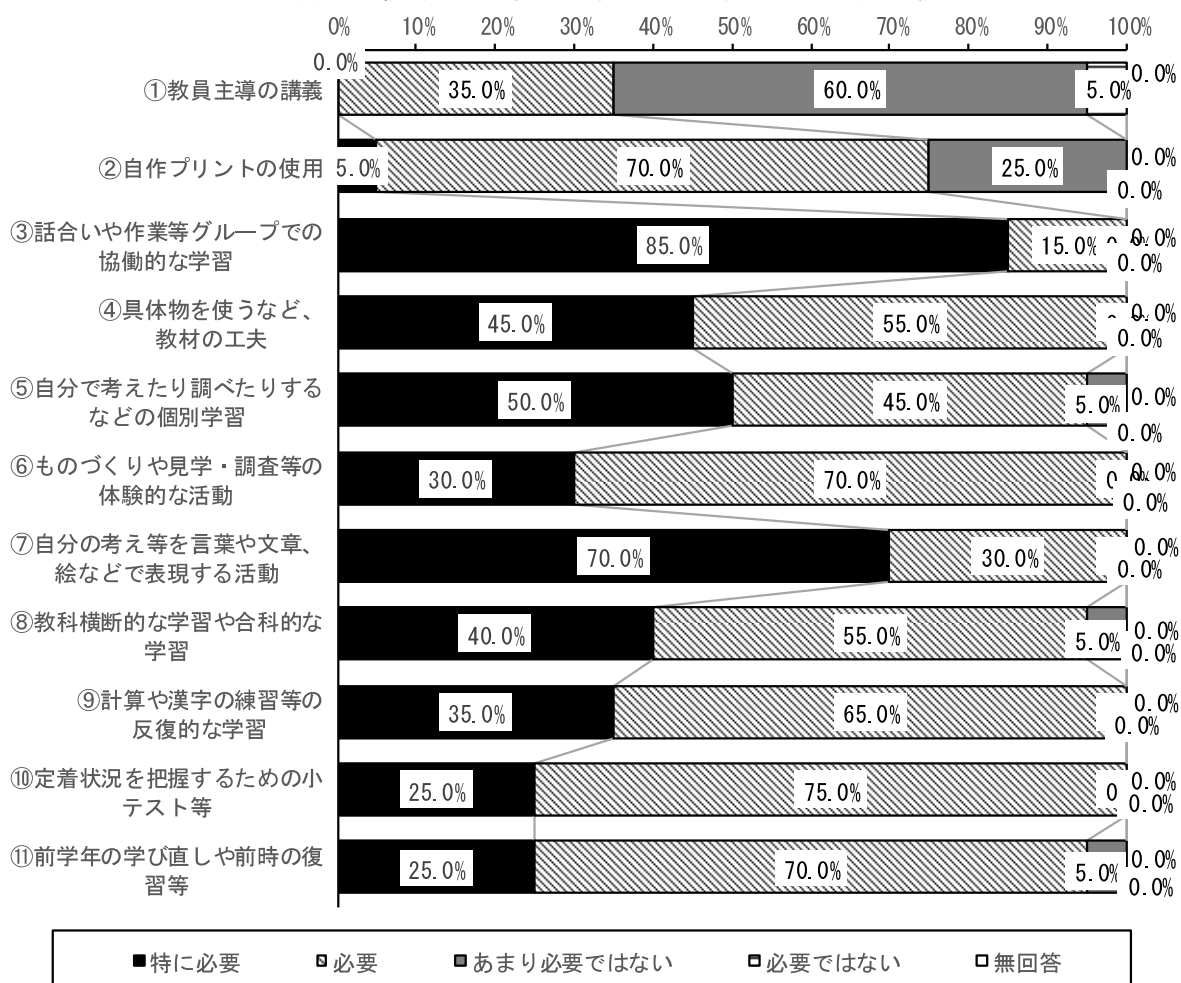


問29 校内の教員が行う学習方法や学習活動で今後重視する必要があると思うこと（中学校）



(前回の調査結果)

問29 現在、校内の教員が行っている学習方法や学習活動で、
今後重視する必要があると思うこと（中学校）

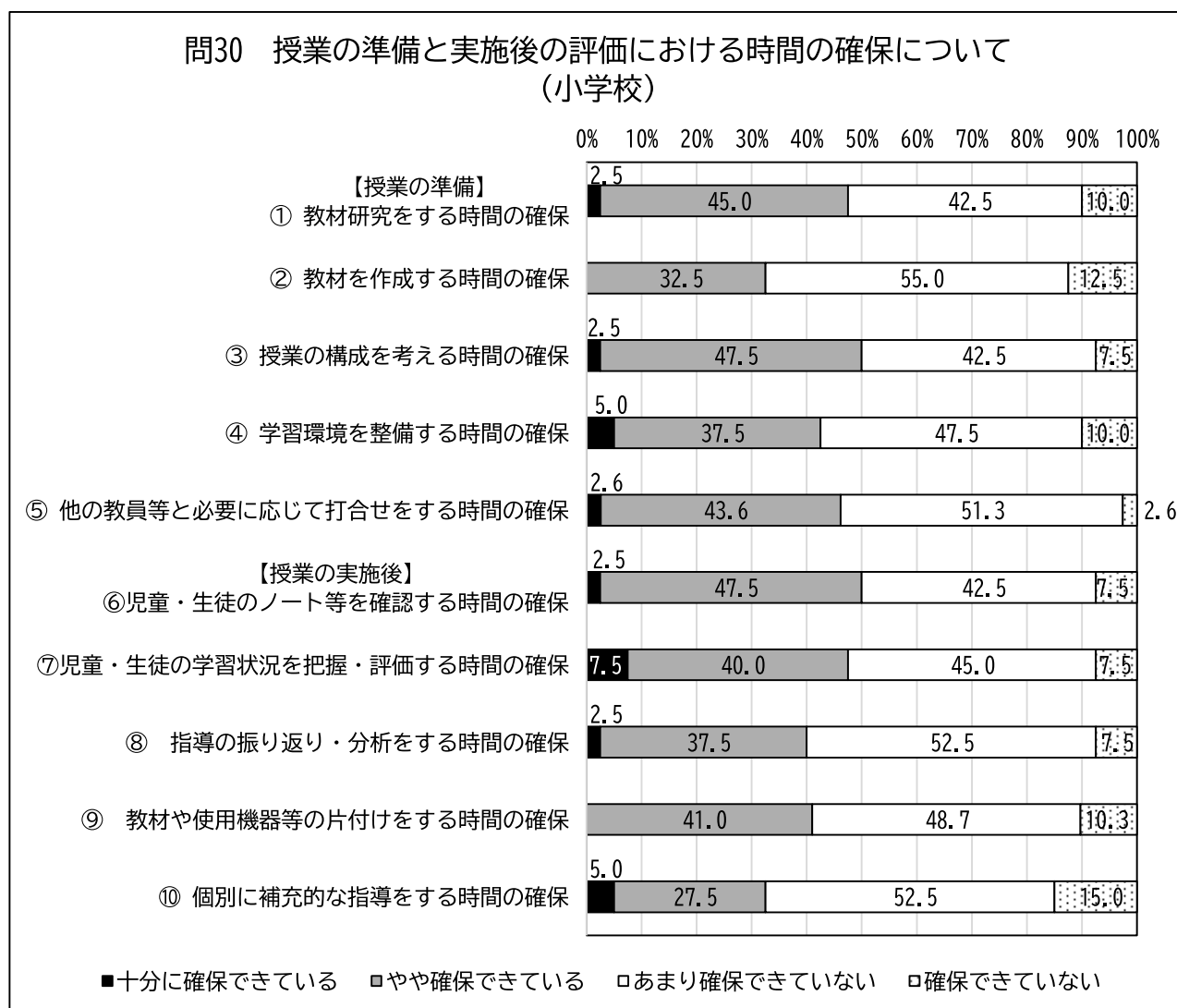


問 30 授業の準備と実施後の評価における時間の確保について（S A）

授業の準備と実施後の評価における時間の確保について、小学校で「あまり確保できていない」とする回答は「教材を作成する時間」が55.0%と最も高率で、次いで、「指導の振り返り・分析をする時間」と「個別に補充的な指導をする時間の確保」が52.5%、「他の教員と必要に応じて打合せをする時間の確保」が51.3%等となっている。

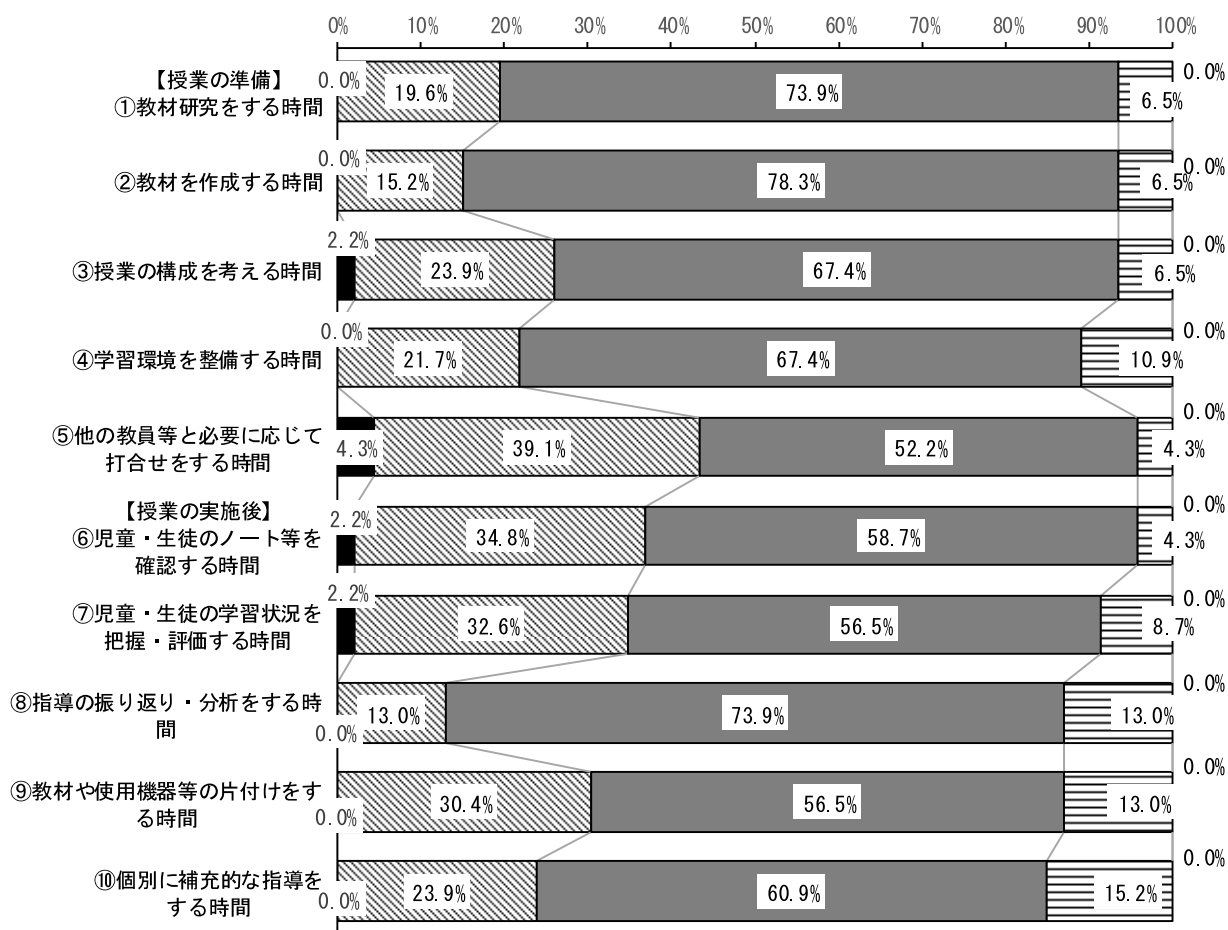
中学校で「あまり確保できていない」とする回答は「教材を作成する時間」が44.4%と最も高率で、次いで「教材研究をする時間の確保」と「学習環境を整備する時間の確保」、「指導の振り返り・分析をする時間の確保」が38.9%等となっている。

前回調査と比較すると、全体的に「やや確保できている」割合が各項目において20～30ポイント程度上昇していることが注目される。



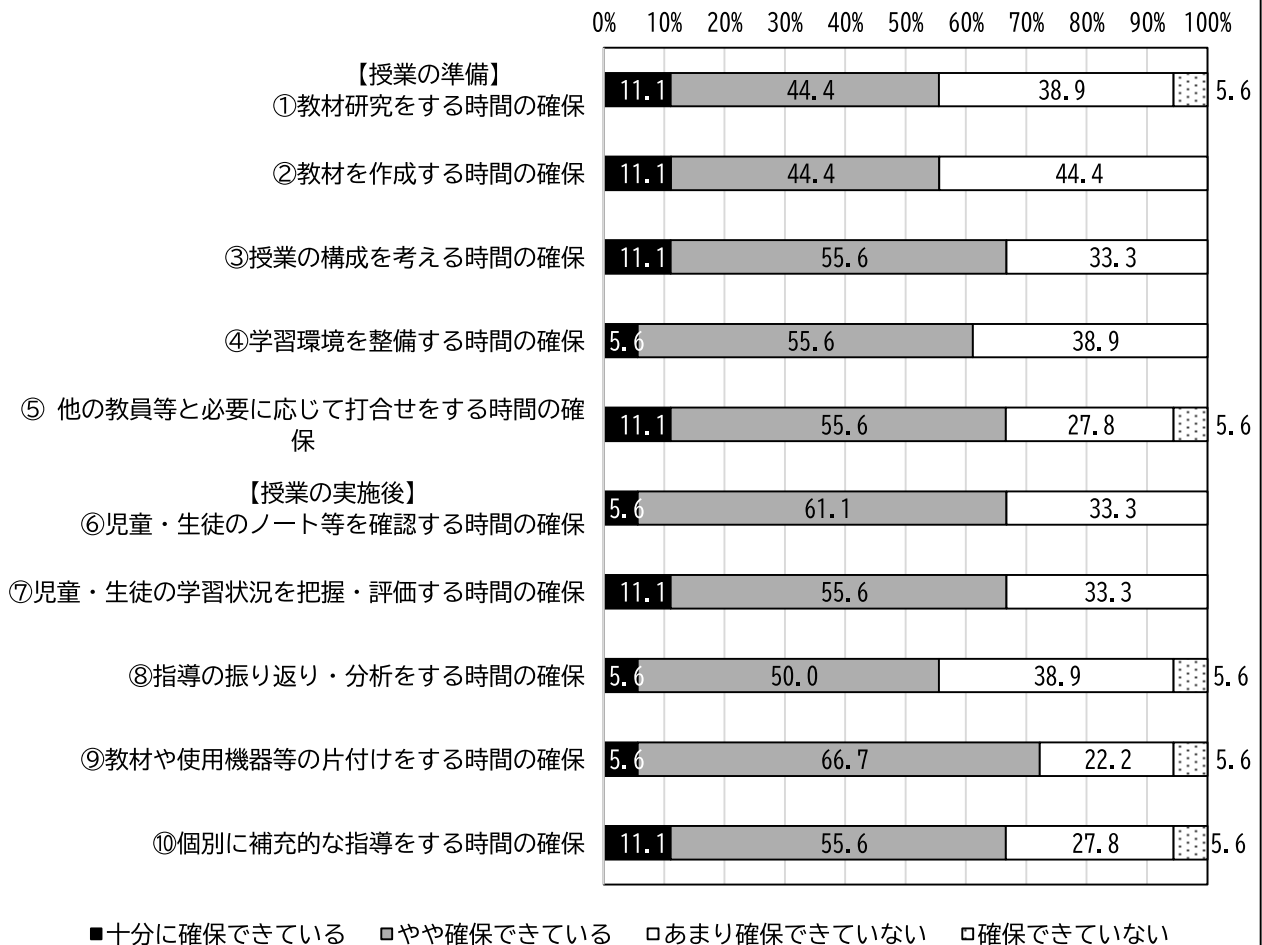
(前回の調査結果)

問31 授業の準備と実施後の評価における時間の確保について
(小学校)



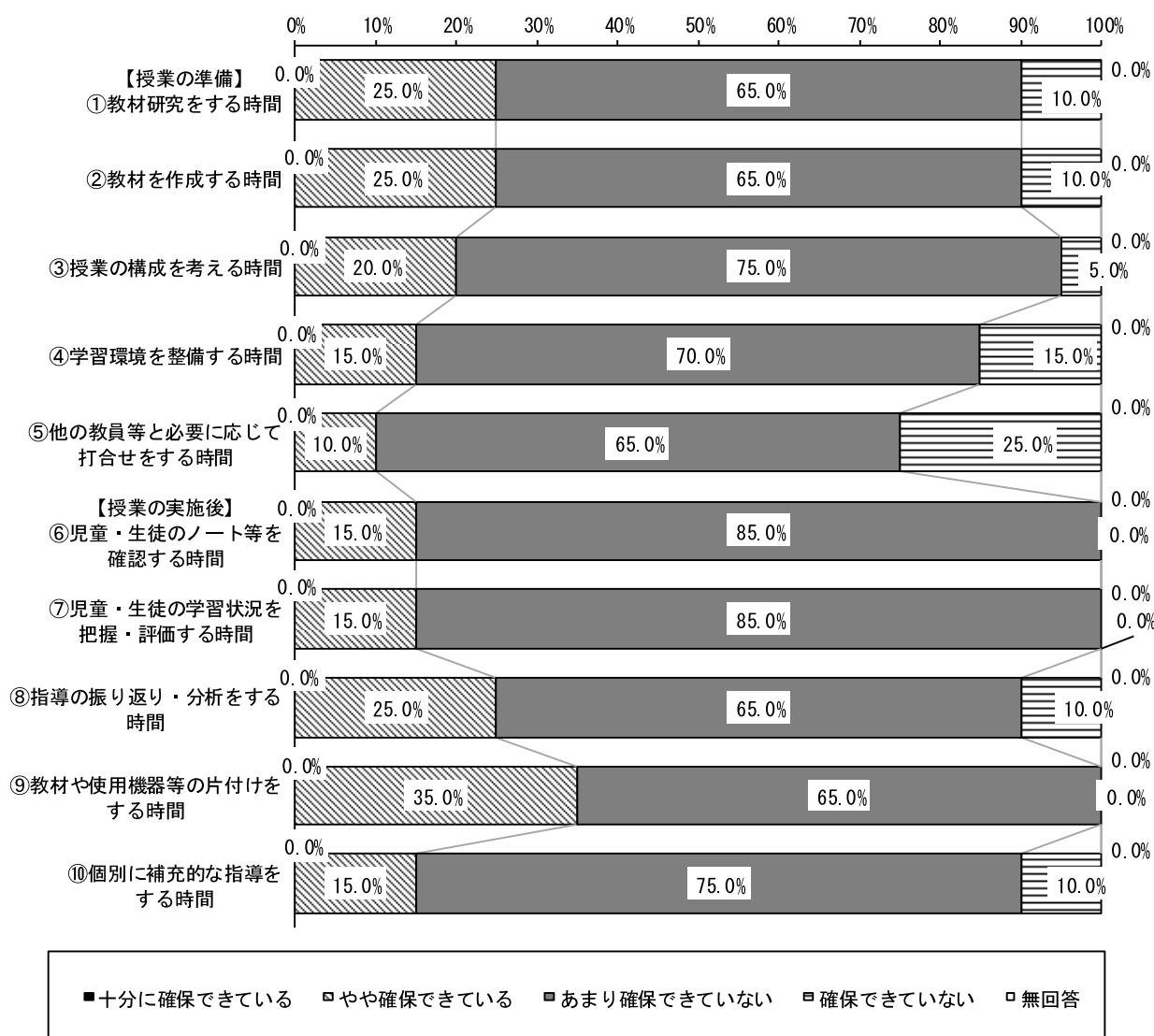
■十分に確保できている ■やや確保できている ■あまり確保できていない ■確保できていない □無回答

問30 授業の準備と実施後の評価における時間の確保について
(中学校)



(前回の調査結果)

問31 授業の準備と実施後の評価における時間の確保について
(中学校)

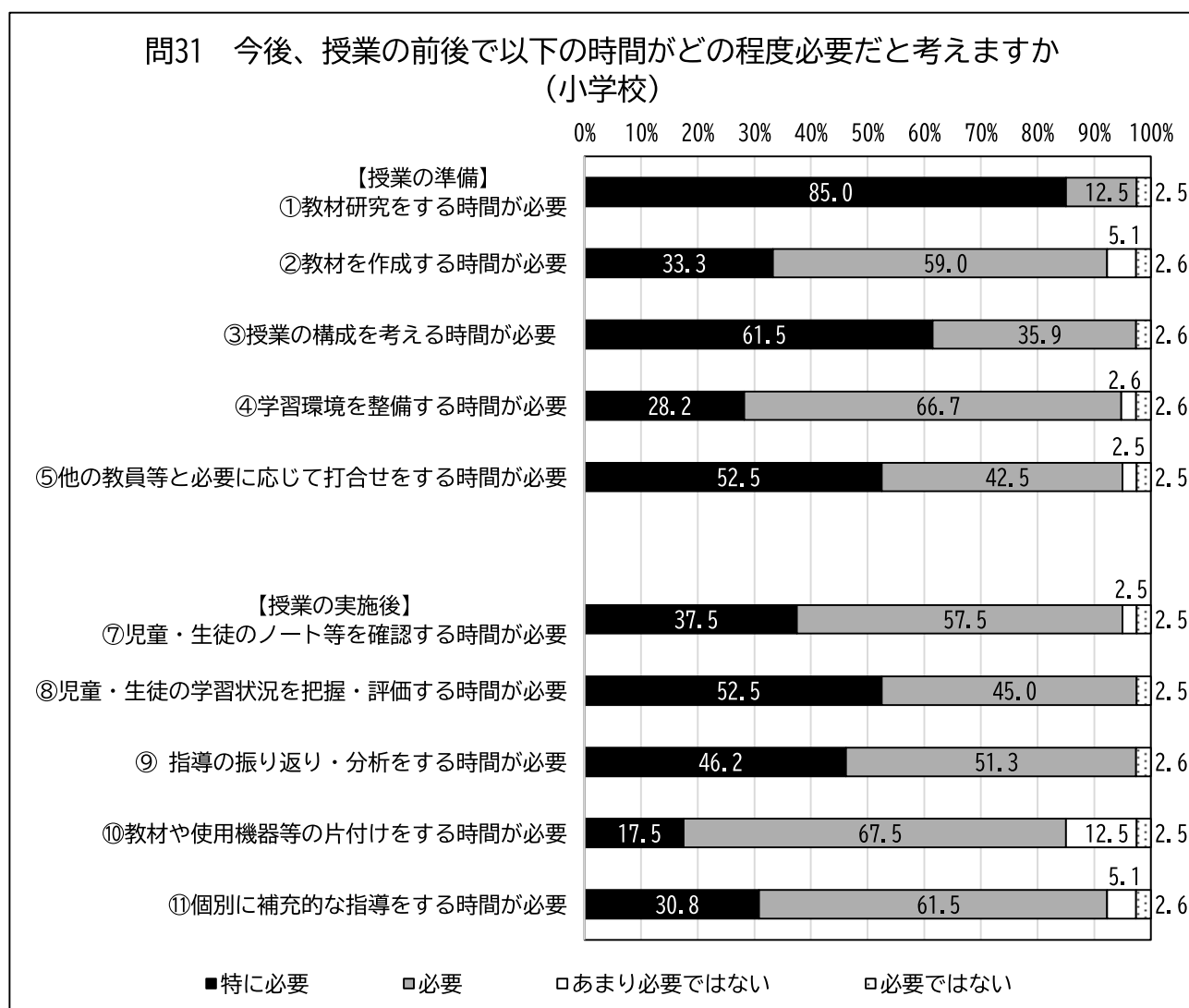


問 31 今後、授業の前後で以下の時間がどの程度必要だと考えるか（S A）

今後、授業の前後で以下の時間がどの程度必要かについて、小学校で「特に必要」とする回答は「教材を研究する時間」が 85.0%と最も高率で、次いで「授業の構成を考える時間」が 61.5%、「他の教員と必要に応じて打合せをする時間」と「児童・生徒の学習状況を把握・評価する時間」が 52.5%等となっている。

中学校で「特に必要」とする回答は「児童・生徒の学習状況を把握・評価する時間」と「指導の振り返り・分析をする時間」が 88.9%と最も高率で、次いで「教材研究をする時間」が 72.2%等となっている。

前回調査と比較すると、全体的に特に必要な項目に大きな変化はないが、小・中学校ともに「教材研究をする時間」の割合が小学校で 6.7 ポイント、中学校で 22.2 ポイント、また「他の教員と必要に応じて打合せをする時間」の割合が小学校で 4.7 ポイント、中学校で 11.1 ポイントと上昇している他、中学校において「個別に補充的な指導をする時間」の割合が 16.0 ポイント上昇していることが注目される。



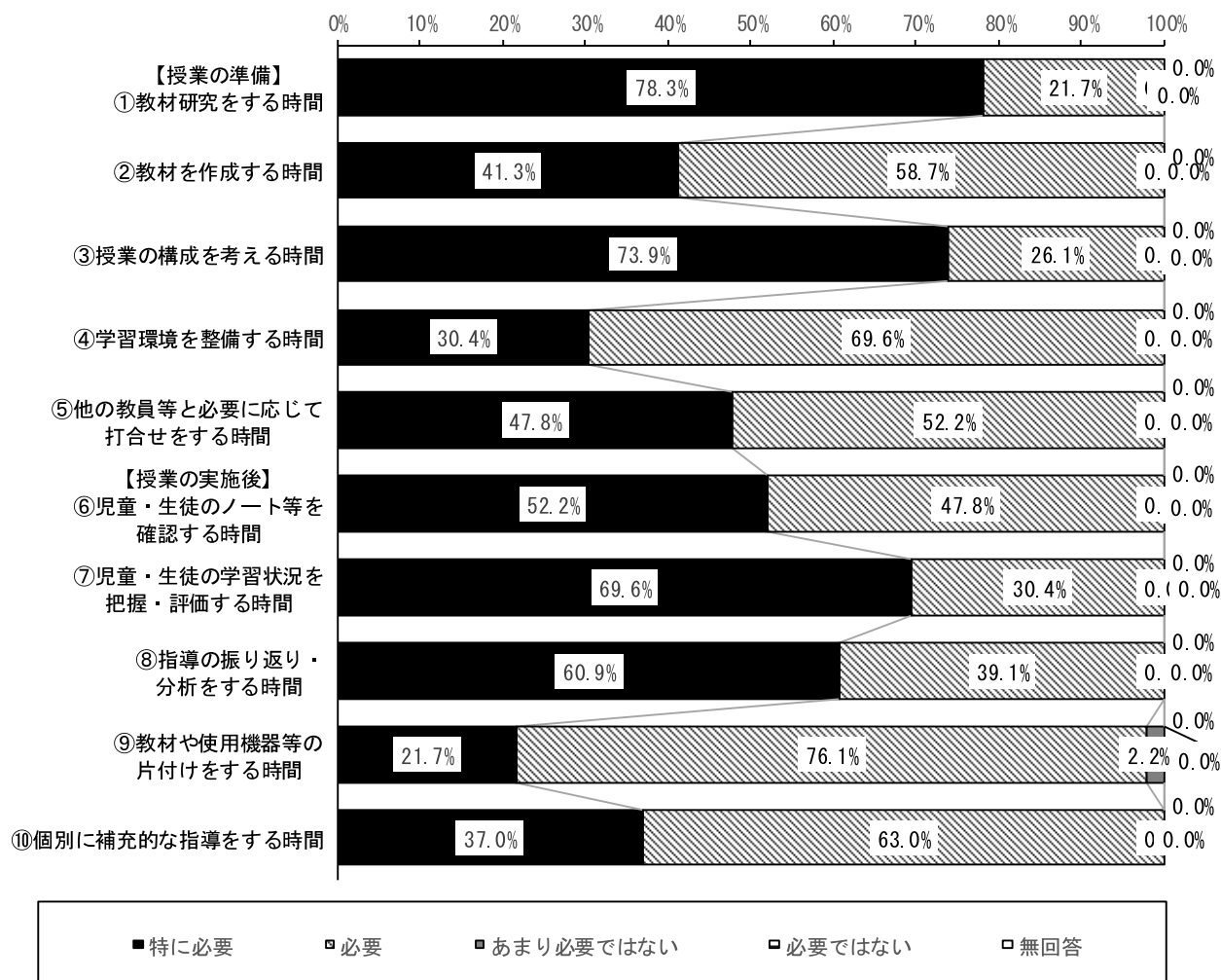
※ 授業の準備におけるその他の時間 : 特に必要…他の授業を見る等研修する時間 (1 件)、

必要…授業で使用する I C T の研修 (1 件)

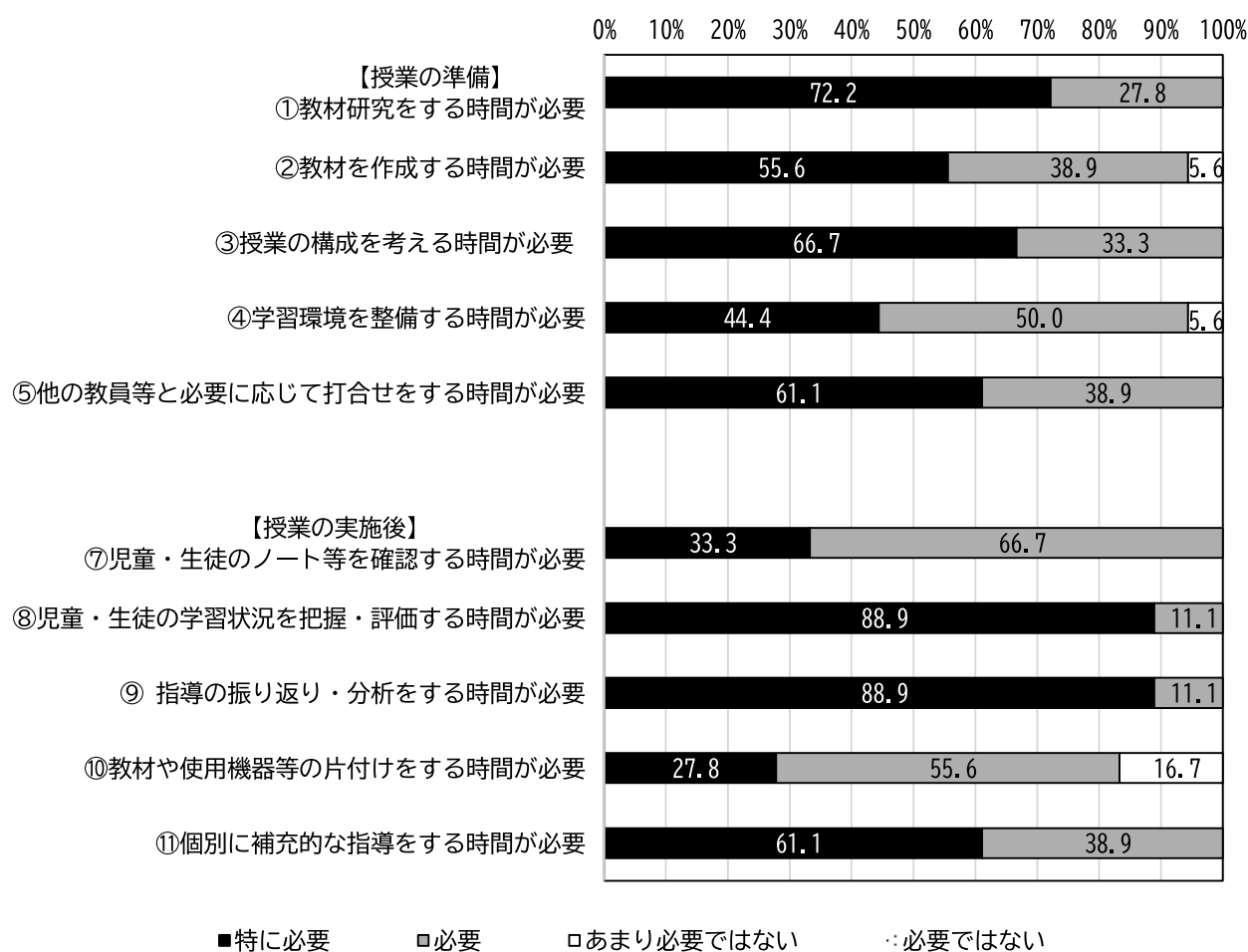
※ 授業の実施後におけるその他の時間 : 必要…授業で使用する I C T の研修 (1 件)

(前回の調査結果)

問32 今後、新学習指導要領の実施において、授業の前後で以下の時間がどの程度必要か (小学校)

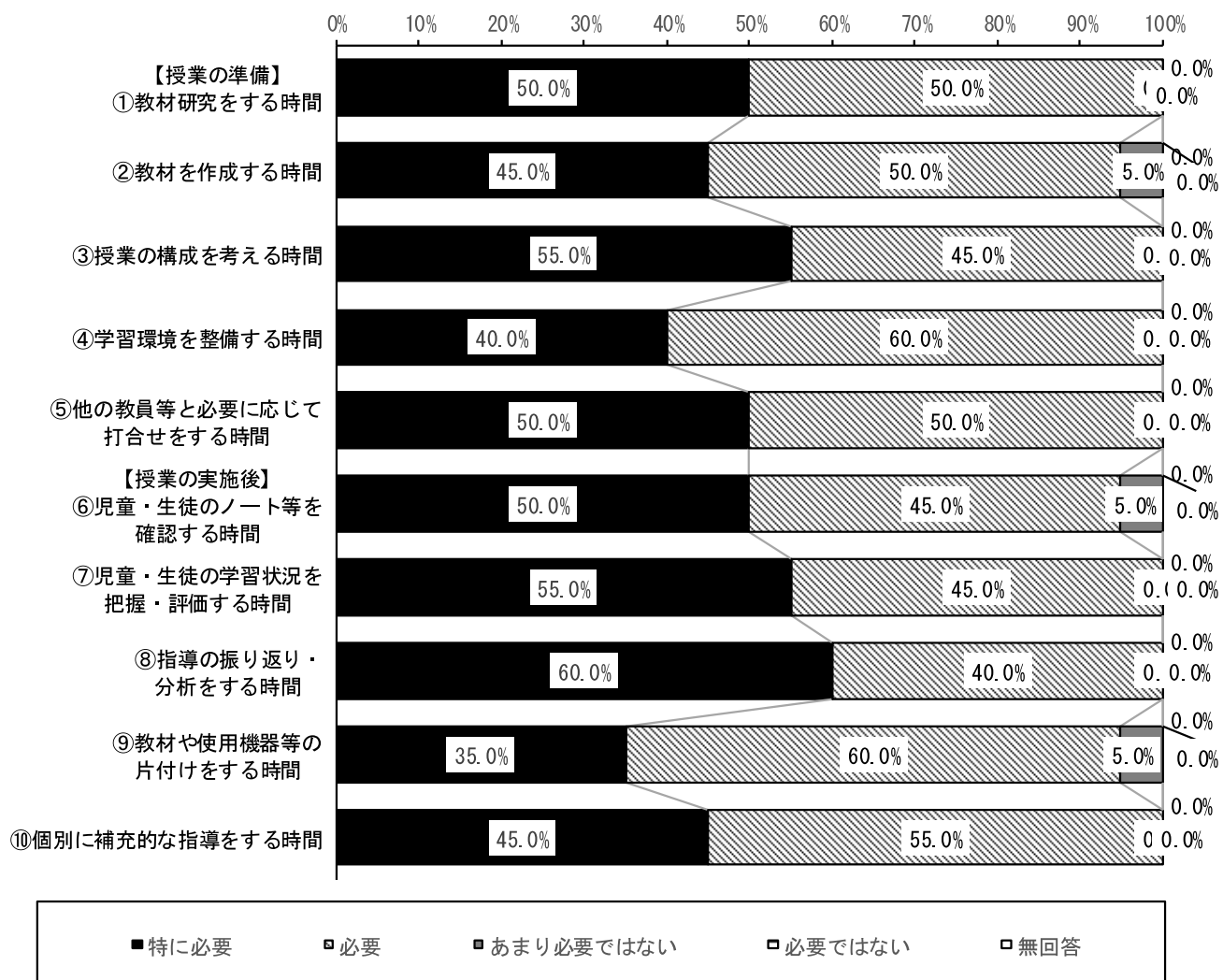


問31 今後、授業の前後で以下の時間がどの程度必要だと考えますか
(中学校)



(前回の調査結果)

問32 今後、新学習指導要領の実施において、授業の前後で以下の時間がどの程度必要か (中学校)

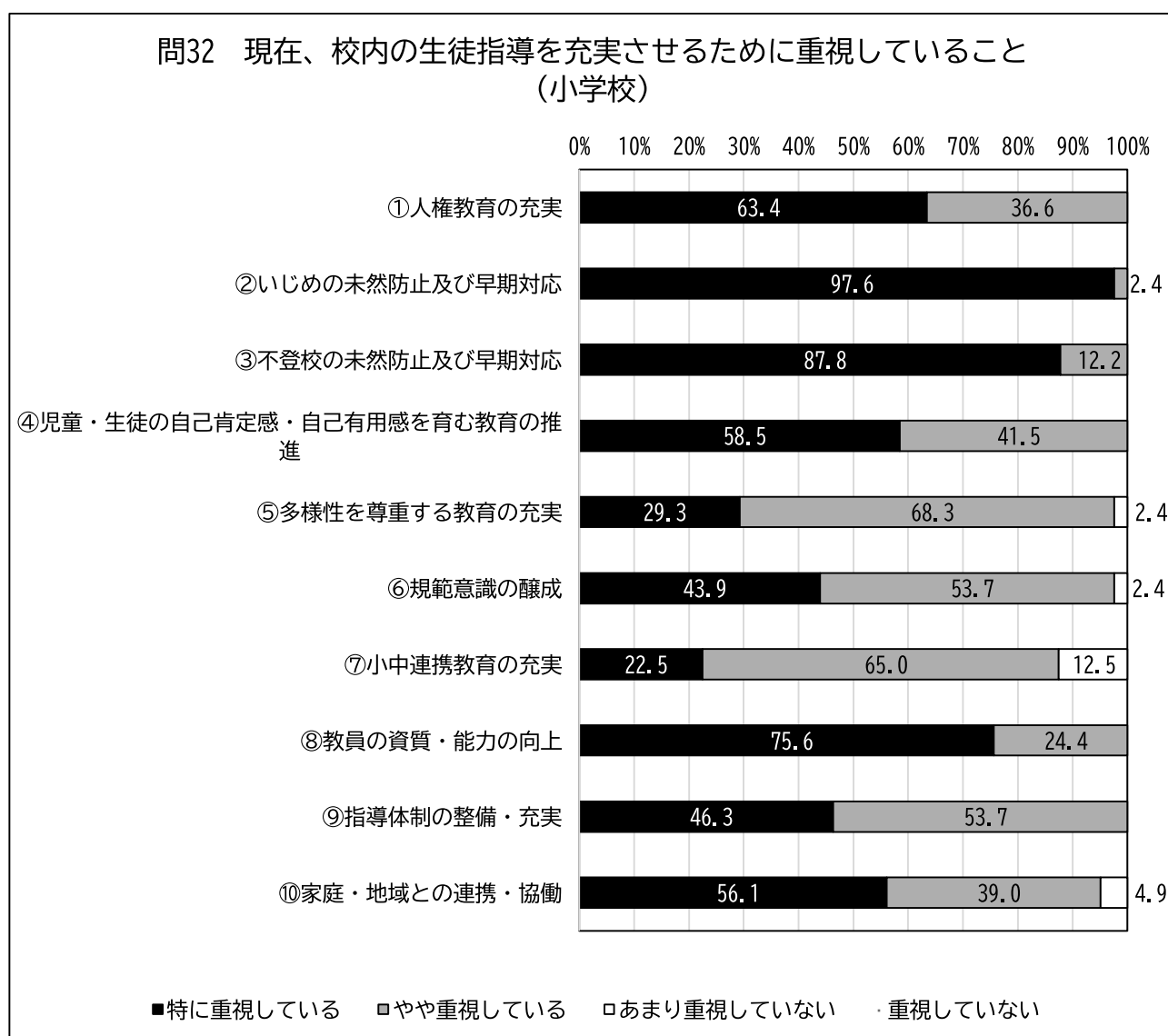


問 32 現在、校内の生徒指導を充実させるために重視していることについて（S A）

現在、校内の生徒指導を充実させるために重視していることについて、小学校で「特に重視している」とする回答は「いじめの未然防止及び早期対応」が97.6%と最も高率で、次いで「不登校の未然防止及び早期対応」が87.8%、「教員の資質・能力の向上」が75.6%等となっている。

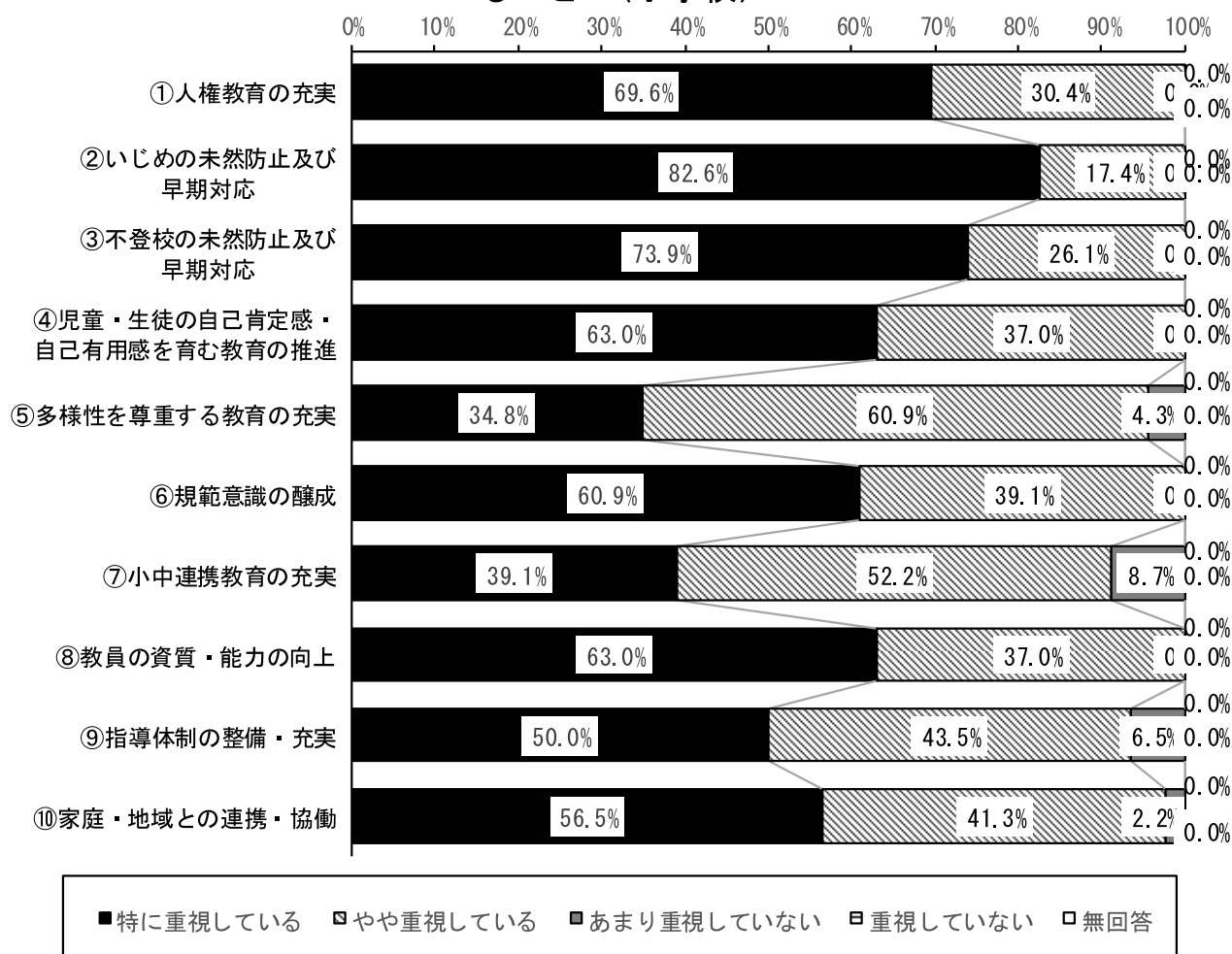
中学校で「特に重視している」とする回答は「いじめの未然防止及び早期対応」が100.0%と最も高率で、次いで「不登校の未然防止及び早期対応」が94.4%、「児童・生徒の自己肯定感・自己有用感を育む教育の推進」が88.9%等となっている。

前回調査と比較すると、小学校では「教員の資質・能力の向上」が12.6ポイント上昇したことが注目される。中学校でも「教員の資質・能力の向上」が21.1ポイント上昇している他、「児童・生徒の自己肯定感・自己有用感を育む教育の推進」が33.9ポイント上昇していることが注目される。

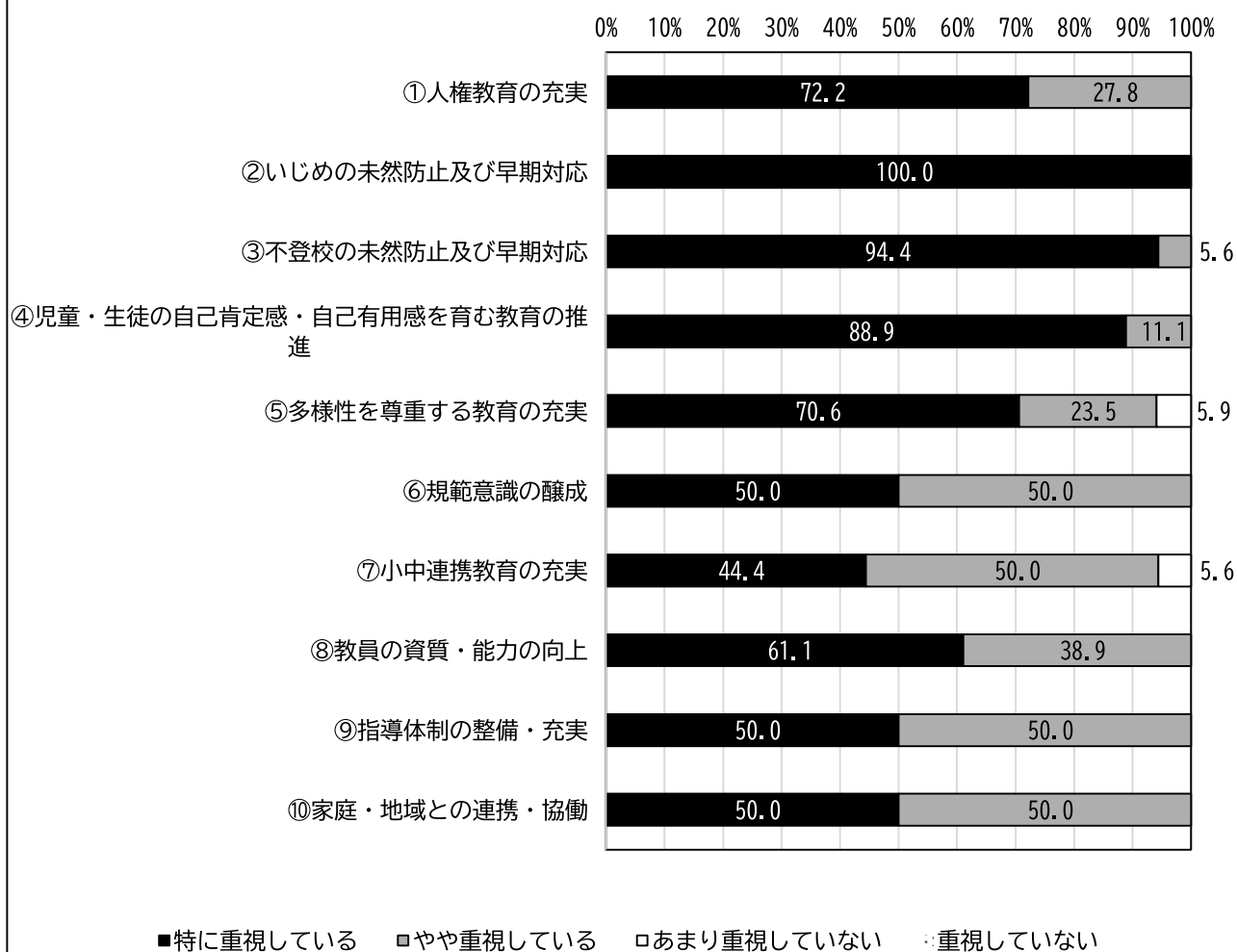


(前回の調査結果)

問33 現在、校内の生徒指導を充実させるために重視していること（小学校）

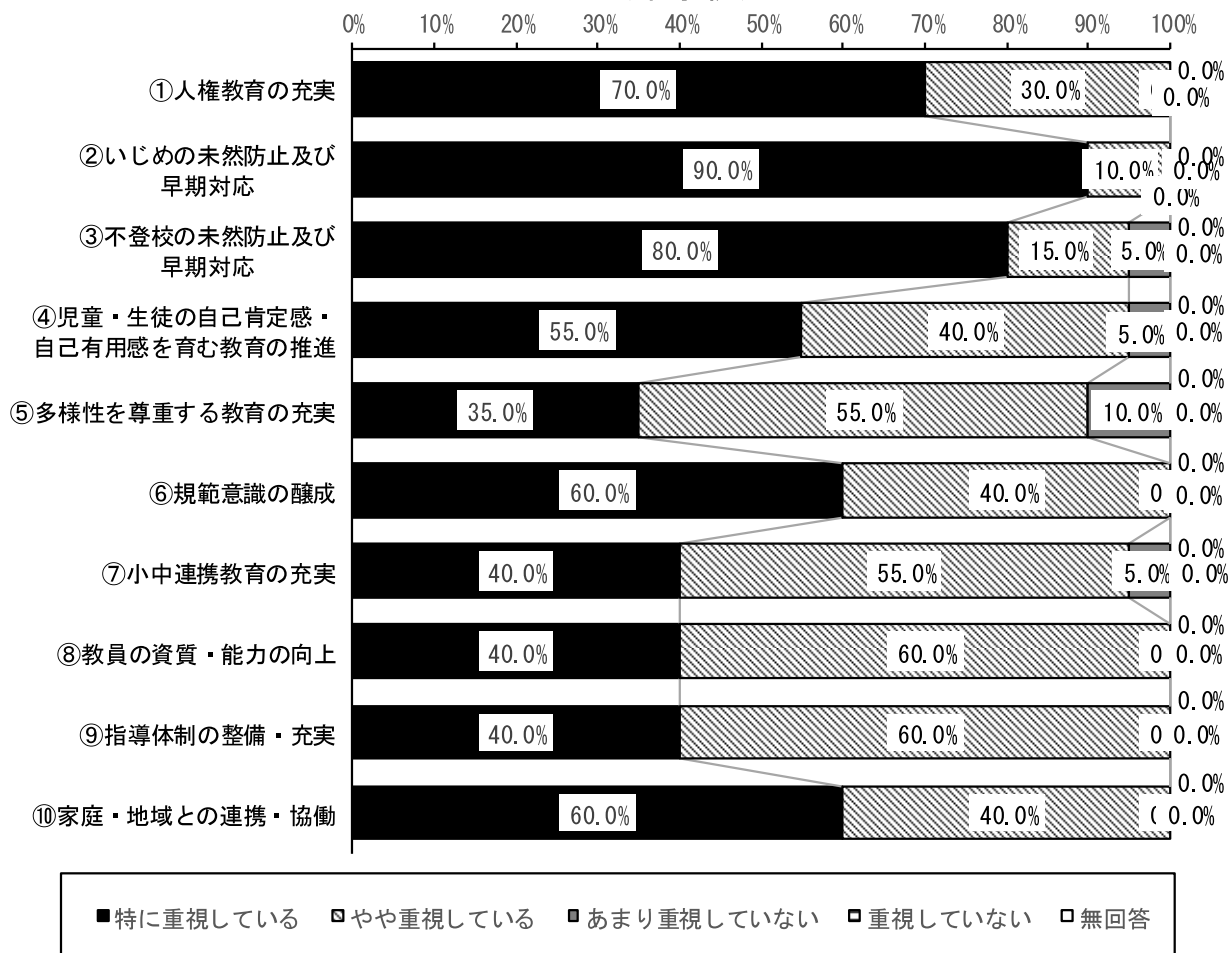


問32 現在、校内の生徒指導を充実させるために重視していること
(中学校)



(前回の調査結果)

問33 現在、校内の生徒指導を充実させるために重視していること（中学校）

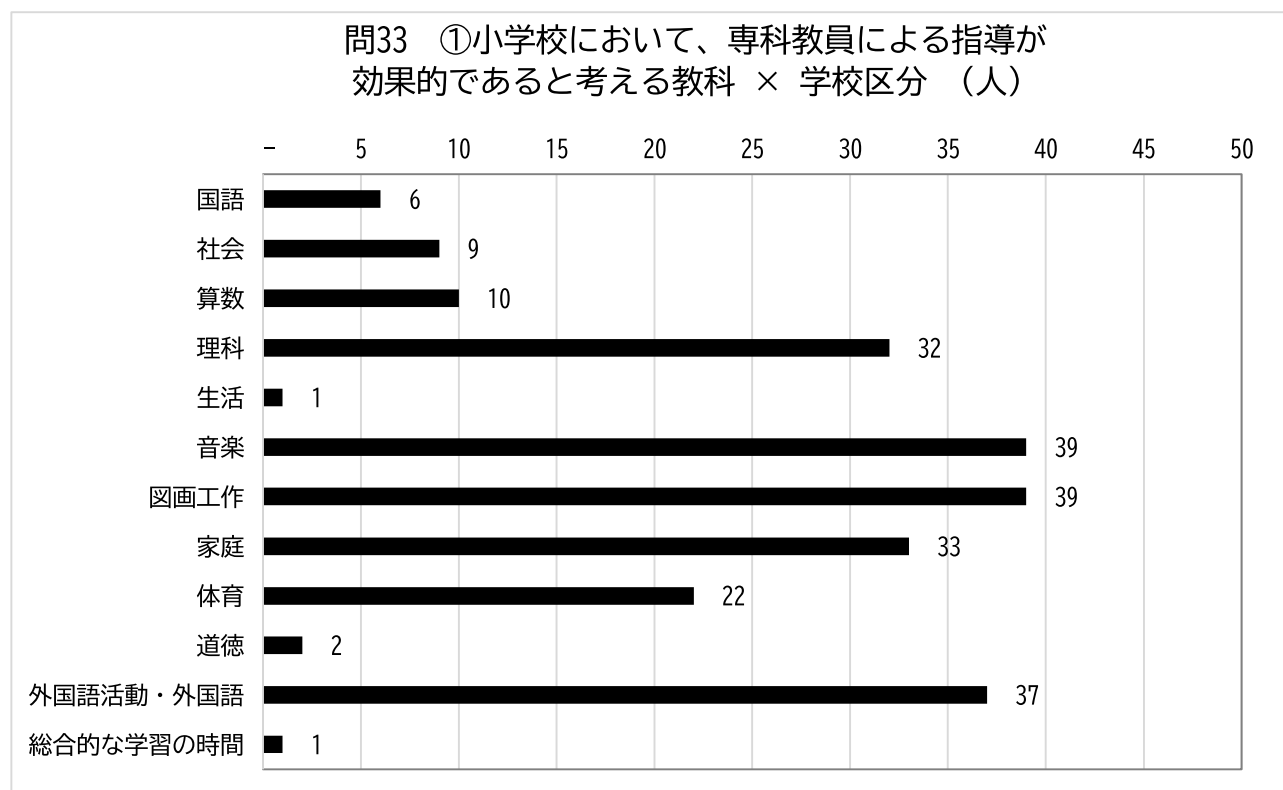


5 小学校における専科教員について

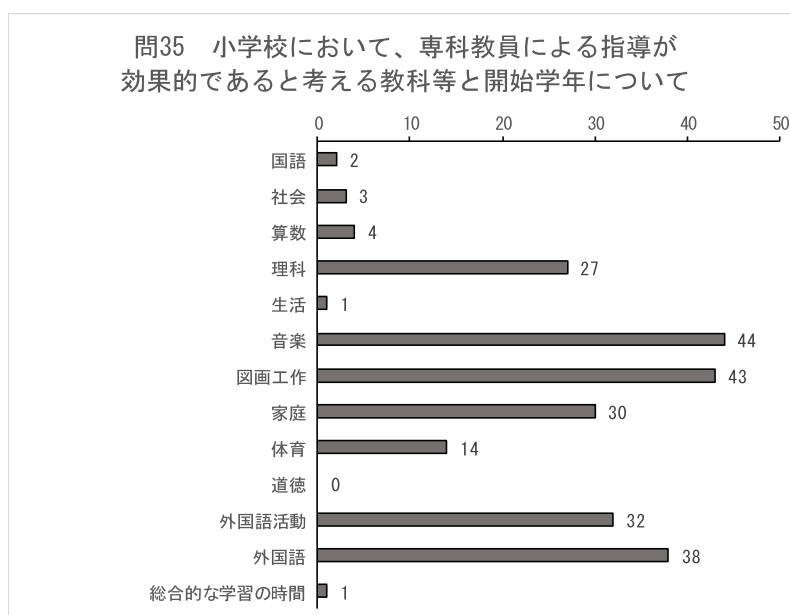
問 33 (小学校)専科教員による指導が効果的であるとする教科等と開始学年について (MA)

回答者の41人中「音楽」と「図画工作」が39人、「外国語活動・外国語」37人「理科」が32人等となっている。

前回調査と比較すると、おおむね回答は同じ傾向にある。



(前回の調査結果)



問33 ②-1 国語の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-1 国語の開始学年			
		合計	3	4	5以上
学校区分	全体	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3
	小学校	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3
	中学校	-	-	-	-

問33 ②-2 社会の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-2 社会の開始学年			
		合計	3	4	5以上
学校区分	全体	9 100.0	4 44.4	1 11.1	4 44.4
	小学校	9 100.0	4 44.4	1 11.1	4 44.4
	中学校	-	-	-	-

問33 ②-3 算数の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-3 算数の開始学年				
		合計	1	2	3	4 5以上
学校区分	全体	10 100.0	3 30.0	-	6 60.0	1 10.0
	小学校	10 100.0	3 30.0	-	6 60.0	1 10.0
	中学校	-	-	-	-	-

問33 ②-4 理科の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-4 理科の開始学年			
		合計	3	4	5以上
学校区分	全体	32 100.0	16 50.0	5 15.6	11 34.4
	小学校	32 100.0	16 50.0	5 15.6	11 34.4
	中学校	-	-	-	-

問33 ②-5 生活の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-5 生活の開始学年		
		合計	0	2
学校区分	全体	1 100.0	-	1 100.0
	小学校	1 100.0	-	1 100.0
	中学校	-	-	-

問33 ②-6 音楽の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-6 音楽の開始学年			
		合計	1	2	3以上
学校区分	全体	39 100.0	31 79.5	1 2.6	7 17.9
	小学校	39 100.0	31 79.5	1 2.6	7 17.9
	中学校	-	-	-	-

問33 ②-7 図画工作の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-7 図画工作の開始学年			
		合計	1	2	3以上
学校区分	全体	39 100.0	28 71.8	1 2.6	10 25.6
	小学校	39 100.0	28 71.8	1 2.6	10 25.6
	中学校	-	-	-	-

問33 ②-8 家庭の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-8 家庭の開始学年				
		合計	2	3	4	5 6以上
学校区分	全体	33 100.0	1 3.0	-	-	31 93.9
	小学校	33 100.0	1 3.0	-	-	31 93.9
	中学校	-	-	-	-	-

問33 ②-9 体育の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-9 体育の開始学年				
		合計	1	2	3	4 5以上
学校区分	全体	22 100.0	5 22.7	-	8 36.4	5 22.7
	小学校	22 100.0	5 22.7	-	8 36.4	5 22.7
	中学校	-	-	-	-	-

問33 ②-10 道德の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-10 道德の開始学年			
		合計	0～1	2～3	4以上
学校区分	全体	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0
	小学校	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0
	中学校	-	-	-	-

問33 ②-11 外国語活動・外国語の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-11 外国語活動・外国語の開始学年				
		合計	1	2	3	4 5以上
学校区分	全体	37 100.0	13 35.1	-	22 59.5	1 2.7
	小学校	37 100.0	13 35.1	-	22 59.5	1 2.7
	中学校	-	-	-	-	-

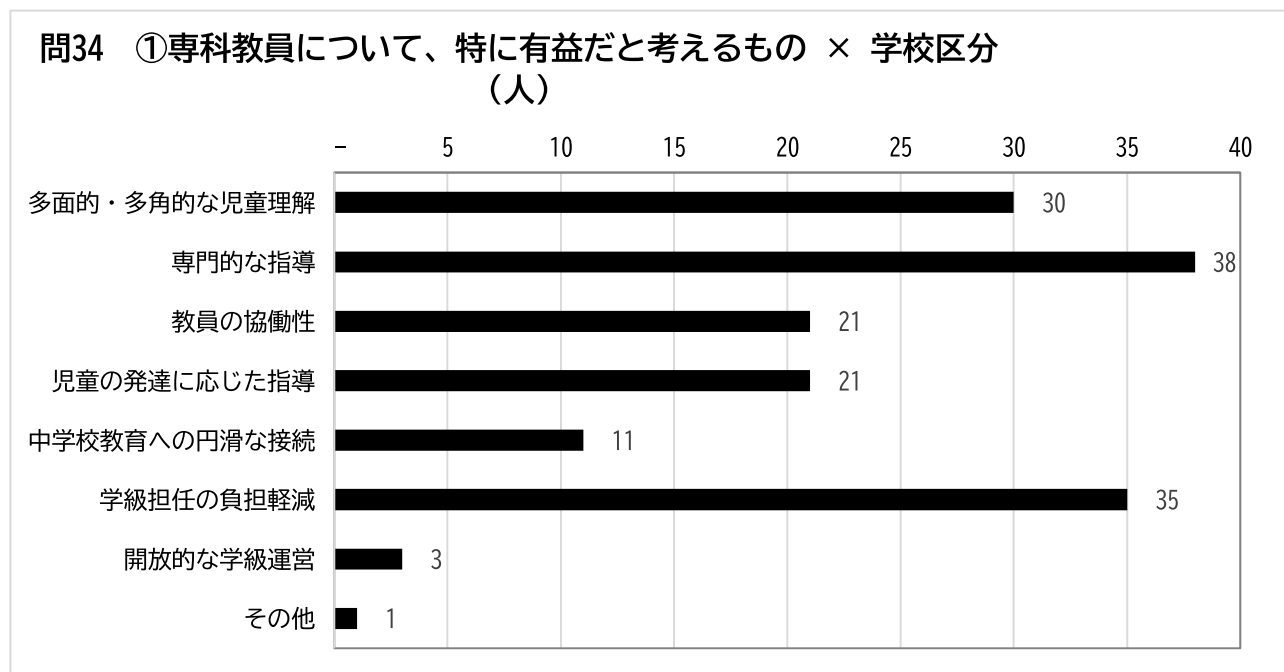
問33 ②-12 総合的な学習の時間の開始学年 × 学校区分

上段:度数 下段:%		問33 ②-12 総合的な学習の時間の開始		
		合計	0	3
学校区分	全体	1 100.0	-	1 100.0
	小学校	1 100.0	-	1 100.0
	中学校	-	-	-

問 34 （小学校）専科教員について、特に有益だと考えるものについて（MA）

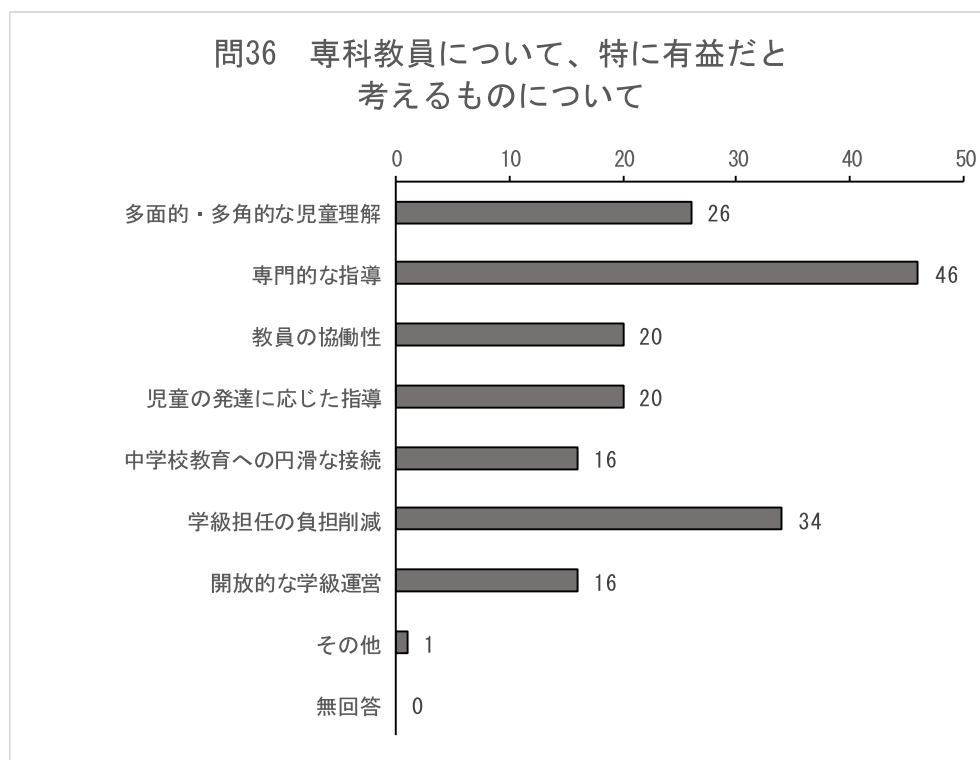
回答者の 40 人中「専門的な指導」（38 人）とする回答が最も多く、次いで「学級担任の負担軽減」が 35 人、「多面的・多角的な児童理解」が 30 人等となっている。

前回調査と比較すると、全体的な傾向は変わらない。



※ その他：一貫した指導（1 件）

（前回の調査結果）



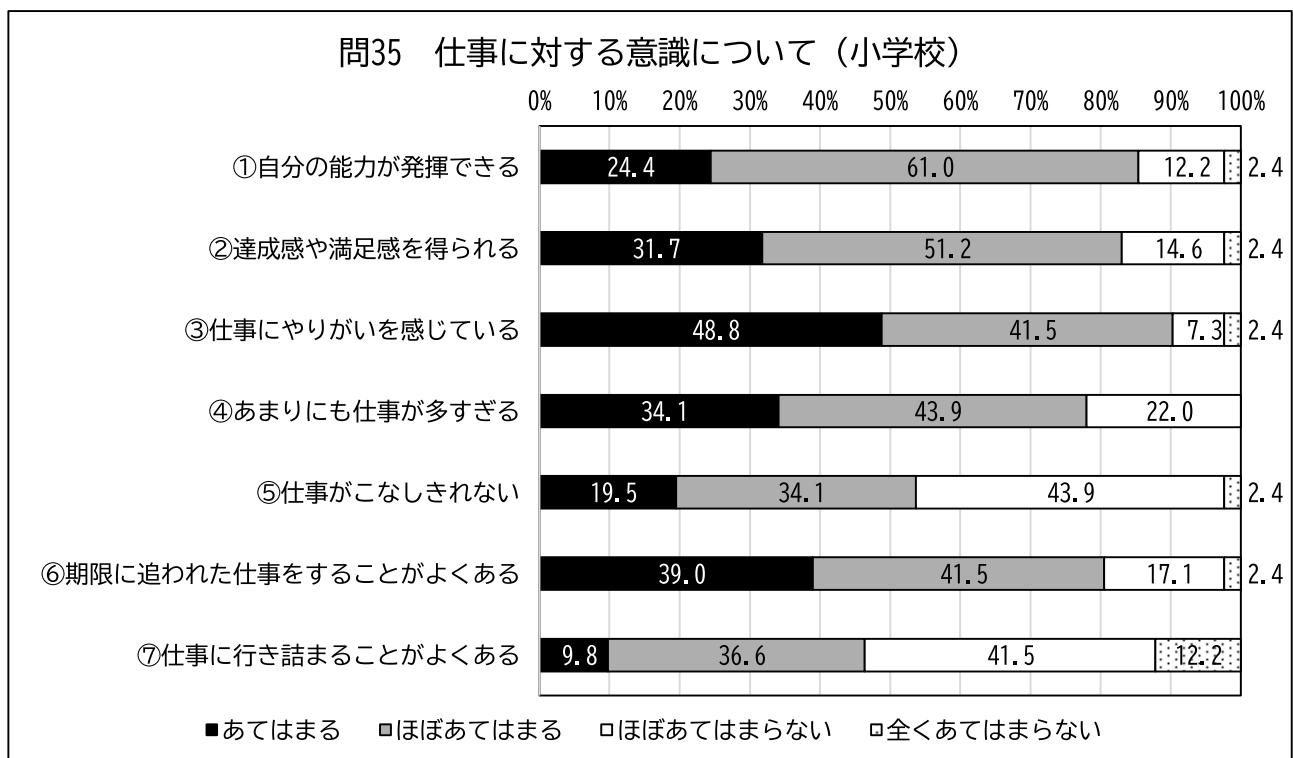
6 仕事に対する意識について

問35 仕事に対する意識について（SA）

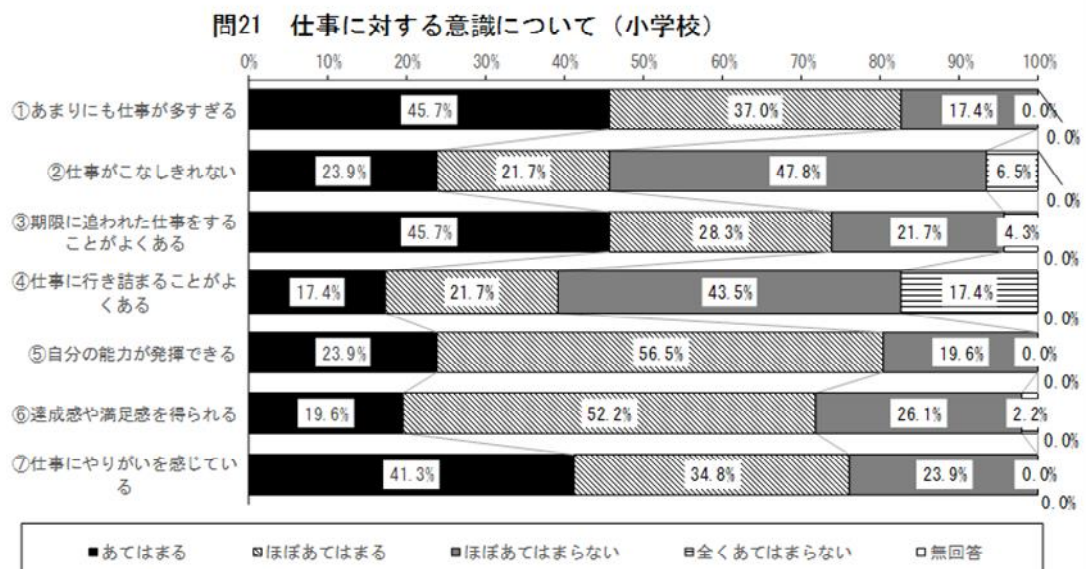
仕事に対する意識について、小学校で「あてはまる」とする回答は「仕事にやりがいを感じている」が48.8%と最も高率で、次いで「期限に追われた仕事をするのがよくある」が39.0%、「あまりにも仕事が多すぎる」が34.1%等となっている。

中学校で「あてはまる」とする回答は「あまりにも仕事が多すぎる」と「期限に追われた仕事をするのがよくある」が44.4%と最も高率で、次いで「自分の能力が発揮できる」と「仕事にやりがいを感じている」が38.9%等となっている。

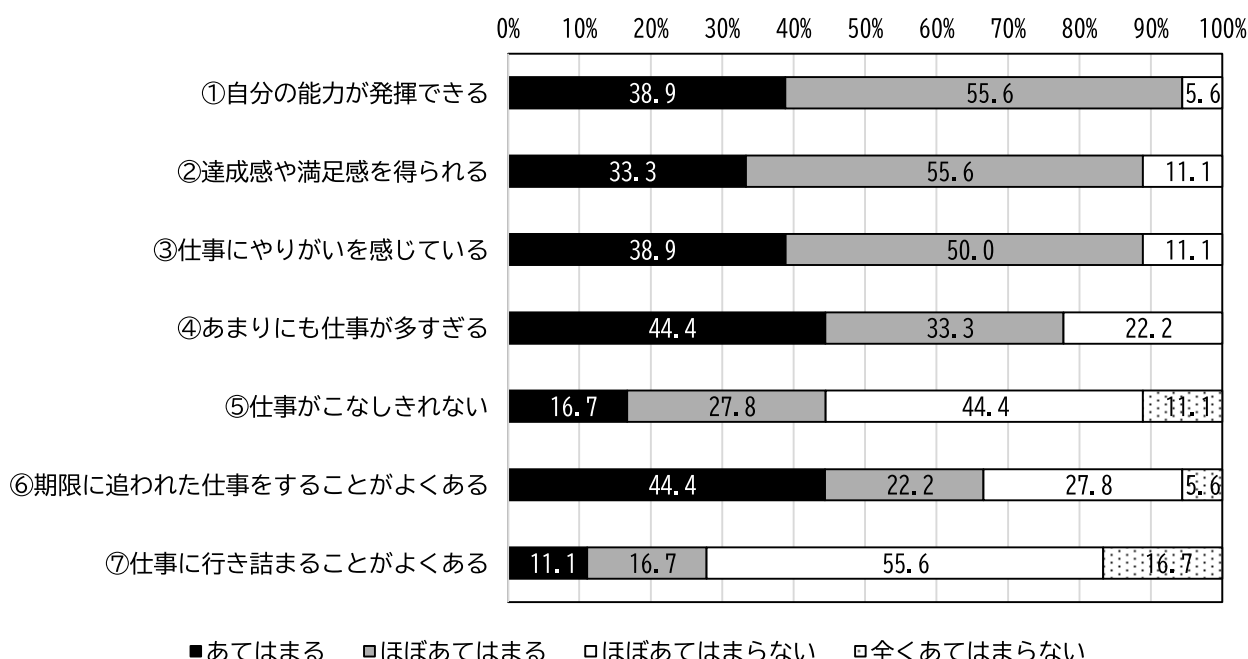
前回調査と比較すると、全体的に「あてはまる・ほぼあてはまる」を併せると「自分の能力が発揮できる」や「仕事にやりがいを感じている」、「達成感や満足感が得られる」などの肯定的な回答の割合が各項目において10～20ポイント程度上昇していることが注目される。



（前回の調査結果）

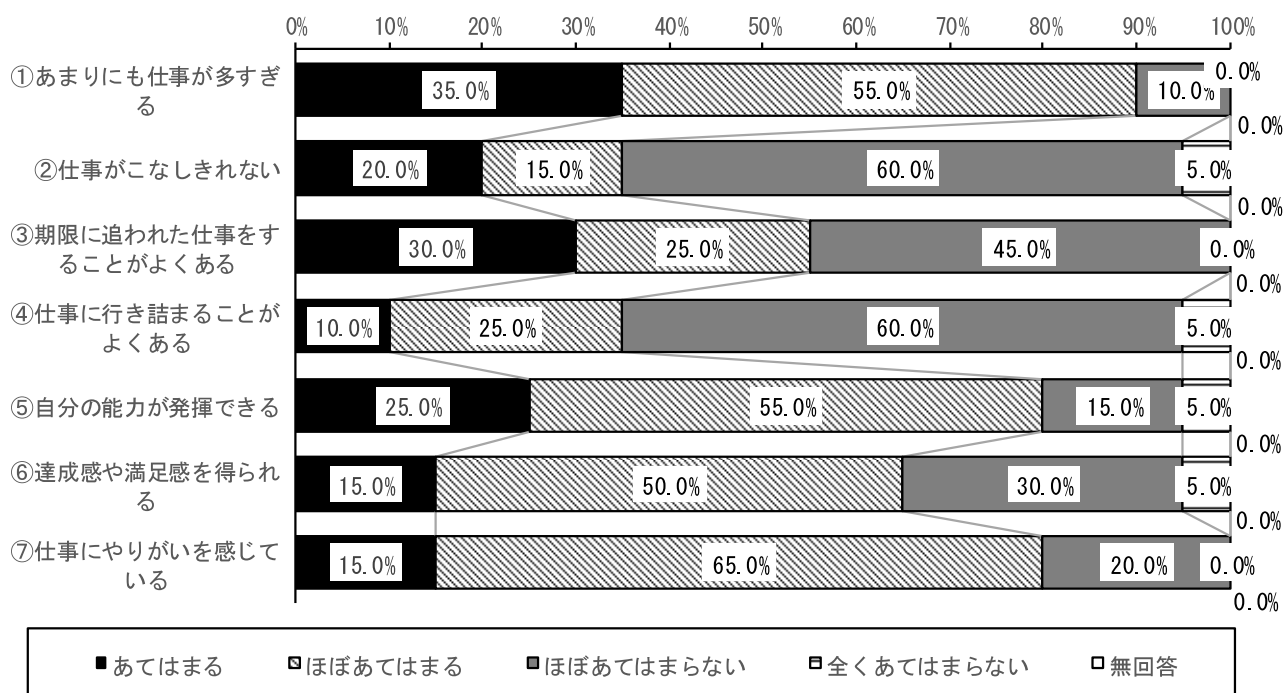


問35 仕事に対する意識について（中学校）



（前回の調査結果）

問21 仕事に対する意識について（中学校）

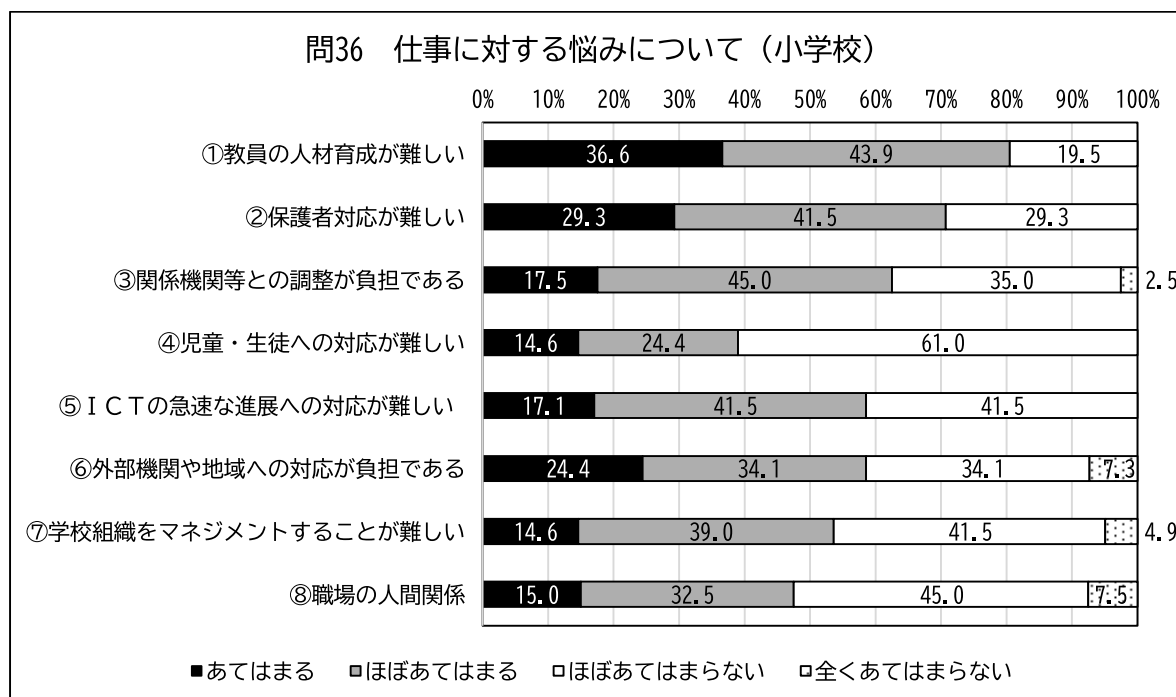


問 36 仕事に関する悩みについて（SA）

仕事に関する悩みについて、小学校で「あてはまる」とする回答は「教員の人材育成が難しい」が36.6%と最も高率で、次いで「保護者対応が難しい」が29.3%、「外部機関や地域への対応が負担である」が24.4%等となっている。

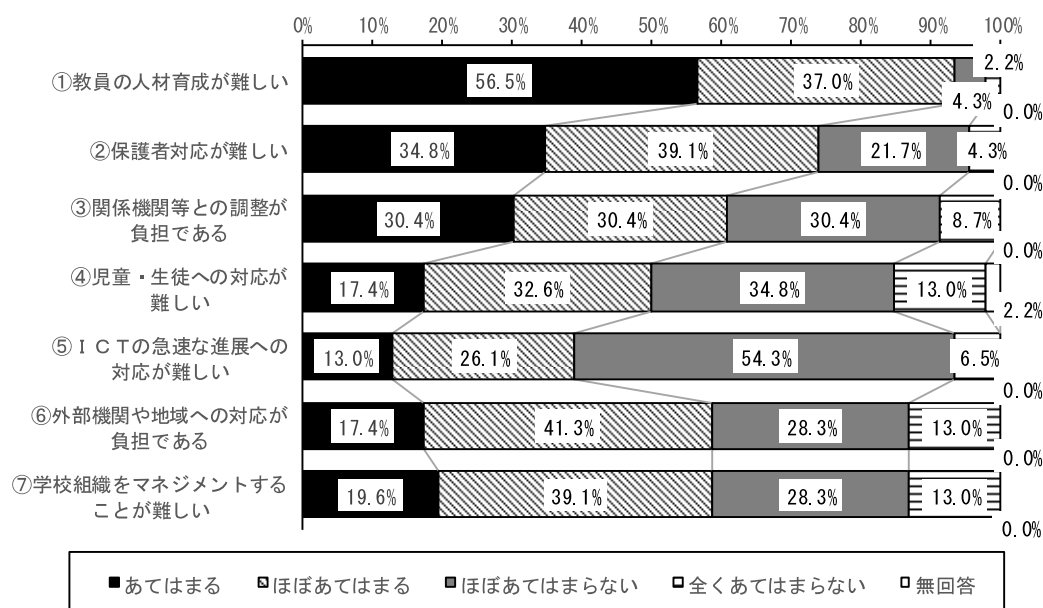
中学校で「あてはまる」とする回答は「教員の人材育成が難しい」が33.3%と最も高率であり、次いで「ICTの急速な進展への対応が難しい」と「外部機関や地域への対応が負担である」が27.8%、「保護者対応が難しい」が22.2%等となっている。

前回調査と比較すると、全体的な傾向は変わらないが、小・中学校ともに「外部機関や地域への対応が負担である」が上昇していることが注目される。

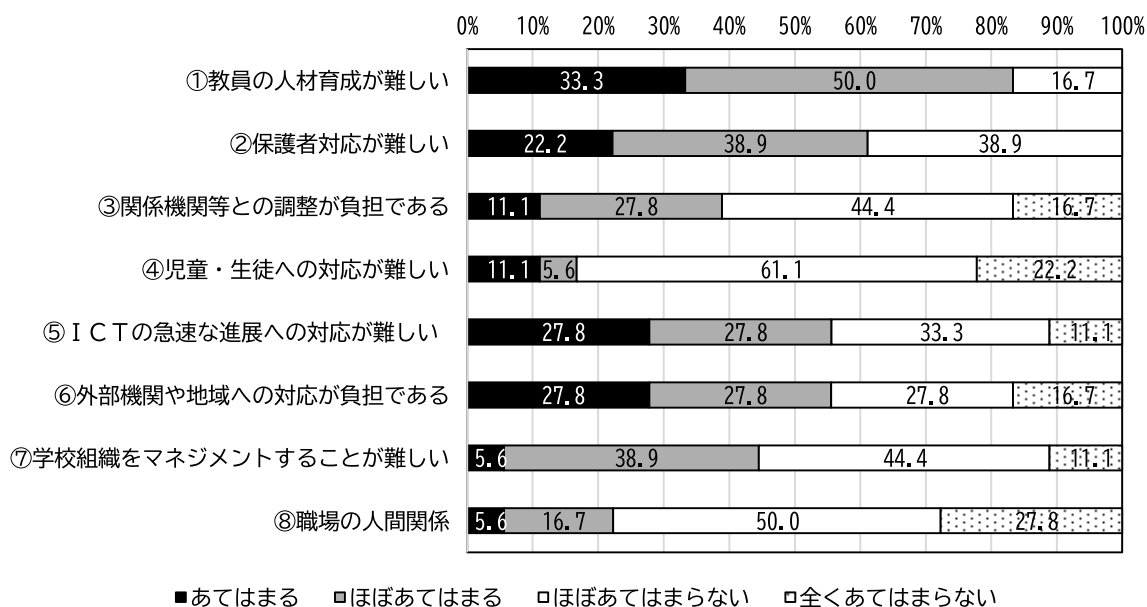


（前回の調査結果）

問22 仕事に関する悩みについて（小学校）

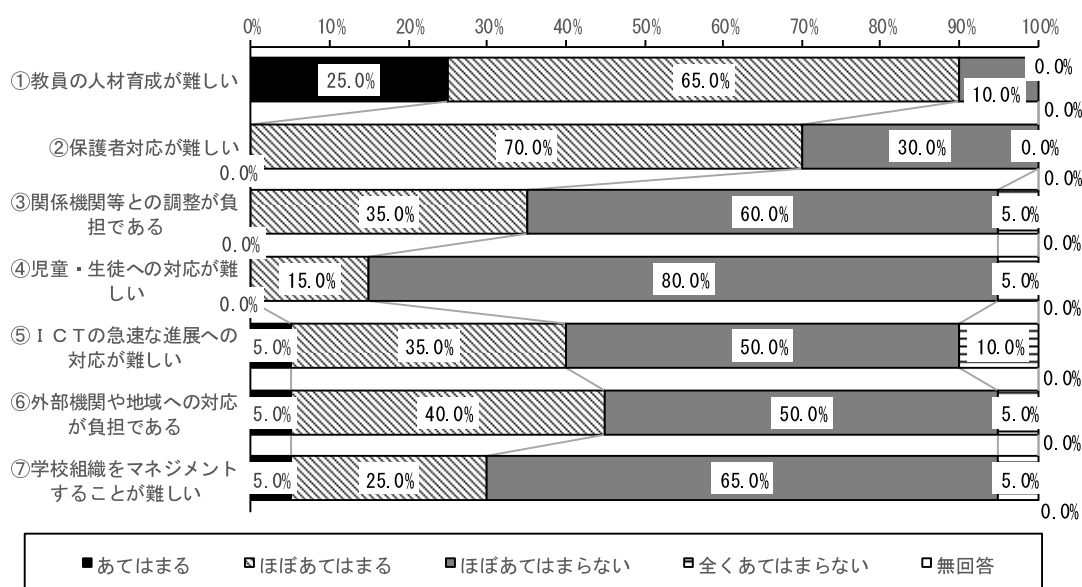


問36 仕事に対する悩みについて（中学校）



（前回の調査結果）

問22 仕事に関する悩みについて（中学校）



問 37 仕事に関する悩みについて（自由記入）（回答者数：22 人）

主なご意見 ※項目ごとのカウントには重複あり

（人材確保が困難なことによる業務量の多さ：7 件）

- ・ 人手不足、講師不足、担任欠員の補充作業にかなり時間を割かれること。
- ・ 人材不足を非常に危惧している。昨年度は担任業務を 2 回行った。今年度も他校では担任と兼務する副校長がすでに数名出ている。本校も来年度は、産休に入る可能性がある教員が数名おり、担任との兼務となると一気に業務量が激増する。産育休代替教員の安定した確保が急務である。
- ・ 副校長が担任をすることがない状況にしてほしい。担任をしながら副校長の仕事をするのは無理がある。（やれと言われればやらなくてはいけない）一人の負担を減らすべき。
- ・ 臨時的任用職員、時間講師など、人材を確保することが非常に難しい。

（働き方改革を推進上の困難さ：3 件）

- ・ 働き方改革という名目上、担任などの指導内容・業務内容が圧倒的に多いのにも関わらず、効率化や時間短縮を求められ、それについて、進めなければいけないこと。
- ・ 「これが子どものためになっているのか？」という仕事が減らない。行政のための働き方改革のツケを払わされている。
- ・ 教員の働き方改革を進めなければいけない中で、子どもにとっての有益性を見失うことなく、スクラップ＆ビルドをバランスよく実施すること。

（保護者や地域対応：6 件）

- ・ 地域のよくわからない苦情等は教育委員会に対応してもらいたい。
- ・ 年々保護者対応が難しくなっている。特に若い教員にとってはそこで時間を取られるのは本務ではない。管理職としてもそのサポートにも限界がある。対策を講じて欲しい。
- ・ 人に対応する仕事は、相手が保護者でも地域でも児童でも教職員でも配慮を要する。トラブル対応についても、絶対的な正解があるわけではないので、対応に時間を取られると苦しい。
- ・ コミュニティ・スクールとして、学校経営をするために必要であると理解してはいるが、地域の会議や行事が多く、土日の出勤が多い。

（教員への指導上の課題：4 件）

- ・ 不慣れなうちに大量の情報をもたらされ、処理しきらないうちにミスを招き、結果低能力者として評価される。努力の限界がみられ、メンタル面でも厳しいものがある。
- ・ 年々、教員の仕事へのモチベーションが下がっていることを改善するための手立てを考えること。
- ・ 課題のある教職員が多く、その対応や指導に多くの時間を割かれてしまう。また、その影響で、優秀な人材への仕事の偏りが大きい。

（その他の悩み：8 件）

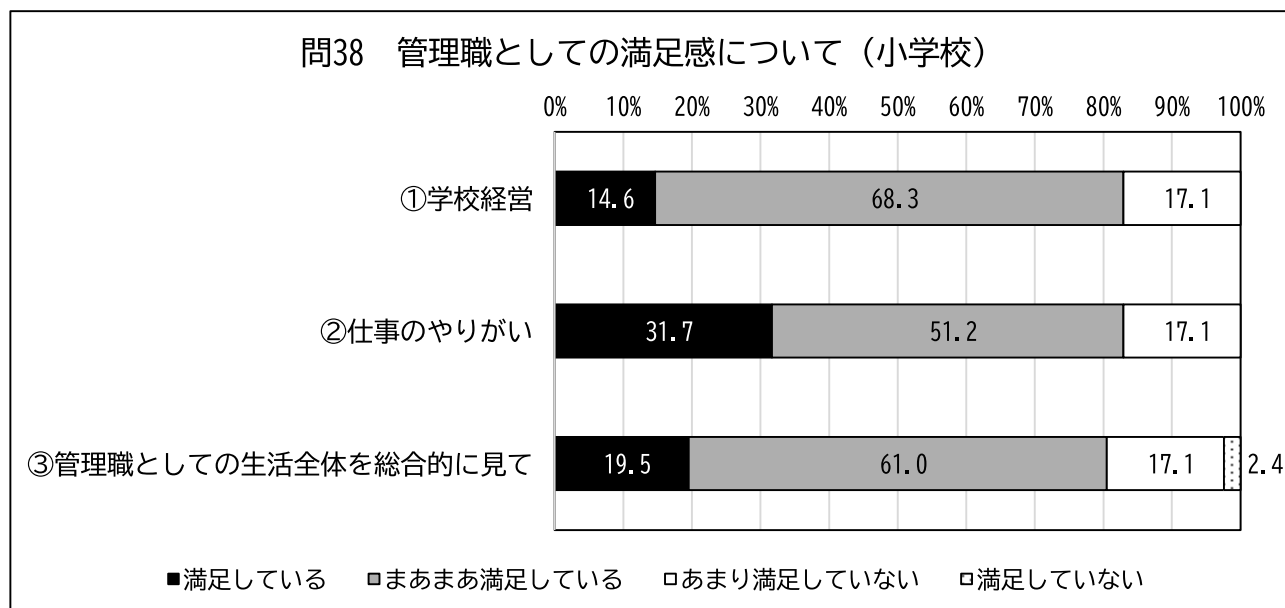
- ・ 一人職のため、どこまでできているのか、必要のない業務までやっているのか、逆にやっていないことがないかなどが分からず、不安なこともある。
- ・ 3 年前に配置されてから、今までに聞いたことのない事件・事故が相次ぎ、自分の赴任する前からの事故の処理等に追われた 2 年間でした。ようやく、ここにきて、地に足がついてきた感があります。特に 2 年前は、校長と同時の異動であったので、学校のことが不明な中、校長から聞かれたり、同僚から指示を求められたりしてかなりストレスを抱えていました。
- ・ 文科省が勧めてきた働き方改革の学校、地域、保護者による分担がなかなか進まず、地域・保護者の方々も余裕がない中で結局、学校側（特に管理職）がカバーしなくては回らないのは本当に困ります。上のような状況からのスタートなので、追われる仕事が多かったのが残念。
- ・ ICT 機器の活用に関する理解と実践に向けた時間的な余裕がない。
- ・ 業務量と勤務時間のバランスが悪く、勤務時間内に業務が終わらない。
- ・ 教員数が多く、勤怠管理から研修等、もっと時間にゆとりをもって行いたい。

問 38 管理職としての満足感について

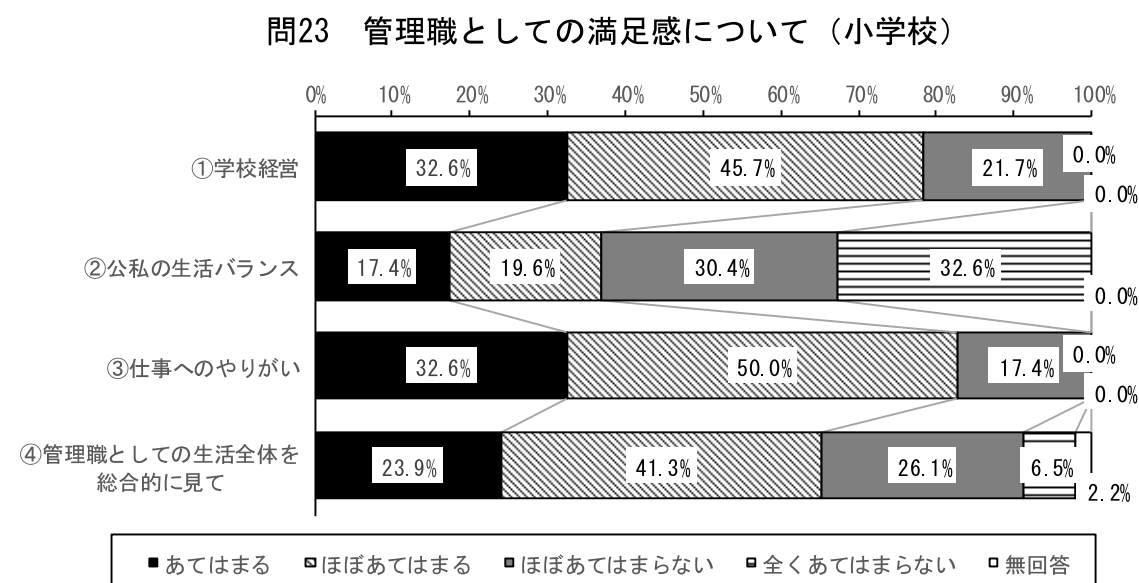
管理職としての満足感について、小学校で「満足している」とする回答は「仕事へのやりがい」が31.7%と最も高率で、次いで「管理職としての生活全体を総合的に見て」が19.5%「学校経営」が14.6%等となっている。

中学校で「満足している」とする回答は「仕事へのやりがい」が33.3%と最も高率で、次いで「学校経営」と「管理職としての生活全体を総合的に見て」が22.2%等となっている。

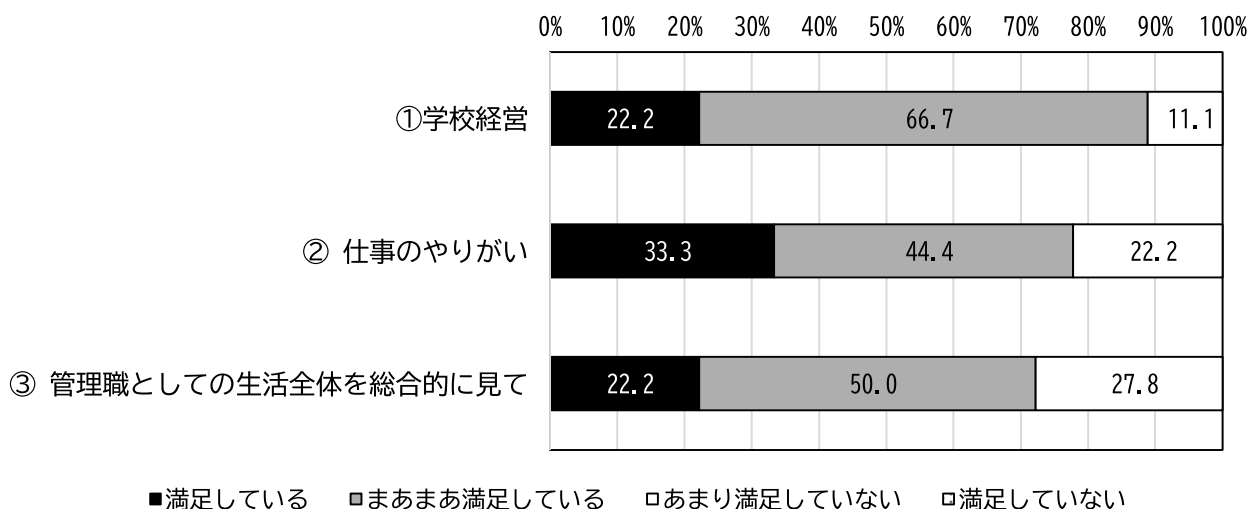
前回調査と比較すると、全体的に「満足している・まあまあ満足している」の割合が上昇していることが注目される。



（前回の調査結果）

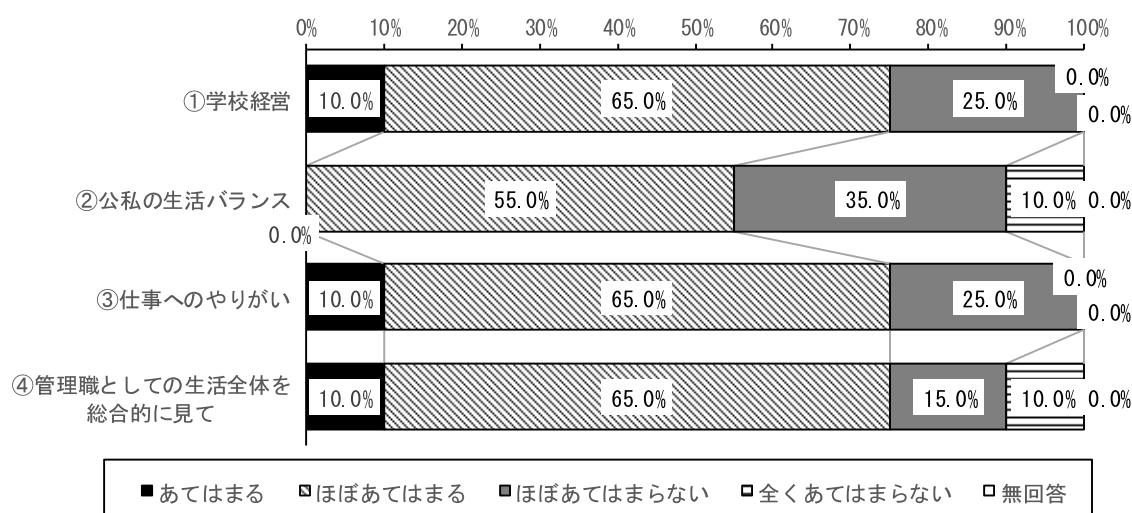


問38 管理職としての満足感について（中学校）



（前回の調査結果）

問23 管理職としての満足感について（中学校）



7 教員の多忙や負担の軽減について

問 39 一日のうち実際の休憩時間の合計（数値）

一日の実際の休憩時間の合計は、小学校は平均 9 分、中学校は平均 15 分となっている。
小・中学校ともに、校長よりも副校長の休憩時間が短い傾向にある。

問 39 小学校（平均）

校長(20 人)	10.3 分
副校長(21 人)	7.6 分
合計(41 人)	9 分

問 39 中学校（平均）

校長(9 人)	18.8 分
副校長(9 人)	11.1 分
合計(18 人)	15 分

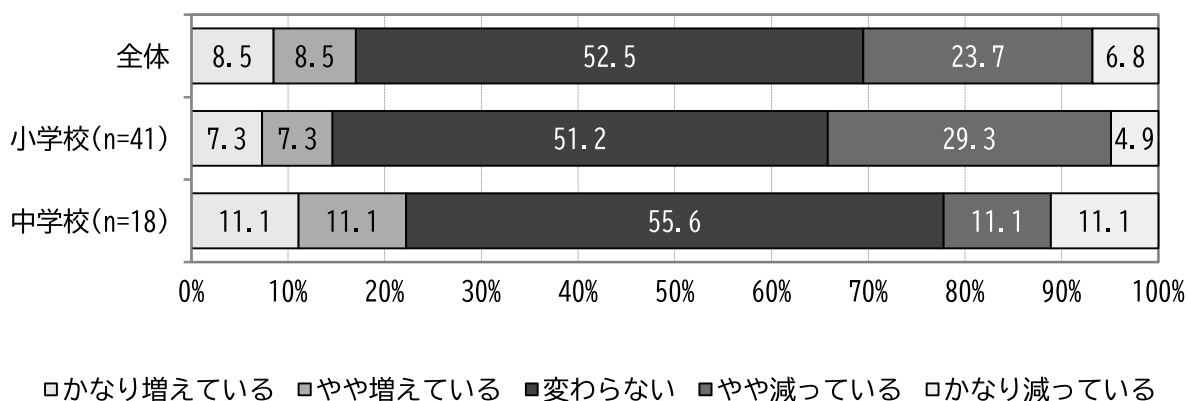
問 40 昨年度と比較した超過勤務時間について（SA）

昨年度と比較した超過勤務時間について、小学校は「かなり増えている・やや増えている」とする回答は14.6%で、「やや減っている・かなり減っている」は34.2%となっている。

中学校は「かなり増えている・やや増えている」と「やや減っている・かなり減っている」がいずれも22.2%となっている。

全体的には、「変わらない」が約5割強を占めている。

問40 昨年度と比較し、超過勤務時間はどうなっているか × 学校区分
N = 59



問40 昨年度と比較し、超過勤務時間はどうなっているか × 学校区分

上段:度数		問40 昨年度と比較し、超過勤務時間はどうなっているか					
下段:%		合計	かなり増えている	やや増えている	変わらない	やや減っている	かなり減っている
学校区分	全体	59 100.0	5 8.5	5 8.5	31 52.5	14 23.7	4 6.8
	小学校	41 100.0	3 7.3	3 7.3	21 51.2	12 29.3	2 4.9
	中学校	18 100.0	2 11.1	2 11.1	10 55.6	2 11.1	2 11.1

問 41 勤務時間が長時間化する主な要因について（自由記入）

○問 40 で「かなり増えている」「やや増えている」と回答した方（回答者数：10 人）

主な理由 ※項目ごとのカウントには重複あり

（業務量が多く、多岐にわたっているから：10 件）

- ・ 副校長の仕事内容が多岐にわたること。
- ・ 業務量が多岐にわたっており、どれも大切にしたいため手を抜かないから。
- ・ 副校長と担任を兼務しなければいけない状況が続く。
- ・ 教員の勤怠管理、研修の管理、保護者対応、教員への指導・助言、各種会議への出席、調査への対応等あまりにもやることが多岐にわたっている。
- ・ 統合新校のため事務的仕事が増えた。
- ・ 人材育成で直接教職員とかかわる時間の増加による。こまめに見て、適切な指導を行わないといけない。
- ・ 区教委からの新規事業や調査回答。保護者対応。課題のある生徒の個別対応。
- ・ 難しい生活指導や保護者対応など、校長判断が必要な事案が増えたこと。

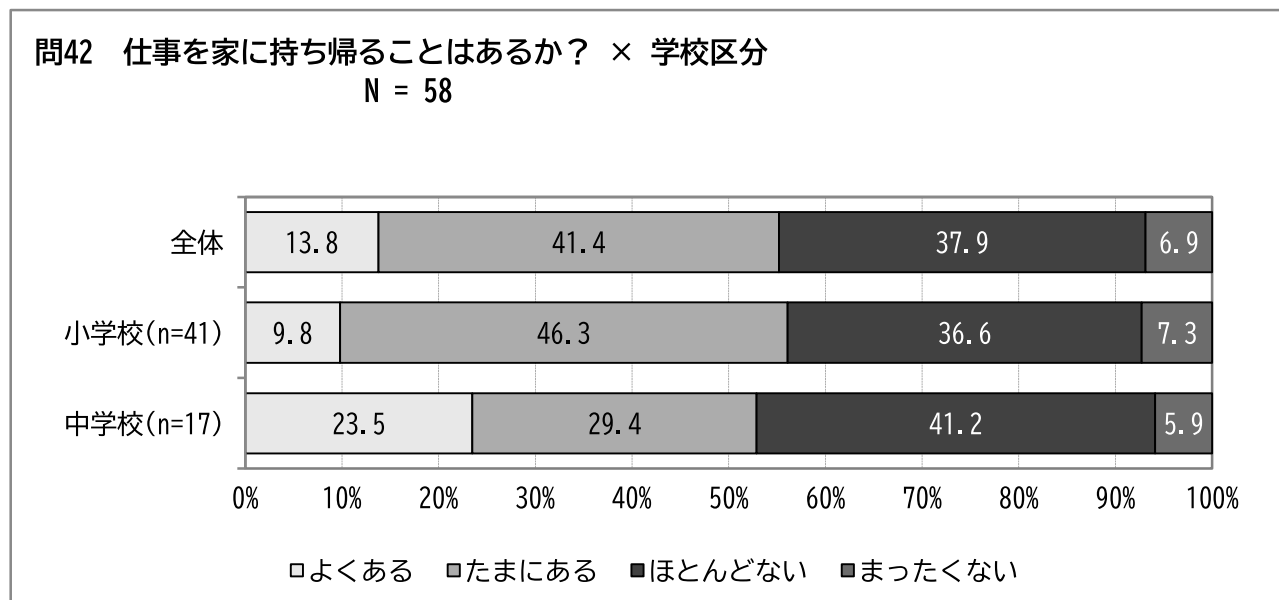
（業務に不慣れで時間がかかるから：5 件）

- ・ 副校長に昇任して、業務遂行に不慣れであること。
- ・ 大規模校に異動したから。
- ・ 自治体が変わって仕組みなど異なる。方法が分からず聞きながら仕事を進めているので時間がかかる。誰に何を聞けばわかるのかわからないので、調べるだけでも時間がかかる。
- ・ 副校長へ昇進したこと。
- ・ 統合新設学校のため、分掌業務など職員間で意識の差が大きく、まとまっていない。

問 42 仕事を家に持ち帰ることについて（S A）

仕事を家に持ち帰ることについて、小学校は「よくある・たまにある」が56.1%、「ほとんどない・まったくない」が43.9%となっている。

中学校は「よくある・たまにある」が52.9%、「ほとんどない・まったくない」が47.1%となっている。

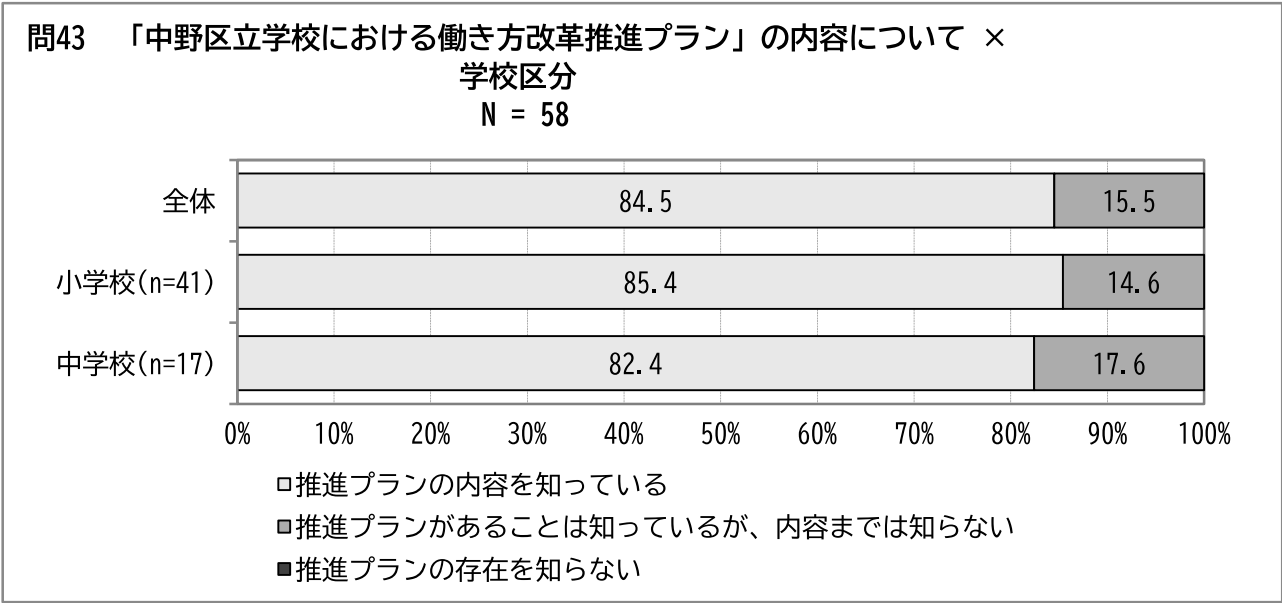


問42 仕事を家に持ち帰ることはあるか？ × 学校区分

上段:度数		問42 仕事を家に持ち帰ることはあるか？				
下段:%		合計	よくある	たまにある	ほとんどない	まったくない
学校区分	全体	58 100.0	8 13.8	24 41.4	22 37.9	4 6.9
	小学校	41 100.0	4 9.8	19 46.3	15 36.6	3 7.3
	中学校	17 100.0	4 23.5	5 29.4	7 41.2	1 5.9

問 43 「中野区立学校における働き方改革推進プラン」の内容の認知について（S A）

「中野区立学校における働き方改革推進プラン」の内容については、全体の 84.5%が「推進プランの内容を知っている」、15.5%が「推進プランがあることは知っているが、内容までは知らない」と回答している。

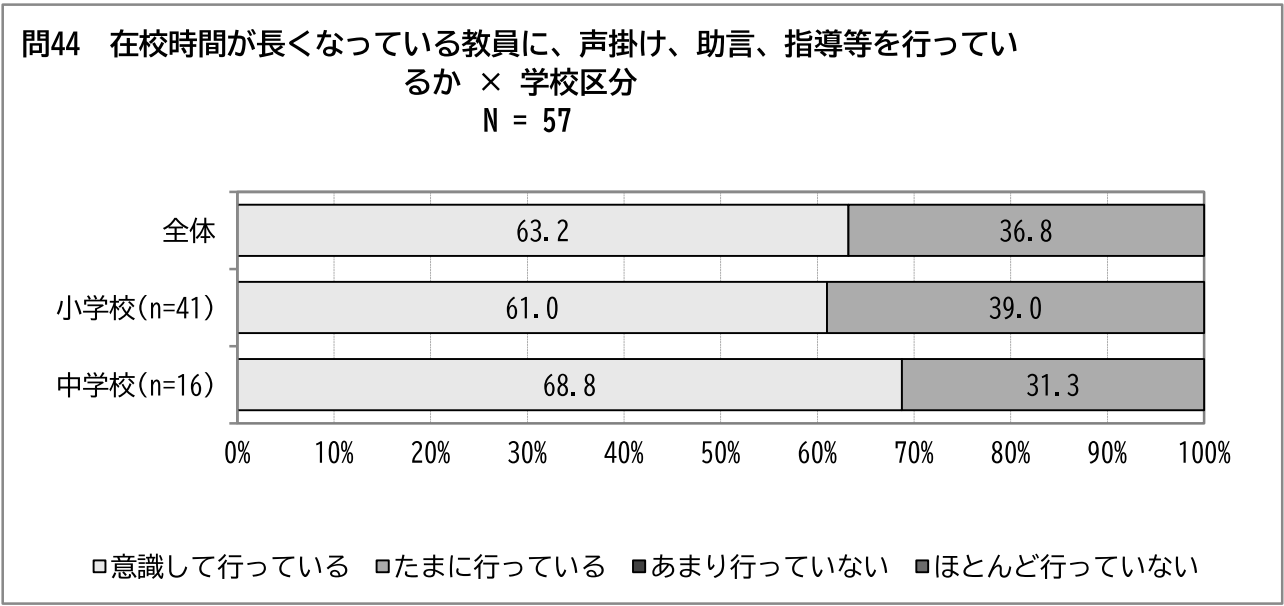


問43 「中野区立学校における働き方改革推進プラン」の内容について × 学校区分

上段:度数		問43 「中野区立学校における働き方改革推進プラン」の内容について			
下段:%		合計	推進プランの内容を知っている	推進プランがあることは知っているが、内容までは知らない	推進プランの存在を知らない
学校区分	全体	58 100.0	49 84.5	9 15.5	- -
	小学校	41 100.0	35 85.4	6 14.6	- -
	中学校	17 100.0	14 82.4	3 17.6	- -

問 44 在校時間が長くなっている教員に、声掛け、助言、指導等を行っているか（S A）

在校時間が長くなっている教員に、声掛け、助言、指導等を行っているかについて、小学校で「意識して行っている」とする回答は61.0%、中学校では68.8%となっている。



問44 在校時間が長くなっている教員に、声掛け、助言、指導等を行っているか × 学校区分

上段:度数 下段:%		問44 在校時間が長くなっている教員に、声掛け、助言、指導等を行っているか				
		合計	意識して行っている	たまに行っている	あまり行っていない	ほとんど行っていない
学校区分	全体	57 100.0	36 63.2	21 36.8	-	-
	小学校	41 100.0	25 61.0	16 39.0	-	-
	中学校	16 100.0	11 68.8	5 31.3	-	-

問 45 自身の勤務時間を意識した働き方について（SA）

管理職自身の勤務時間を意識した働き方について、小学校は「できている・まあまあできている」が70.7%、「あまりできていない・ほとんどできていない」が29.3%となっている。

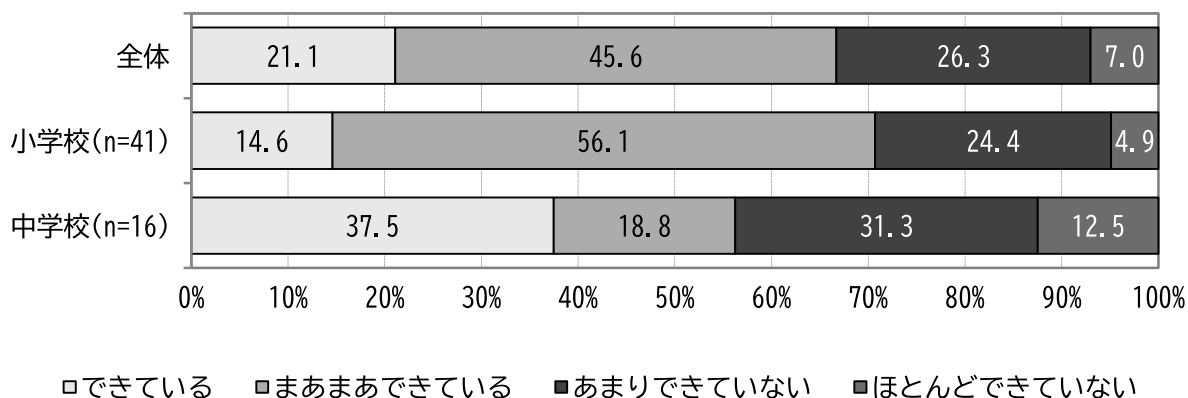
中学校は「できている・まあまあできている」が56.3%、「あまりできていない・ほとんどできていない」が43.8%となっている。

中学校の管理職は小学校に比べて「できていない」割合が高い傾向にある。

問45 あなた自身は勤務時間を意識した働き方ができていると感じているか

× 学校区分

N = 57



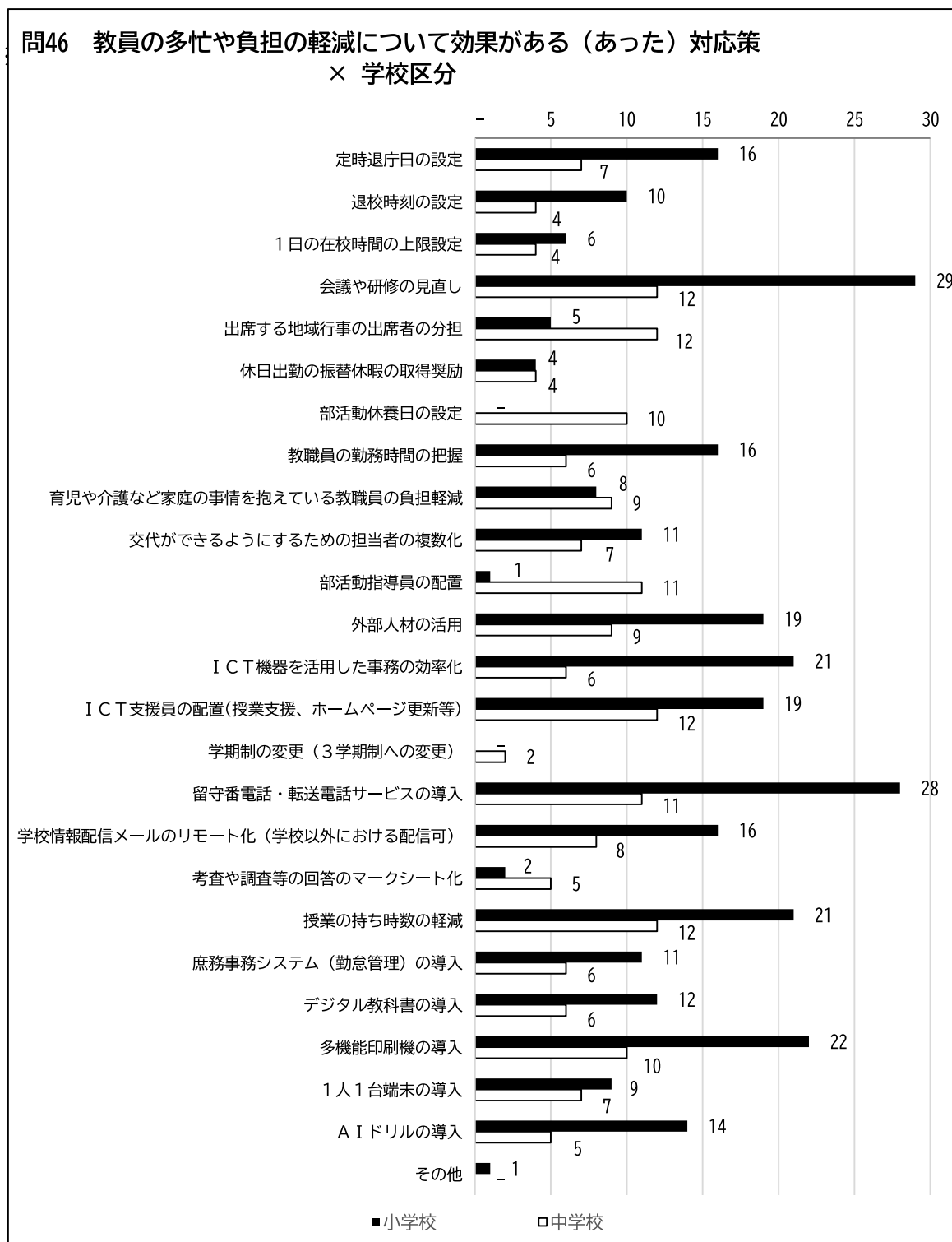
問45 あなた自身は勤務時間を意識した働き方ができていると感じているか × 学校区分

上段:度数 下段:%		問45 あなた自身は勤務時間を意識した働き方ができていると感じているか				
		合計	できている	まあまあできている	あまりできていない	ほとんどできていない
学校区分	全体	57 100.0	12 21.1	26 45.6	15 26.3	4 7.0
	小学校	41 100.0	6 14.6	23 56.1	10 24.4	2 4.9
	中学校	16 100.0	6 37.5	3 18.8	5 31.3	2 12.5

問 46 教員の多忙や負担の軽減について効果がある対応策について（MA）

教員の多忙や負担の軽減について効果がある対応策について、小学校は回答した 39 人中 29 人が「会議や研修の見直し」、28 人が「留守番電話・転送電話サービスの導入」、22 人が「多機能印刷機の導入」、21 人が「ICT 機器を活用した事務の効率化」と「授業の持ち時間の軽減」と回答している。

中学校は回答した 15 人中、12 人が「会議や研修の見直し」、「出席する地域行事の出席者の分担」「ICT 支援員の配置（授業支援、ホームページ更新等）」、「授業の持ち時間の軽減」と回答している。



その他：外部からの電話対応時間の設定

問 47 働き方改革の推進に向けての効果的な取り組みについて（自由記入）（回答者数：48 人）

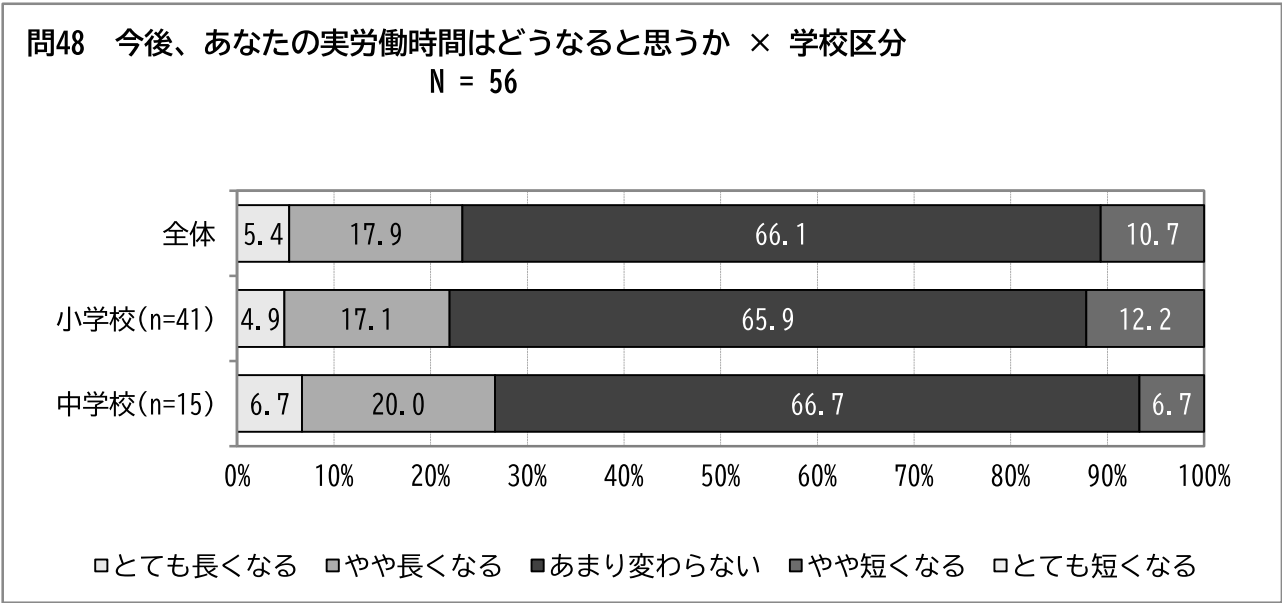
※問 46 の選択肢以外の主な回答

- ・ある程度、上限を設定し、教職員が自分でタイムマネジメントをすること。
- ・放課後の時間を確保し、会議等を入れずに事務作業ができる時間を確保したこと。出張の際は直帰を呼びかけたこと。平日にも休暇をとれることを呼びかけたこと。施設管理が早めに終了となった際は、延長せず退勤を促したこと。
- ・教科担任制の実現。専科教員の加配。
- ・補充教室への地域人材の活用。地域人材による「学び舎」の実施。
- ・PC のネットワーク環境及びスペック（処理速度）の向上。
- ・勤務時間外の保護者との連絡廃止と情報配信システムの活用。
- ・職員一人ひとりのメールアドレスの付与による、業務連絡システムの明確化。
- ・教職員の休憩時間が実際は取れていないのが現状、労働基準法もわかるが、教員の勤務の特殊性を鑑みて、給特法などの措置で休憩時間を勤務後半にもっていき、16：00に勤務解除とすると、負担感が減ると考える。
- ・ICT 環境の統一（校務と庁内、指導者用タブレット）。
- ・通知表の簡略化。
- ・保護者対応専門職員の配置、又は保護者対応専門窓口を区役所内に設置。
- ・校務支援システム（連絡掲示板）の活用。一斉配信システムによる、朝の遅刻欠席連絡の簡素化。
- ・一部、行事や授業の民間委託。
- ・小学校に副担任制の導入。
- ・特別な支援を要する子どもが増えていることへの対応の充実。
- ・照明機器の変更（明るさを確保、自動照明はあまり意味がないと考える）。
- ・全館空調（暑すぎる環境、寒すぎる環境を変えられるような物理的な努力を行う）の導入。
- ・教員の資質能力の向上（優秀な教員の配置）。
- ・61 歳年度からの給料 3 割カットの撤廃。
- ・40 人学級→35 人学級へ。

問 48 今後の自分の実労働時間について（S A）

今後の管理職自身の実労働時間については、全体的に「あまり変わらない」が 66.1%となっている。

「とても長くなる・やや長くなる」とする回答は、小学校（22.0%）よりも中学校（26.7%）の方がやや高率となっている。



問48 今後、あなたの実労働時間はどうなると思うか × 学校区分

上段:度数		問48 今後、あなたの実労働時間はどうなると思うか					
下段:%		合計	とても長くなる	やや長くなる	あまり変わらない	やや短くなる	とても短くなる
学校区分	全体	56 100.0	3 5.4	10 17.9	37 66.1	6 10.7	-
	小学校	41 100.0	2 4.9	7 17.1	27 65.9	5 12.2	-
	中学校	15 100.0	1 6.7	3 20.0	10 66.7	1 6.7	-

問 49 教員の働き方改革全般についてのご意見（自由記入）（回答者数：33 人）

主なご意見 ※項目ごとのカウントには重複あり

（教員や職員等の増員：13 件）

- ・教員を増やすこと。全ての小学校を 200～300 人規模にして、一人一人に目が届く学校を作る。
- ・男性の育休が推進されているが、それに代わる教員配置がないため、予期せぬ仕事負担を誰かが負うことになる。職場の人間環境や仕事環境が悪化し、ストレスの原因となる。
- ・誰もが安心して休暇・休職をとれるように、教員配置数を増やし、教科担任制を実現する。
- ・平日の事務作業日にはシルバー人材センターや地域の方を活用して学校で児童を見ることができるようになればよいと思う。
- ・人が増えれば、それぞれの業務は軽減される。現在東京都で産休、育休、病気休暇がいる学校は 9 割に達している。そして、そこに人が充てられていない学校、また充てられているが指導力不足の臨時的任用教員がいる。この状況で十分な指導を行うのは当然、その他の正規教員にかかってくる。とにかく、人を増員することを考えてほしい。
- ・好きな日に年休を取りやすくするシステムをやろうとして人的不足により実現していません。しかし、家族サービスや趣味など好きな日に年休が取れるようになると仕事へのモチベーションが上がります。それは、児童への指導にも良い意味で大きな影響があると捉えています。そのためにも、正規教員の適切な配置（確保）とそれを支えるスタッフの確保や教育が必然と捉えています。
- ・教員定数を変え、加配を常時 2～3 名程度置くことが必要である。そうでないと、産休・育休、病休への対応ができない。
- ・ICT の充実だけでは働き方改革にはならない。その分、調査などが増え、子供たちへのタブレット端末の使い方に関する指導時間なども増えた。根本的に解決には、人を増やさないと解決には結びつかないと思う。
- ・今年度から導入された別室支援員などの制度はよいと思う。今までは空き時間の教員が対応することが多かった。今年度はその分、教材研究や採点などの時間を充てられている。

（教科担任制の推進：3 件）

- ・専科科目を増やし、正規教員が増えることが理想。できたら小学校全科の免許を所持していて、仮に学級担任が欠員となったときに、校内で補充できる体制が取れるといい。
- ・誰もが安心して休暇・休職をとれるように、教員配置数を増やし、教科担任制を実現する。
- ・現在の都費講師制度を改革し、研究主任や道徳推進教諭、教務や生活指導主任などの個人の負担軽減となっている時数を学校事情で柔軟に運用できるようにし、専科教員として配置できるようにしてほしい。

（授業数、業務量の削減：12 件）

- ・授業時数を削減して事務作業日を平日一日設けると、休日出勤はなくせると思う。
- ・業務量や指導内容が圧倒的に多いので、内容の質を落として簡素化して時間を減らすぐらいしか手立てがない。各学校レベルでは、手詰まりであると感じている。
- ・学習時間を大幅に減らすなど改善するなど（週 25 時間：児童は 5 時間授業で下校）、抜本的な改革をすべきだと考える。
- ・午前授業の実施、午後は社会教育で対応するような教育の実施がない限り、教員の仕事は根本的に減らない。日本人の識字率、思考、判断力、モラルの高さは十分である。学校が負担する時間そのものを減らすことが実現できれば、人手不足も緩和できる。
- ・教員は、テストの採点、ノートやプリントのチェック、通知表作成などに、かなり労力を取られている。時間は限られているので、上記の事務作業の負担軽減を行い、教材準備、教材研究にもっと時間を費やせるように改善できるといい。
- ・コロナ対策が少なくなるにつれ、運動会などの行事を、以前の形に戻そうとしている地域や学校もみられる。そうすると、ミドル世代の先生が、学校業務についていけなくなり、若手からミドルにかけて一番働き学校を支える職員が崩れていく構図になってしまう。
- ・現状は各学年の総授業時数が多すぎる。
- ・部活動の地域移行の早期実現。

- ・主任会や研修のオンライン化。移動の負担が増大している。
- ・やることはどんどん増えているのに、各校で働き方改革を進めろというのは限界がある。

（保護者・地域対応の改善：6件）

- ・学校が対応しないということも、明確にする。教職員が対応しなければいけないことが多岐にわたりすぎる。保護者に対応を求められることが勤務時間外は当たり前、土日対応を求められることも珍しくなくなっている。学校は教育の場ではあるが託児の場にもなっており、世の中のニーズに対応しきれない状況が変わらない限り働き方の改革には時間がかかると感じる。
- ・保護者からの過度な要求や要望、子どもの教育全般を学校に依存する風潮に歯止めをかけなければ、働き方改革の実現は難しい。
- ・保護者の方々のご理解と当事者意識が鍵。
- ・部活動の地域移行の早期実現。
- ・学校教育活動に関わらない行事や協力が多く、それへの参加を優先させることで一日の予定が崩れていく。土日が毎週潰れるような夏秋の時期は身体も辛い。
- ・外部関係機関との会議やスクールソーシャルワーカーや児童相談所などの打ち合わせ時間は勤務時間に設定する。

（教員の働きがいや達成感の向上：5件）

- ・在校時間の短縮のみに注目されがちになっているのは課題だと感じている。教員としてのやりがいや、達成感、充実感の向上にスポットが当たるよう、世の中の風潮を変えていく必要があると思う。
- ・定時退勤の推奨だけでは、なかなか働き方を改善するという自覚や意識にはつながらない。若手教員などは、今、学ぶべきことが在る。それを支えてあげることで自信をもち、失敗を糧にしていきながら将来のミドルリーダーとして、若手教員を指導、育成していく存在になると思う。そうして、伝統が受け継がれていくものと信じる。
- ・教職員のやりがいやストレス緩和が「働き方」で重視されるべき。
- ・子どもが毎日楽しく通い、保護者・地域が学校を支援しようとしてくれる環境になれば、本来子どもが好きで教員を目指した人材にとっては「やりがい」しかないように思える。そのために家庭における子育て（躾）の在り方の見直しも含め、本来どのように子どもが成長すべきかをあらためて大人たちが共通に理解し、学校を中心に皆が協力し合って子どもを育てていく形を目指していくことが肝要。
- ・多忙と多忙感は違う。多忙感はやりがいにより減らすことができる。やりがいや誇りにより教材研究はもちろん、教員自らの資質向上に励むことが多いと信じている。そのためには、協働することが可能な雰囲気や体制、環境整備が必要。

（行政への意見：12件）

- ・現在の都費講師制度を改革し、研究主任や道徳推進教諭、教務や生活指導主任などの個人の負担軽減となっている時数を学校事情で柔軟に運用できるようにし、専科教員として配置できるようにしてほしい。
- ・働き方改革のためには、根本的に学校の担う範囲を保護者、地域だけでなく社会全般が認識できるよう文部科学省から示す必要があると感じる。「家庭の教育力が落ちた→学校が担う」という流れから、改めて家庭の教育力を求めたり、それを補うのは「学校とは別の機関である」（児相や警察、就学相談など）ということを示したりするのは、学校レベルからではなく、行政レベルでないとできない。
- ・保護者や地域への働き方改革関係の発信や啓蒙は各学校レベルに判断が任されているが、区市町村、都教育委員会レベルで取り組まないかぎり進めない。
- ・区主催の研修、協議会などですら、休憩時間がないがしろにされている。学校任せの部分の意識を変えない限り、現場だけでは限界を感じる。
- ・学校単体の取り組みでは難しい。行政主導で社会の意識改革が必要。
- ・国・都等がリーダーシップを発揮し、仕組みを変える必要があるのではないか。
- ・区市町村を超えた異動をしても同じように働けること（システム仕様の統一化）。

- ・ 行事を簡素化すること、理不尽な保護者や地域からの要望、掃除や給食指導などを無くすこと、通知表の簡素化（所見を無くすなど）、地域行事への不参加、電話対応は、業務時間の８時１５分～１６：４５とすることなどについては、保護者と地域に教育委員会や行政から発信してほしい。
- ・ 配布物や周知するようなものが多いので、教育委員会で一斉メールをするなどして対応してほしい。

（各種調査の削減：４件）

- ・ 勤務実態調査の時期をもう少し考えていただきたい。学期末のこの忙しい時期に普段から多忙感を感じている教員に益々多忙感を与えてしまっている。
- ・ 各種調査の削減をすること。

（その他：９件）

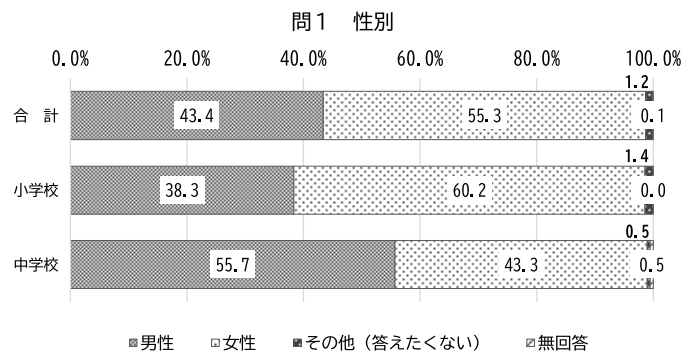
- ・ 不登校対応教員を一人配置し、不登校の児童が別室登校できる場所をすべての学校において設置するとよい。
- ・ 一人一人が意識して取り組まないと、声かけだけでは進まない。
- ・ 在校時間については、これからも教職員に声掛けをしていく。職場の満足感をあげていくために、様々な視点から教職員に働きかける。
- ・ 勤務時間と児童が学校にいる時間がほとんど変わらないため、教員だけの時間が短すぎる。放課後の時間を確保したい。在校時間の短縮については、これ以上は難しいと思う。
- ・ 教員の多忙感に対し、通知表をなくそうとしたり、夏の水泳指導をなくそうとしたりして校務を減らそうとする考え方が出てくるなど、本来やるべきことが軽視される傾向につながっていると感じ、疑問がある。
- ・ 教員を志望する人が少なく、人材の質が低下していることが、現場において特定の教員および管理職に負担が集中する事態を招いている。
- ・ 保護者向け情報発信メール、区職員業績評価システム、児童用学習アプリ等、この１～２年で入れ替えのあったものについて操作方法などを新しく覚えるのに時間を費やしている感がある。保護者向け情報発信メールと児童用学習アプリは導入して１年で別のものに変更となっている。一度導入したらある程度継続して使用されるのが望ましいと思う。
- ・ ICT 支援員に頼めることを制限せずに何でも頼める体制をつくってほしい。

IV 教員調査

1 基本属性

問1 性別 (SA)

性別は、小学校では男性が 38.3%、女性が 60.2%となっている。中学校では、男性が 55.7%、女性が 43.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校とも女性の割合が若干増加している。

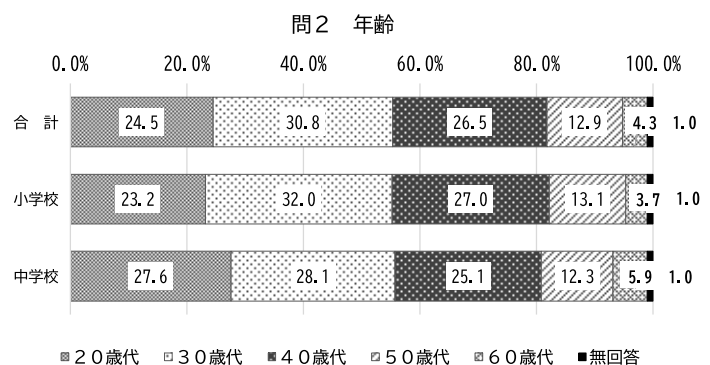


	回答者数 (人)	男性	女性	その他(答 えたくない)	無回答
合 計	691	300	382	8	1
	100.0	43.4	55.3	1.2	0.1
小学校	488	187	294	7	0
	100.0	38.3	60.2	1.4	0.0
中学校	203	113	88	1	1
	100.0	55.7	43.3	0.5	0.5

上段：実数、下段：割合 (%)

問2. 年齢 (令和7年3月31日現在) (SA)

年齢について、小学校は「30 歳代」が 32.0%と最も多く、以下「40 歳代」が 27.0%、「20 歳代」が 23.2%となっている。中学校は「30 歳代」が 28.1%と最も多く、以下「20 歳代」が 27.6%、「40 歳代」が 25.1%となっている。前回調査と比較し、小学校では年齢構成の大きな変化はないが、中学校では「20 歳代」が増加した。

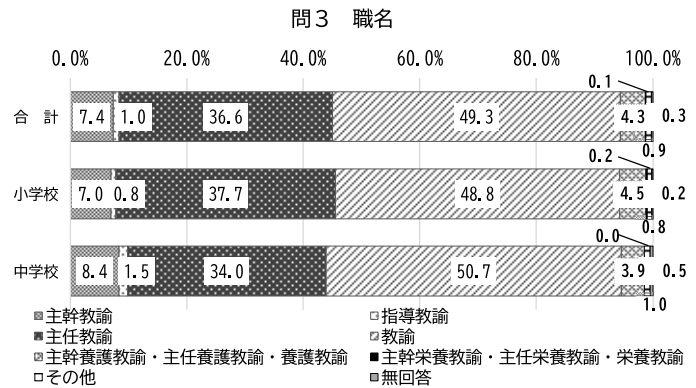


	回答者数 (人)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	無回答
合 計	691	169	213	183	89	30	7
	100.0	24.5	30.8	26.5	12.9	4.3	1.0
小学校	488	113	156	132	64	18	5
	100.0	23.2	32.0	27.0	13.1	3.7	1.0
中学校	203	56	57	51	25	12	2
	100.0	27.6	28.1	25.1	12.3	5.9	1.0

上段：実数、下段：割合 (%)

問3. 職名（SA）

役職について、小学校は「教諭」が48.8%と最も多く、以下「主任教諭」が37.7%、「主幹教諭」が7.0%となっている。中学校は「教諭」が50.7%と最も多く、以下「主任教諭」が34.0%、「主幹教諭」が8.4%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校とも傾向はほぼ同じである。



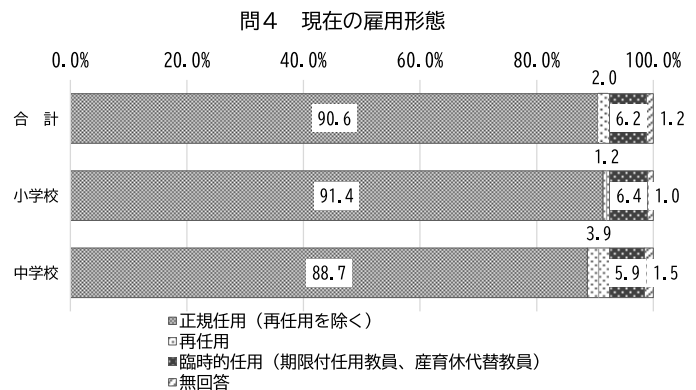
	回答者数 (人)	主幹教諭	指導教諭	主任教諭	教諭	主幹養護教諭・主任養護教諭・養護教諭	主幹栄養教諭・主任栄養教諭・栄養教諭	その他	無回答
合 計	691	51	7	253	341	30	1	6	2
	100.0	7.4	1.0	36.6	49.3	4.3	0.1	0.9	0.3
小学校	488	34	4	184	238	22	1	4	1
	100.0	7.0	0.8	37.7	48.8	4.5	0.2	0.8	0.2
中学校	203	17	3	69	103	8	0	2	1
	100.0	8.4	1.5	34.0	50.7	3.9	0.0	1.0	0.5

上段：実数、下段：割合（％）

その他：栄養職員、任期付短時間教員、任短教員、非常勤教員、期限付任用教員

問4. 現在の雇用形態（SA）

現在の雇用形態について、小学校は「正規任用（再任用を除く）」が91.4%で、次に「臨時的任用（期限付任用教員、産育休代替教員）」が6.4%、「再任用」が1.2%となっている。中学校は「正規任用（再任用を除く）」が88.7%で、次に「臨時的任用（期限付任用教員、産育休代替教員）」が5.9%、「再任用」が3.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校とも「正規任用」が増加している。



	回答者数 (人)	正規任用（再任用 を除く）	再任用	臨時的任用（期限 付任用教員、産育 休代替教員）	無回答
合 計	691	626	14	43	8
	100.0	90.6	2.0	6.2	1.2
小学校	488	446	6	31	5
	100.0	91.4	1.2	6.4	1.0
中学校	203	180	8	12	3
	100.0	88.7	3.9	5.9	1.5

上段：実数、下段：割合（％）

問5. 経験年数（令和7年3月31日現在）（数値）

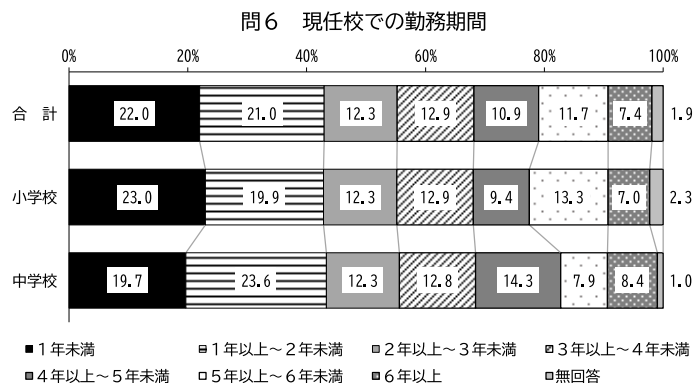
経験年数について、小学校は「教員としての通算年数」は平均13.6年で、「うち正規任用年数」が平均12.6年と最も長く、以下「うち、再任用年数」が平均3.3年、「うち、臨時的任用年数」が平均3.0年などとなっている。中学校は「教員としての通算年数」は平均13.1年で、「うち正規任用年数」が平均11.9年と最も長く、以下「うち、非常勤講師年数」が平均4.8年、「うち、再任用年数」が平均3.4年、「うち、臨時的任用年数」平均3.3年などとなっている。前回調査と比較し、中学校において「通算年数」、「正規任用年数」が短期間になっている。

	教員としての 通算年数	うち、 正規任用年数	うち、再任用年数	うち、 臨時的任用年数	うち、非常勤年数	うち、指導主事等 の行政経験年数
合計	665	664	19	196	96	2
	13.4	12.4	3.4	3.1	2.8	3.0
小学校	485	472	10	153	63	2
	13.6	12.6	3.3	3.0	1.8	3.0
中学校	200	192	9	43	33	0
	13.1	11.9	3.4	3.3	4.8	0.0

上段：実数、下段：平均（年）

問6. 現任校での勤務期間（令和7年3月31日現在）（SA）

現任校での勤務期間について、小学校は「1年未満」が23.0%と最も多く、以下「1年以上～2年未満」が19.9%、「3年以上～4年未満」が12.9%などとなっている。中学校は「1年以上～2年未満」が23.6%と最も多く、以下「1年未満」が19.7%、「4年以上～5年未満」が14.3%等となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校とも傾向はほぼ同じである。



	回答者数 (人)	1年未満	1年以上～ 2年未満	2年以上～ 3年未満	3年以上～ 4年未満	4年以上～ 5年未満	5年以上～ 6年未満	6年以上	無回答
合 計	691	152	145	85	89	75	81	51	13
	100.0	22.0	21.0	12.3	12.9	10.9	11.7	7.4	1.9
小学校	488	112	97	60	63	46	65	34	11
	100.0	23.0	19.9	12.3	12.9	9.4	13.3	7.0	2.3
中学校	203	40	48	25	26	29	16	17	2
	100.0	19.7	23.6	12.3	12.8	14.3	7.9	8.4	1.0

上段：実数、下段：割合（%）

2 ワーク・ライフバランスについて

問7 昨年度に取得した年次有給休暇の日数等（数値）

昨年度に取得した年次有給休暇の日数について、小学校は平均 17.1 日、うち、長期休業中に取得した日数は 11.6 日、中学校は平均 15.0 日、うち、長期休業中に取得した日数は 9.6 日となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校とも年次有給休暇の日数および長期休業中に取得した日数は増加している。

昨年取得した年次有給休暇の日数

	回答者数 (人)	0 日	1～4 日	5～9 日	10～14 日	15～19 日	20 日以上	無回答	平均（日）
合 計	691	7	10	43	101	218	197	115	16.5
	100.0	1.0	1.4	6.2	14.6	31.5	28.5	16.6	
小学校	488	6	4	20	62	171	146	79	17.1
	100.0	1.2	0.8	4.1	12.7	35.0	29.9	16.2	
中学校	203	1	6	23	39	47	51	36	15.0
	100.0	0.5	3.0	11.3	19.2	23.2	25.1	17.7	

上段：実数、下段：割合（％）

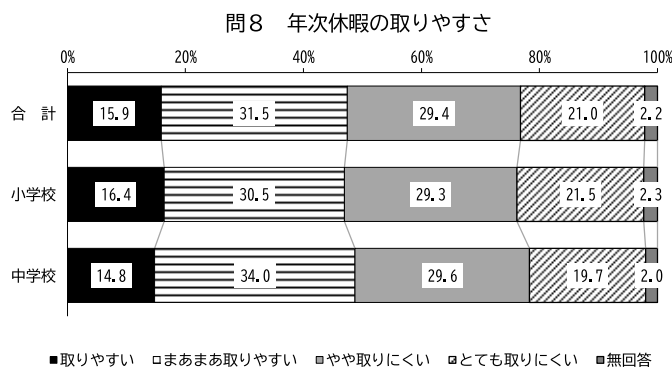
うち、長期休業中に取得した日数

	回答者数 (人)	0 日	1～4 日	5～9 日	10～14 日	15～19 日	20 日以上	無回答	平均（日）
合 計	691	12	28	113	187	129	20	202	11.2
	100.0	1.7	4.1	16.4	27.1	18.7	2.9	29.2	
小学校	488	7	12	73	126	108	18	144	11.6
	100.0	1.4	2.5	15.0	25.8	22.1	3.7	29.5	
中学校	203	5	16	40	61	21	2	58	9.6
	100.0	2.5	7.9	19.7	30.0	10.3	1.0	28.6	

上段：実数、下段：割合（％）

問8 年次有給休暇の取りやすさ（SA）

年次有給休暇の取りやすさについて、小学校は「まあまあ取りやすい」が 30.5%と最も多く、以下「やや取りにくい」が 29.3%、「とても取りにくい」が 21.5%などとなっている。中学校も「まあまあ取りやすい」が 34.0%と最も多く、以下「やや取りにくい」が 29.6%、「とても取りにくい」が 19.7%などとなっている。



	回答者数 (人)	取りやすい	まあまあ取り やすい	やや取りに くい	とても取り にくい	無回答
合 計	691	110	218	203	145	15
	100.0	15.9	31.5	29.4	21.0	2.2
小学校	488	80	149	143	105	11
	100.0	16.4	30.5	29.3	21.5	2.3
中学校	203	30	69	60	40	4
	100.0	14.8	34.0	29.6	19.7	2.0

上段：実数、下段：割合（％）

問9 年次有給休暇が取りにくい理由（自由記入）

（他の教員の負担）

- ・ 人員の余剰がないため、自分が休んだ場合の他の教員の負担を考えると休みづらい。
- ・ 担任をしているとクラスをお願いすることになる。だれかに負担をかけることになるから。
- ・ 休むと補教に入ってもらうため、他の先生方の負担になると思うと申し訳ない気持ちになるため。
- ・ 児童が登校する時に有給を取ることは、ただでさえ教員不足の中更に他の先生方に負担をかけるから。
- ・ 通常時でも定時に帰れない職員がほとんどなのに、自分の都合で他人の仕事を増やすことはしにくい。

（休めない雰囲気）

- ・ 行事など全員出席が基本という職場の雰囲気がある。
- ・ そもそも有給を使っていい雰囲気がない。
- ・ 児童・学校全体の安全管理のため不在になることは許されない雰囲気。
- ・ 取った場合、周りの先生や職場への罪悪感を強く感じていそうな人が多い。

（仕事が滞る、仕事が増える）

- ・ 業務を代わってもらえる人がいない。休んだ分だけ仕事がたまる。
- ・ やらなくてはならない仕事が多く取る余裕がない。
- ・ 休んでしまうと、仕事が終わらず他の日の労働時間又は、自宅で行う仕事が増える。
- ・ 授業時数が多く、学年や分掌の仕事も多いため、年休を取得すると他の日にしわよせがくる。
- ・ 自分が休むことによって授業の進度が遅れ、結局は自分の負担を増やすことになってしまう。

（担任をしているから）

- ・ 学級担任であるため、休暇を取得することで、児童及び他の先生に迷惑をかけてしまう。
- ・ 担任をしているため、一日クラスをあけてしまうと、それだけ授業が進まず結果としてどこかで授業を早めて進めなくてはならない。
- ・ 担任をしていると休みにくく、休んでいる間に授業がおくれる。教科担任をしているため、学年全体に支障がでる。
- ・ クラス担任を受け持っていたり、授業をもっていることから、病気になった場合以外には他の先生方の迷惑になることを考えると健康上の場合以外は取れない。

（会議などがある）

- ・ 放課後、会議や分掌のことがあるので休みづらい。
- ・ 会議などがあり年休を取るタイミングが難しい。
- ・ 会議等があり、平日は取れない。授業後の仕事量が多く、とてもではないが休めない。
- ・ 忙しすぎて取れない（会議、出張、事務処理、生徒・保護者対応、部活動など）。

（調整がむずかしい）

- ・ 1日の予定、補教を自分で立て、探したり、調整したりしないといけないから。
- ・ 週時程に授業が多く入っており、振り替えたりして有給を取得する調整が困難である。
- ・ 授業の調整ができないと休暇を申請しにくい。
- ・ 校内に一人しかいない職種のため調整しにくい。

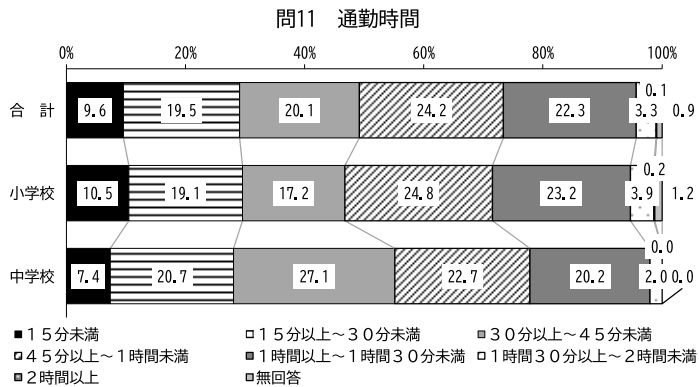
問 10 昨年度の週休日の出勤や変更（数値）

昨年度の週休日の出勤や変更について、「週休日の変更を行って出勤した日数」は、小学校で平均 6.4 日、中学校で平均 6.8 日、「週休日の変更をせず自主的に出勤した日数」は小学校で平均 12.5 日、中学校で平均 14.0 日、「週休日の変更をせず地域や P T A の行事に参加した日数または部活動等に参加した日数」は小学校で平均 2.6 日、中学校で平均 28.9 日であった。

	週休日の変更を行って出勤した日数		週休日の変更をせず自主的に出勤した日数		週休日の変更をせず地域や P T A の行事に参加した日数または部活動等に参加した日数	
	有と回答	平均（日）	有と回答	平均（日）	有と回答	平均（日）
合 計	311	6.6	349	12.9	278	13.4
	45.0		50.5		40.2	
小学校	190	6.4	251	12.5	164	2.6
	38.9		51.4		33.6	
中学校	121	6.8	98	14.0	114	28.9
	59.6		48.3		56.2	

問 11 自宅から学校までの通勤時間（S A）

自宅から学校までの通勤時間について、小学校は「4 5 分以上～1 時間未満」が 24.8%と最も多く、以下「1 時間以上～1 時間 3 0 分未満」が 23.2%、「1 5 分以上～3 0 分未満」が 19.1%などとなっている。中学校は「3 0 分以上～4 5 分未満」が 27.1%と最も多く、以下「4 5 分以上～1 時間未満」が 22.7%、「1 5 分以上～3 0 分未満」が 20.7%などとなっている。

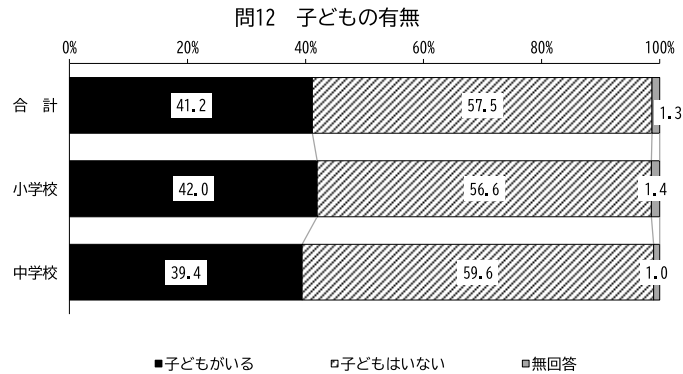


	回答者数 (人)	1 5 分未満	1 5 分以上 ～ 3 0 分未 満	3 0 分以上 ～ 4 5 分未 満	4 5 分以上 ～ 1 時間未 満	1 時間以上 ～ 1 時間 3 0 分未満	1 時間 3 0 分以上～ 2 時間未満	2 時間以上	無回答
合 計	691	66	135	139	167	154	23	1	6
	100.0	9.6	19.5	20.1	24.2	22.3	3.3	0.1	0.9
小学校	488	51	93	84	121	113	19	1	6
	100.0	10.5	19.1	17.2	24.8	23.2	3.9	0.2	1.2
中学校	203	15	42	55	46	41	4	0	0
	100.0	7.4	20.7	27.1	22.7	20.2	2.0	0.0	0.0

上段：実数、下段：割合（％）

問12 同居するお子さんの有無（S A・数値）

同居する子どもの有無について、「子どもがいる」が小学校は42.0%、中学校は39.4%である。子どもの人数は、小学校では「2人」（48.3%）、中学校では「1人」（53.8%）が最も多くなっている。子どもの年齢については、小学校、中学校ともに10歳未満の年齢が多くなっている。前回調査と比較し、小学校、中学校とも傾向はほぼ同じである。



	回答者数 (人)	子どもがい る	子どもはい ない	無回答
合 計	691	285	397	9
	100.0	41.2	57.5	1.3
小学校	488	205	276	7
	100.0	42.0	56.6	1.4
中学校	203	80	121	2
	100.0	39.4	59.6	1.0

上段：実数、下段：割合（%）

	回答者数 (人)	1人	2人	3人	4人	無回答	平均(人)
合 計	285	123	130	28	3	1	1.7
	100.0	43.2	45.6	9.8	1.1	0.4	
小学校	205	80	99	23	2	1	1.7
	100.0	39.0	48.3	11.2	1.0	0.5	
中学校	80	43	31	5	1	0	1.6
	100.0	53.8	38.8	6.3	1.3	0.0	

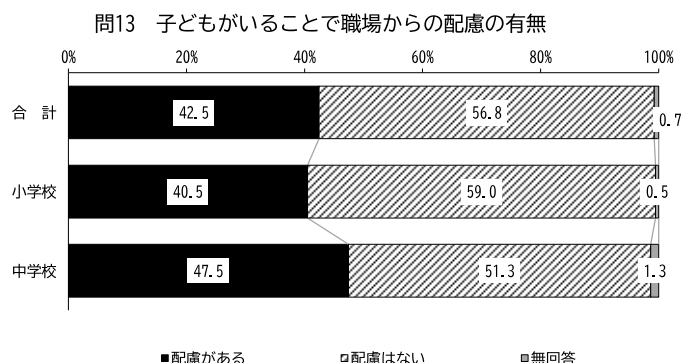
上段：実数、下段：割合（%）

	回答者数 (人)	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳以上	無回答
合 計	285	130	122	106	58	49	11	1	3
	100.0	45.6	42.8	37.2	20.4	17.2	3.9	0.4	1.1
小学校	205	97	93	76	42	37	6	1	3
	100.0	47.3	45.4	37.1	20.5	18.0	2.9	0.5	1.5
中学校	80	33	29	30	16	12	5	0	0
	100.0	41.3	36.3	37.5	20.0	15.0	6.3	0.0	0.0

上段：実数、下段：割合（%）

問13 子どもがいることによる勤務時間や業務内容等に対する職場からの配慮（S A）

子どもがいることによる勤務時間や業務内容等に対する職場からの配慮について、「配慮がある」は小学校で40.5%、中学校で47.5%である。小・中学校ともに「配慮はない」は5割を超えているが、前回調査よりも減少している。前回調査と比較し、小学校、中学校とも「配慮がある」が増加している。

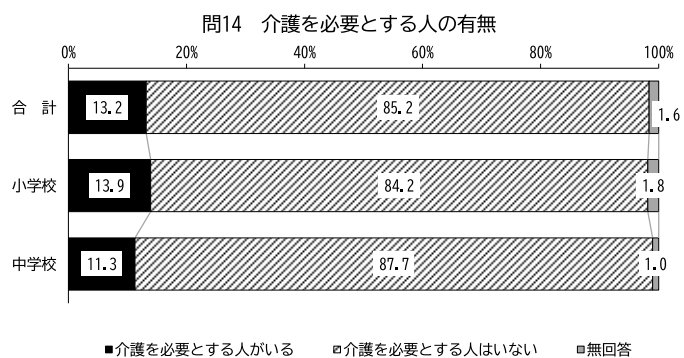


	回答者数 (人)	配慮がある	配慮はない	無回答
合 計	285	121	162	2
	100.0	42.5	56.8	0.7
小学校	205	83	121	1
	100.0	40.5	59.0	0.5
中学校	80	38	41	1
	100.0	47.5	51.3	1.3

上段：実数、下段：割合（%）

問14 介護を必要とする人の有無（S A）

身近に介護を必要とする人の有無について、「介護を必要とする人がいる」は小学校は13.9%、中学校は11.3%である。前回調査と比較し、小学校、中学校とも傾向はほぼ同じである。

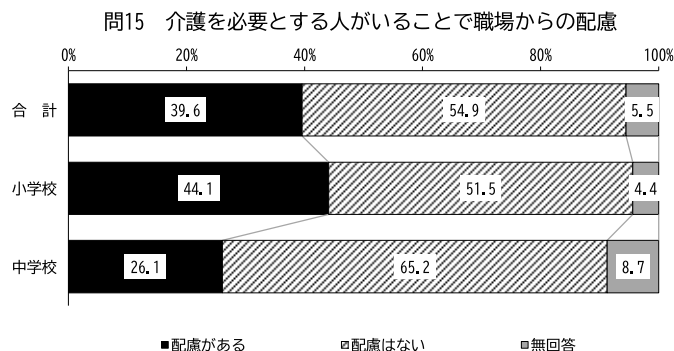


	回答者数 (人)	介護を必要とする人が いる	介護を必要とする人はい ない	無回答
合 計	691	91	589	11
	100.0	13.2	85.2	1.6
小学校	488	68	411	9
	100.0	13.9	84.2	1.8
中学校	203	23	178	2
	100.0	11.3	87.7	1.0

上段：実数、下段：割合（%）

問15 身近に介護を必要とする人がいることによる勤務時間や業務内容等に対する配慮（S A）

身近に介護を必要とする人がいることによる勤務時間や業務内容等に対する職場からの配慮について、「配慮がある」が小学校は44.1%、中学校は26.1%である。前回調査と比較し、「配慮がある」が小学校では増加したが、中学校では減少した。

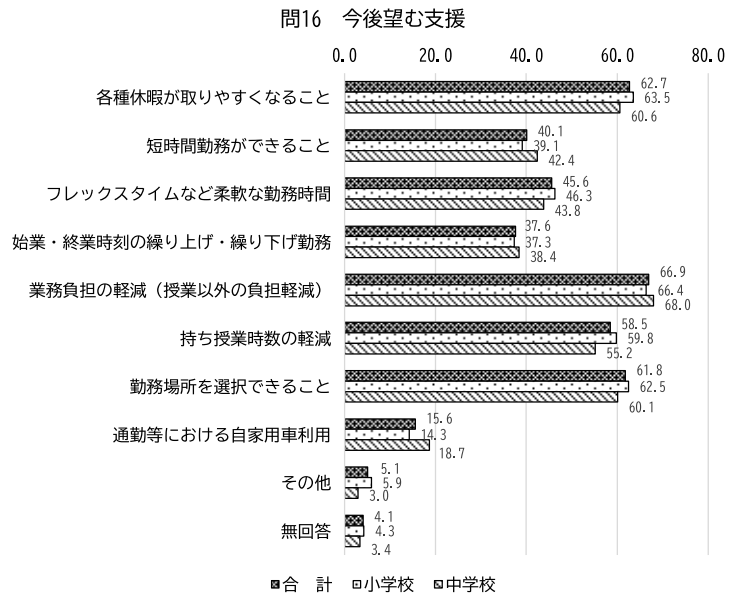


	回答者数 (人)	配慮がある	配慮はない	無回答
合 計	91	36	50	5
	100.0	39.6	54.9	5.5
小学校	68	30	35	3
	100.0	44.1	51.5	4.4
中学校	23	6	15	2
	100.0	26.1	65.2	8.7

上段：実数、下段：割合（%）

問 16 育児や介護と仕事との両立にあたり、今後望む支援策等（MA）

育児や介護と仕事との両立にあたり、今後望む支援策等について、小学校は「業務負担の軽減（授業以外の負担軽減）」が66.4%、以下「各種休暇が取りやすくなること」が63.5%、「勤務場所を選択できること」が62.5%などとなっている。中学校は業務負担の軽減（授業以外の負担軽減）が68.0%と最も多く、以下各種休暇が取りやすくなること」が60.6%、「勤務場所を選択できること」が60.1%などとなっている。前回調査と比較し、小学校、中学校とも傾向はほぼ同じである。



	回答者数 (人)	各種休暇が 取りやすく なること	短時間勤務 ができるこ と	フレックス タイムなど 柔軟な勤務 時間	始業・終業 時刻の繰り 上げ・繰り 下げ勤務	業務負担の 軽減（授業 以外の負担 軽減）	持ち授業時 数の軽減	勤務場所を 選択できる こと	通勤等にお ける自家用 車利用	その他	無回答
合 計	691	433	277	315	260	462	404	427	108	35	28
	100.0	62.7	40.1	45.6	37.6	66.9	58.5	61.8	15.6	5.1	4.1
小学校	488	310	191	226	182	324	292	305	70	29	21
	100.0	63.5	39.1	46.3	37.3	66.4	59.8	62.5	14.3	5.9	4.3
中学校	203	123	86	89	78	138	112	122	38	6	7
	100.0	60.6	42.4	43.8	38.4	68.0	55.2	60.1	18.7	3.0	3.4

上段：実数、下段：割合（％）

その他

（人員の増強）

- ・常勤で補教に入れる人がいること。
- ・1クラスを3人で担任する。
- ・副担任など、教員を増やす。育児等の人だけが上記の支援をされても、他の人にシワよせがいくため、休みをとりづらい。一人一人の仕事量を減らさないと休みをとりづらい。

（サポート体制）

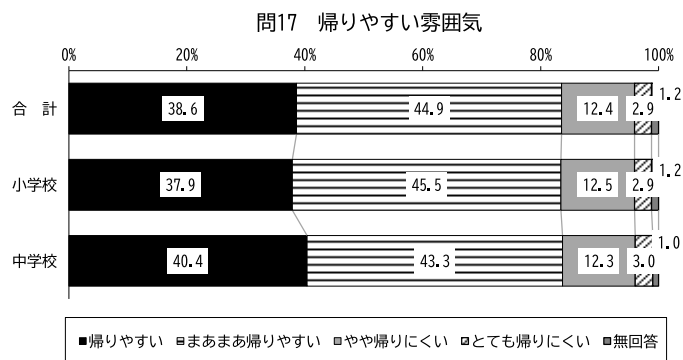
- ・周りでサポートする教員の負担軽減やサポート体制。
- ・休んだ分の仕事をする人への支援。それにより休むことへのうしろめたさが軽減される。
- ・看護休暇が増えること。
- ・育児、介護をしていない教員に負担がかからないように手あてや支援を増やすと休暇等も取りやすくなるのではないか。

（その他）

- ・出張・研修のオンライン化、リモート授業
- ・免許の必要のない仕事の外部委託
- ・書類作成を減らす。
- ・残業代をしっかりと出す。

問 17 業務終了後の帰りやすさ（SA）

業務終了後の帰りやすさについて、小学校は「まあまあ帰りやすい」が45.5%と最も多く、以下「帰りやすい」が37.9%、「やや帰りにくい」が12.5%などとなっている。中学校も「まあまあ帰りやすい」が43.3%と最も多く、以下「帰りやすい」が40.4%、「やや帰りにくい」が12.3%などとなっている。

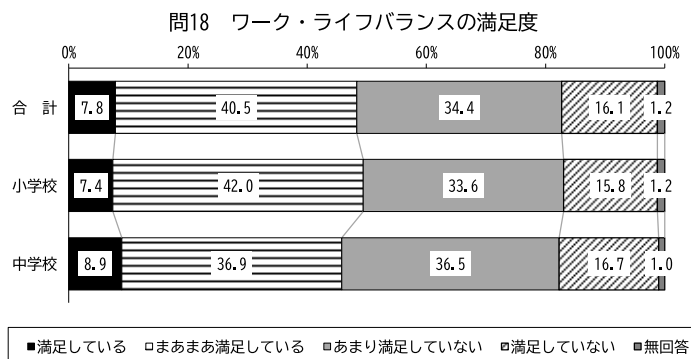


	回答者数 (人)	帰りやすい	まあまあ帰 りやすい	やや帰りに くい	とても帰 りにくい	無回答
合 計	691	267	310	86	20	8
	100.0	38.6	44.9	12.4	2.9	1.2
小学校	488	185	222	61	14	6
	100.0	37.9	45.5	12.5	2.9	1.2
中学校	203	82	88	25	6	2
	100.0	40.4	43.3	12.3	3.0	1.0

上段：実数、下段：割合（％）

問 18 ワーク・ライフバランスの満足度（SA）

ワーク・ライフバランスの満足度について、小学校は「まあまあ満足している」が42.0%と最も多く、以下「あまり満足していない」が33.6%、「満足していない」が15.8%などとなっている。中学校も「まあまあ満足している」が36.9%と最も多く、以下「あまり満足していない」が36.5%、「満足していない」が16.7%などとなっている。



	回答者数 (人)	満足してい る	まあまあ満 足している	あまり満足 していない	満足してい ない	無回答
合 計	691	54	280	238	111	8
	100.0	7.8	40.5	34.4	16.1	1.2
小学校	488	36	205	164	77	6
	100.0	7.4	42.0	33.6	15.8	1.2
中学校	203	18	75	74	34	2
	100.0	8.9	36.9	36.5	16.7	1.0

上段：実数、下段：割合（％）

問 19 回答した理由（自由記述）

【問 18 で「満足している」・「まあまあ満足している」と回答】

（職場の理解・雰囲気）

- ・理解のある職場であり、相談しやすい。
- ・仕事も職場環境が良好で楽しいと感じているから。
- ・職場も明るく、仕事の日と休日の日がはっきりしているから。
- ・職場で休暇を進んで取る人が多いため。
- ・まだ初任なので頑張りたい気持ちが強く、周りの先生方も優しくサポートしてくださるから。

（勤務体制）

- ・全体的に帰宅が早い教員が多いから。
- ・フレックス化している出退勤時間があるため。
- ・業務負担がアンバランスにならないように配慮されている。

（やりがいがある）

- ・自分で目標を設定し、年度ごとに達成しているため、仕事にやりがいがあるから。
- ・残業も休日出勤も好きでしているので、時短により仕事の質が落ちることの方がストレスになる。

（プライベートが充実）

- ・週末は友人や家族との時間を楽しんでいるから。
- ・異動により、自宅から職場が近くなり、保育園に送っても始業時刻に間に合うこと、保護者会等、子どもの行事に参加し易くなった。

【問 18 で「あまり満足していない」・「満足していない」と回答】

（仕事に追われている）

- ・休日でも仕事に割く時間が多く、そのようにしないと仕事が回らないため。
- ・現状、家で仕事をしたり、土日どちらか仕事をしたりせざるをえないから。
- ・行事が多すぎるので減らして欲しいと学校評価で挙げても、学校長の方針として聞き入れられず、全く改善されない。
- ・一部の人に仕事が偏っている。残業、土日出勤も仕事量が多い人。自分も含めて同じ人が遅くまで仕事をしている。
- ・授業準備にもっと時間を充てたいのに勤務時間内では全くする時間がない。休みの日もずっと授業のことを考えているし、空き時間は準備している。疲れがたまっていると感じることも多い。
- ・週末に仕事をしなければ間に合わない状況であり、週末に不安感を感じることも多いため。

（勤務時間・通勤時間）

- ・勤務時間の長さ、通勤時間の長さから、全くバランスが取れていない。
- ・育児のための時間を確保するために、限られた勤務時間で業務を進めなければいけないので、必然的に通勤時刻は早くなり、日常的な寝不足の状態で過ごすことになっているため。
- ・授業、行事、通知票などの準備時間が設定されておらず、時間外勤務が前提になっている。

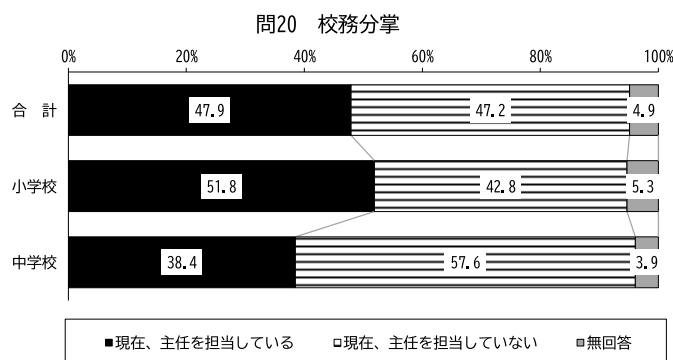
（やりがいがない）

- ・やりがいを感じにくい。
- ・仕事量が増えても給料に反映されない。

3 校務運営について

問 20 分掌・学年主任について（SA）

現在の分掌・学年主任について、小学校は「現在、主任を担当している」が 51.8%、「現在、主任を担当していない」が 42.8%となっている。中学校は「現在、主任を担当している」が 38.4%、「現在、主任を担当していない」が 57.6%となっている。

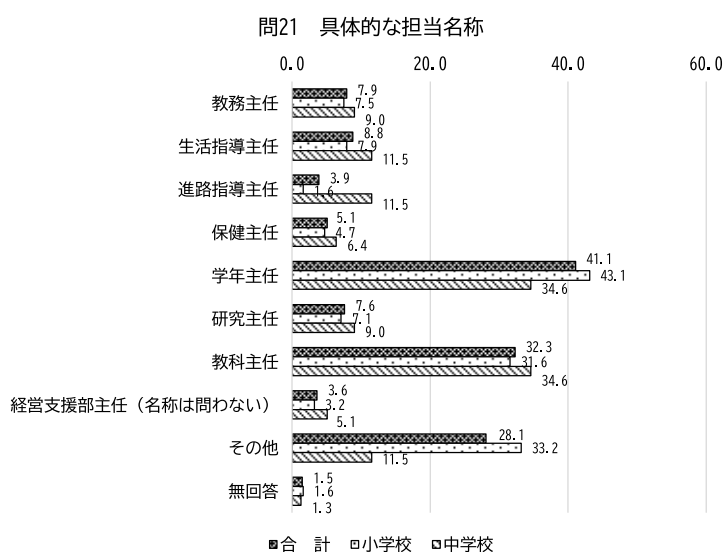


	回答者数 (人)	現在、主任 を担当して いる	現在、主任 を担当して いない	無回答
合 計	691	331	326	34
	100.0	47.9	47.2	4.9
小学校	488	253	209	26
	100.0	51.8	42.8	5.3
中学校	203	78	117	8
	100.0	38.4	57.6	3.9

上段：実数、下段：割合（％）

問 21 分掌・学年主任の具体的な担当名称（MA）

分掌・学年主任の具体的な担当名称について、小学校は「学年主任」が 43.1%と最も多く、以下「その他」が 33.2%、「教科主任」が 31.6%などとなっている。中学校は「学年主任」と「教科主任」がともに 34.6%と最も多く、以下「生活指導主任」「進路指導主任」「その他」がともに 11.5%などとなっている。



	回答者数 (人)	教務主任	生活指導主任	進路指導主任	保健主任	学年主任	研究主任	教科主任	経営支援部主任 (名称は問わない)	その他	無回答
合 計	331	26	29	13	17	136	25	107	12	93	5
	100.0	7.9	8.8	3.9	5.1	41.1	7.6	32.3	3.6	28.1	1.5
小学校	253	19	20	4	12	109	18	80	8	84	4
	100.0	7.5	7.9	1.6	4.7	43.1	7.1	31.6	3.2	33.2	1.6
中学校	78	7	9	9	5	27	7	27	4	9	1
	100.0	9.0	11.5	11.5	6.4	34.6	9.0	34.6	5.1	11.5	1.3

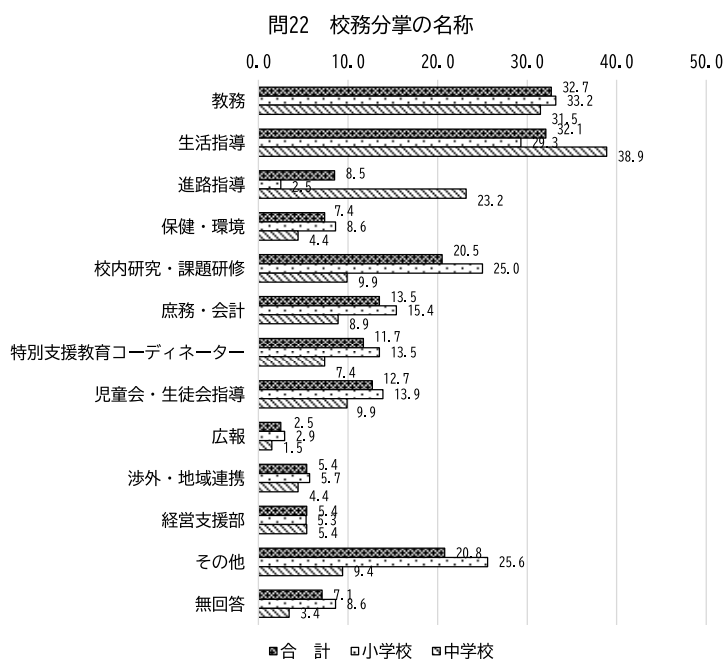
上段：実数、下段：割合（％）

その他

- ・学校図書館主任、学校図書館、図書主任
- ・ I C T 主任、 I C T 担当主任、 I C T 推進主任
- ・ 教室主任
- ・ 給食主任
- ・ 体育主任
- ・ 特別活動主任
- ・ 情報主任
- ・ 専科主任
- ・ 英語推進
- ・ 道徳推進
- ・ 特活主任
- ・ 教育相談
- ・ O J T 推進委員長
- ・ 保幼小中連携主任
- ・ 小中連携担任主任
- ・ 特別委員会（グローバル）

問 22 具体的な校務分掌名称（MA）

具体的な校務分掌名称について、小学校は「教務」が 33.2%と最も多く、以下「生活指導」が 29.3%、「校内研究・課題研修」が 25.0%などとなっている。中学校は「生活指導」が 38.9%と最も多く、以下「教務」が 31.5%、「進路指導」が 23.2%などとなっている。



	回答者数 (人)	教務	生活指導	進路指導	保健・環境	校内研究・課題研 修	庶務・会計
合 計	691	226	222	59	51	142	93
	100.0	32.7	32.1	8.5	7.4	20.5	13.5
小学校	488	162	143	12	42	122	75
	100.0	33.2	29.3	2.5	8.6	25.0	15.4
中学校	203	64	79	47	9	20	18
	100.0	31.5	38.9	23.2	4.4	9.9	8.9

	特別支援教育コー ディネーター	児童会・生徒会指 導	広報	渉外・地域連携	経営支援部	その他	無回答
合 計	81	88	17	37	37	144	49
	11.7	12.7	2.5	5.4	5.4	20.8	7.1
小学校	66	68	14	28	26	125	42
	13.5	13.9	2.9	5.7	5.3	25.6	8.6
中学校	15	20	3	9	11	19	7
	7.4	9.9	1.5	4.4	5.4	9.4	3.4

上段：実数、下段：割合（％）

その他

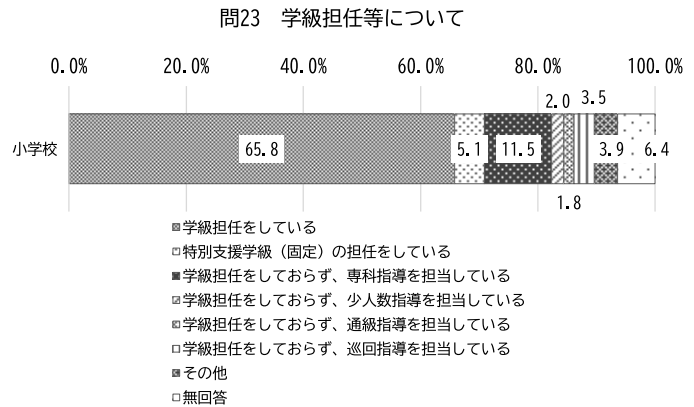
- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 特活・小教研役員・ ICT推進、ICT、ICT支援部・ GIGA、GIGA部、GIGAチーム・ 特別活動部会・ 不登校支援、不登校対応・ 体育的行事委員会、体育的行事・ 文化行事委員 | <ul style="list-style-type: none">・ 情報推進・ 道徳推進・ 特別支援教室専門員・ 小中連携教育、保幼小中連携・ 人権教育推進・ 展覧会実行委員長・ 学力向上委員会 |
|---|---|

4 学級担任・担任教科について

【小学校】

問 23 (小) 学級担任等について (小学校) (S A)

学級担任をしている教員は、65.8%と最も多く、以下「学級担任をしておらず、専科指導を担当している」が11.5%、「特別支援学級（固定）の担任をしている」が5.1%などとなっている。



	回答者数 (人)	学級担任を している	特別支援学 級（固定） の担任をし ている	学級担任を しておら ず、専科指 導を担当し ている	学級担任を しておら ず、少人数 指導を担当 している	学級担任を しておら ず、通級指 導を担当し ている	学級担任を しておら ず、巡回指 導を担当し ている	その他	無回答
小学校	488	321	25	56	10	9	17	19	31
	100.0	65.8	5.1	11.5	2.0	1.8	3.5	3.9	6.4

上段：実数、下段：割合 (%)

その他：養護教諭、主任養護教諭、栄養教諭

問 24① (小) 「学級担任をしている」学級の児童数 (令和6年9月1日現在) (数値)

学級担任をしていると回答した321人（無記入2人）が担任している学級の児童数は、平均29.7人である。「うち30日以上長期欠席者（不登校を理由とする）の児童数」は平均1.3人、「うち、日本語指導を必要とする児童数」は平均1.2人、「うち、特別な教育的支援を要する児童数」は平均3.2人となっている。

	回答者数 (人)	担任している学級の児童数		うち30日以上長期欠席者（不登校を理由とする）の児童数		うち、日本語指導を必要とする児童数		うち、特別な教育的支援を要する児童数	
		有と回答	平均 (人)	有と回答	平均 (人)	有と回答	平均 (人)	有と回答	平均 (人)
小学校	321	319	29.7	97	1.3	60	1.2	193	3.2
	100.0	99.4		30.2		18.7		60.1	

上段：実数、下段：割合 (%)

問 24② (小) 担任をしている学級の授業時数 (数値)

学級担任をしている学級の授業時数は平均26.6コマで、そのうちの1週間の担当授業時数（持ち時数）は平均21.6コマである。

	回答者数 (人)	担任をしている学級の授業時数		うち担当授業時数（持ち時数）	
		有効回答	平均 (コマ)	有効回答	平均 (コマ)
小学校	321	319	26.6	293	21.6
	100.0	99.4		91.3	

問 25 (小) 「特別支援学級の担任をしている」学級の児童数 (数値)

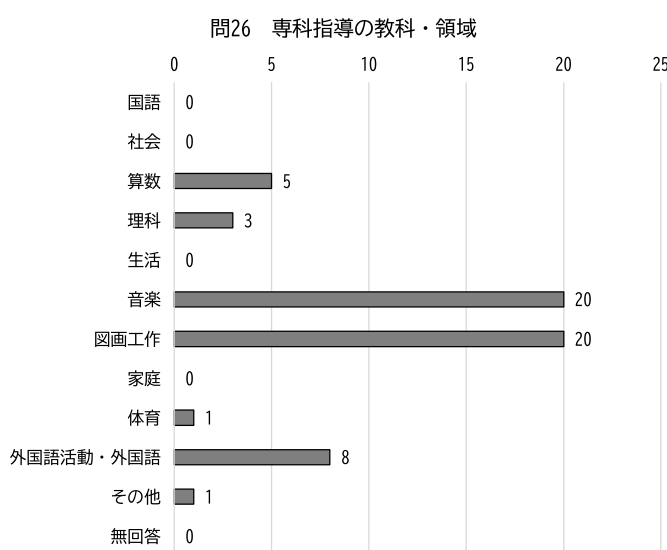
特別支援学級 (固定) を担任していると回答した 25 人が担任している学級の児童数は平均 8.8 人である。「うち 30 日以上長期欠席者 (不登校を理由とする) の児童数」は 1.0 人、「うち、日本語指導を必要とする児童数の児童数」は 1.0 人、「うち、特別な教育的支援を要する児童数」は 7.1 人であった。

	回答者数 (人)	担任している学級の児童数		うち 30 日以上長期欠席者 (不登校を理由とする) の児童数		うち、日本語指導を必要とする児童数		うち、特別な教育的支援を要する児童数	
		有と回答	平均 (人)	有と回答	平均 (人)	有と回答	平均 (人)	有と回答	平均 (人)
小学校	25	25	8.8	6	1.0	4	1.0	18	7.1
	100.0	100.0		24.0		16.0		72.0	

上段：実数、下段：割合 (%)

問 26 (小) 専科指導の教科・領域 (MA)

学級担任をしておらず、専科指導を担当していると回答した 56 人の専科指導の教科・領域は、「音楽」と「図画工作」がともに 20 人 (35.7%) と最も多く、以下「外国語活動・外国語」が 8 人、「算数」が 5 人などとなっている。



	回答者数 (人)	国語	社会	算数	理科	生活	音楽
小学校	56	0	0	5	3	0	20
	100.0	0.0	0.0	8.9	5.4	0.0	35.7

図画工作	家庭	体育	外国語活動・外国語	その他	無回答
20	0	1	8	1	0
35.7	0.0	1.8	14.3	1.8	0.0

上段：実数、下段：割合 (%)

問 27 (小) 学級担任以外の 1 週間の担当授業時数 (持ち時数) 等 (学級担任以外) (数値)

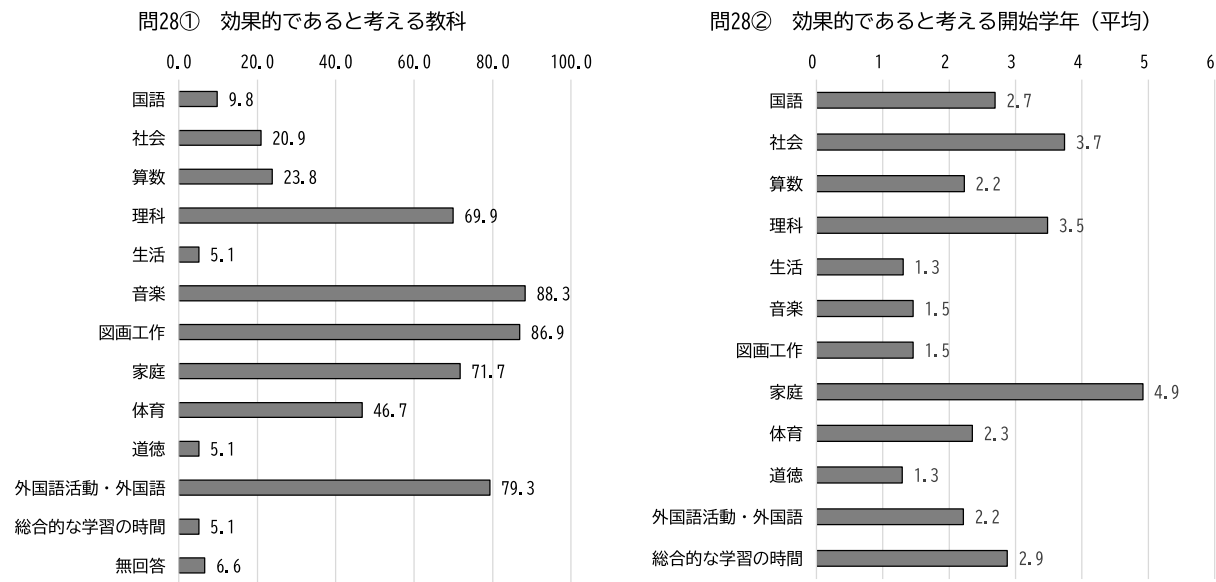
学級担任以外の 1 週間の担当授業時数 (持ち時数) は平均 20.3 コマで、空時間は平均 7.9 コマ、空き時間のうち会議等の業務に使っている時数は平均 5.2 コマである。

	回答者数 (人)	1 週間の担当授業時数		1 週間のうち、空き時間		空き時間のうち会議等の業務に使っている時数	
		有効回答	平均 (コマ)	有効回答	平均 (コマ)	有効回答	平均 (コマ)
小学校	111	91	20.3	86	7.9	44	5.2
	100.0	82.0		77.5		39.6	

上段：実数、下段：割合 (%)

問 28（小） 専科教員による指導が効果的であるとする教科と開始学年（MA・数値）

専科教員による指導が効果的であるとする教科等（平均した開始学年）について、最も効果的と考えられている教科は「音楽」で 88.3%（平均 1.5 年生）、次いで「図画工作」で 86.9%（平均 1.5 年生）、「外国語活動」が 79.3%（平均 2.2 年生）、「家庭」が 71.7%（平均 4.9 年生）、「理科」が 69.9%（平均 3.5 年生）などとなっている。前回調査と比較し、傾向はほぼ同じである。



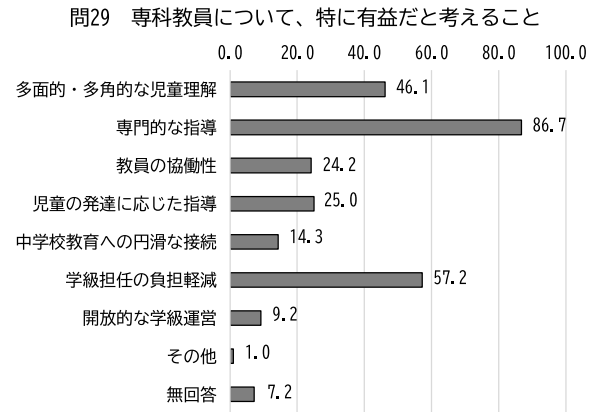
	回答者数 (人)	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	道徳	外国語活動・外国語	総合的な学習の時間	無回答
小学校	488	48	102	116	341	25	431	424	350	228	25	387	25	32
	100.0	9.8	20.9	23.8	69.9	5.1	88.3	86.9	71.7	46.7	5.1	79.3	5.1	6.6

上段：実数、下段：割合（%）

	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	道徳	外国語活動・外国語	総合的な学習の時間
小学校	2.7	3.7	2.2	3.5	1.3	1.5	1.5	4.9	2.3	1.3	2.2	2.9

問 29（小） 専科教員について、特に有益だと考えること（MA）

専科教員について、特に有益だと考えることについて、「専門的な指導」が 86.7%と最も多く、以下「学級担任の負担軽減」が 57.2%、「多面的・多角的な児童理解」が 46.1%などとなっている。前回調査と比較し、傾向はほぼ同じである。



	回答者数 (人)	多面的・多 角的な児童 理解	専門的な 指導	教員の 協働性	児童の発達 に応じた 指導	中学校教育 への円滑な 接続	学級担任の 負担軽減	開放的な学 級運営	その他	無回答
小学校	488	225	423	118	122	70	279	45	5	35
	100.0	46.1	86.7	24.2	25.0	14.3	57.2	9.2	1.0	7.2

上段：実数、下段：割合（％）

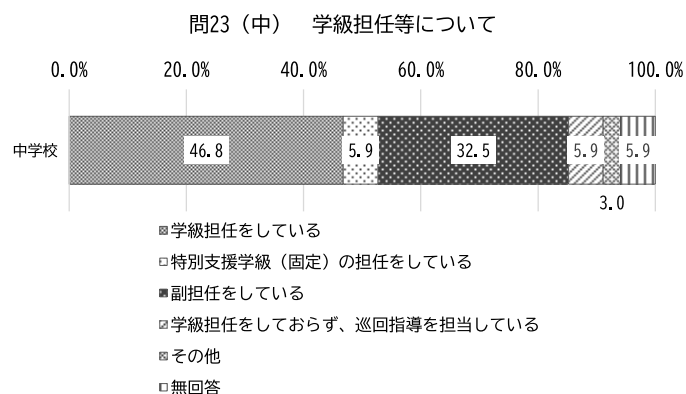
その他

- ・多くの教員が児童を見る。1人の責任にしない、気付きを。
- ・理科などは、6年生までの流れを見据えた指導ができる。準備や危険性など、時間を要することに対しても、担任がいるとよい（理科や家庭科）。
- ・教材の一斉準備、授業準備の充実。
- ・家庭科・図工などは特に教材・教具が整っている方が進めやすいから。
- ・専科教員の必須業務を決定しておくこと。

【中学校】

問 23（中） 学級担任（SA）

学級担任をしている教員は46.8%と最も多く、以下「副担任をしている」が32.5%、「特別支援学級（固定）の担任をしている」、「学級担任をしておらず、通級指導を担当している」がともに5.9%などとなっている。



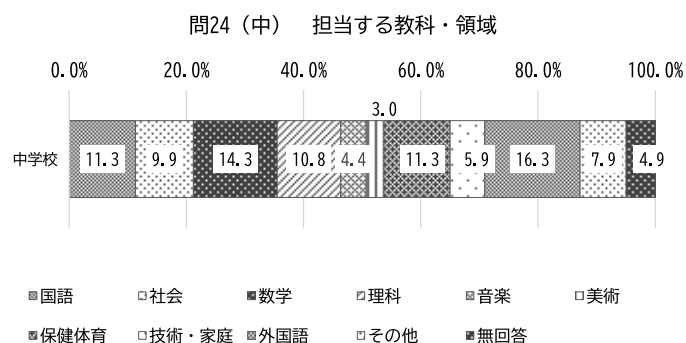
	回答者数 (人)	学級担任を している	特別支援学 級（固定） の担任をし ている	副担任をし ている	学級担任を しておらず、巡回指 導を担当し ている	その他	無回答
中学校	203	95	12	66	12	6	12
	100.0	46.8	5.9	32.5	5.9	3.0	5.9

上段：実数、下段：割合（%）

その他：養護教諭、学年所属、学年付き

問 24（中） 担当する教科・領域（SA）

担当する教科・領域は、「外国語」が16.3%と最も多く、以下「数学」が14.3%、「国語」、「保健体育」がともに11.3%などとなっている。



	回答者数 (人)	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	その他	無回答
中学校	203	23	20	29	22	9	6	23	12	33	16	10
	100.0	11.3	9.9	14.3	10.8	4.4	3.0	11.3	5.9	16.3	7.9	4.9

上段：実数、下段：割合（%）

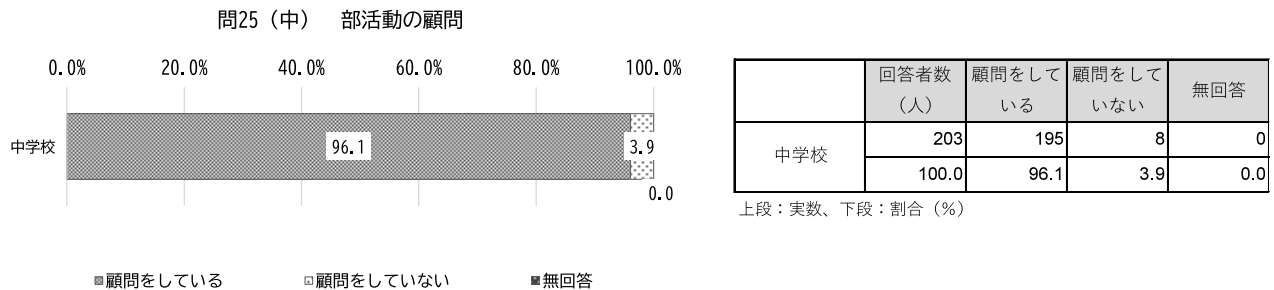
その他：特別支援、特別支援教室専門員、巡回指導、養護教諭、生活単元学習・職業・家庭

5 中学校の部活動について

【中学校】

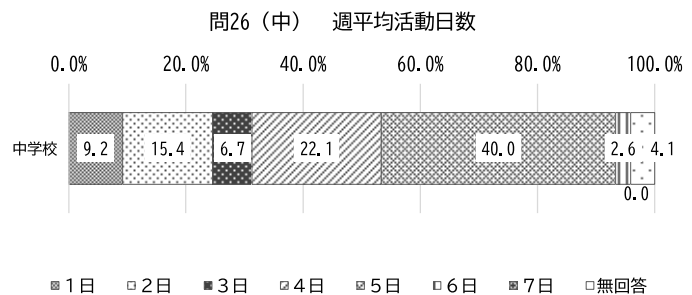
問 25（中） 部活動の顧問（S A）

現在、部活動の顧問をしている教員は、96.1%である。前回調査と比較し、ほぼ横ばいである。



問 26（中） 部活動の週平均活動日数（S A）

部活動の週平均活動日数は、「5 日」が40.0%と最も多く、以下「4 日」が22.1%、「2 日」が15.4%、「1 日」が9.2%などとなっている。前回調査と比較し、傾向はほぼ同じであるが、「6 日」が大きく減少した。

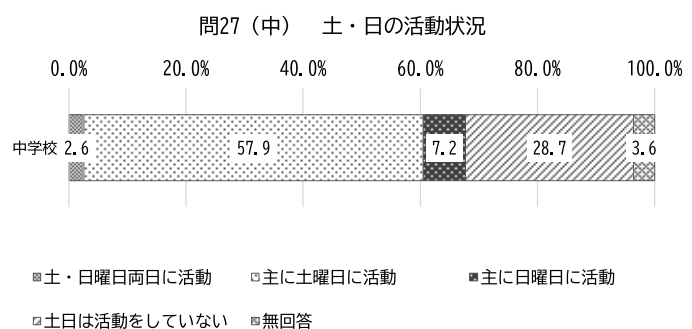


	回答者数 (人)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	無回答
中学校	195	18	30	13	43	78	5	0	8
	100.0	9.2	15.4	6.7	22.1	40.0	2.6	0.0	4.1

上段：実数、下段：割合（%）

問 27（中） 担当部活動の土・日曜日の活動状況（S A）

担当部活動の土・日曜日の活動状況について、「主に土曜日に活動」が57.9%と最も多く、以下「土日は活動をしていない」が28.7%、「主に日曜日に活動」が7.2%、「土・日曜日両日に活動」は2.6%である。前回調査と比較し、「土・日曜日両日に活動」が大きく減少した。

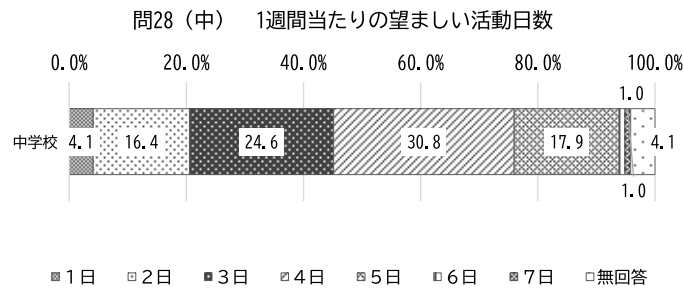


	回答者数 (人)	土・日曜日 両日に活動	主に土曜日 に活動	主に日曜日 に活動	土日は活動 をしていない	無回答
中学校	195	5	113	14	56	7
	100.0	2.6	57.9	7.2	28.7	3.6

上段：実数、下段：割合（%）

問 28（中） 1週間当たりの望ましい活動日数（SA）

生徒の健康や学習時間の確保を考慮した、1週間当たりの望ましい活動日数について、「4日」が30.8%と最も多く、以下「3日」が24.6%、「5日」が17.9%などとなっている。前回調査と比較し、「5日」が大きく減少するなど、全体的に日数は減少傾向である。

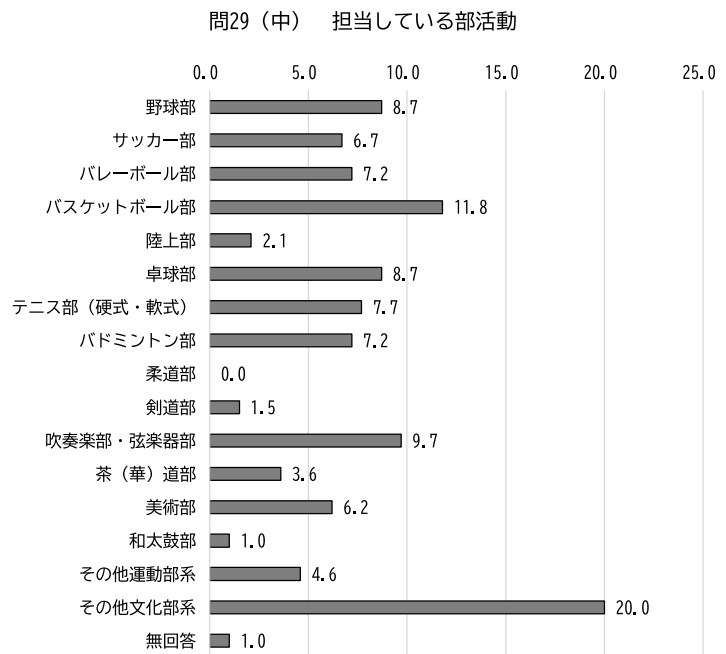


	回答者数 (人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
中学校	195	8	32	48	60	35	2	2	8
	100.0	4.1	16.4	24.6	30.8	17.9	1.0	1.0	4.1

上段：実数、下段：割合 (%)

問 29（中） 担当をしている部活動（MA）

担当している部活動は、「その他文化部系」が20.0%と最も多く、以下「バスケットボール部」が11.8%、「吹奏楽部・弦楽器部」が9.7%などとなっている。前回調査と比較し、傾向はほぼ同じである。



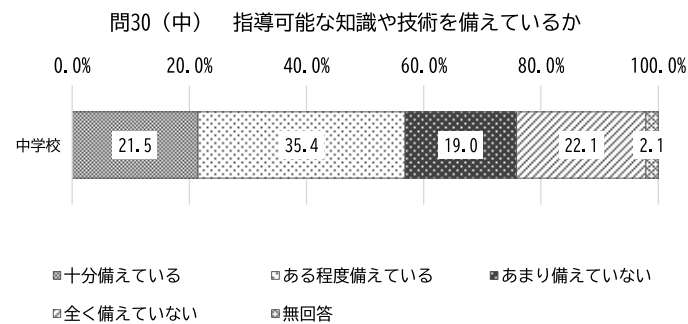
回答者数 (人)	野球部	サッカー部	バレーボール部	バスケットボール部	陸上部	卓球部	テニス部 (硬式・軟式)	バドミントン部
195	17	13	14	23	4	17	15	14
100.0	8.7	6.7	7.2	11.8	2.1	8.7	7.7	7.2

柔道部	剣道部	吹奏楽部・弦楽器部	茶（華）道部	美術部	和太鼓部	その他運動部系	その他文化部系	無回答
0	3	19	7	12	2	9	39	2
0.0	1.5	9.7	3.6	6.2	1.0	4.6	20.0	1.0

上段：実数、下段：割合 (%)

問 30（中） 担当する部活動における知識や技術（S A）

担当する部活動において、指導可能な知識や技術を備えているかについては、「ある程度備えている」が 35.4%、「十分備えている」が 21.5%で、合わせて 56.9%が、「指導可能な知識や技術を備えている」と回答している。一方、「全く備えていない」が 22.1%となっている。前回調査と比較し、傾向はほぼ同じである。

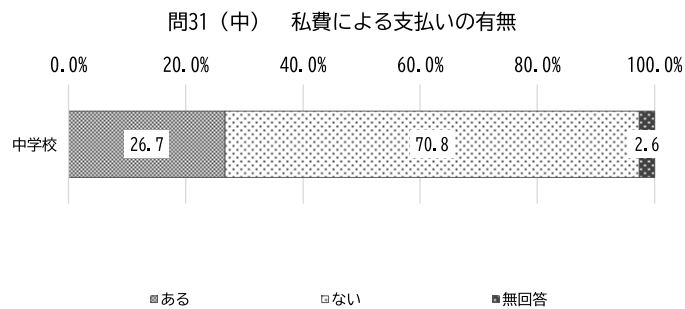


	回答者数 (人)	十分備えて いる	ある程度備 えている	あまり備え ていない	全く備えて いない	無回答
中学校	195	42	69	37	43	4
	100.0	21.5	35.4	19.0	22.1	2.1

上段：実数、下段：割合（%）

問 31（中） 担当部活動の審判や指導者資格を取得する際の私費による支払い（S A）

担当部活動の審判や指導者資格を取得する際に私費による支払いについては、「ない」が 70.8%、「ある」が 26.7%となっている。前回調査と比較し、「ある」が減少している。

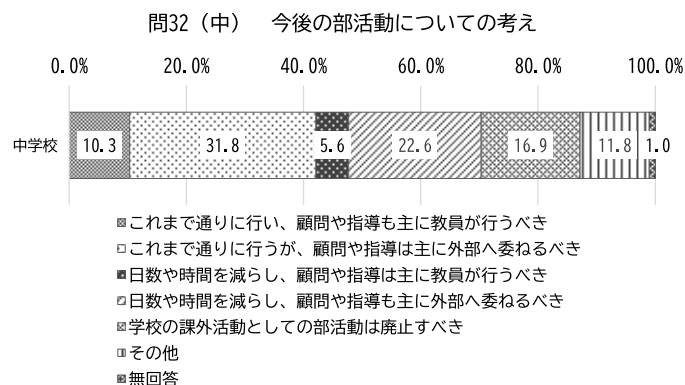


	回答者数 (人)	ある	ない	無回答
中学校	195	52	138	5
	100.0	26.7	70.8	2.6

上段：実数、下段：割合（%）

問 32（中） 今後の部活動についての考え（S A）

今後の部活動については、「これまで通りに行うが、顧問や指導は主に外部へ委ねるべき」が 31.8%と最も多く、以下「日数や時間を減らし、顧問や指導も主に外部へ委ねるべき」が 22.6%、「学校の課外活動としての部活動は廃止すべき」が 16.9%などとなっている。前回調査と比較し、「これまで通りに行うが、顧問や指導は主に外部へ委ねるべき」が大きく増加している。



	回答者数 (人)	これまで通 りに行い、 顧問や指導 も主に教員 が行うべき	これまで通 りに行い が、顧問や 指導は主に 外部へ委ね るべき	日数や時間 を減らし、 顧問や指導 は主に教員 が行うべき	日数や時間 を減らし、 顧問や指導 も主に外部 へ委ねるべ き	学校の課外 活動として の部活動は 廃止すべき	その他	無回答
中学校	195	20	62	11	44	33	23	2
	100.0	10.3	31.8	5.6	22.6	16.9	11.8	1.0

上段：実数、下段：割合 (%)

その他

（外部との連携）

- ・可能な人が顧問を行い、むずかしい方へは、外部へ委ねるハイブリッド。
- ・これまで通り行い、外部と教員が連携して指導すべき。
- ・教員＋外部指導員でバランスをとるべき。
- ・地域や専門性のある教員、外部が柔軟に対応する。
- ・平日は教員でも良いが土・日は教員以外。
- ・外部に委ねる形で、教員も副業として雇われることが可能な形にする。

（手当をつける）

- ・教員で指導希望する場合対価と休日を付与してほしい。
- ・主に教員が行い、手当等を検討すべき。
- ・部活動を行いたい教員に対し、指導手当を払った上で行う。
- ・部活動はこれまで通り教員が行うが、人員を増やしたり、手当を増やしたりすべき。

（希望制）

- ・部活は顧問を持ちたければ持つ等の希望制。
- ・部活動をしたい教員は顧問になり、そうでない人が顧問をしなくていいような制度をつくるべき。
- ・部活動をやりたい教員は顧問や指導を行い、教員が指導できない部活動は外部に委ねる。
- ・顧問や指導を主に誰がすべきということを決めつけず、やりたい教員はやり、やりたくない教員はやらなくてすむようにすべき。

問 33（中） 今後の部活動のあり方（自由記入）

（外部連携）

- ・業務軽減のため、どんどん外部へ委ねるべきだが、人材が確保できていない。
- ・外部と学校が連携してバランス良く指導に当たれると良い。
- ・校内で活動しているのに外部の方に指導をお願いするのは難しい面もあると思うが、ある程度権限を持たせて生徒の指導が行えるようにする必要がある。
- ・部活動によって生徒の人生が変わることもあるため、続けていくべきであるが、外部の力も借りないと存続は難しい。
- ・教員と外部の人材が連携し、個々の教員の実態に応じた分担。

（外部活用への懸念）

- ・外部に委ねたいが、指導員へのトラブル、ケガの対応、システムの不備など、さらに仕事が増えそうな感じがある。
- ・外部に委ねたことで、友人関係のトラブルなどをどこまで対応してもらえるのかなど、問題に対する対応が明確になっていない気がする。
- ・部活動が学校で行われる以上、教員の負担は減らない。
- ・外部人材への教育的配慮が不安、部活動の教育的意義がなくなる。教員でやらないのなら校内で行わないで欲しい。
- ・外部指導員や部活指導員を活用するメリットもあるが、負担感はあまり変わらない。

（手当の充実）

- ・部活をやるのは全然構わないが、もう少し手当などを充実させてほしい。
- ・部活動はこれまで通り教員が行うが、人員を増やしたり、手当を増やしたりすべき。

（希望制）

- ・部活動をやりたくてこの職に就いた方もいるので、顧問は希望制にしていくほうが良いと思う。
- ・顧問は意欲や知識・技能のある教員がやるべきで、教員が不足しているなら、外部に頼った方が良い。

（部活動も指導の場）

- ・部活動も生徒とコミュニケーションをとる場として重要である。指導を通して生徒の様子を観察し、変わったことがないか確認していく。

（部活動は業務ではない）

- ・そもそも業務でない仕事をやらせているのが問題。試合などの交通費すら出ず、やらせている事を見ても見ぬふり。特別勤務手当の金額も納得のいく金額ではない。
- ・部活動は学校の活動と完全に分離すべき。顧問は教員の仕事ではない。

（その他）

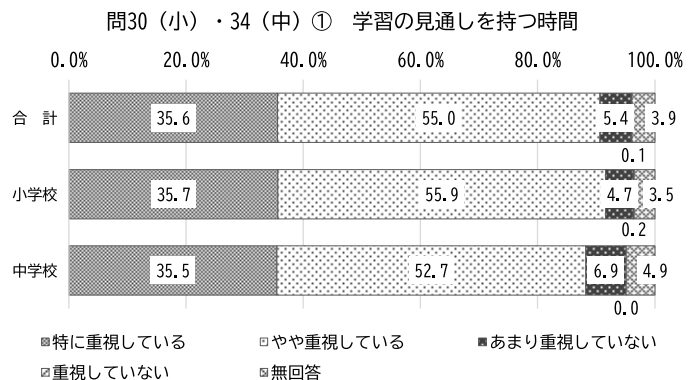
- ・単に技術を教えている訳ではなく、精神的な支えや励まし等、学級外での大きな役割を果たしている。仲間との絆や自主自律を育成してくださっている顧問に感謝してもしきれない。
- ・課外活動での部活動は半強制的な空気があり、入りたくない生徒も在籍はしている。その生徒が部活に来なかったり、来ても真面目に取り組まなかったりすると、指導しなければならず、時間や労力を要するため、運動をしたい生徒は外部で行えばよいと思う。
- ・部活をやりたくて先生になる考えの教員は、部活を軸に考える傾向にある先生が多いので、その他授業、学級経営、学年教員への配慮のバランスが悪い。

6 教科指導に対する意識について

問 30（小）・34（中） 1 単位時間の授業の中で重視していること（S A）

①「学習の見通しをもつ時間」

小学校は「やや重視している」が 55.9%、「特に重視している」が 35.7%、「あまり重視していない」が 4.7%となっている。中学校は「やや重視している」が 52.7%、「特に重視している」が 35.5%、「あまり重視していない」が 6.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「特に重視している」の割合が増加している。

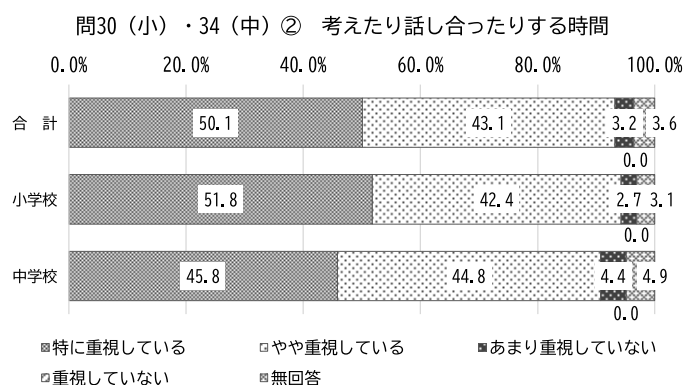


	回答者数 (人)	特に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	重視してい ない	無回答
合 計	691	246	380	37	1	27
	100.0	35.6	55.0	5.4	0.1	3.9
小学校	488	174	273	23	1	17
	100.0	35.7	55.9	4.7	0.2	3.5
中学校	203	72	107	14	0	10
	100.0	35.5	52.7	6.9	0.0	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

②「考えたり話し合ったりする時間」

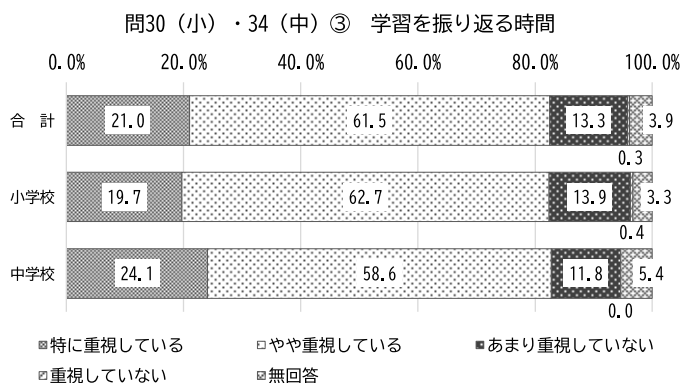
小学校は「特に重視している」が 51.8%、「やや重視している」が 42.4%、「あまり重視していない」が 2.7%となっている。中学校は「特に重視している」が 45.8%、「やや重視している」が 44.8%、「あまり重視していない」が 4.4%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「特に重視している」の割合が増加している。



	回答者数 (人)	特に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	重視してい ない	無回答
合 計	691	346	298	22	0	25
	100.0	50.1	43.1	3.2	0.0	3.6
小学校	488	253	207	13	0	15
	100.0	51.8	42.4	2.7	0.0	3.1
中学校	203	93	91	9	0	10
	100.0	45.8	44.8	4.4	0.0	4.9

③「学習を振り返る時間」

小学校は「やや重視している」が62.7%、「特に重視している」が19.7%、「あまり重視していない」が13.9%となっている。中学校は「やや重視している」が58.6%、「特に重視している」が24.1%、「あまり重視していない」が11.8%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「特に重視している」の割合が若干増加している。

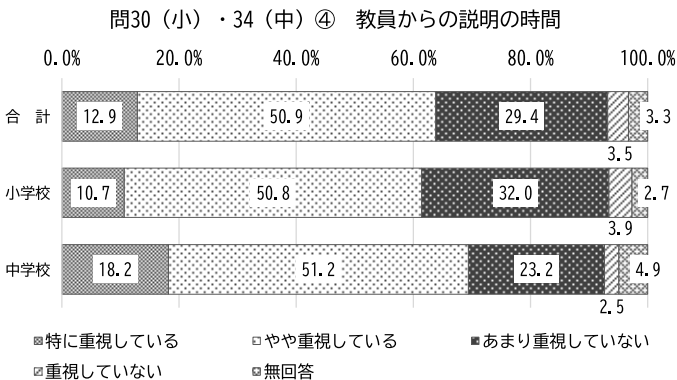


	回答者数 (人)	特に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	重視してい ない	無回答
合 計	691	145	425	92	2	27
	100.0	21.0	61.5	13.3	0.3	3.9
小学校	488	96	306	68	2	16
	100.0	19.7	62.7	13.9	0.4	3.3
中学校	203	49	119	24	0	11
	100.0	24.1	58.6	11.8	0.0	5.4

上段：実数、下段：割合（％）

④「教員からの説明の時間」

小学校は「やや重視している」が50.8%、「あまり重視していない」が32.0%、「特に重視している」が10.7%となっている。中学校は「やや重視している」が51.2%、「あまり重視していない」が23.2%、「特に重視している」18.2%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

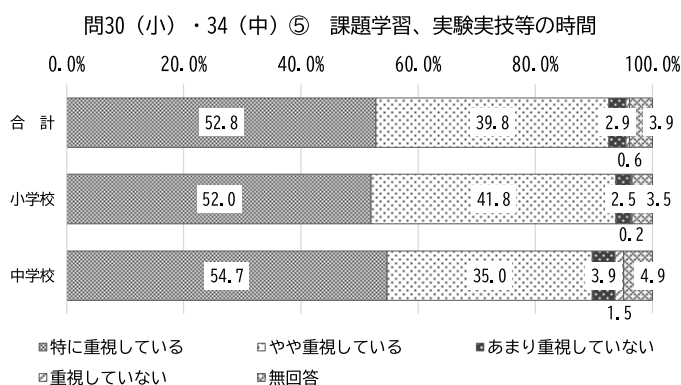


	回答者数 (人)	特に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	重視してい ない	無回答
合 計	691	89	352	203	24	23
	100.0	12.9	50.9	29.4	3.5	3.3
小学校	488	52	248	156	19	13
	100.0	10.7	50.8	32.0	3.9	2.7
中学校	203	37	104	47	5	10
	100.0	18.2	51.2	23.2	2.5	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑤「課題を解決したり、実験・実技等をしたりする時間」

小学校は「特に重視している」が52.0%、「やや重視している」が41.8%、「あまり重視していない」が2.5%となっている。中学校は「特に重視している」が54.7%、「やや重視している」が35.0%、「あまり重視していない」が3.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「特に重視している」の割合が増加している。

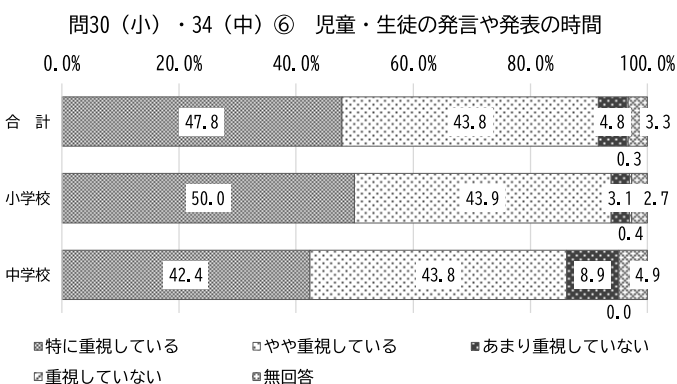


	回答者数 (人)	特に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	重視してい ない	無回答
合 計	691	365	275	20	4	27
	100.0	52.8	39.8	2.9	0.6	3.9
小学校	488	254	204	12	1	17
	100.0	52.0	41.8	2.5	0.2	3.5
中学校	203	111	71	8	3	10
	100.0	54.7	35.0	3.9	1.5	4.9

上段：実数、下段：割合 (%)

⑥「児童・生徒の発言や発表の時間」

小学校は「特に重視している」が50.0%、「やや重視している」が43.9%、「あまり重視していない」が3.1%となっている。中学校は「やや重視している」が43.8%、「特に重視している」が42.4%、「あまり重視していない」が8.9%となっている。

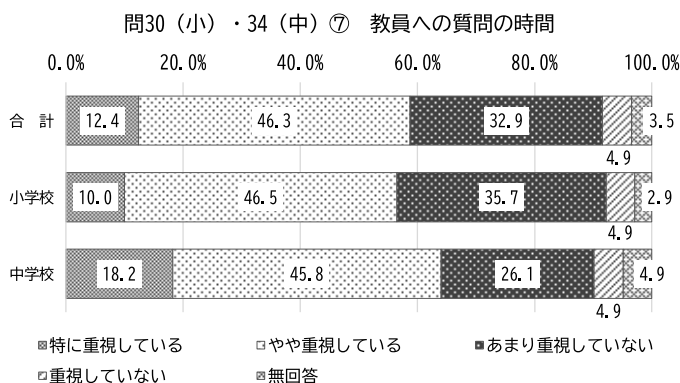


	回答者数 (人)	特に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	重視してい ない	無回答
合 計	691	330	303	33	2	23
	100.0	47.8	43.8	4.8	0.3	3.3
小学校	488	244	214	15	2	13
	100.0	50.0	43.9	3.1	0.4	2.7
中学校	203	86	89	18	0	10
	100.0	42.4	43.8	8.9	0.0	4.9

上段：実数、下段：割合 (%)

⑦「学習内容についての教員への質問の時間」

小学校は「やや重視している」が46.5%、「あまり重視していない」が35.7%、「特に重視している」が10.0%となっている。中学校は「やや重視している」が45.8%、「あまり重視していない」が26.1%、「特に重視している」が18.2%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

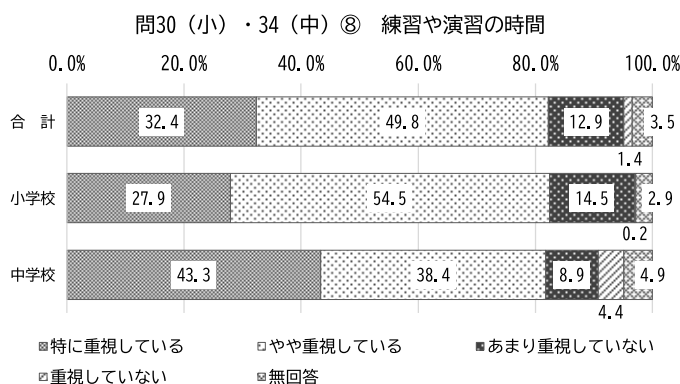


	回答者数 (人)	特に重視し ている	やや重視し ている	あまり重視 していない	重視してい ない	無回答
合 計	691	86	320	227	34	24
	100.0	12.4	46.3	32.9	4.9	3.5
小学校	488	49	227	174	24	14
	100.0	10.0	46.5	35.7	4.9	2.9
中学校	203	37	93	53	10	10
	100.0	18.2	45.8	26.1	4.9	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑧「練習や演習の時間」

小学校は「やや重視している」が54.5%、「特に重視している」が27.9%、「あまり重視していない」が14.5%となっている。中学校は「特に重視している」が43.3%、「やや重視している」が38.4%、「あまり重視していない」が8.9%となっている。前回調査と比較し、中学校において「特に重視している」の割合が増加している。

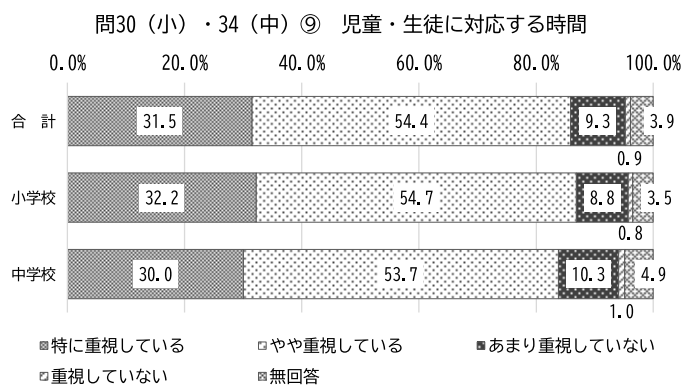


	回答者数 (人)	特に重視し ている	やや重視し ている	あまり重視 していない	重視してい ない	無回答
合 計	691	224	344	89	10	24
	100.0	32.4	49.8	12.9	1.4	3.5
小学校	488	136	266	71	1	14
	100.0	27.9	54.5	14.5	0.2	2.9
中学校	203	88	78	18	9	10
	100.0	43.3	38.4	8.9	4.4	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑨「机間指導や児童・生徒に個別に対応する時間」

小学校は「やや重視している」が54.7%、「特に重視している」が32.2%、「あまり重視していない」が8.8%となっている。中学校は「やや重視している」が53.7%、「特に重視している」が30.0%、「あまり重視していない」が10.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「特に重視している」の割合が若干増加している。



	回答者数 (人)	特に重視し ている	やや重視し ている	あまり重視 していない	重視してい ない	無回答
合 計	691	218	376	64	6	27
	100.0	31.5	54.4	9.3	0.9	3.9
小学校	488	157	267	43	4	17
	100.0	32.2	54.7	8.8	0.8	3.5
中学校	203	61	109	21	2	10
	100.0	30.0	53.7	10.3	1.0	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

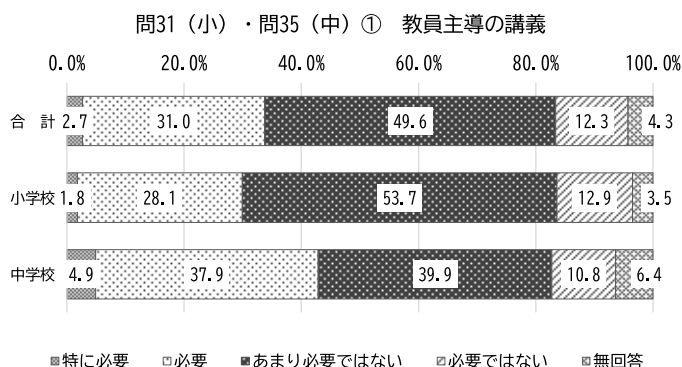
⑩「その他」

小学校は「ＩＣＴの活用」、「学習内容や児童の実態に応じた対応」、「児童が自分で考える時間」、「協働学習」などの意見があった。中学校は「ＩＣＴを使用した意見共有」、「生徒の話を聞く時間」、「健康管理」などの意見があった。

問 31（小）・35（中） 学習方法や学習活動で今後重視していく必要があると思うこと（S A）

①「教員主導の講義」

小学校は「あまり必要ではない」が53.7%、「必要」が28.1%、「必要ではない」が12.9%となっている。中学校は「あまり必要ではない」が39.9%、「必要」が37.9%、「必要ではない」が10.8%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

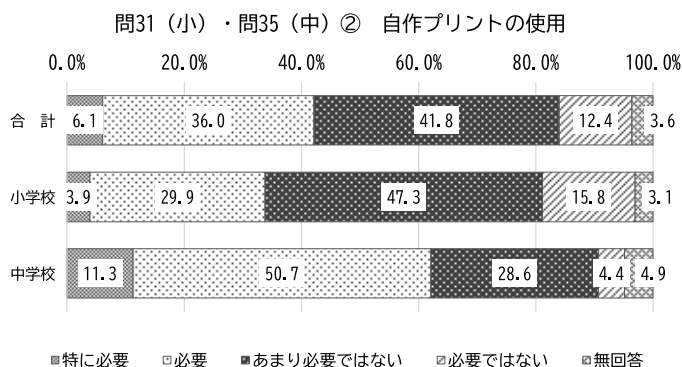


	回答者数 (人)	特に必要な	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	19	214	343	85	30
	100.0	2.7	31.0	49.6	12.3	4.3
小学校	488	9	137	262	63	17
	100.0	1.8	28.1	53.7	12.9	3.5
中学校	203	10	77	81	22	13
	100.0	4.9	37.9	39.9	10.8	6.4

上段：実数、下段：割合（％）

②「自作プリントの使用」

小学校は「あまり必要ではない」が47.3%、「必要」が29.9%、「必要ではない」が15.8%となっている。中学校は「必要」が50.7%、「あまり必要ではない」が28.6%、「特に必要」が11.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「あまり必要ではない」の割合が増加している。

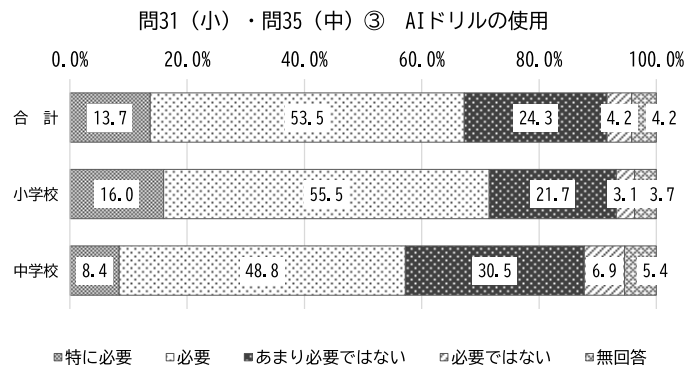


	回答者数 (人)	特に必要な	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	42	249	289	86	25
	100.0	6.1	36.0	41.8	12.4	3.6
小学校	488	19	146	231	77	15
	100.0	3.9	29.9	47.3	15.8	3.1
中学校	203	23	103	58	9	10
	100.0	11.3	50.7	28.6	4.4	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

③「AIドリルの使用」

小学校は「必要」が55.5%、「あまり必要ではない」が21.7%、「特に必要」が16.0%となっている。中学校は「必要」が48.8%、「あまり必要ではない」が30.5%、「特に必要」が8.4%となっている。

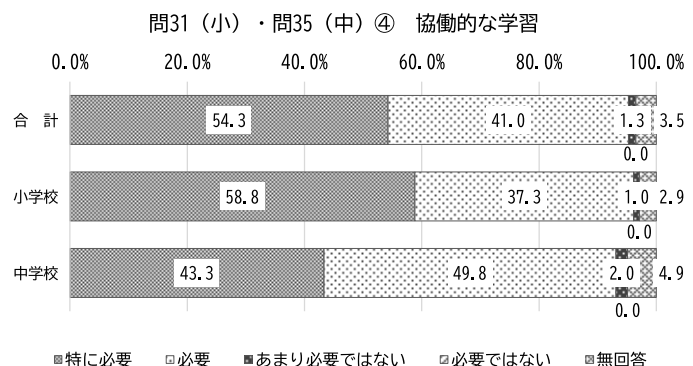


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	95	370	168	29	29
	100.0	13.7	53.5	24.3	4.2	4.2
小学校	488	78	271	106	15	18
	100.0	16.0	55.5	21.7	3.1	3.7
中学校	203	17	99	62	14	11
	100.0	8.4	48.8	30.5	6.9	5.4

上段：実数、下段：割合（％）

④「話し合いや作業等グループでの協働的な学習」

小学校は「特に必要」が58.8%、「必要」が37.3%、「あまり必要ではない」が1.0%となっている。中学校は「必要」が49.8%、「特に必要」が43.3%、「あまり必要ではない」が2.0%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

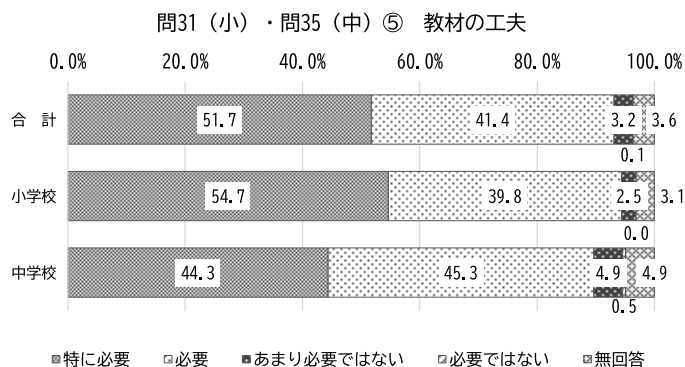


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	375	283	9	0	24
	100.0	54.3	41.0	1.3	0.0	3.5
小学校	488	287	182	5	0	14
	100.0	58.8	37.3	1.0	0.0	2.9
中学校	203	88	101	4	0	10
	100.0	43.3	49.8	2.0	0.0	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑤ 「具体物を使うなど、教材の工夫」

小学校は「特に必要」が 54.7%、「必要」が 39.8%、「あまり必要ではない」が 2.5%となっている。中学校は「必要」が 45.3%、「特に必要」が 44.3%、「あまり必要ではない」が 4.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

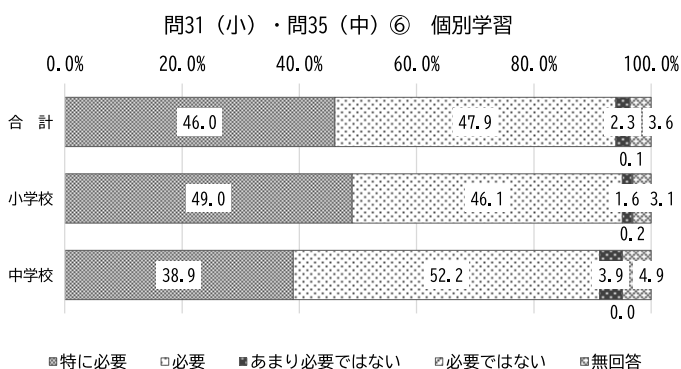


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	357	286	22	1	25
	100.0	51.7	41.4	3.2	0.1	3.6
小学校	488	267	194	12	0	15
	100.0	54.7	39.8	2.5	0.0	3.1
中学校	203	90	92	10	1	10
	100.0	44.3	45.3	4.9	0.5	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑥ 「自分で考えたり調べたりするなどの個別学習」

小学校は「特に必要」が 49.0%、「必要」が 46.1%、「あまり必要ではない」が 1.6%となっている。中学校は「必要」が 52.2%、「特に必要」が 38.9%、「あまり必要ではない」が 3.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「特に必要」の割合が増加したが、特に小学校で大きく増加した。

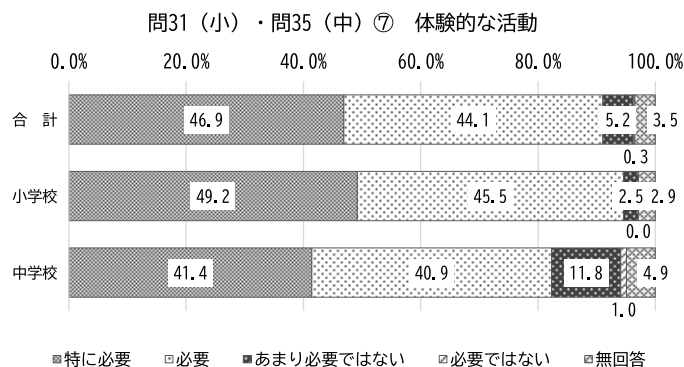


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	318	331	16	1	25
	100.0	46.0	47.9	2.3	0.1	3.6
小学校	488	239	225	8	1	15
	100.0	49.0	46.1	1.6	0.2	3.1
中学校	203	79	106	8	0	10
	100.0	38.9	52.2	3.9	0.0	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑦「ものづくりや見学・調査等の体験的な活動」

小学校は「特に必要」が49.2%、「必要」が45.5%、「あまり必要ではない」が2.5%となっている。中学校は「特に必要」が41.4%、「必要」が40.9%、「あまり必要ではない」が11.8%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「特に必要」の割合が若干増加した。

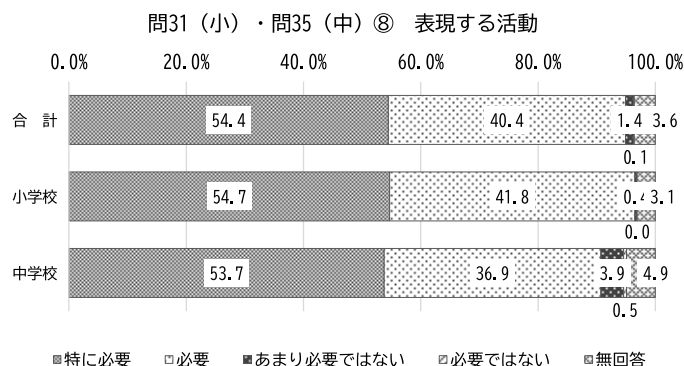


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	324	305	36	2	24
	100.0	46.9	44.1	5.2	0.3	3.5
小学校	488	240	222	12	0	14
	100.0	49.2	45.5	2.5	-	2.9
中学校	203	84	83	24	2	10
	100.0	41.4	40.9	11.8	1.0	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑧「自分の考え等を言葉や文章、絵などで表現する活動」

小学校は「特に必要」が54.7%、「必要」が41.8%、「あまり必要ではない」が0.4%となっている。中学校は「特に必要」が53.7%、「必要」が36.9%、「あまり必要ではない」が3.9%となっている。前回調査と比較し、中学校において「特に必要」の割合が増加した。

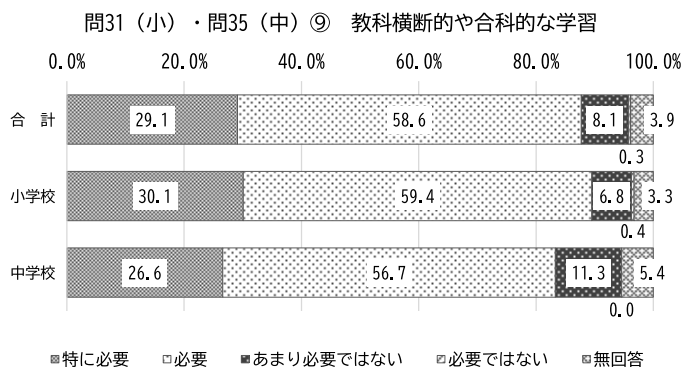


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	376	279	10	1	25
	100.0	54.4	40.4	1.4	0.1	3.6
小学校	488	267	204	2	0	15
	100.0	54.7	41.8	0.4	-	3.1
中学校	203	109	75	8	1	10
	100.0	53.7	36.9	3.9	0.5	4.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑨「教科横断的な学習や合科的な学習」

小学校は「必要」が59.4%、「特に必要」が30.1%、「あまり必要ではない」が6.8%となっている。中学校は「必要」が56.7%、「特に必要」が26.6%、「あまり必要ではない」が11.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

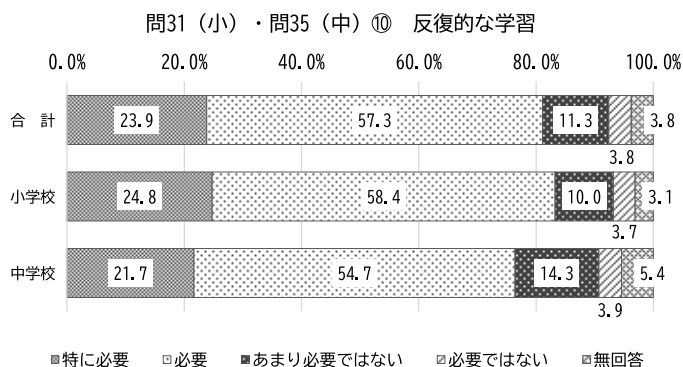


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	201	405	56	2	27
	100.0	29.1	58.6	8.1	0.3	3.9
小学校	488	147	290	33	2	16
	100.0	30.1	59.4	6.8	0.4	3.3
中学校	203	54	115	23	0	11
	100.0	26.6	56.7	11.3	0.0	5.4

上段：実数、下段：割合（%）

⑩「計算や漢字の練習等の反復的な学習」

小学校は「必要」が58.4%、「特に必要」が24.8%、「あまり必要ではない」が10.0%となっている。中学校は「必要」が54.7%、「特に必要」が21.7%、「あまり必要ではない」が14.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

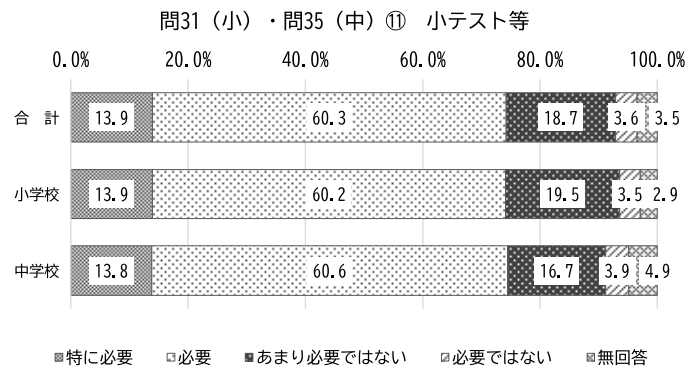


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	165	396	78	26	26
	100.0	23.9	57.3	11.3	3.8	3.8
小学校	488	121	285	49	18	15
	100.0	24.8	58.4	10.0	3.7	3.1
中学校	203	44	111	29	8	11
	100.0	21.7	54.7	14.3	3.9	5.4

上段：実数、下段：割合（%）

⑪「定着状況を把握するための小テスト等」

小学校は「必要」が 60.2%、「あまり必要ではない」が 19.5%、「特に必要」が 13.9% となっている。中学校は「必要」が 60.6%、「あまり必要ではない」が 16.7%、「特に必要」が 13.8% となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「あまり必要でない」が若干増加した。

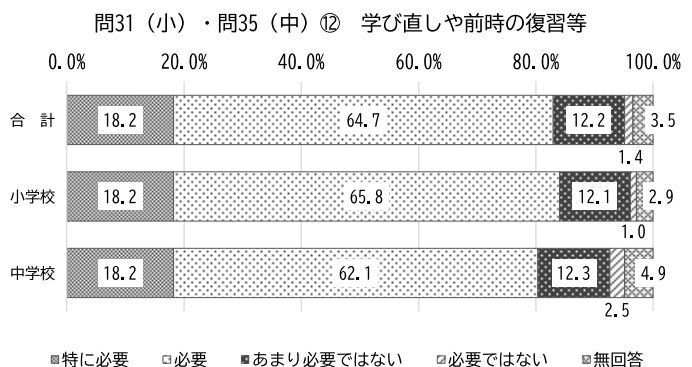


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	96	417	129	25	24
	100.0	13.9	60.3	18.7	3.6	3.5
小学校	488	68	294	95	17	14
	100.0	13.9	60.2	19.5	3.5	2.9
中学校	203	28	123	34	8	10
	100.0	13.8	60.6	16.7	3.9	4.9

上段：実数、下段：割合 (%)

⑫「前学年の学び直しや前時の復習」

小学校は「必要」が 65.8%、「特に必要」が 18.2%、「あまり必要ではない」が 12.1% となっている。中学校は「必要」が 62.1%、「特に必要」が 18.2%、「あまり必要ではない」が 12.3% となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。



	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	126	447	84	10	24
	100.0	18.2	64.7	12.2	1.4	3.5
小学校	488	89	321	59	5	14
	100.0	18.2	65.8	12.1	1.0	2.9
中学校	203	37	126	25	5	10
	100.0	18.2	62.1	12.3	2.5	4.9

上段：実数、下段：割合 (%)

⑬「その他」

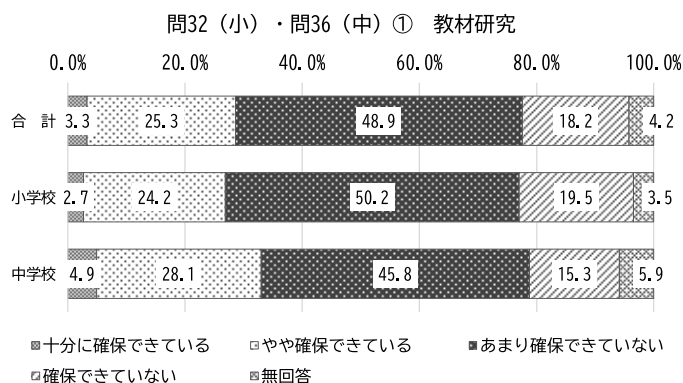
小学校は「技能や知識の定着」「特別に支援が要する児童への指導」「学び直しの学習」「少人数での学び」などの意見があった。中学校は「授業時間外での教員以外が教える補習時間」「1人1人に応じた授業」「生徒の授業アンケートや要望を聞く時間」などの意見があった。

問 32（小）・36（中） 授業の準備・授業実施後の評価等について（S A）

■授業の準備

①「教材研究をする時間」

小学校は「あまり確保できていない」が50.2%、「やや確保できている」が24.2%、「確保できていない」が19.5%となっている。中学校は「あまり確保できていない」が45.8%、「やや確保できている」が28.1%、「確保できていない」が15.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「やや確保できている」が若干増加している。

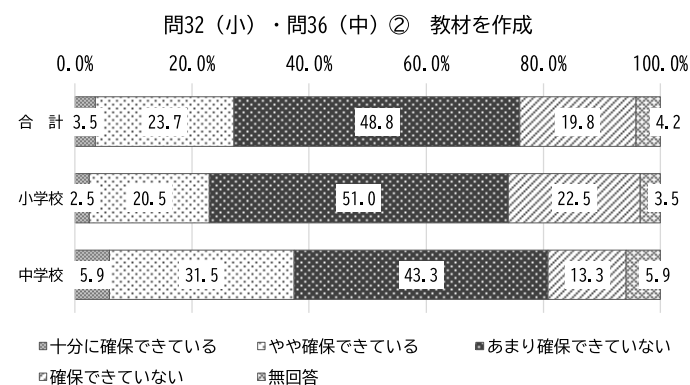


	回答者数 (人)	十分に確保 できている	やや確保でき ている	あまり確保で きていない	確保できてい ない	無回答
合 計	691	23	175	338	126	29
	100.0	3.3	25.3	48.9	18.2	4.2
小学校	488	13	118	245	95	17
	100.0	2.7	24.2	50.2	19.5	3.5
中学校	203	10	57	93	31	12
	100.0	4.9	28.1	45.8	15.3	5.9

上段：実数、下段：割合（％）

②「教材を作成する時間」

小学校は「あまり確保できていない」が51.0%、「確保できていない」が22.5%、「やや確保できている」が20.5%となっている。中学校は「あまり確保できていない」が43.3%、「やや確保できている」が31.5%、「確保できていない」が13.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「やや確保できている」が若干増加している。

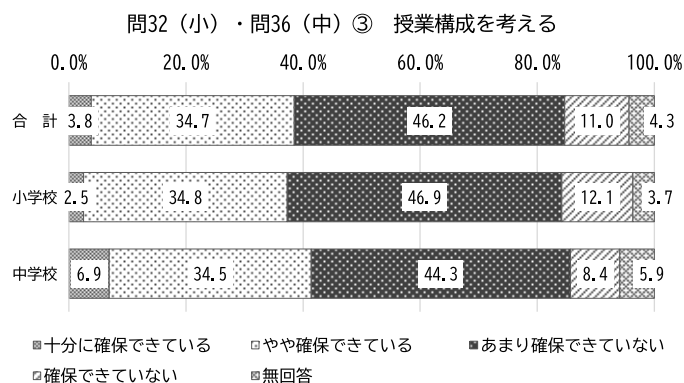


	回答者数 (人)	十分に確保 できている	やや確保でき ている	あまり確保で きていない	確保できてい ない	無回答
合 計	691	24	164	337	137	29
	100.0	3.5	23.7	48.8	19.8	4.2
小学校	488	12	100	249	110	17
	100.0	2.5	20.5	51.0	22.5	3.5
中学校	203	12	64	88	27	12
	100.0	5.9	31.5	43.3	13.3	5.9

上段：実数、下段：割合（％）

③「授業の構成を考える時間」

小学校は「あまり確保できていない」が46.9%、「やや確保できている」が34.8%、「確保できていない」が12.1%となっている。中学校は「あまり確保できていない」が44.3%、「やや確保できている」が34.5%、「確保できていない」が8.4%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

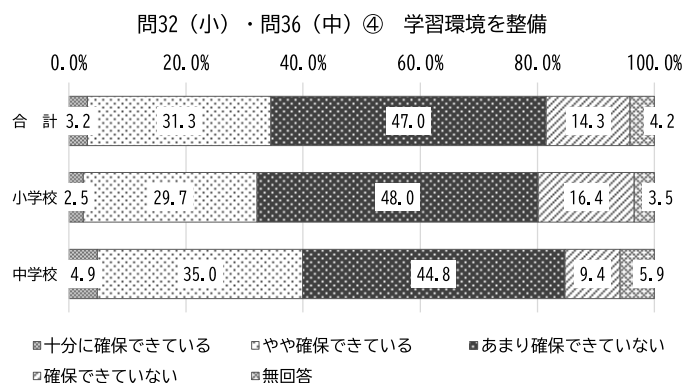


	回答者数 (人)	十分に確保 できている	やや確保でき ている	あまり確保で きていない	確保できてい ない	無回答
合 計	691	26	240	319	76	30
	100.0	3.8	34.7	46.2	11.0	4.3
小学校	488	12	170	229	59	18
	100.0	2.5	34.8	46.9	12.1	3.7
中学校	203	14	70	90	17	12
	100.0	6.9	34.5	44.3	8.4	5.9

上段：実数、下段：割合（％）

④「学習環境を整備する時間」

小学校は「あまり確保できていない」が48.0%、「やや確保できている」が29.7%、「確保できていない」が16.4%となっている。中学校は「あまり確保できていない」が44.8%、「やや確保できている」が35.0%、「確保できていない」が9.4%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「やや確保できている」が若干増加している。

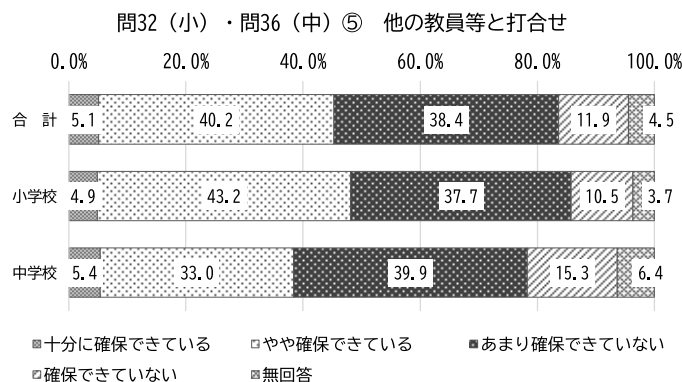


	回答者数 (人)	十分に確保 できている	やや確保でき ている	あまり確保で きていない	確保できてい ない	無回答
合 計	691	22	216	325	99	29
	100.0	3.2	31.3	47.0	14.3	4.2
小学校	488	12	145	234	80	17
	100.0	2.5	29.7	48.0	16.4	3.5
中学校	203	10	71	91	19	12
	100.0	4.9	35.0	44.8	9.4	5.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑤ 「他の教員等と必要に応じて打合せをする時間」

小学校は「やや確保できている」が43.2%、「あまり確保できていない」が37.7%、「確保できていない」が10.5%となっている。中学校は「あまり確保できていない」が39.9%、「やや確保できている」が33.0%、「確保できていない」が15.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「やや確保できている」が増加している。



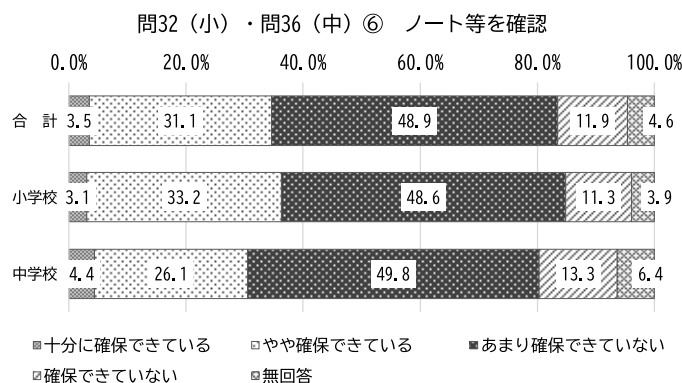
	回答者数 (人)	十分に確保でき ている	やや確保でき ている	あまり確保で きていない	確保できてい ない	無回答
合 計	691	35	278	265	82	31
	100.0	5.1	40.2	38.4	11.9	4.5
小学校	488	24	211	184	51	18
	100.0	4.9	43.2	37.7	10.5	3.7
中学校	203	11	67	81	31	13
	100.0	5.4	33.0	39.9	15.3	6.4

上段：実数、下段：割合（％）

■授業の実施後

⑥ 「児童・生徒のノート等を確認する時間」

小学校は「あまり確保できていない」が48.6%、「やや確保できている」が33.2%、「確保できていない」が11.3%となっている。中学校は「あまり確保できていない」が49.8%、「やや確保できている」が26.1%、「確保できていない」が13.3%となっている。前回調査と比較し、小学校で「やや確保できている」が若干増加している。

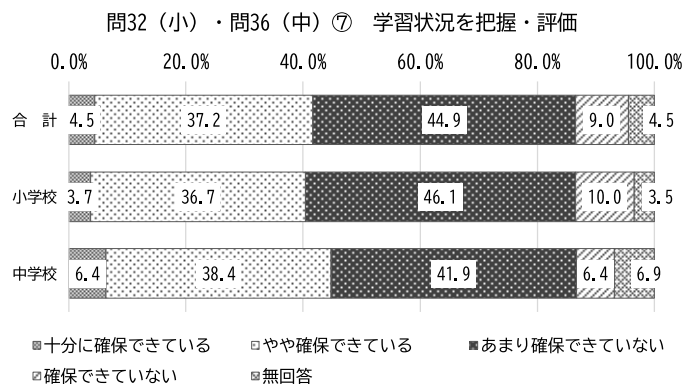


	回答者数 (人)	十分に確保でき ている	やや確保でき ている	あまり確保で きていない	確保できてい ない	無回答
合 計	691	24	215	338	82	32
	100.0	3.5	31.1	48.9	11.9	4.6
小学校	488	15	162	237	55	19
	100.0	3.1	33.2	48.6	11.3	3.9
中学校	203	9	53	101	27	13
	100.0	4.4	26.1	49.8	13.3	6.4

上段：実数、下段：割合（％）

⑦「児童・生徒の学習状況を把握・評価する時間」

小学校は「あまり確保できていない」が46.1%、「やや確保できている」が36.7%、「確保できていない」が10.0%となっている。中学校は「あまり確保できていない」が41.9%、「やや確保できている」が38.4%、「十分に確保できている」「確保できている」がともに6.4%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「やや確保できている」が若干増加している。

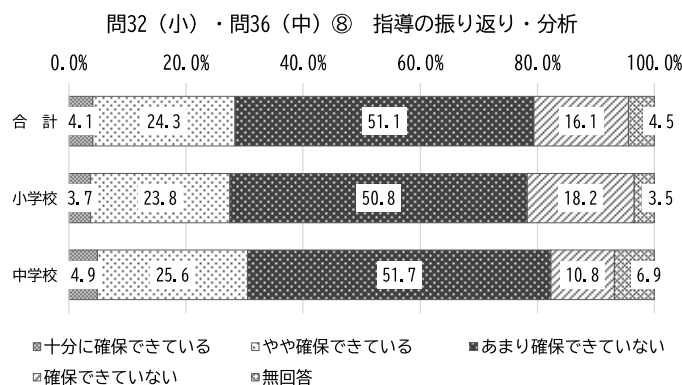


	回答者数 (人)	十分に確保 できている	やや確保でき ている	あまり確保で きていない	確保できてい ない	無回答
合 計	691	31	257	310	62	31
	100.0	4.5	37.2	44.9	9.0	4.5
小学校	488	18	179	225	49	17
	100.0	3.7	36.7	46.1	10.0	3.5
中学校	203	13	78	85	13	14
	100.0	6.4	38.4	41.9	6.4	6.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑧「指導の振り返り・分析をする時間」

小学校は「あまり確保できていない」が50.8%、「やや確保できている」が23.8%、「確保できていない」が18.2%となっている。中学校は「あまり確保できていない」が51.7%、「やや確保できている」が25.6%、「確保できていない」が10.8%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「十分確保できている」「やや確保できている」が若干増加している。

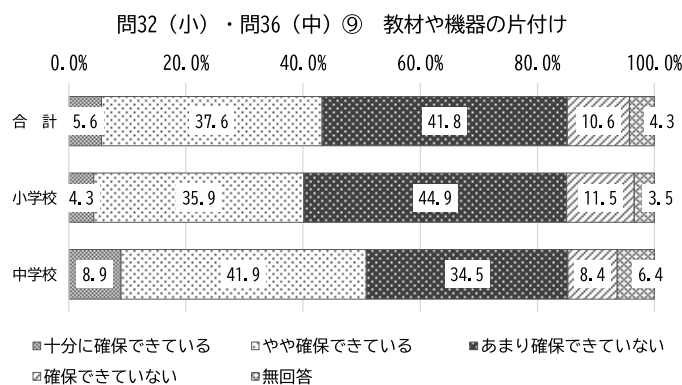


	回答者数 (人)	十分に確保 できている	やや確保でき ている	あまり確保で きていない	確保できてい ない	無回答
合 計	691	28	168	353	111	31
	100.0	4.1	24.3	51.1	16.1	4.5
小学校	488	18	116	248	89	17
	100.0	3.7	23.8	50.8	18.2	3.5
中学校	203	10	52	105	22	14
	100.0	4.9	25.6	51.7	10.8	6.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑨「教材や使用機器等の片付けをする時間」

小学校は「あまり確保できていない」が44.9%、「やや確保できている」が35.9%、「確保できていない」が11.5%となっている。中学校は「やや確保できている」が41.9%、「あまり確保できていない」が34.5%、「十分に確保できている」が8.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「やや確保できている」が若干増加している。

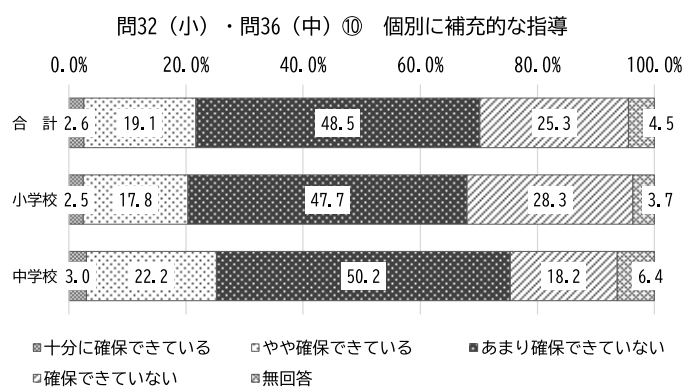


	回答者数 (人)	十分に確保 できている	やや確保でき ている	あまり確保で きていない	確保できてい ない	無回答
合 計	691	39	260	289	73	30
	100.0	5.6	37.6	41.8	10.6	4.3
小学校	488	21	175	219	56	17
	100.0	4.3	35.9	44.9	11.5	3.5
中学校	203	18	85	70	17	13
	100.0	8.9	41.9	34.5	8.4	6.4

上段：実数、下段：割合（％）

⑩「個別に補充的な指導をする時間」

小学校は「あまり確保できていない」が47.7%、「確保できていない」が28.3%、「やや確保できている」が17.8%となっている。中学校は「あまり確保できていない」が50.2%、「やや確保できている」が22.2%、「確保できていない」が18.2%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「やや確保できている」が若干増加している。



	回答者数 (人)	十分に確保 できている	やや確保でき ている	あまり確保で きていない	確保できてい ない	無回答
合 計	691	18	132	335	175	31
	100.0	2.6	19.1	48.5	25.3	4.5
小学校	488	12	87	233	138	18
	100.0	2.5	17.8	47.7	28.3	3.7
中学校	203	6	45	102	37	13
	100.0	3.0	22.2	50.2	18.2	6.4

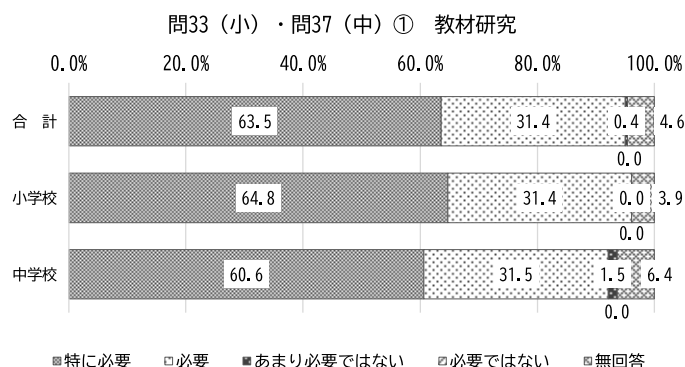
上段：実数、下段：割合（％）

問 33（小）・37（中） 今後、授業の前後に必要な時間（S A）

■授業の準備

①「教材研究をする時間」

小学校は「特に必要」が64.8%、「必要」が31.4%、「あまり必要ではない」が0.0%となっている。中学校は「特に必要」が60.6%、「必要」が31.5%、「あまり必要ではない」が1.5%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

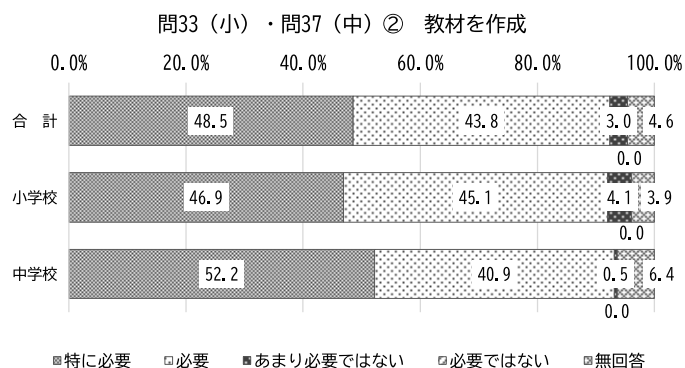


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	439	217	3	0	32
	100.0	63.5	31.4	0.4	0.0	4.6
小学校	488	316	153	0	0	19
	100.0	64.8	31.4	0.0	0.0	3.9
中学校	203	123	64	3	0	13
	100.0	60.6	31.5	1.5	0.0	6.4

上段：実数、下段：割合（%）

②「教材を作成する時間」

小学校は「特に必要」が46.9%、「必要」が45.1%、「あまり必要ではない」が4.1%となっている。中学校は「特に必要」が52.2%、「必要」が40.9%、「あまり必要ではない」が0.5%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

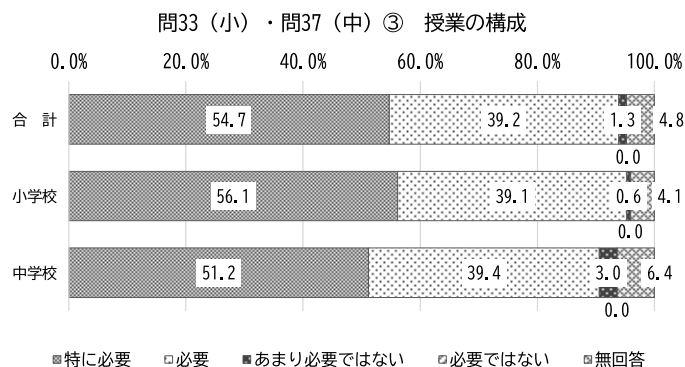


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	335	303	21	0	32
	100.0	48.5	43.8	3.0	0.0	4.6
小学校	488	229	220	20	0	19
	100.0	46.9	45.1	4.1	0.0	3.9
中学校	203	106	83	1	0	13
	100.0	52.2	40.9	0.5	0.0	6.4

上段：実数、下段：割合（%）

③「授業の構成を考える時間」

小学校は「特に必要」が56.1%、「必要」が39.1%、「あまり必要ではない」が0.6%となっている。中学校は「特に必要」が51.2%、「必要」が39.4%、「あまり必要ではない」が3.0%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

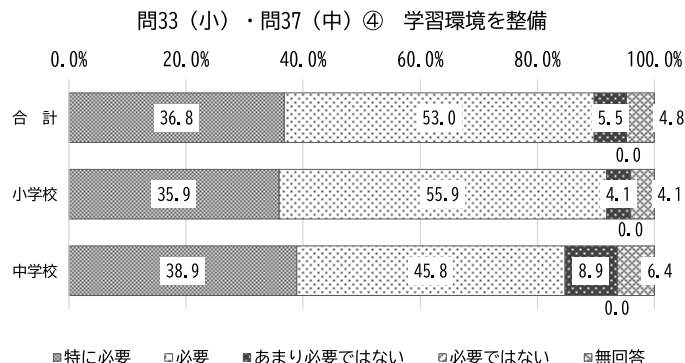


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	378	271	9	0	33
	100.0	54.7	39.2	1.3	0.0	4.8
小学校	488	274	191	3	0	20
	100.0	56.1	39.1	0.6	0.0	4.1
中学校	203	104	80	6	0	13
	100.0	51.2	39.4	3.0	0.0	6.4

上段：実数、下段：割合 (%)

④「学習環境を整備する時間」

小学校は「必要」が55.9%、「特に必要」が35.9%、「あまり必要ではない」が4.1%となっている。中学校は「必要」が45.8%、「特に必要」が38.9%、「あまり必要ではない」が8.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

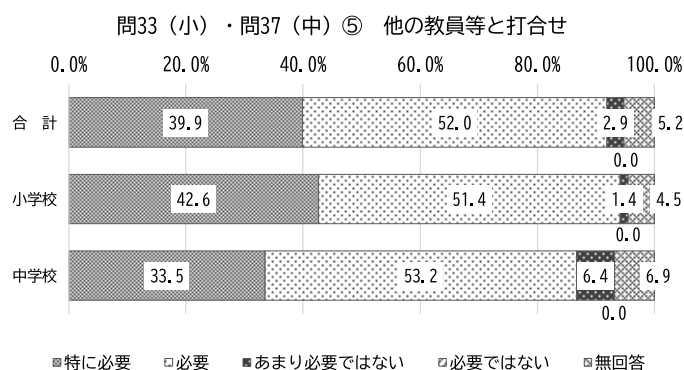


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	254	366	38	0	33
	100.0	36.8	53.0	5.5	0.0	4.8
小学校	488	175	273	20	0	20
	100.0	35.9	55.9	4.1	0.0	4.1
中学校	203	79	93	18	0	13
	100.0	38.9	45.8	8.9	0.0	6.4

上段：実数、下段：割合 (%)

⑤ 「他の教員等と必要に応じて打合せをする時間」

小学校は「必要」が 51.4%、「特に必要」が 42.6%、「あまり必要ではない」が 1.4%となっている。中学校は「必要」が 53.2%、「特に必要」が 33.5%、「あまり必要ではない」が 6.4%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。



	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	276	359	20	0	36
	100.0	39.9	52.0	2.9	0.0	5.2
小学校	488	208	251	7	0	22
	100.0	42.6	51.4	1.4	0.0	4.5
中学校	203	68	108	13	0	14
	100.0	33.5	53.2	6.4	0.0	6.9

上段：実数、下段：割合 (%)

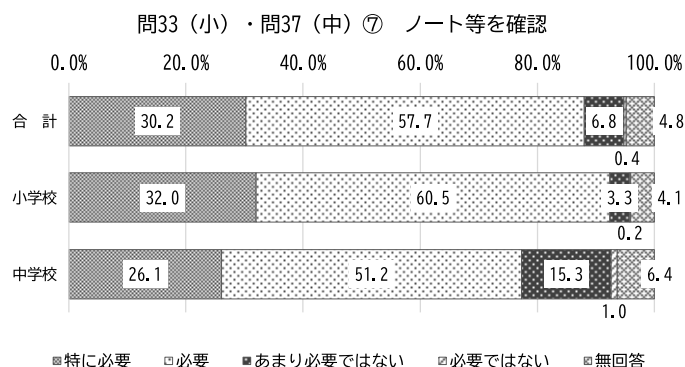
⑥ 「その他」

小学校は「個別指導」「ICTの準備」「授業のシミュレーション」などの意見があった。中学校は特に意見がなかった。

■授業の実施後

⑦「児童・生徒のノート等を確認する時間」

小学校は「必要」が 60.5%、「特に必要」が 32.0%、「あまり必要ではない」が 3.3%となっている。中学校は「必要」が 51.2%、「特に必要」が 26.1%、「あまり必要ではない」が 15.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「特に必要」が減少し、「必要」が増加している。

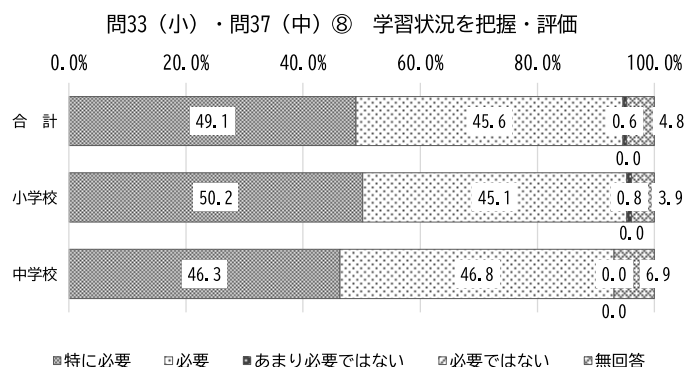


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	209	399	47	3	33
	100.0	30.2	57.7	6.8	0.4	4.8
小学校	488	156	295	16	1	20
	100.0	32.0	60.5	3.3	0.2	4.1
中学校	203	53	104	31	2	13
	100.0	26.1	51.2	15.3	1.0	6.4

上段：実数、下段：割合 (%)

⑧「児童・生徒の学習状況を把握・評価する時間」

小学校は「特に必要」が 50.2%、「必要」が 45.1%、「あまり必要ではない」が 0.8%となっている。中学校は「必要」が 46.8%、「特に必要」が 46.3%、「あまり必要ではない」が 0.0%となっている。前回調査と比較し、小学校で「特に必要」が減少し、「必要」が増加している。

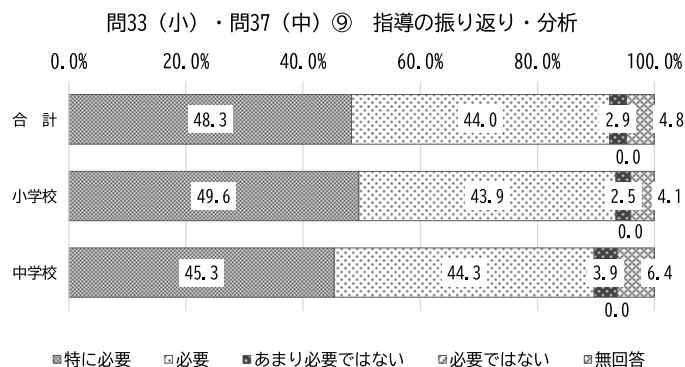


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	339	315	4	0	33
	100.0	49.1	45.6	0.6	0.0	4.8
小学校	488	245	220	4	0	19
	100.0	50.2	45.1	0.8	0.0	3.9
中学校	203	94	95	0	0	14
	100.0	46.3	46.8	0.0	0.0	6.9

上段：実数、下段：割合 (%)

⑨「指導の振り返り・分析をする時間」

小学校は「特に必要」が49.6%、「必要」が43.9%、「あまり必要ではない」が2.5%となっている。中学校は「特に必要」が45.3%、「必要」が44.3%、「あまり必要ではない」が3.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

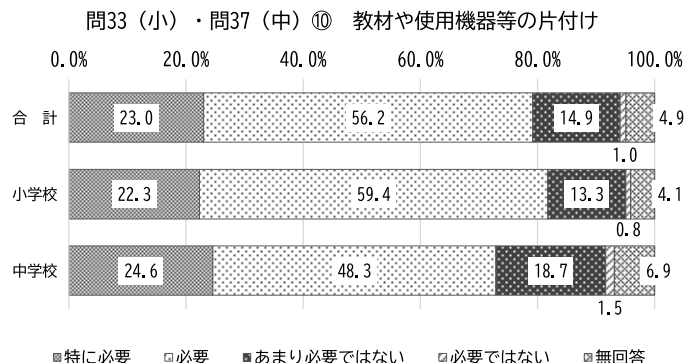


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	334	304	20	0	33
	100.0	48.3	44.0	2.9	0.0	4.8
小学校	488	242	214	12	0	20
	100.0	49.6	43.9	2.5	0.0	4.1
中学校	203	92	90	8	0	13
	100.0	45.3	44.3	3.9	0.0	6.4

上段：実数、下段：割合 (%)

⑩「教材や使用機器等の片付けをする時間」

小学校は「必要」が59.4%、「特に必要」が22.3%、「あまり必要ではない」が13.3%となっている。中学校は「必要」が48.3%、「特に必要」が24.6%、「あまり必要ではない」が18.7%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

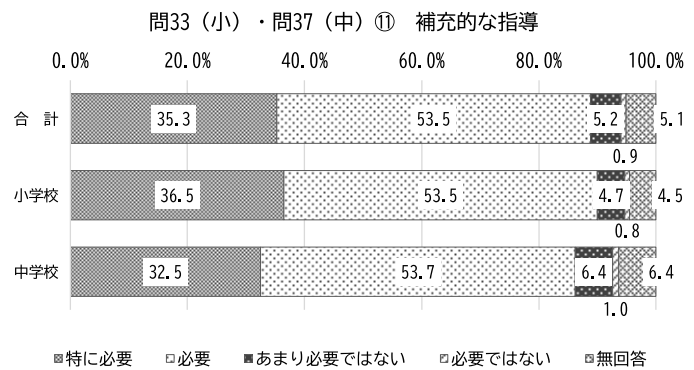


	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	159	388	103	7	34
	100.0	23.0	56.2	14.9	1.0	4.9
小学校	488	109	290	65	4	20
	100.0	22.3	59.4	13.3	0.8	4.1
中学校	203	50	98	38	3	14
	100.0	24.6	48.3	18.7	1.5	6.9

上段：実数、下段：割合 (%)

⑪「個別に補充的な指導をする時間」

小学校は「必要」が53.5%、「特に必要」が36.5%、「あまり必要ではない」が4.7%となっている。中学校は「必要」が53.7%、「特に必要」が32.5%、「あまり必要ではない」が6.4%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。



	回答者数 (人)	特に必要	必要	あまり必要で はない	必要ではない	無回答
合 計	691	244	370	36	6	35
	100.0	35.3	53.5	5.2	0.9	5.1
小学校	488	178	261	23	4	22
	100.0	36.5	53.5	4.7	0.8	4.5
中学校	203	66	109	13	2	13
	100.0	32.5	53.7	6.4	1.0	6.4

上段：実数、下段：割合 (%)

⑫「その他」

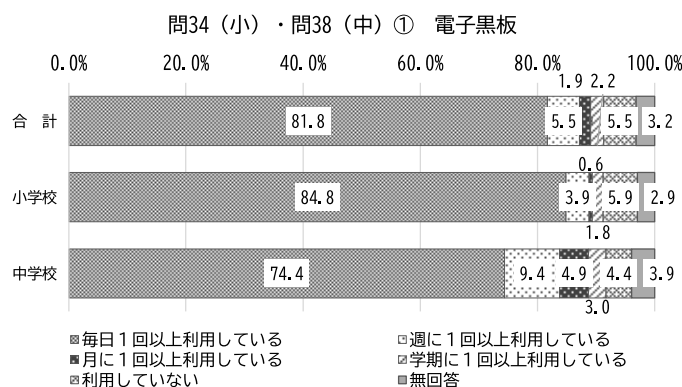
小学校は「テストの採点」、「教員間のコミュニケーション」、「授業外で子どもたちと会話する時間」などの意見があった。中学校は特に意見はなかった。

7 電子機器の使用状況について

問34（小）・38（中） 授業での電子機器の利用状況（S A）

①「電子黒板」

小学校は「毎日1回以上利用している」が84.8%と最も多く、以下「利用していない」が5.9%、「週に1回以上利用している」が3.9%、「学期に1回以上利用している」が1.8%となっている。中学校は「毎日1回以上利用している」が74.4%と最も多く、以下「週に1回以上利用している」が9.4%、「月に1回以上利用している」が4.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「毎日1回以上利用している」が大きく増加している。

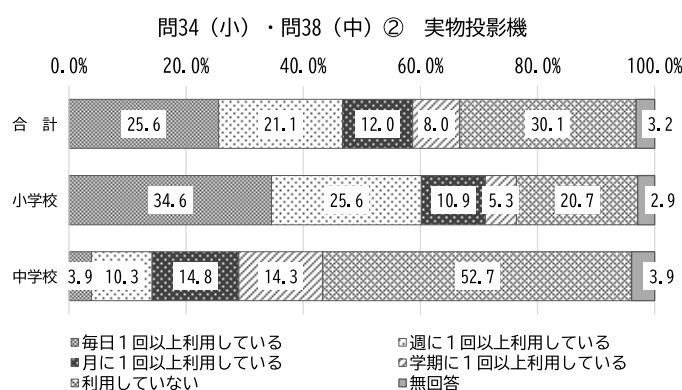


	回答者数 (人)	毎日1回以上利 用している	週に1回以上利 用している	月に1回以上利 用している	学期に1回以上 利用している	利用していない	無回答
合 計	691	565	38	13	15	38	22
	100.0	81.8	5.5	1.9	2.2	5.5	3.2
小学校	488	414	19	3	9	29	14
	100.0	84.8	3.9	0.6	1.8	5.9	2.9
中学校	203	151	19	10	6	9	8
	100.0	74.4	9.4	4.9	3.0	4.4	3.9

上段：実数、下段：割合（％）

②「実物投影機」

小学校は「毎日1回以上利用している」が34.6%と最も多く、以下「週に1回以上利用している」が25.6%、「利用していない」が20.7%となっている。中学校は「利用していない」が52.7%と最も多く、以下「月に1回以上利用している」が14.8%、「学期に1回以上利用している」が14.3%となっている。前回調査と比較し、小学校では「毎日1回以上利用している」、「週に1回以上利用している」が増加している。

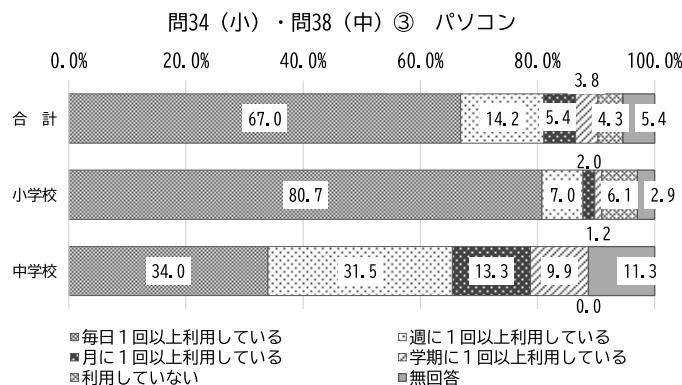


	回答者数 (人)	毎日1回以上利 用している	週に1回以上利 用している	月に1回以上利 用している	学期に1回以上 利用している	利用していない	無回答
合 計	691	177	146	83	55	208	22
	100.0	25.6	21.1	12.0	8.0	30.1	3.2
小学校	488	169	125	53	26	101	14
	100.0	34.6	25.6	10.9	5.3	20.7	2.9
中学校	203	8	21	30	29	107	8
	100.0	3.9	10.3	14.8	14.3	52.7	3.9

上段：実数、下段：割合（％）

③「パソコン」

小学校は「毎日１回以上利用している」が80.7%と最も多く、以下「週に１回以上利用している」が7.0%、「利用していない」が6.1%となっている。中学校は「毎日１回以上利用している」が34.0%と最も多く、以下「週に１回以上利用している」が31.5%、「月に１回以上利用している」が共に13.3%となっている。前回調査と比較し、小学校では「毎日１回以上利用している」が大きく増加している。

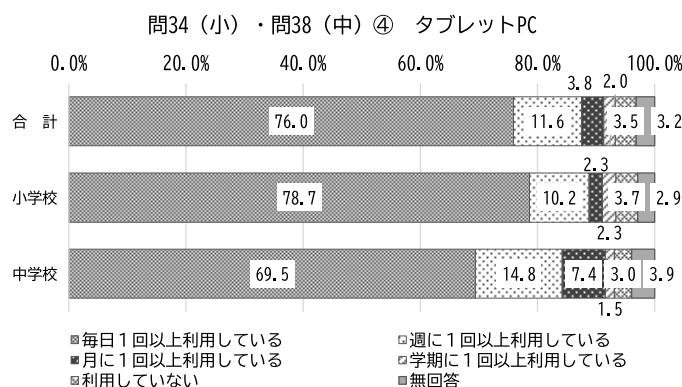


	回答者数 (人)	毎日1回以上利 用している	週に1回以上利 用している	月に1回以上利 用している	学期に1回以上 利用している	利用していない	無回答
合 計	691	463	98	37	26	30	37
	100.0	67.0	14.2	5.4	3.8	4.3	5.4
小学校	488	394	34	10	6	30	14
	100.0	80.7	7.0	2.0	1.2	6.1	2.9
中学校	203	69	64	27	20	0	23
	100.0	34.0	31.5	13.3	9.9	0.0	11.3

上段：実数、下段：割合（％）

④「タブレットPC」

小学校は「毎日１回以上利用している」が78.7%と最も多く、以下「週に１回以上利用している」が10.2%、「利用していない」が3.7%となっている。中学校は「毎日１回以上利用している」が69.5%と最も多く、以下「週に１回以上利用している」が14.8%、「月に１回以上利用している」が7.4%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「毎日１回以上利用している」が大きく増加している。



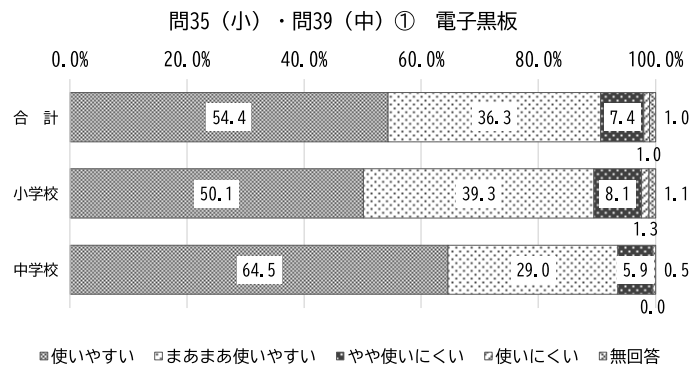
	回答者数 (人)	毎日1回以上利 用している	週に1回以上利 用している	月に1回以上利 用している	学期に1回以上 利用している	利用していない	無回答
合 計	691	525	80	26	14	24	22
	100.0	76.0	11.6	3.8	2.0	3.5	3.2
小学校	488	384	50	11	11	18	14
	100.0	78.7	10.2	2.3	2.3	3.7	2.9
中学校	203	141	30	15	3	6	8
	100.0	69.5	14.8	7.4	1.5	3.0	3.9

上段：実数、下段：割合（％）

問 35（小）・39（中） 電子機器の利用しやすさ（S A）

①「電子黒板」

小学校は「使いやすい」が50.1%と最も多く、以下「まあまあ使いやすい」が39.3%、「やや使いにくい」が8.1%となっている。
中学校は「使いやすい」が64.5%と最も多く、以下「まあまあ使いやすい」が29.0%、「やや使いにくい」が5.9%となっている。

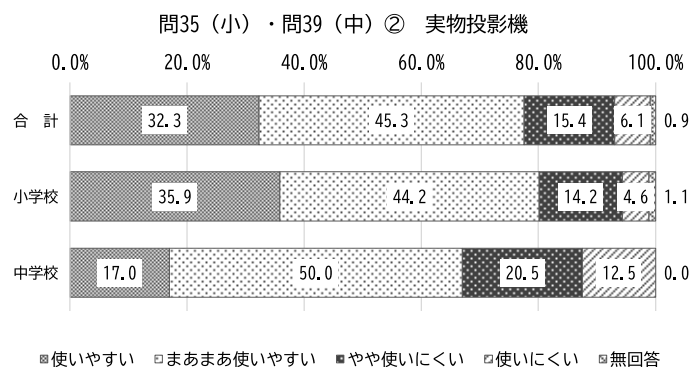


	回答者数 (人)	使いやすい	まあまあ使い やすい	やや使いにく い	使いにくい	無回答
合 計	631	343	229	47	6	6
	100.0	54.4	36.3	7.4	1.0	1.0
小学校	445	223	175	36	6	5
	100.0	50.1	39.3	8.1	1.3	1.1
中学校	186	120	54	11	0	1
	100.0	64.5	29.0	5.9	-	0.5

上段：実数、下段：割合（％）

②「実物投影機」

小学校は「まあまあ使いやすい」が44.2%と最も多く、以下「使いやすい」が35.9%、「やや使いにくい」が14.2%となっている。
中学校は「まあまあ使いやすい」が50.0%と最も多く、以下「やや使いにくい」が20.5%、「使いやすい」が17.0%となっている。

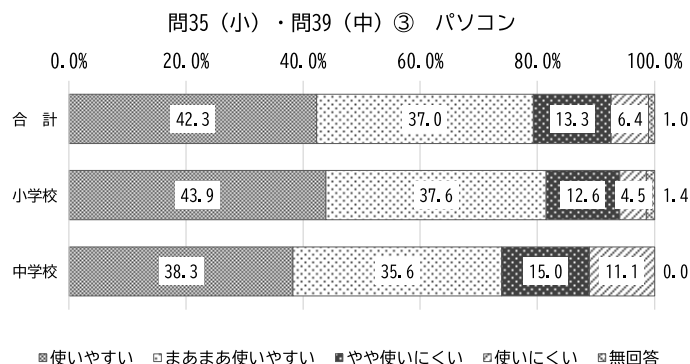


	回答者数 (人)	使いやすい	まあまあ使い やすい	やや使いにく い	使いにくい	無回答
合 計	461	149	209	71	28	4
	100.0	32.3	45.3	15.4	6.1	0.9
小学校	373	134	165	53	17	4
	100.0	35.9	44.2	14.2	4.6	1.1
中学校	88	15	44	18	11	0
	100.0	17.0	50.0	20.5	12.5	0.0

上段：実数、下段：割合（％）

③「パソコン」

小学校は「使いやすい」が43.9%と最も多く、以下「まあまあ使いやすい」が37.6%、「やや使いにくい」が12.6%となっている。中学校は「使いやすい」が38.3%と最も多く、以下「まあまあ使いやすい」が35.6%、「やや使いにくい」が15.0%となっている。

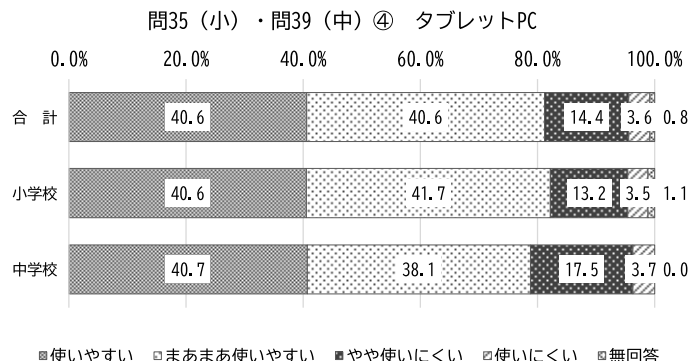


	回答者数 (人)	使いやすい	まあまあ使い やすい	やや使いにく い	使いにくい	無回答
合 計	624	264	231	83	40	6
	100.0	42.3	37.0	13.3	6.4	1.0
小学校	444	195	167	56	20	6
	100.0	43.9	37.6	12.6	4.5	1.4
中学校	180	69	64	27	20	0
	100.0	38.3	35.6	15.0	11.1	0.0

上段：実数、下段：割合 (%)

④「タブレットPC」

小学校は「まあまあ使いやすい」が41.7%と最も多く、以下「使いやすい」が40.6%、「やや使いにくい」が13.2%となっている。中学校は「使いやすい」が40.7%と最も多く、以下「まあまあ使いやすい」が38.1%、「やや使いにくい」が17.5%となっている。



	回答者数 (人)	使いやすい	まあまあ使い やすい	やや使いにく い	使いにくい	無回答
合 計	645	262	262	93	23	5
	100.0	40.6	40.6	14.4	3.6	0.8
小学校	456	185	190	60	16	5
	100.0	40.6	41.7	13.2	3.5	1.1
中学校	189	77	72	33	7	0
	100.0	40.7	38.1	17.5	3.7	0.0

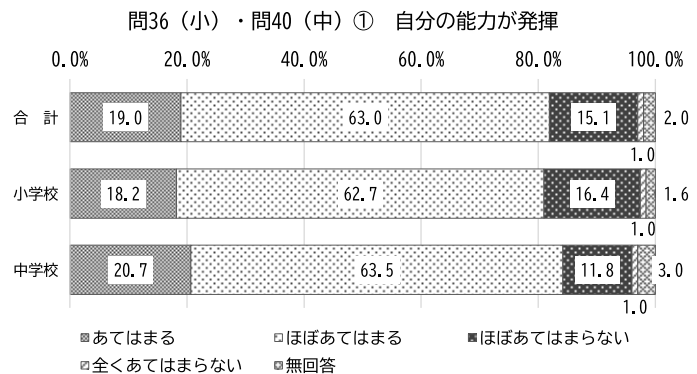
上段：実数、下段：割合 (%)

8 仕事に対する意識について

問 36 (小)・40 (中) 仕事に対する意識 (S A)

①「自分の能力が発揮できる」

小学校は「ほぼあてはまる」が62.7%と最も多く、以下「あてはまる」が18.2%、「ほぼあてはまらない」が16.4%となっている。中学校は「ほぼあてはまる」が63.5%と最も多く、以下「あてはまる」が20.7%、「ほぼあてはまらない」が11.8%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「あてはまる」、「ほぼあてはまる」の割合が増加している。

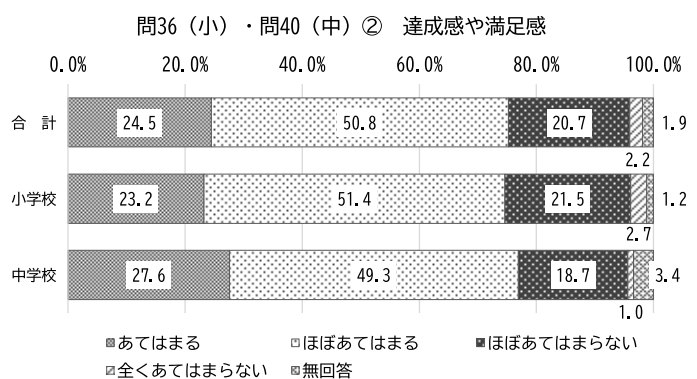


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	131	435	104	7	14
	100.0	19.0	63.0	15.1	1.0	2.0
小学校	488	89	306	80	5	8
	100.0	18.2	62.7	16.4	1.0	1.6
中学校	203	42	129	24	2	6
	100.0	20.7	63.5	11.8	1.0	3.0

上段：実数、下段：割合 (%)

②「達成感や満足感を得られる」

小学校は「ほぼあてはまる」が51.4%と最も多く、以下「あてはまる」が23.2%、「ほぼあてはまらない」が21.5%となっている。中学校は「ほぼあてはまる」49.3%と最も多く、以下「あてはまる」が27.6%、「ほぼあてはまらない」が18.7%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「あてはまる」の割合が若干増加している。

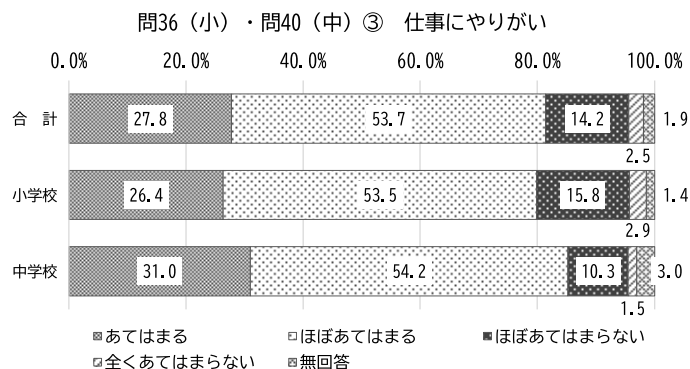


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	169	351	143	15	13
	100.0	24.5	50.8	20.7	2.2	1.9
小学校	488	113	251	105	13	6
	100.0	23.2	51.4	21.5	2.7	1.2
中学校	203	56	100	38	2	7
	100.0	27.6	49.3	18.7	1.0	3.4

上段：実数、下段：割合 (%)

③「仕事にやりがいを感じている」

小学校は「ほぼあてはまる」が53.5%と最も多く、以下「あてはまる」が26.4%、「ほぼあてはまらない」が15.8%となっている。中学校は「ほぼあてはまる」が54.2%と最も多く、以下「あてはまる」が31.0%、「ほぼあてはまらない」10.3%となっている。前回調査と比較し、中学校で「あてはまる」の割合が若干増加している。

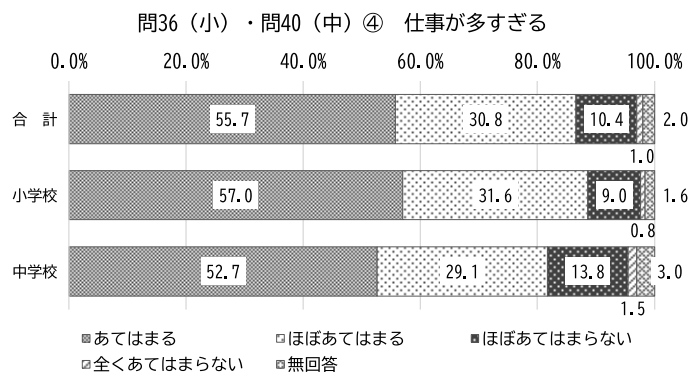


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	192	371	98	17	13
	100.0	27.8	53.7	14.2	2.5	1.9
小学校	488	129	261	77	14	7
	100.0	26.4	53.5	15.8	2.9	1.4
中学校	203	63	110	21	3	6
	100.0	31.0	54.2	10.3	1.5	3.0

上段：実数、下段：割合（％）

④「あまりにも仕事が多すぎる」

小学校は「あてはまる」が57.0%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が31.6%、「ほぼあてはまらない」が9.0%となっている。中学校は「あてはまる」が52.7%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が29.1%、「ほぼあてはまらない」が13.8%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「あてはまる」が増加している。

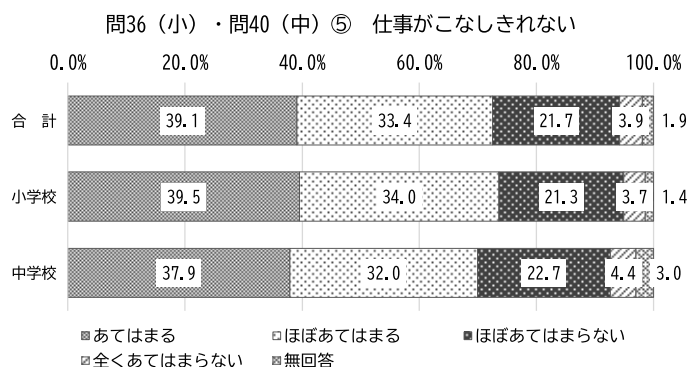


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	385	213	72	7	14
	100.0	55.7	30.8	10.4	1.0	2.0
小学校	488	278	154	44	4	8
	100.0	57.0	31.6	9.0	0.8	1.6
中学校	203	107	59	28	3	6
	100.0	52.7	29.1	13.8	1.5	3.0

上段：実数、下段：割合（％）

⑤ 「仕事がこなしきれない」

小学校は「あてはまる」が39.5%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が34.0%、「ほぼあてはまらない」が21.3%となっている。中学校は「あてはまる」が37.9%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が32.0%、「ほぼあてはまらない」が22.7%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「あてはまる」が増加している。

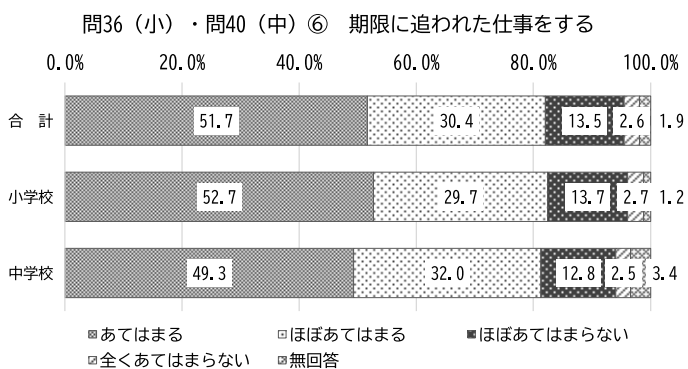


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	270	231	150	27	13
	100.0	39.1	33.4	21.7	3.9	1.9
小学校	488	193	166	104	18	7
	100.0	39.5	34.0	21.3	3.7	1.4
中学校	203	77	65	46	9	6
	100.0	37.9	32.0	22.7	4.4	3.0

上段：実数、下段：割合（％）

⑥ 「期限に追われた仕事をすることがある」

小学校は「あてはまる」が52.7%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が29.7%、「ほぼあてはまらない」が13.7%となっている。中学校は「あてはまる」49.3%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が32.0%、「ほぼあてはまらない」12.8%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「ほぼあてはまらない」が若干増加している。

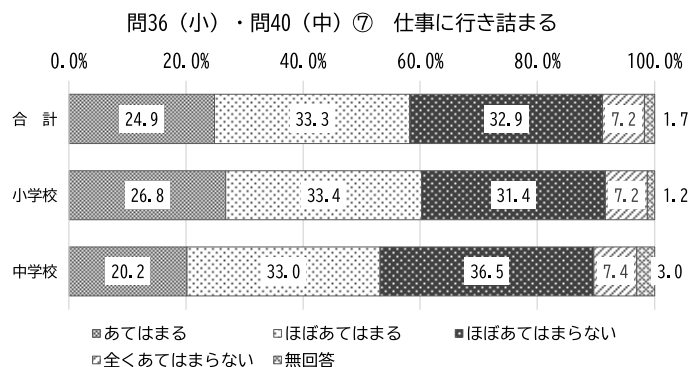


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	357	210	93	18	13
	100.0	51.7	30.4	13.5	2.6	1.9
小学校	488	257	145	67	13	6
	100.0	52.7	29.7	13.7	2.7	1.2
中学校	203	100	65	26	5	7
	100.0	49.3	32.0	12.8	2.5	3.4

上段：実数、下段：割合（％）

⑦「仕事に行き詰まることがある」

小学校は「ほぼあてはまる」が33.4%と最も多く、以下「ほぼあてはまらない」が31.4%、「あてはまる」が26.8%となっている。中学校は「ほぼあてはまらない」が36.5%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が33.0%、「あてはまる」が20.2%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「ほぼあてはまらない」が若干増加している。



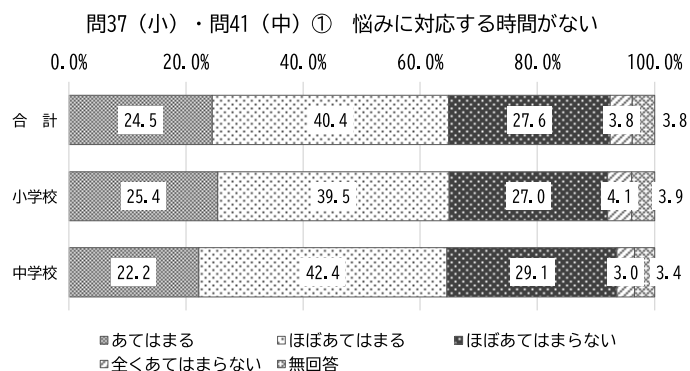
	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはま る	ほぼあてはま らない	全くあてはま らない	無回答
合 計	691	172	230	227	50	12
	100.0	24.9	33.3	32.9	7.2	1.7
小学校	488	131	163	153	35	6
	100.0	26.8	33.4	31.4	7.2	1.2
中学校	203	41	67	74	15	6
	100.0	20.2	33.0	36.5	7.4	3.0

上段：実数、下段：割合 (%)

問 37（小）・41（中） 仕事に関する悩み（SA）

①「児童・生徒の悩みや相談に対応する時間が十分にとれない」

小学校は「ほぼあてはまる」が39.5%と最も多く、以下「ほぼあてはまらない」が27.0%、「あてはまる」が25.4%となっている。中学校は「ほぼあてはまる」が42.4%と最も多く、以下「ほぼあてはまらない」が29.1%、「あてはまる」が22.2%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「ほぼあてはまらない」が若干増加している。

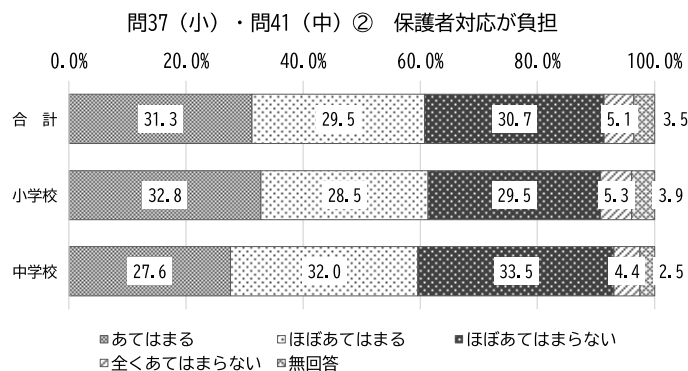


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはま る	ほぼあてはま らない	全くあてはま らない	無回答
合 計	691	169	279	191	26	26
	100.0	24.5	40.4	27.6	3.8	3.8
小学校	488	124	193	132	20	19
	100.0	25.4	39.5	27.0	4.1	3.9
中学校	203	45	86	59	6	7
	100.0	22.2	42.4	29.1	3.0	3.4

上段：実数、下段：割合 (%)

②「保護者対応が負担である」

小学校は「あてはまる」が32.8%と最も多く、以下「ほぼあてはまらない」が29.5%、「ほぼあてはまる」が28.5%となっている。中学校は「ほぼあてはまらない」が33.5%、と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が32.0%、「あてはまる」が27.6%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「あてはまる」が増加している。

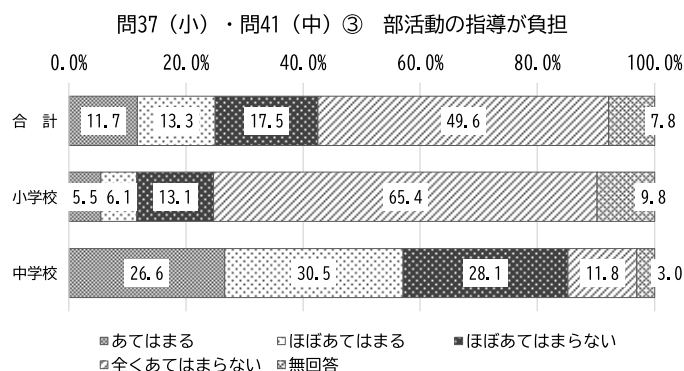


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	216	204	212	35	24
	100.0	31.3	29.5	30.7	5.1	3.5
小学校	488	160	139	144	26	19
	100.0	32.8	28.5	29.5	5.3	3.9
中学校	203	56	65	68	9	5
	100.0	27.6	32.0	33.5	4.4	2.5

上段：実数、下段：割合 (%)

③「部活動の指導が負担である」

小学校は「全くあてはまらない」が65.4%と最も多く、以下「ほぼあてはまらない」が13.1%、「ほぼあてはまる」が6.1%となっている。中学校は「ほぼあてはまる」が30.5%と最も多く、以下「ほぼあてはまらない」が28.1%、「あてはまる」が26.6%となっている。前回調査と比較し中学校で「ほぼあてはまる」が若干増加している。

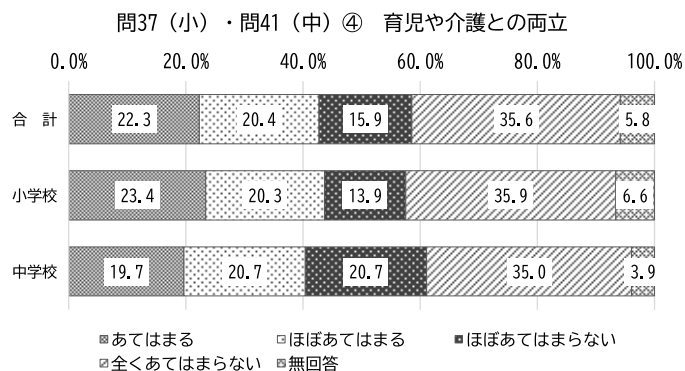


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	81	92	121	343	54
	100.0	11.7	13.3	17.5	49.6	7.8
小学校	488	27	30	64	319	48
	100.0	5.5	6.1	13.1	65.4	9.8
中学校	203	54	62	57	24	6
	100.0	26.6	30.5	28.1	11.8	3.0

上段：実数、下段：割合 (%)

④「育児や介護と仕事との両立が難しい」

小学校は「全くあてはまらない」が35.9%と最も多く、以下「あてはまる」が23.4%、「ほぼあてはまる」が20.3%となっている。中学校は「全くあてはまらない」が35.0%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」「ほぼあてはまらない」がともに20.7%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

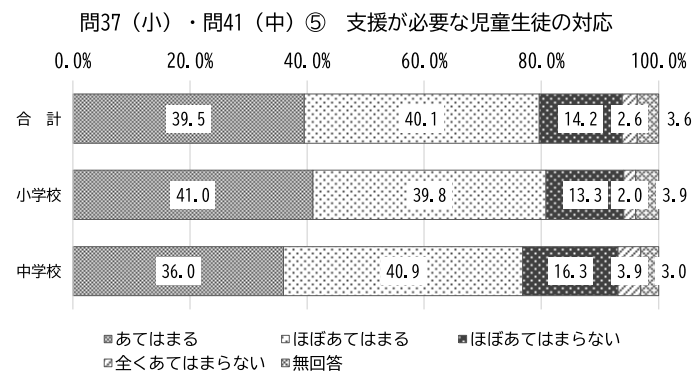


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	154	141	110	246	40
	100.0	22.3	20.4	15.9	35.6	5.8
小学校	488	114	99	68	175	32
	100.0	23.4	20.3	13.9	35.9	6.6
中学校	203	40	42	42	71	8
	100.0	19.7	20.7	20.7	35.0	3.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑤「特別な支援が必要な児童・生徒への対応が難しい」

小学校は「あてはまる」が41.0%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が39.8%、「ほぼあてはまらない」が13.3%となっている。中学校は「ほぼあてはまる」が40.9%と最も多く、以下「あてはまる」が36.0%、「ほぼあてはまらない」が16.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

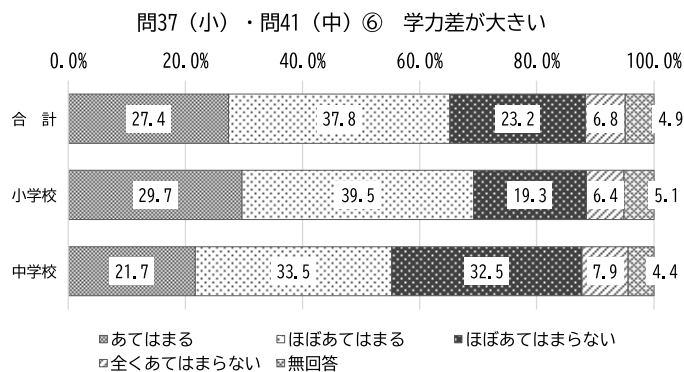


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	273	277	98	18	25
	100.0	39.5	40.1	14.2	2.6	3.6
小学校	488	200	194	65	10	19
	100.0	41.0	39.8	13.3	2.0	3.9
中学校	203	73	83	33	8	6
	100.0	36.0	40.9	16.3	3.9	3.0

上段：実数、下段：割合（％）

⑥ 「児童・生徒の学力差が大きくて授業がしにくい」

小学校は「ほぼあてはまる」が39.5%と最も多く、以下「あてはまる」が29.7%、「ほぼあてはまらない」が19.3%となっている。中学校は「ほぼあてはまる」が33.5%と最も多く、以下「ほぼあてはまらない」が32.5%、「あてはまる」が21.7%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「あてはまる」が若干増加している。

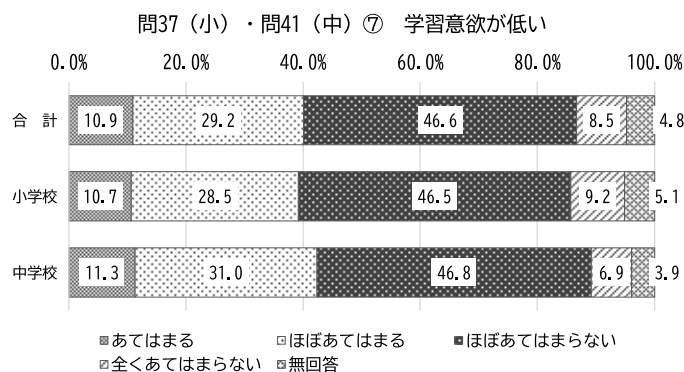


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	189	261	160	47	34
	100.0	27.4	37.8	23.2	6.8	4.9
小学校	488	145	193	94	31	25
	100.0	29.7	39.5	19.3	6.4	5.1
中学校	203	44	68	66	16	9
	100.0	21.7	33.5	32.5	7.9	4.4

上段：実数、下段：割合 (%)

⑦ 「児童・生徒の学習意欲が低い」

小学校は「ほぼあてはまらない」が46.5%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が28.5%、「あてはまる」が10.7%となっている。中学校は「ほぼあてはまらない」が46.8%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が31.0%、「あてはまる」が11.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「ほぼあてはまる」が増加している。

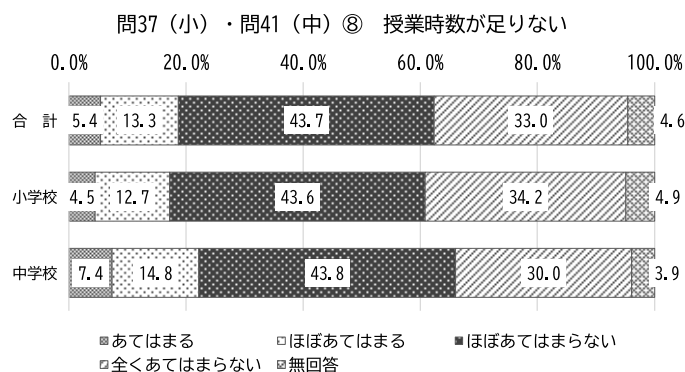


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	75	202	322	59	33
	100.0	10.9	29.2	46.6	8.5	4.8
小学校	488	52	139	227	45	25
	100.0	10.7	28.5	46.5	9.2	5.1
中学校	203	23	63	95	14	8
	100.0	11.3	31.0	46.8	6.9	3.9

上段：実数、下段：割合 (%)

⑧ 「年間の授業時数が足りない」

小学校は「ほぼあてはまらない」が43.6%と最も多く、以下「全くあてはまらない」が34.2%、「ほぼあてはまる」が12.7%となっている。中学校は「ほぼあてはまらない」が43.8%と最も多く、以下「全くあてはまらない」が30.0%、「ほぼあてはまる」が14.8%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「全くあてはまらない」が若干増加している。

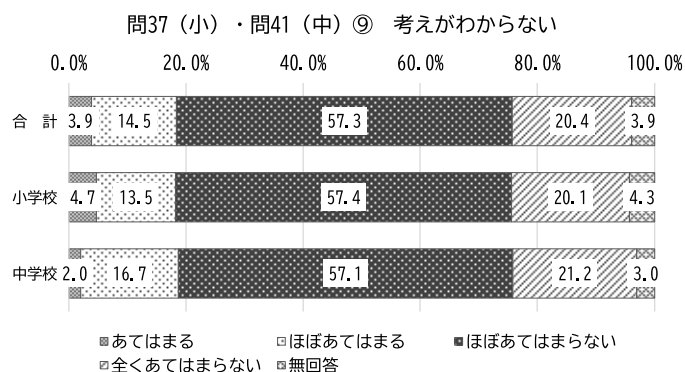


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	37	92	302	228	32
	100.0	5.4	13.3	43.7	33.0	4.6
小学校	488	22	62	213	167	24
	100.0	4.5	12.7	43.6	34.2	4.9
中学校	203	15	30	89	61	8
	100.0	7.4	14.8	43.8	30.0	3.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑨ 「児童・生徒が何を考えているのか分からない」

小学校は「ほぼあてはまらない」が57.4%と最も多く、以下「全くあてはまらない」が20.1%、「ほぼあてはまる」が13.5%となっている。中学校は「ほぼあてはまらない」が57.1%と最も多く、以下「全くあてはまらない」が21.2%、「ほぼあてはまる」が16.7%となっている。前回調査と比較し、中学校で「全くあてはまらない」が若干増加している。

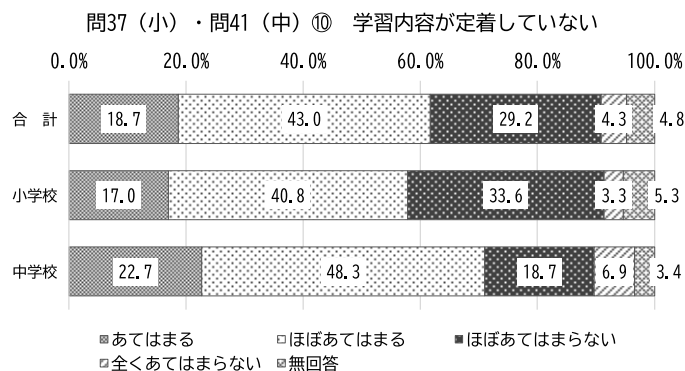


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	27	100	396	141	27
	100.0	3.9	14.5	57.3	20.4	3.9
小学校	488	23	66	280	98	21
	100.0	4.7	13.5	57.4	20.1	4.3
中学校	203	4	34	116	43	6
	100.0	2.0	16.7	57.1	21.2	3.0

上段：実数、下段：割合（％）

⑩「学習内容が定着していない」

小学校は「ほぼあてはまる」が40.8%と最も多く、以下「あてはまる」が17.0%となっている。中学校は「ほぼあてはまる」が48.3%と最も多く、以下「あてはまる」が22.7%、「ほぼあてはまらない」が18.7%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「あてはまる」が若干増加している。

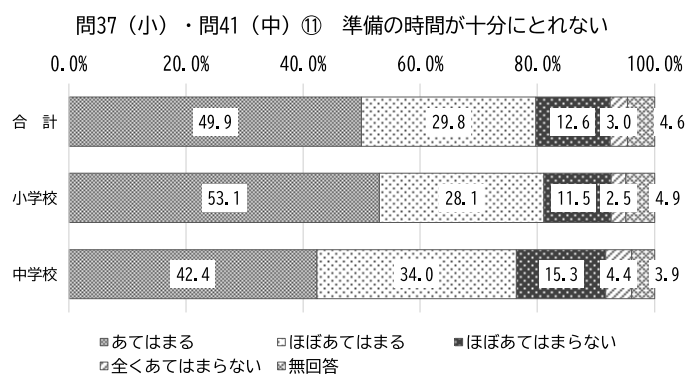


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	129	297	202	30	33
	100.0	18.7	43.0	29.2	4.3	4.8
小学校	488	83	199	164	16	26
	100.0	17.0	40.8	33.6	3.3	5.3
中学校	203	46	98	38	14	7
	100.0	22.7	48.3	18.7	6.9	3.4

上段：実数、下段：割合（％）

⑪「授業準備の時間が十分にとれない」

小学校は「あてはまる」が53.1%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」28.1%、「ほぼあてはまらない」が11.5%となっている。中学校は「あてはまる」が42.4%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が34.0%、「ほぼあてはまらない」が15.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

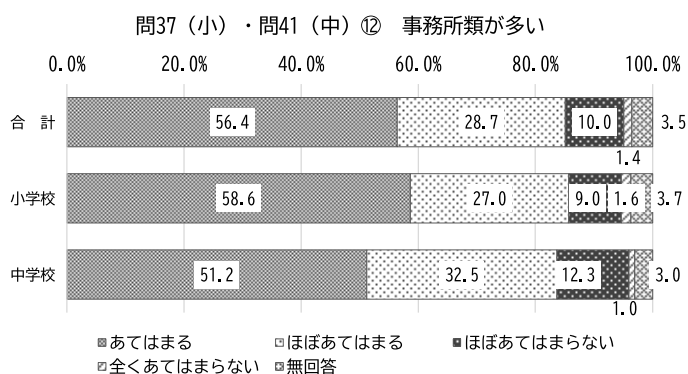


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	345	206	87	21	32
	100.0	49.9	29.8	12.6	3.0	4.6
小学校	488	259	137	56	12	24
	100.0	53.1	28.1	11.5	2.5	4.9
中学校	203	86	69	31	9	8
	100.0	42.4	34.0	15.3	4.4	3.9

上段：実数、下段：割合（％）

⑫「作成しなければならない事務書類が多い」

小学校は「あてはまる」が58.6%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が27.0%、「ほぼあてはまらない」が9.0%となっている。中学校は「あてはまる」が51.2%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が32.5%、「ほぼあてはまらない」が12.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

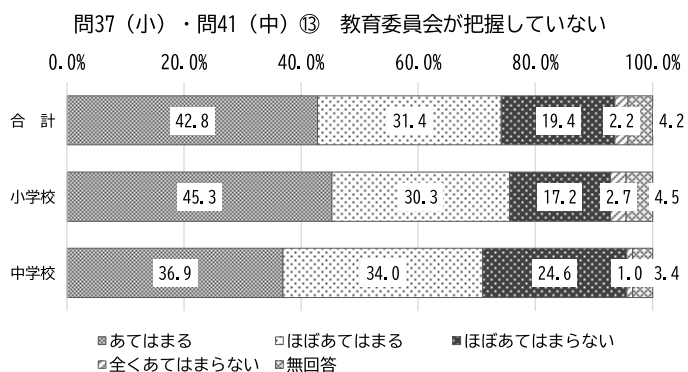


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	390	198	69	10	24
	100.0	56.4	28.7	10.0	1.4	3.5
小学校	488	286	132	44	8	18
	100.0	58.6	27.0	9.0	1.6	3.7
中学校	203	104	66	25	2	6
	100.0	51.2	32.5	12.3	1.0	3.0

上段：実数、下段：割合 (%)

⑬「教育委員会が学校現場の状況を把握していない」

小学校は「あてはまる」が45.3%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が30.3%、「ほぼあてはまらない」が17.2%となっている。中学校は「あてはまる」が36.9%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が34.0%、「ほぼあてはまらない」が24.6%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

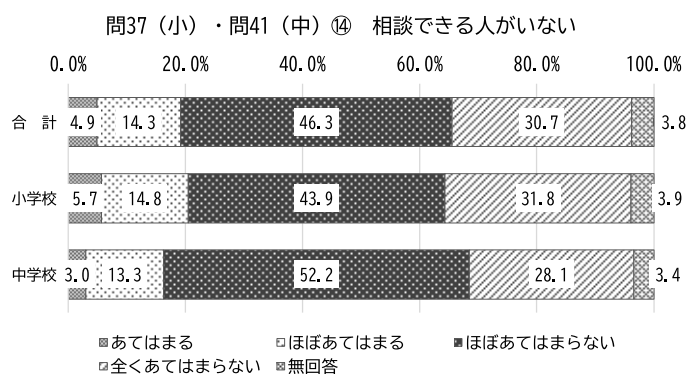


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	296	217	134	15	29
	100.0	42.8	31.4	19.4	2.2	4.2
小学校	488	221	148	84	13	22
	100.0	45.3	30.3	17.2	2.7	4.5
中学校	203	75	69	50	2	7
	100.0	36.9	34.0	24.6	1.0	3.4

上段：実数、下段：割合 (%)

⑭「校内に気軽に相談できる人がいない」

小学校は「ほぼあてはまらない」が43.9%と最も多く、以下「全くあてはまらない」が31.8%、「ほぼあてはまる」が14.8%となっている。中学校は「ほぼあてはまらない」が52.2%と最も多く、以下「全くあてはまらない」が28.1%、「ほぼあてはまる」が13.3%となっている。前回調査と比較し、中学校で「ほぼあてはまらない」「全くあてはまらない」の割合が増加している。

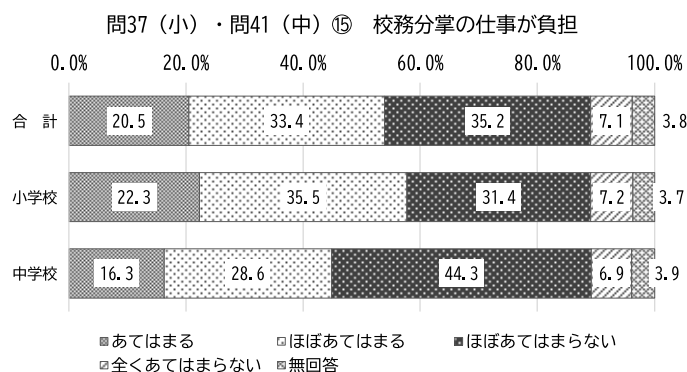


	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	34	99	320	212	26
	100.0	4.9	14.3	46.3	30.7	3.8
小学校	488	28	72	214	155	19
	100.0	5.7	14.8	43.9	31.8	3.9
中学校	203	6	27	106	57	7
	100.0	3.0	13.3	52.2	28.1	3.4

上段：実数、下段：割合（％）

⑮「校務分掌の仕事が負担である」

小学校は「ほぼあてはまる」が35.5%と最も多く、以下「ほぼあてはまらない」が31.4%、「あてはまる」が22.3%となっている。中学校は「ほぼあてはまらない」が44.3%と最も多く、以下「ほぼあてはまる」が28.6%、「あてはまる」が16.3%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。



	回答者数 (人)	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない	無回答
合 計	691	142	231	243	49	26
	100.0	20.5	33.4	35.2	7.1	3.8
小学校	488	109	173	153	35	18
	100.0	22.3	35.5	31.4	7.2	3.7
中学校	203	33	58	90	14	8
	100.0	16.3	28.6	44.3	6.9	3.9

上段：実数、下段：割合（％）

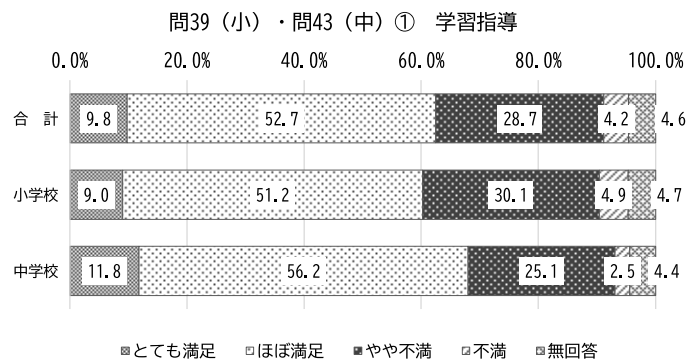
問 38 (小)・42 (中) その他仕事に関する悩み (自由記入)

- ・若手とベテランの間がうまくコミュニケーションがとれていないが、管理職が様子を見て調整することをしないので改善しない。
- ・辛い時には、すぐに学校の異動ができるようになってほしい。
- ・通級指導担当なので、できるだけ指導の時間、研修、自己研さんの時間を増やしたい。
- ・パワハラがあり退職者が出ているのに一向に職場の人間関係が改善されない。
- ・産休代替や病休代替がみつからず、いつ担任になるか指導する教科が変わるのか、専科担任をしていると毎年不安になる。
- ・サービス業のように、クレームは何でも受け入れるようになり、理不尽な思いが絶えない。
- ・職場の上下関係の中で威圧的な言動が気になる。言われる内容でなく、伝え方が強すぎるのではと思うことが多々ある。
- ・新学期スタートギリギリまで人事が決定できない状態をどうにかしてほしい。
- ・とにかく教材研究の時間がないので毎日の授業づくりが心配です。担任2年目なのもありますが、業務を軽減していただいている身なのに残業も多いので今後この状態を脱せるか不安に思っています。
- ・若手教員の指導、サポートのためにそれができる中堅教員（全ての中堅教員ならできるわけではなく、その中でも適性がある）に負担が寄る。
- ・学校に長くいる先生の発言権がとても強く、異動者や若手の意見があまり反映されない。
- ・職員室では常に緊張感があり、何か言われるのではないかと不安を感じている。
- ・何でも学級でのことは担任が背負うような雰囲気を感じる。みんな自分に必死で、助け合おうというような雰囲気を感じない。働き方改革業務内容の見直しの必要を感じる。
- ・中野区は他地区に比べて働き方改革を全然感じない。行事の朝練や勤務時間外の会議など多過ぎ。管理職もそれを推進していないことに疑問を抱く。
- ・自分のことだけでなく同僚の問題行動や生徒への指導等、心配が増して、ストレスになっている。
- ・少人数授業を実施するのはいいですが、それだけの教員を確保してほしい。
- ・授業を1番大切にしたいのに、それにかかる時間を十分にとれない。でも、最低限ここまではと自分の納得できる最低限をやろうとすると、どうしても残業になる。
- ・管理職の関わり方がとても精神的にきつい時がある。
- ・職員によって、仕事に対する向き合い方・考え方が異なるので、均等な仕事量にしたいとても難しい。割り振っても、やらない人はやらないため、結局、やれてしまう人への仕事量が多くなる。

問 39（小）・43（中） 教員としての満足感（S A）

①「学習指導」

小学校は「ほぼ満足」が51.2%と最も多く、以下「やや不満」が30.1%、「とても満足」が9.0%となっている。中学校は「ほぼ満足」が56.2%と最も多く、以下「やや不満」が25.1%、「とても満足」が11.8%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

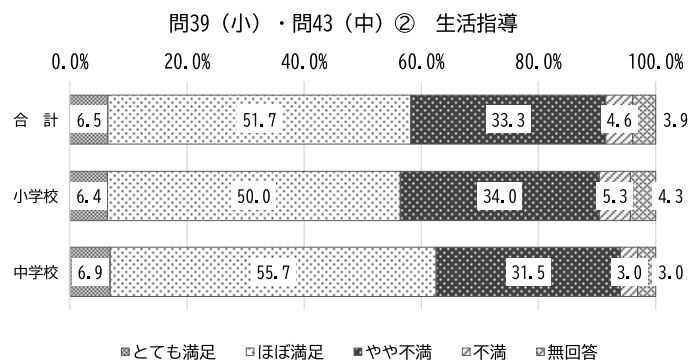


	回答者数 (人)	とても満足	ほぼ満足	やや不満	不満	無回答
合 計	691	68	364	198	29	32
	100.0	9.8	52.7	28.7	4.2	4.6
小学校	488	44	250	147	24	23
	100.0	9.0	51.2	30.1	4.9	4.7
中学校	203	24	114	51	5	9
	100.0	11.8	56.2	25.1	2.5	4.4

上段：実数、下段：割合（％）

②「生活指導」

小学校は「ほぼ満足」が50.0%と最も多く、以下「やや不満」が34.0%、「とても満足」が6.4%となっている。中学校は「ほぼ満足」が55.7%と最も多く、以下「やや不満」が31.5%、「とても満足」が6.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに傾向はほぼ同じである。

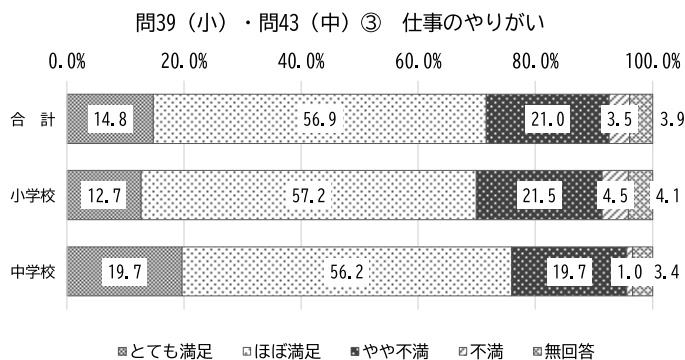


	回答者数 (人)	とても満足	ほぼ満足	やや不満	不満	無回答
合 計	691	45	357	230	32	27
	100.0	6.5	51.7	33.3	4.6	3.9
小学校	488	31	244	166	26	21
	100.0	6.4	50.0	34.0	5.3	4.3
中学校	203	14	113	64	6	6
	100.0	6.9	55.7	31.5	3.0	3.0

上段：実数、下段：割合（％）

③ 「仕事のやりがい」

小学校は「ほぼ満足」が57.2%と最も多く、以下「やや不満」が21.5%、「とても満足」が12.7%となっている。中学校は「ほぼ満足」が56.2%と最も多く、以下「やや不満」「とても満足」がともに19.7%となっている。前回調査と比較し、中学校で「とても満足」「ほぼ満足」の割合が若干増加している。

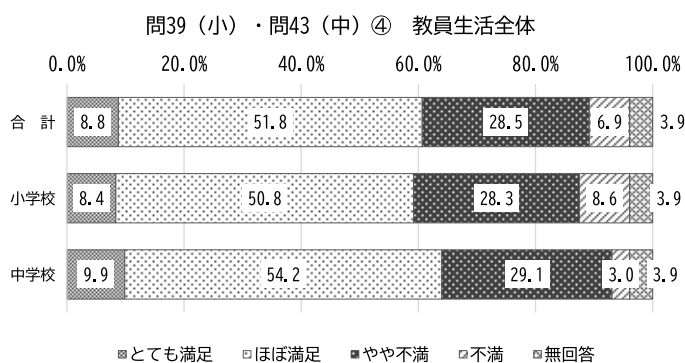


	回答者数 (人)	とても満足	ほぼ満足	やや不満	不満	無回答
合 計	691	102	393	145	24	27
	100.0	14.8	56.9	21.0	3.5	3.9
小学校	488	62	279	105	22	20
	100.0	12.7	57.2	21.5	4.5	4.1
中学校	203	40	114	40	2	7
	100.0	19.7	56.2	19.7	1.0	3.4

上段：実数、下段：割合 (%)

④ 「教員生活全体を総合的にみて」

小学校は「ほぼ満足」が50.8%と最も多く、以下「やや不満」が28.3%、「不満」が8.6%となっている。中学校は「ほぼ満足」が54.2%と最も多く、以下「やや不満」が29.1%、「とても満足」が9.9%となっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「とても満足」「ほぼ満足」の割合が若干増加している。



	回答者数 (人)	とても満足	ほぼ満足	やや不満	不満	無回答
合 計	691	61	358	197	48	27
	100.0	8.8	51.8	28.5	6.9	3.9
小学校	488	41	248	138	42	19
	100.0	8.4	50.8	28.3	8.6	3.9
中学校	203	20	110	59	6	8
	100.0	9.9	54.2	29.1	3.0	3.9

上段：実数、下段：割合 (%)

9 教員の多忙や負担の軽減について

問40（小）・44（中） 1日の実際の休憩時間

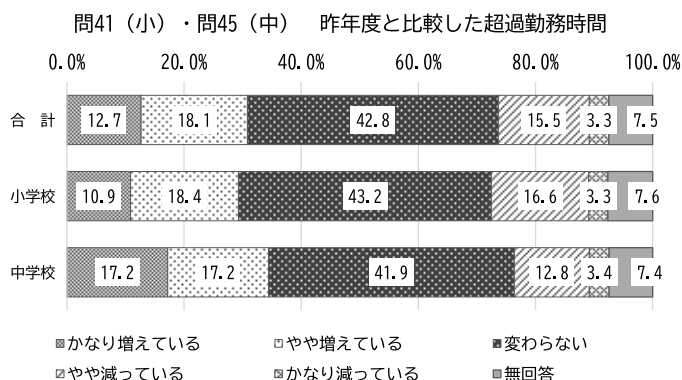
1日の実際の休憩時間について、小学校では平均 6.8 分、中学校では平均 8.8 分であった。

	回答者数 (人)	有効回答	無回答	平均 (分)
合 計	691	660	31	7.4
	100.0	95.5	4.5	
小学校	488	465	23	6.8
	100.0	95.3	4.7	
中学校	203	195	8	8.8
	100.0	96.1	3.9	

上段：実数、下段：割合 (%)

問 41（小）・45（中） 昨年度と比較した超過勤務時間（S A）

昨年度と比較した超過勤務時間について、小学校は「変わらない」が 43.2%と最も多く、以下「やや増えている」が 18.4%、「やや減っている」が 16.6%などとなっている。中学校も「変わらない」が 41.9%と最も多く、以下「かなり増えている」「やや増えている」がともに 17.2%、「やや減っている」が 12.8%などとなっている。



	回答者数 (人)	かなり増えて いる	やや増えてい る	変わらない	やや減ってい る	かなり減って いる	無回答
合 計	691	88	125	296	107	23	52
	100.0	12.7	18.1	42.8	15.5	3.3	7.5
小学校	488	53	90	211	81	16	37
	100.0	10.9	18.4	43.2	16.6	3.3	7.6
中学校	203	35	35	85	26	7	15
	100.0	17.2	17.2	41.9	12.8	3.4	7.4

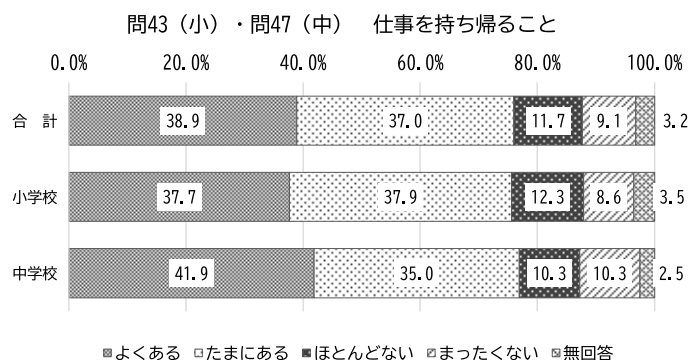
上段：実数、下段：割合 (%)

問42（小）・46（中） 勤務時間が長時間化する主な要因（自由記入）

- ・自分の仕事が遅いのと、教科の主担当を1人でもつようになったこと。
- ・前年は大規模校だったが今は小規模で、前より教員1人の負担が大きい。
- ・行事の多さ、煩雑な事務作業、通知表等書類、保護者対応、このような改善されない調査物。
- ・授業時数の増加、出張や研修が多く自由時間が割けないこと。
- ・担任になり、業務が増えたこと。
- ・クラス数が増加し、生徒対応、保護者対応の時間が増えた。そのような中、産代の教員も補充されず人員が減り学年分掌の負担も増加。
- ・生徒数の増加により、生徒対応、事務処理量が増加している。
- ・勤務時間内で生徒対応等が多くなり、授業準備等ができないことが多くなった。
- ・知らないうちに、タブレットに新しいアプリが入っており、活用が追い付かない。区から具体的な活用事例がほしい。
- ・子どもの体調不良や、送り迎え、子どもの学校のPTA活動への参加（強制）等があり、思うように仕事を進められず、残業や休日出勤するしかなくなる。
- ・異動1年目で、専科として、教材を新たに作成しなければならないため。
- ・急な書類作成や教科指導の増加、雑務が軽減されない。
- ・昨年に比べて、支援が必要な子どもが増えたため、どうしても放課後に学習支援する必要があるため、授業準備、事務作業があとまわしになり、勤務時間内に対応することが難しい。
- ・人が足りていないため現場がまわっていき仕事量も増加している。
- ・学習指導要領改訂のたび、新しい内容、教科が増え、児童に指導する内容が増えているため。
- ・学級主任になり、新しくしていることや、行事担当を多くしているから。

問43（小）・47（中） 仕事を家に持ち帰ること（SA）

仕事を家に持ち帰ることについて、小学校は「たまにある」が37.9%と最も多く、以下「よくある」が37.7%、「ほとんどない」が12.3%などとなっている。中学校は「よくある」が41.9%と最も多く、以下「たまにある」が35.0%、「ほとんどない」「まったくない」がともに10.3%などとなっている。

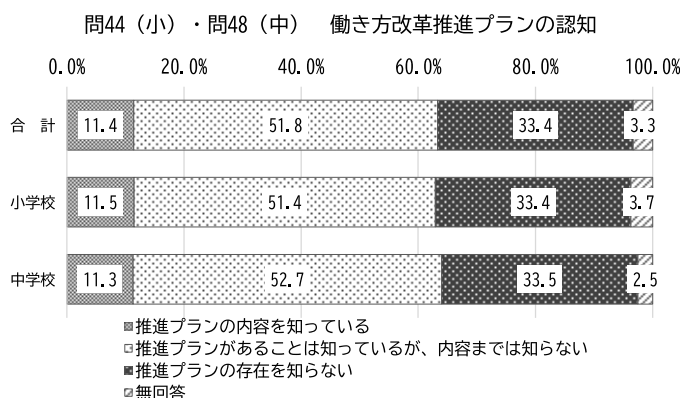


	回答者数 (人)	よくある	たまにある	ほとんどない	まったくない	無回答
合 計	691	269	256	81	63	22
	100.0	38.9	37.0	11.7	9.1	3.2
小学校	488	184	185	60	42	17
	100.0	37.7	37.9	12.3	8.6	3.5
中学校	203	85	71	21	21	5
	100.0	41.9	35.0	10.3	10.3	2.5

上段：実数、下段：割合（%）

問 44（小）・48（中） 「中野区立学校における働き方改革推進プラン」の認知（S A）

「中野区立学校における働き方改革推進プラン」の認知について、小学校は「推進プランがあることは知っているが、内容までは知らない」が51.4%と最も多く、以下「推進プランの存在を知らない」が33.4%、「推進プランの内容を知っている」が11.5%などとなっている。中学校も「推進プランがあることは知っているが、内容までは知らない」が52.7%と最も多く、以下「推進プランの存在を知らない」が33.5%、「推進プランの内容を知っている」が11.3%などとなっている。

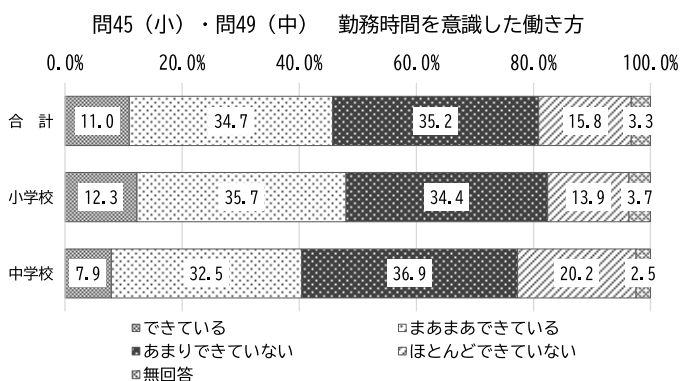


	回答者数 (人)	推進プランの内容 を知っている	推進プランがある ことは知っている が、内容までは知 らない	推進プランの存在 を知らない	無回答
合 計	691	79	358	231	23
	100.0	11.4	51.8	33.4	3.3
小学校	488	56	251	163	18
	100.0	11.5	51.4	33.4	3.7
中学校	203	23	107	68	5
	100.0	11.3	52.7	33.5	2.5

上段：実数、下段：割合（％）

問 45（小）・49（中） 勤務時間を意識した働き方ができているか（S A）

勤務時間を意識した働き方について、小学校は「まあまあできている」が35.7%と最も多く、以下「あまりできていない」が34.4%、「ほとんどできていない」が13.9%などとなっている。中学校は「あまりできていない」が36.9%と最も多く、以下「まあまあできている」が32.5%、「ほとんどできていない」が20.2%などとなっている。

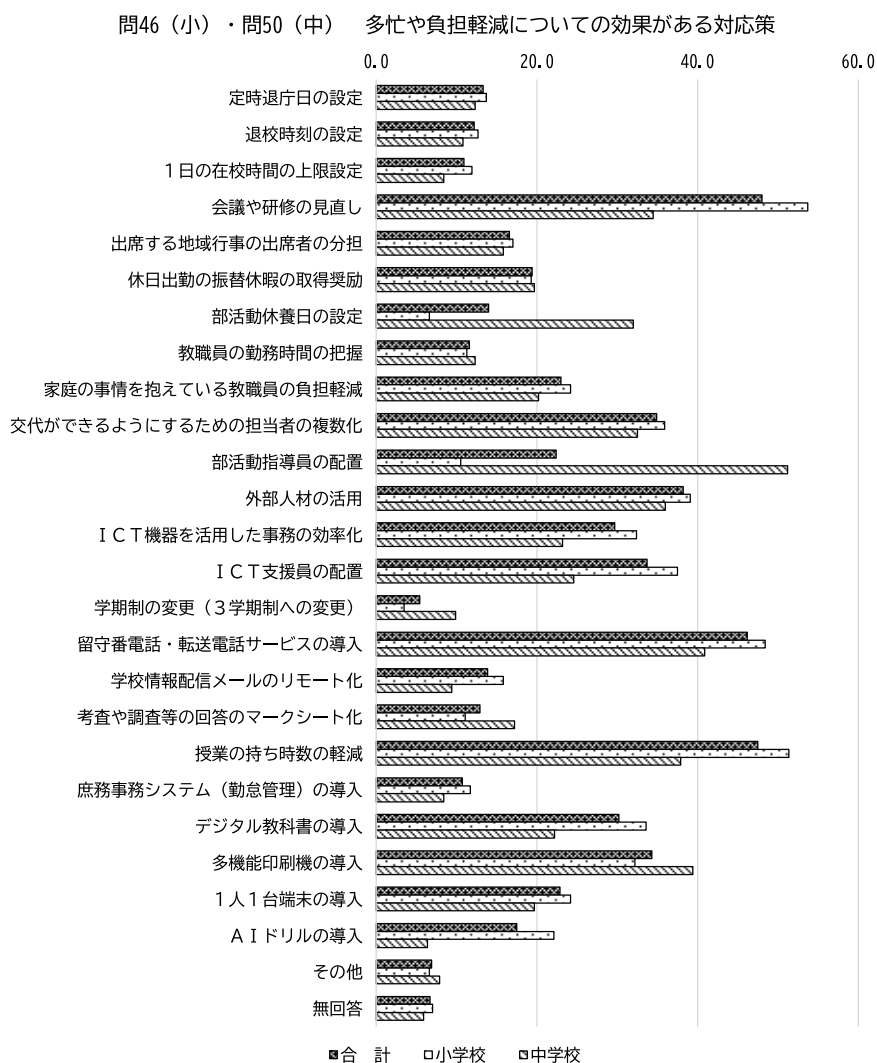


	回答者数 (人)	できている	まあまあできている	あまりできていない	ほとんどできていない	無回答
合 計	691	76	240	243	109	23
	100.0	11.0	34.7	35.2	15.8	3.3
小学校	488	60	174	168	68	18
	100.0	12.3	35.7	34.4	13.9	3.7
中学校	203	16	66	75	41	5
	100.0	7.9	32.5	36.9	20.2	2.5

上段：実数、下段：割合（％）

問 46（小）・50（中） 教員の多忙や負担の軽減について効果がある対応策（MA）

教員の多忙や負担の軽減について効果がある対応策について、小学校は「会議や研修の見直し」が53.7%と最も多く、以下「授業の持ち時数の軽減」が51.4%、「留守番電話・転送電話サービスの導入」が48.4%、「外部人材の活用」が39.1%などとなっている。中学校は「部活動指導員の配置」が51.2%で最も多く、以下「留守番電話・転送電話サービスの導入」が40.9%、「多機能印刷機の導入」が39.4%、「授業の持ち時数の軽減」が37.9%などとなっている。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「留守番電話・転送電話サービスの導入」の割合が若干増加している。また、中学校において、「部活動休養日の設定」「部活動指導員の配置」など、部活動関連の対応策が増加している。



	回答者数 (人)	定時退庁日 の設定	退校時刻の 設定	1日の在校 時間の上限 設定	会議や研修 の見直し	出席する地 域行事の出 席者の分担	休日出勤の 振替休暇の 取得奨励	部活動休養 日の設定	教職員の勤 務時間の把 握	育児や介護 など家庭の 事情を抱え ている教職 員の負担軽 減	交代ができ るようにな るための担 当者の複数 化	部活動指導 員の配置	外部人材の 活用	ＩＣＴ機器 を活用した 事務の効率 化
合 計	691	92	84	75	332	115	134	97	80	159	241	155	264	205
	100.0	13.3	12.2	10.9	48.0	16.6	19.4	14.0	11.6	23.0	34.9	22.4	38.2	29.7
小学校	488	67	62	58	262	83	94	32	55	118	175	51	191	158
	100.0	13.7	12.7	11.9	53.7	17.0	19.3	6.6	11.3	24.2	35.9	10.5	39.1	32.4
中学校	203	25	22	17	70	32	40	65	25	41	66	104	73	47
	100.0	12.3	10.8	8.4	34.5	15.8	19.7	32.0	12.3	20.2	32.5	51.2	36.0	23.2

	ＩＣＴ支援 員の配置 (授業支 援、ホーム ページ更新 等)	学期制の変 更（３学期 制への変 更）	留守番電 話・転送電 話サービス の導入	学校情報配 信メールの リモート化 (学校以外 での配信 可)	調査や調査 等の回答の マークシー ト化	授業の持ち 時数の軽減	庶務事務シ ステム（勤 怠管理）の 導入	デジタル教 科書の導入	多機能印刷 機の導入	1人1台端 末の導入	A Iドリル の導入	その他	無回答
合 計	233	37	319	96	89	328	74	209	237	158	121	48	46
	33.7	5.4	46.2	13.9	12.9	47.5	10.7	30.2	34.3	22.9	17.5	6.9	6.7
小学校	183	17	236	77	54	251	57	164	157	118	108	32	34
	37.5	3.5	48.4	15.8	11.1	51.4	11.7	33.6	32.2	24.2	22.1	6.6	7.0
中学校	50	20	83	19	35	77	17	45	80	40	13	16	12
	24.6	9.9	40.9	9.4	17.2	37.9	8.4	22.2	39.4	19.7	6.4	7.9	5.9

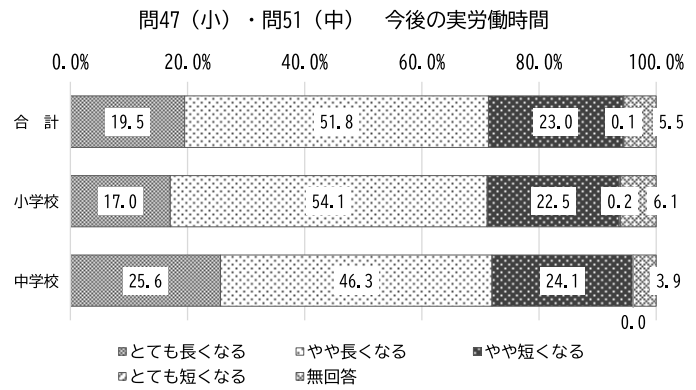
上段：実数、下段：割合（％）

その他

- ・ 考査の採点ソフト導入
- ・ 支援員の配置
- ・ 成績の時期などの授業短縮
- ・ スクールサポートスタッフ（ＳＳＳ）の導入
- ・ 連合行事の廃止（音楽会、運動会）
- ・ 都・区からくる作成文章（書）の削減
- ・ 校務分掌の見直し及び外部委託

問 47（小）・51（中） 今後、実労働時間はどうなると思うか（S A）

今後、実労働時間はどうなると思うかについて、小学校は「やや長くなる」が54.1%と最も多く、「やや短くなる」が22.5%、「とても長くなる」が17.0%となっている。中学校は「やや長くなる」が46.3%で、「とても長くなる」が25.6%、「やや短くなる」が24.1%となっている。小学校、中学校ともに約7割が「長くなる」と回答している。前回調査と比較し、小学校、中学校ともに「やや長くなる」の割合が増加している。



	回答者数 (人)	とても長く なる	やや長くな る	やや短くな る	とても短く なる	無回答
合 計	691	135	358	159	1	38
	100.0	19.5	51.8	23.0	0.1	5.5
小学校	488	83	264	110	1	30
	100.0	17.0	54.1	22.5	0.2	6.1
中学校	203	52	94	49	0	8
	100.0	25.6	46.3	24.1	0.0	3.9

上段：実数、下段：割合（％）

問 48（小）・52（中） 教員の働き方改革全般について（自由記入）

- ・なぜ多忙化しているのか根本的な原因を明らかにして、対応をしっかりしてほしい。明らかに勤務時間内に終わる量以上のものを、多くの教員の熱意に頼ってさせていると長年思っていた。これまで進めている働き方改革には、学校任せのものが多くあるので、どの学校にも適用する内容を、本気で考えてほしい。
- ・効率化や会議時間の見直しは効果があったと思うが、根本的な解決にはならない。道徳、外国語、ICTと、学習内容は増えるばかりな印象が強い。人材を増やすか、業務内容自体を見直し、軽減しないと、教育の質そのものの低下はまぬがれないと思う。
- ・区全体、管理職全体がより具体的な改革に取り組もうとなれば、一気に改革が進む。昔ながらのやり方にこだわっている限り、効率的・生産的な働き方にはつながらない。中野区へ異動して、改革が進んでいないことに驚きを感じた。区内異動をくりかえす管理職の下では、改革が行われたい。他地区のやり方を取り込もうとしない。これだけボリュームある調査なので、改革につなげていただきたい。
- ・「働き方改革」として休みをとったり、早く帰ったりする人がいると、結局他教員の負担が増えている。生徒とも保護者とも人と人との関係なので、そこをおろそかにすることはできない。授業外の仕事も多いのは仕方ないのだから、せめて授業時数を減らすように人材を確保してほしい。まだ、特別支援系の生徒も増えているのだから、学級数×2の教員がいても良いと思う。
- ・働き方改革は、失敗しても良いから、まず「動いて」ほしい。考えている時間よりも、やって効果を検証することの方が現場は求めている。
- ・事務的な仕事を減らす、もしくはさらに簡略化して欲しい。書類の作成などの事務的な仕事に時間がかかり、生徒と接する時間が十分に確保できない。生徒のこと以外を考える時間が長すぎる。
- ・現状のままではどんどん手が減ると思います。人手不足を改善するためには、教員以外の専門スタッフをいろいろな分野（保護者連絡、ICT設備など）に配置していくことが望ましいと思います。教員は授業に一番力を入れられる環境にあるべき。
- ・教員を増やしてもらわないと、負担は減らない。良い取り組みをたくさんするのは良いが、そのための人をつけてほしい。

V 業務記録調査

1. 調査の概要

(1) 調査目的

中野区立学校における教員の勤務実態を正確に把握するため。

(2) 実施方法

○調査期間：令和6年9月 24 日(火)から9月 30 日(月)までの7日間

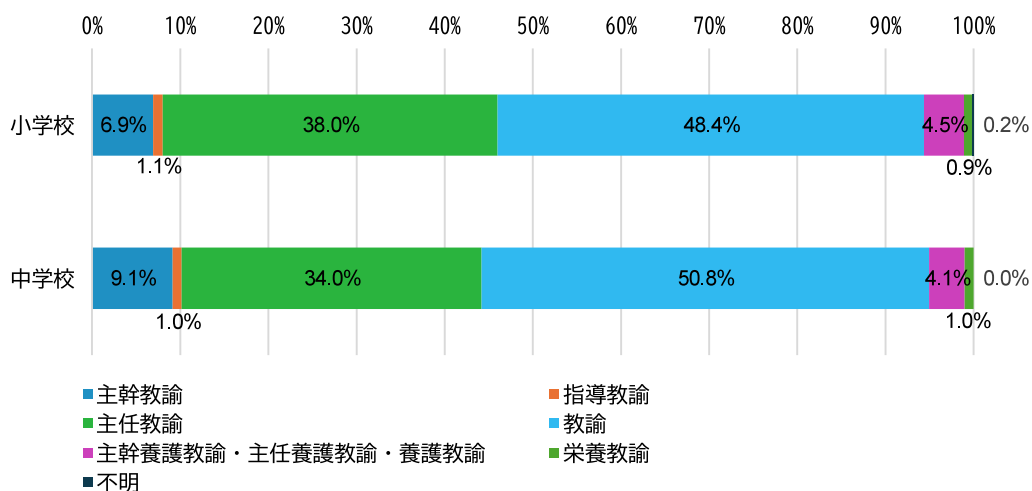
○調査対象：小学校 20 校、中学校 9 校の計 29 校のうち常時勤務する教員全員(校長、副校長、主幹教諭、指導教諭、主任教諭、教諭、主幹養護教諭・主任養護教諭・養護教諭、栄養教諭等)

○調査内容：調査期間中（7日間）の業務を記録（30分単位）

○調査の回答者数：719 人

回答者の内訳 小学校 校長：20 人、副校長：21 人、教諭：463 人
中学校 校長：9 人、副校長：9 人、教諭：197 人

図表 職位の割合



2. 調査結果の概要

(1) 教員の1日当たりの在校時間

校長・副校長の平日の在校時間は、前回調査と比較すると小学校では20分～1時間ほど減少したが、中学校では若干増加している。小学校、中学校ともに副校長の業務時間が最も長く、中学校では12時間である。

教諭の平日の在校時間は、前回調査と比較し小学校で55分、中学校で13分短くなった。また、前回調査では小学校のほうが長かったが、今回調査では中学校のほうが長くなっている。

土日は、小学校の副校長、中学校の校長で減少したが、その他は若干増加している。

図表 平日の1日当たりの在校時間（上：小学校、下：中学校）

	小学校		
	今回調査	前回調査	前回比較
校長	10時間21分	10時間42分	-0時間21分
副校長	11時間32分	12時間33分	-1時間01分
教諭	10時間35分	11時間30分	-0時間55分

	中学校		
	今回調査	前回調査	前回比較
校長	10時間55分	10時間30分	0時間25分
副校長	12時間00分	11時間53分	0時間07分
教諭	10時間57分	11時間10分	-0時間13分

図表 土日の1日当たりの在校時間（上：小学校、下：中学校）

	小学校		
	今回調査	前回調査	前回比較
校長	1時間40分	1時間19分	0時間21分
副校長	0時間43分	3時間03分	-2時間20分
教諭	0時間56分	0時間46分	0時間10分

	中学校		
	今回調査	前回調査	前回比較
校長	2時間20分	3時間35分	-1時間15分
副校長	1時間52分	1時間41分	0時間11分
教諭	3時間43分	3時間14分	0時間29分

(2) 教員の1週間当たりの在校時間

校長・副校長の1週間当たりの在校時間は、小学校の校長、副校長、中学校の校長で前回調査と比較し減少した。特に小学校の副校長は9時間44分と大きく減少した。一方で、中学校の副校長は1時間ほど増加している。

教諭の1週間当たりの在校時間は、小学校で5時間11分、中学校で3時間51分とともに大きく減少した。

図表 1週間当たりの在校時間（上：小学校、下：中学校）

	小学校		
	今回調査	前回調査	前回比較
校長	55時間09分	56時間10分	-1時間01分
副校長	59時間08分	68時間52分	-9時間44分
教諭	53時間54分	59時間05分	-5時間11分

	中学校		
	今回調査	前回調査	前回比較
校長	59時間20分	59時間45分	-0時間25分
副校長	63時間48分	62時間52分	0時間56分
教諭	58時間30分	62時間21分	-3時間51分

※在校時間：出勤時間、退勤時間より算出

※中野第一小学校、中野中学校は9月28日（土）学校行事があったため、9月28日（土）を平日とし、9月29日（日）及び9月30日（月）を土・日として集計した。

(3) 1週間当たりの在校時間の分布

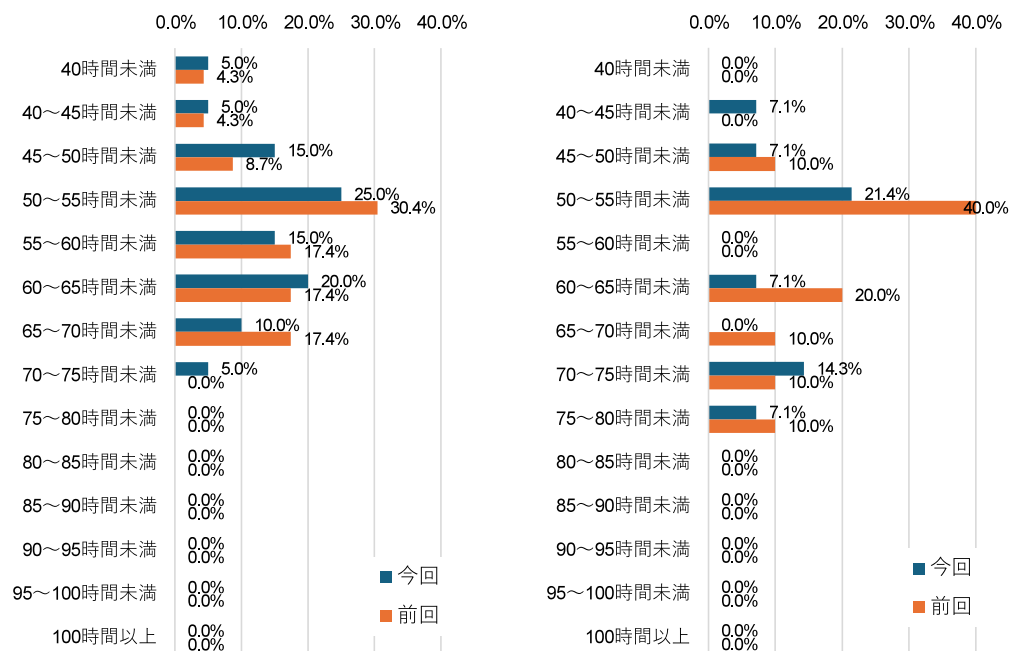
1週間当たりの在校時間について、週 60 時間以上の者の割合が、小学校の校長で 35.0%と前回調査ほぼ同程度だった以外は、減少している。特に小学校の副校長では 35.2%と大きく減少したほか、中学校の校長、小学校の教諭とともに 20%以上減少した。

図表 週当たり学内総勤務時間 60 時間以上の割合

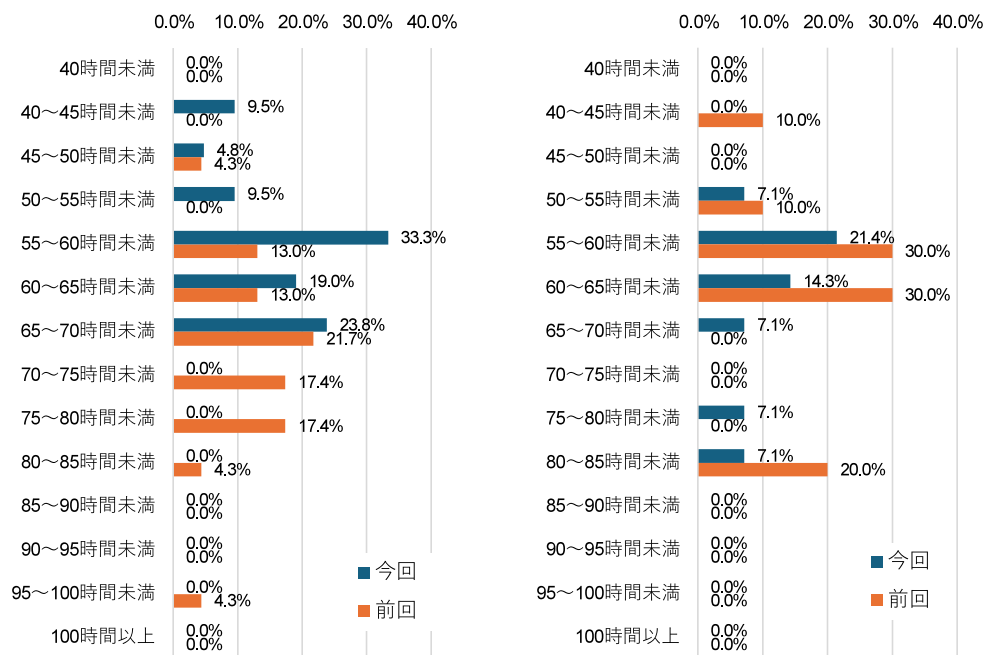
	小学校		
	今回調査	前回調査	今回一前回
校長	35.0%	34.8%	0.2%
副校長	42.9%	78.1%	-35.2%
教諭	21.6%	41.9%	-20.3%

	中学校		
	今回調査	前回調査	今回一前回
校長	28.6%	50.0%	-21.4%
副校長	35.7%	50.0%	-14.3%
教諭	43.1%	52.3%	-9.2%

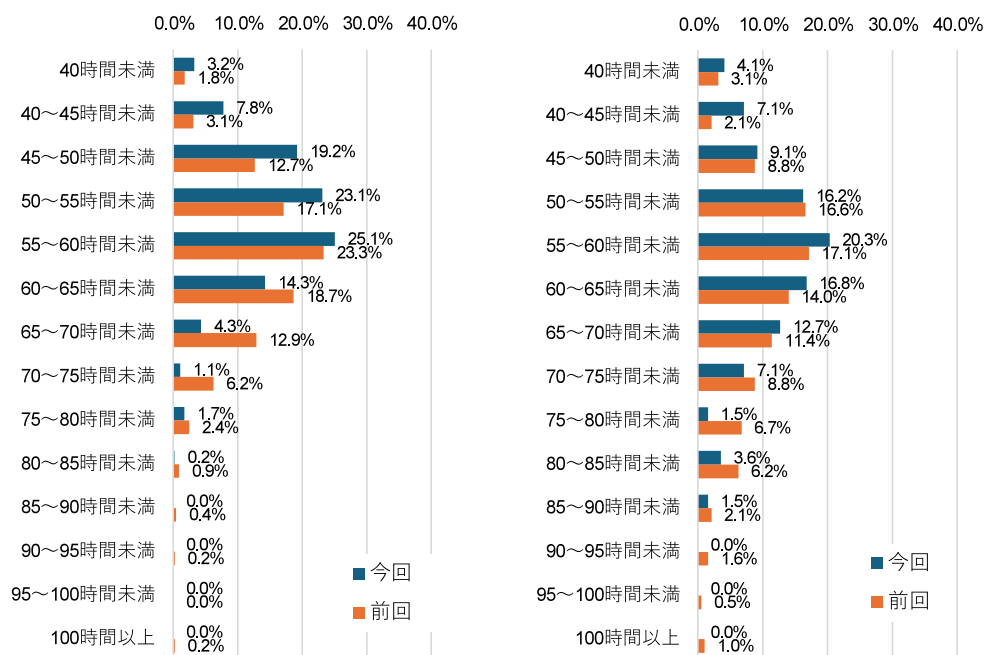
図表 【校長】 1週間当たりの在校時間分布の前回比較（左：小学校、右：中学校）



図表 【副校長】 1週間当たりの在校時間分布の前回比較（左：小学校、右：中学校）



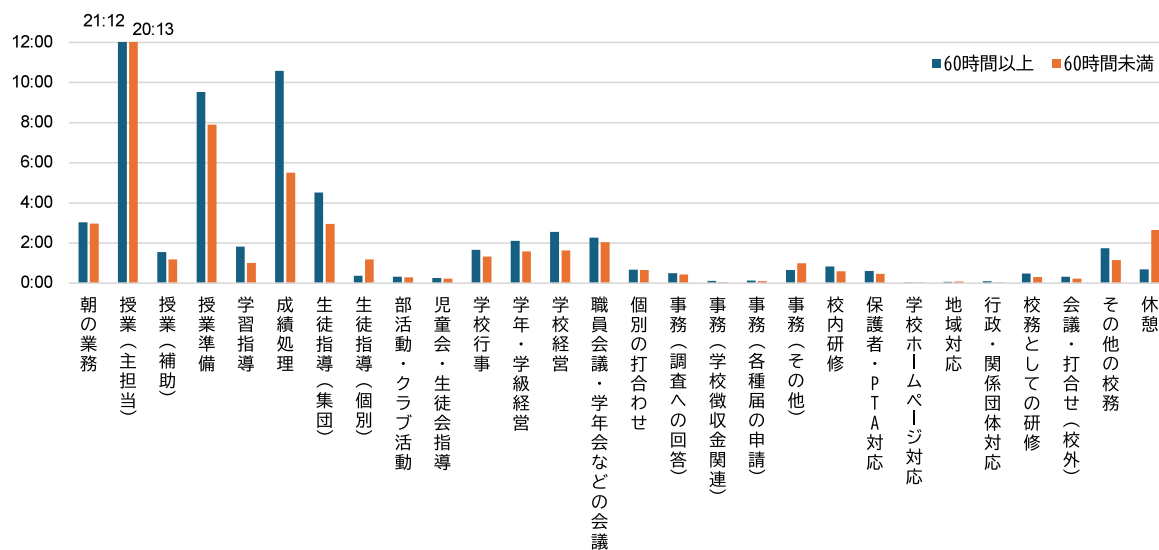
図表 【教諭】 1週間当たりの在校時間分布の前回比較（左：小学校、右：中学校）



(4) 業務内容別の業務時間

① 小学校教諭

図表 週間当たりの在校時間 60 時間以上・60 時間未満の業務時間比較

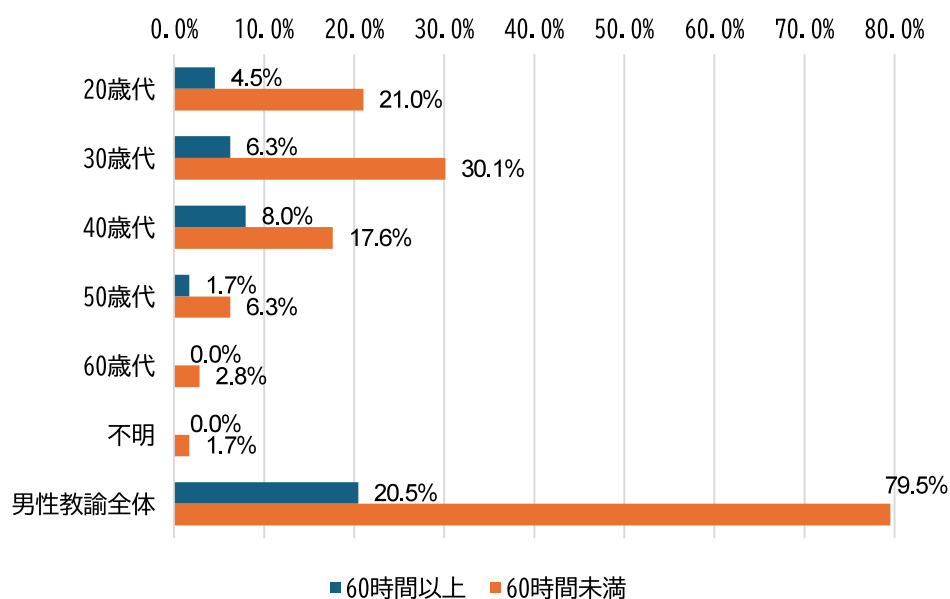


【業務時間の差が1時間以上の業務】

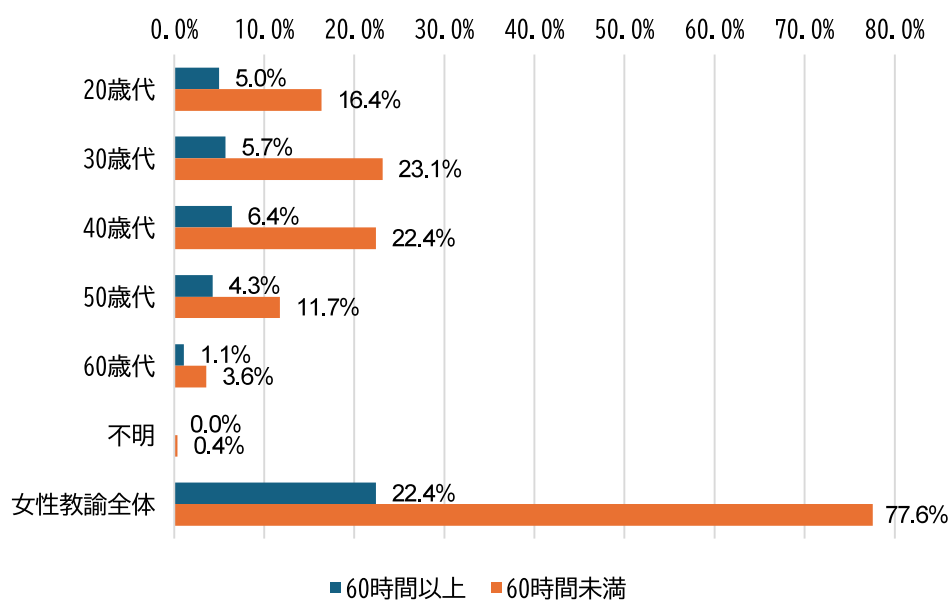
	60 時間以上	60 時間未満	差
成績処理	10 時間 35 分	5 時間 29 分	5 時間 06 分
授業準備	9 時間 32 分	7 時間 54 分	1 時間 38 分
生徒指導(集団)	4 時間 30 分	2 時間 56 分	1 時間 34 分

【性別・年齢別・週間当たりの在校時間 60 時間以上・60 時間未満の割合】

図表 小学校男性教諭（N＝176）

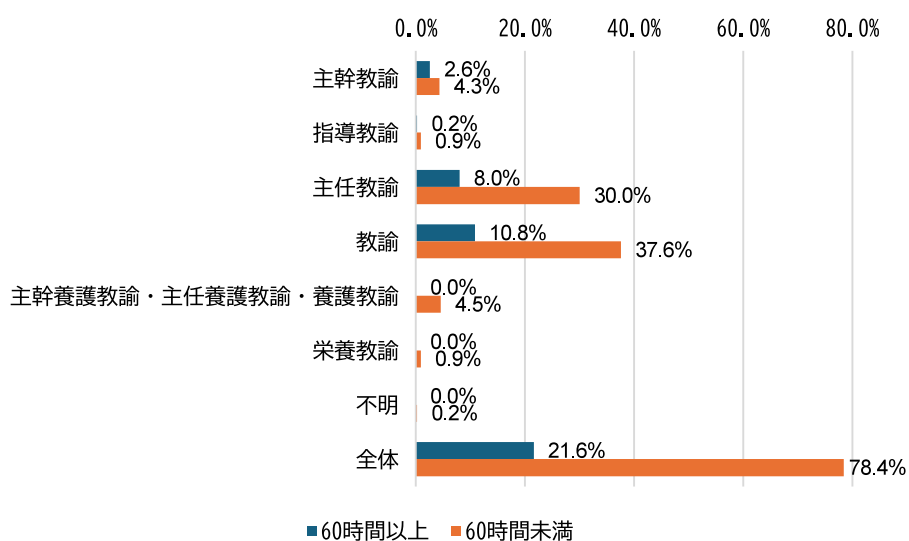


図表 小学校女性教諭（N＝281）



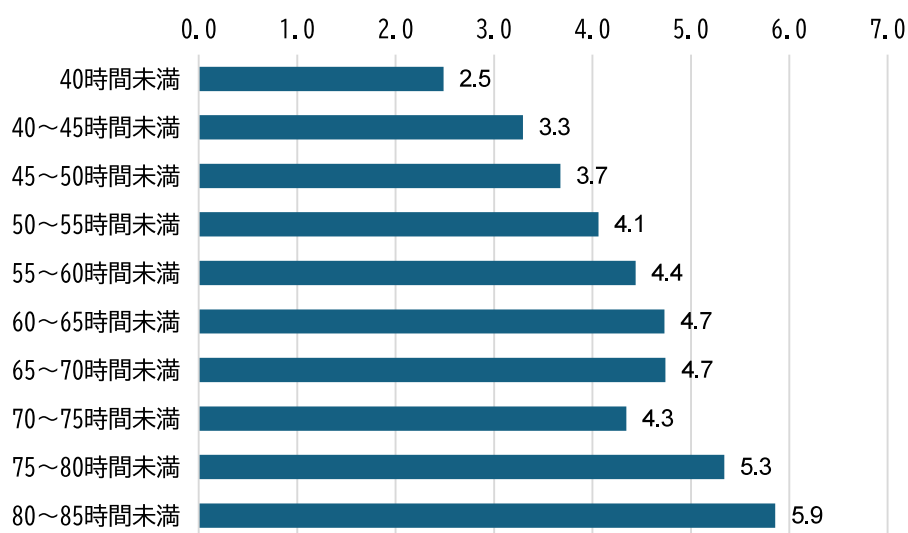
【職位別・週間当たりの在校時間 60 時間以上・60 時間未満】

図表 小学校教諭（N＝463）



【1 週間当たりの在校時間別ストレスの度合】

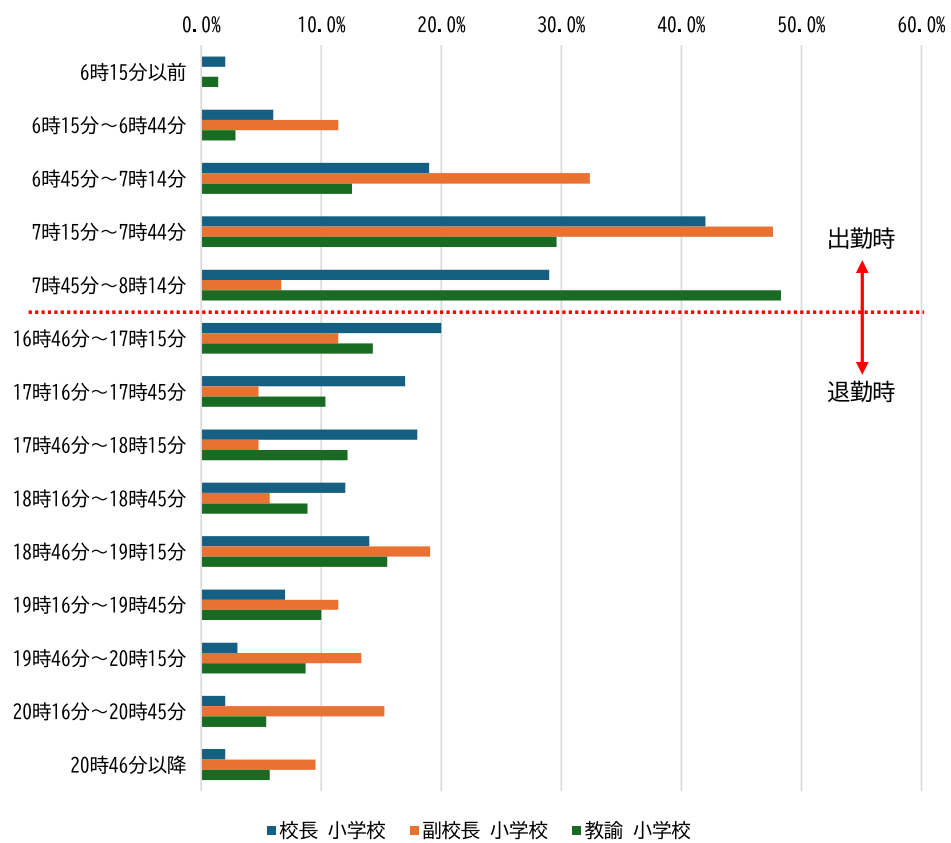
図表 小学校教諭（N＝463）



【1週間の業務時間の比較（小学校・教諭）】

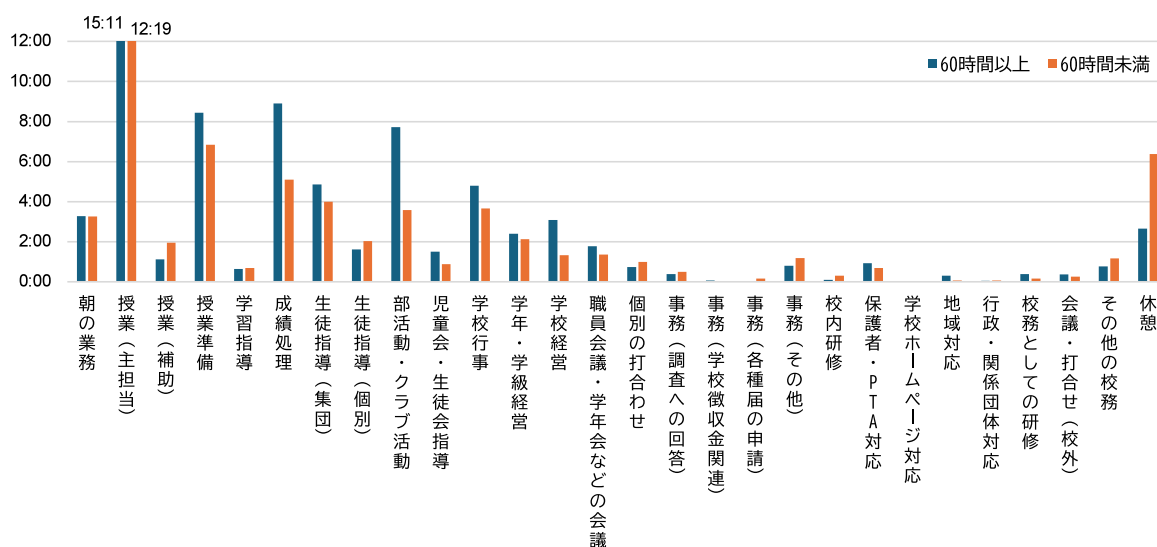
		今回調査	前回調査	前回比較
児童・生徒の指導に係る業務				
1	朝の業務	2時間59分	2時間54分	0時間05分
2	授業（主担当）	20時間25分	17時間40分	2時間45分
3	授業（補助）	1時間15分	2時間11分	-0時間56分
4	授業準備	8時間15分	10時間37分	-2時間22分
5	学習指導	1時間10分	1時間31分	-0時間21分
6	成績処理	6時間33分	1時間58分	4時間35分
7	生徒指導（集団）	3時間16分	4時間17分	-1時間01分
8	生徒指導（個別）	0時間59分	1時間10分	-0時間11分
9	部活動・クラブ活動	0時間17分	0時間27分	-0時間10分
10	児童会・生徒会指導	0時間13分	0時間35分	-0時間22分
11	学校行事	1時間22分	5時間14分	-3時間52分
12	学年・学級経営	1時間41分	2時間24分	-0時間43分
学校の運営に係る業務				
13	学校経営	1時間49分	2時間26分	-0時間37分
14	職員会議・学年会などの会議	2時間05分	2時間38分	-0時間33分
15	個別の打合わせ	0時間38分	0時間51分	-0時間13分
16	事務（調査への回答）	0時間26分	0時間39分	-0時間13分
17	事務（学校徴収金関連）	0時間03分	0時間03分	0時間00分
18	事務（各種届の申請）	0時間05分	0時間06分	-0時間01分
19	事務（その他）	0時間54分	1時間09分	-0時間15分
20	校内研修	0時間38分	1時間23分	-0時間45分
外部対応				
21	保護者・PTA対応	0時間29分	0時間41分	-0時間12分
22	学校ホームページ対応	0時間01分	0時間03分	-0時間02分
23	地域対応	0時間04分	0時間01分	0時間03分
24	行政・関係団体対応	0時間02分	0時間04分	-0時間02分
渉外				
25	校務としての研修	0時間19分	0時間43分	-0時間24分
26	会議・打合せ（校外）	0時間14分	0時間36分	-0時間22分
その他				
27	その他の校務	1時間16分	1時間15分	0時間01分
28	休憩	2時間14分	0時間21分	1時間53分

図表 1 週間の時間外勤務の比較



②中学校教諭

図表 週間当たりの在校時間 60 時間以上・60 時間未満の業務時間比較

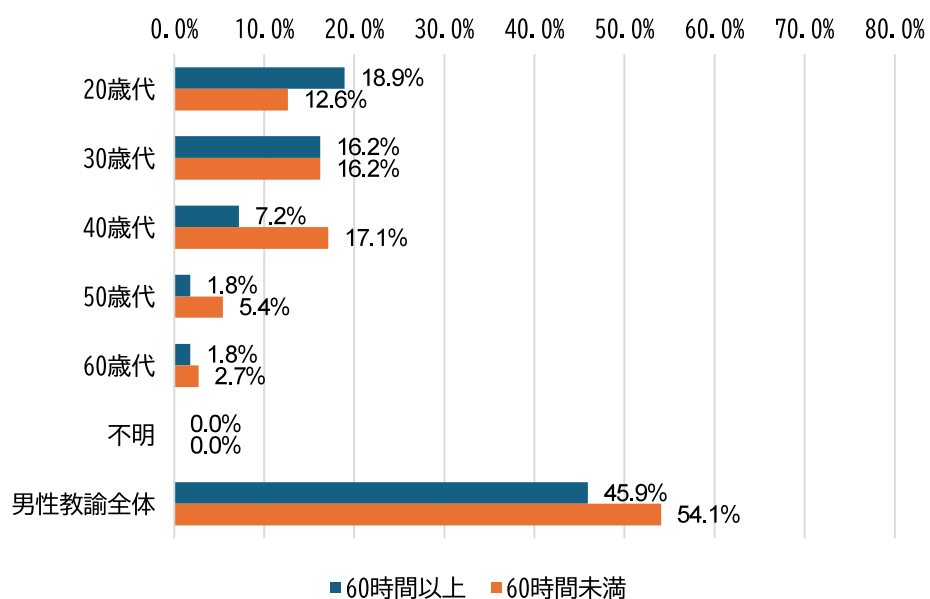


【業務時間の差が1時間以上の業務】

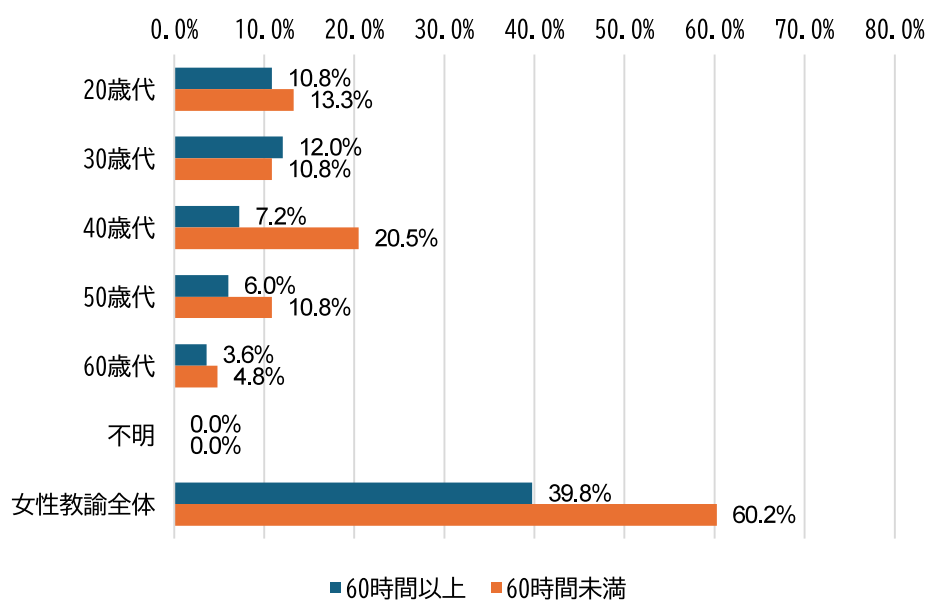
	60 時間以上	60 時間未満	差
部活動・クラブ活動	7 時間 43 分	3 時間 34 分	4 時間 09 分
成績処理	8 時間 54 分	5 時間 05 分	3 時間 49 分
学校経営	3 時間 05 分	1 時間 19 分	1 時間 46 分
授業準備	8 時間 26 分	6 時間 49 分	1 時間 37 分
学校行事	4 時間 47 分	3 時間 39 分	1 時間 08 分

【性別・年齢別・週間当たりの在校時間 60 時間以上・60 時間未満】

図表 中学校男性教諭（N＝111）

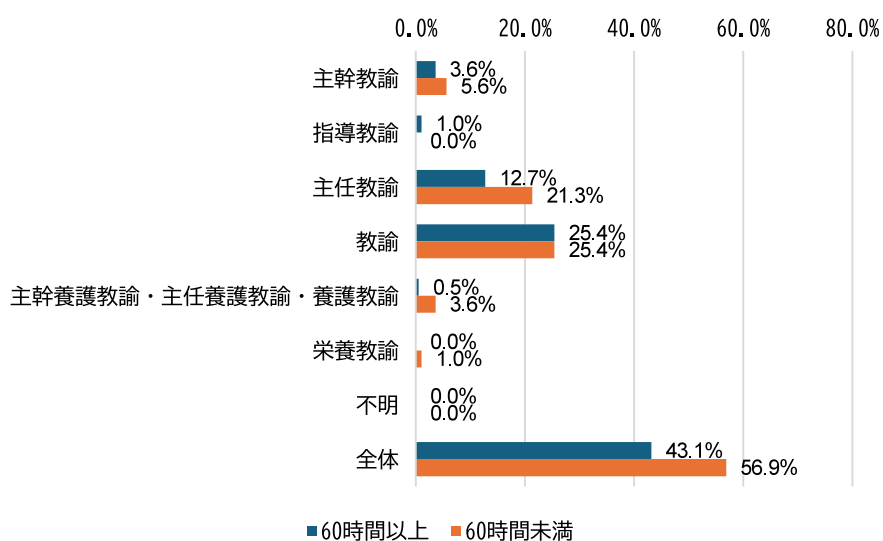


図表 中学校女性教諭（N＝83）



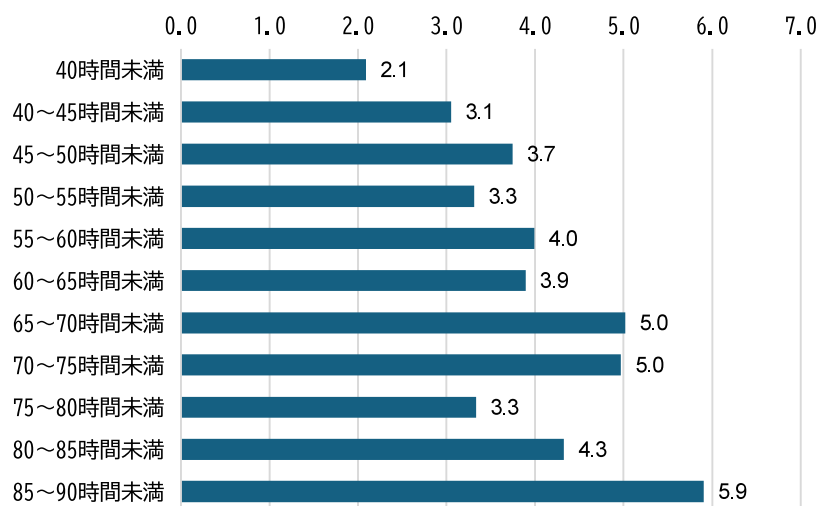
【職位別・週間当たりの在校時間 60 時間以上・60 時間未満】

図表 中学校教諭（N＝194）



【1 週間当たりの在校時間別ストレスの度合】

図表 中学校教諭（N＝194）

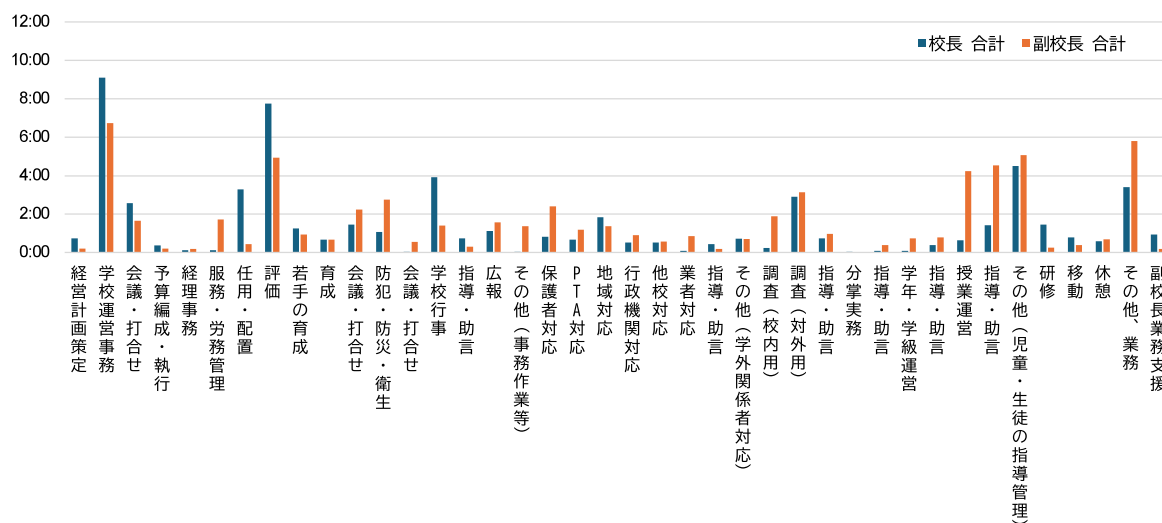


【1週間の業務時間の比較（中学校・教諭）】

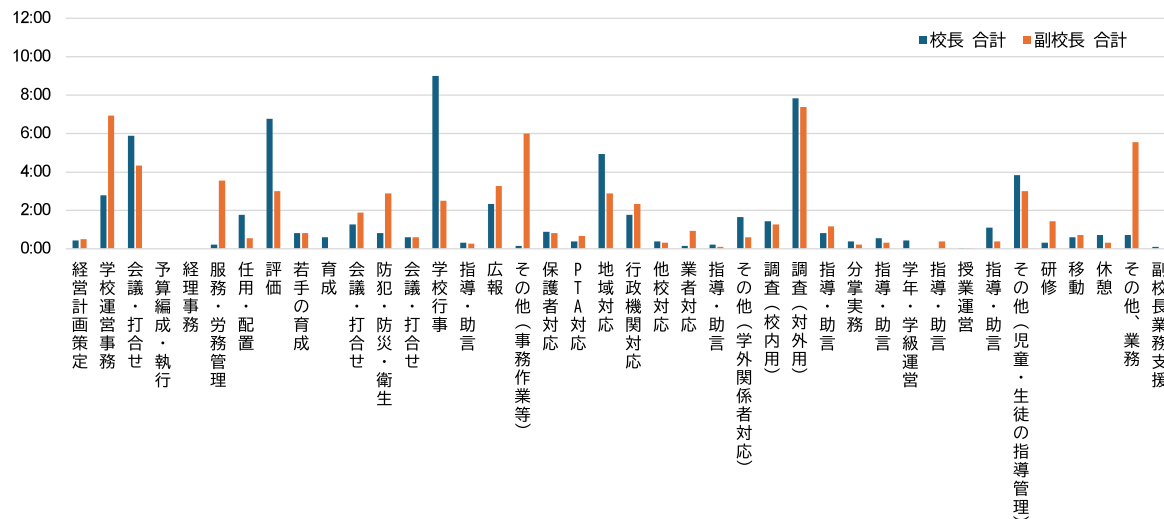
		今回調査	前回調査	前回比較
児童・生徒の指導に係る業務				
1	朝の業務	3時間16分	3時間08分	0時間08分
2	授業（主担当）	13時間32分	13時間52分	-0時間20分
3	授業（補助）	1時間35分	1時間16分	0時間19分
4	授業準備	7時間31分	9時間31分	-2時間00分
5	学習指導	0時間40分	0時間20分	0時間20分
6	成績処理	6時間43分	1時間20分	5時間23分
7	生徒指導（集団）	4時間22分	5時間14分	-0時間52分
8	生徒指導（個別）	1時間51分	1時間31分	0時間20分
9	部活動・クラブ活動	5時間20分	7時間15分	-1時間55分
10	児童会・生徒会指導	1時間08分	0時間58分	0時間10分
11	学校行事	4時間08分	6時間00分	-1時間52分
12	学年・学級経営	2時間14分	3時間11分	-0時間57分
学校の運営に係る業務				
13	学校経営	2時間04分	1時間47分	0時間17分
14	職員会議・学年会などの会議	1時間32分	1時間16分	0時間16分
15	個別の打合わせ	0時間53分	0時間42分	0時間11分
16	事務（調査への回答）	0時間26分	0時間38分	-0時間12分
17	事務（学校徴収金関連）	0時間02分	0時間06分	-0時間04分
18	事務（各種届の申請）	0時間06分	0時間06分	0時間00分
19	事務（その他）	1時間01分	1時間18分	-0時間17分
20	校内研修	0時間13分	0時間30分	-0時間17分
外部対応				
21	保護者・PTA対応	0時間47分	0時間47分	0時間00分
22	学校ホームページ対応	0時間00分	0時間00分	0時間00分
23	地域対応	0時間10分	0時間03分	0時間07分
24	行政・関係団体対応	0時間03分	0時間10分	-0時間07分
渉外				
25	校務としての研修	0時間15分	2時間24分	-2時間09分
26	会議・打合せ（校外）	0時間18分	0時間52分	-0時間34分
その他				
27	その他の校務	0時間59分	1時間17分	-0時間18分
28	休憩	4時間47分	0時間15分	4時間32分

■管理職

図表 【小学校】 1週間当たりの在校時間校長・副校長の業務時間



図表 【中学校】 1週間当たりの在校時間校長・副校長の業務時間



【1週間の業務時間の比較（小学校・校長）】

		今回調査	前回調査	前回比較
学校経営				
1	経営計画策定	0時間45分	1時間03分	-0時間18分
2	学校運営事務	9時間06分	7時間43分	1時間23分
3	会議・打合せ	2時間34分	2時間24分	0時間10分
4	予算編成・執行	0時間22分	0時間02分	0時間20分
5	経理事務	0時間07分	0時間07分	0時間00分
6	サービス・労務管理	0時間07分	0時間07分	0時間00分
7	任用・配置	3時間18分	3時間40分	-0時間22分
8	評価	7時間45分	6時間26分	1時間19分
9	若手の育成	1時間15分	1時間33分	-0時間18分
10	育成	0時間40分	1時間15分	-0時間35分
11	会議・打合せ	1時間27分	1時間48分	-0時間21分
12	防犯・防災・衛生	1時間04分	1時間53分	-0時間49分
13	会議・打合せ	0時間03分	0時間13分	-0時間10分
14	学校行事	3時間55分	6時間03分	-2時間08分
15	指導・助言	0時間45分	1時間45分	-1時間00分
16	広報	1時間07分	0時間46分	0時間21分
17	その他（事務作業等）	0時間03分	0時間16分	-0時間13分
学外関係者対応				
18	保護者対応	0時間49分	0時間16分	0時間33分
19	PTA対応	0時間40分	0時間24分	0時間16分
20	地域対応	1時間51分	1時間46分	0時間05分
21	行政機関対応	0時間31分	1時間45分	-1時間14分
22	他校対応	0時間31分	0時間28分	0時間03分
23	業者対応	0時間06分	0時間06分	0時間00分
24	指導・助言	0時間27分	0時間33分	-0時間06分
25	その他（学外関係者対応）	0時間43分	2時間00分	-1時間17分
調査報告				
26	調査（校内用）	0時間15分	0時間26分	-0時間11分
27	調査（対外用）	2時間54分	3時間11分	-0時間17分
28	指導・助言	0時間45分	1時間28分	-0時間43分
児童・生徒の指導管理				
29	分掌実務	0時間03分	0時間11分	-0時間08分
30	指導・助言	0時間06分	0時間06分	0時間00分
31	学年・学級運営	0時間06分	0時間11分	-0時間05分
32	指導・助言	0時間24分	0時間27分	-0時間03分
33	授業運営	0時間39分	0時間32分	0時間07分
34	指導・助言	1時間25分	1時間00分	0時間25分
35	その他（児童・生徒の指導管理）	4時間30分	2時間54分	1時間36分
研修				
36	研修	1時間27分	2時間19分	-0時間52分
その他				
37	移動	0時間48分	1時間43分	-0時間55分
38	休憩	0時間36分	1時間03分	-0時間27分
39	その他、業務	3時間24分	2時間30分	0時間54分
40	副校長業務支援	0時間57分	0時間33分	0時間24分

【1週間の業務時間の比較（小学校・副校長）】

		今回調査	前回調査	前回比較
学校経営				
1	経営計画策定	0時間12分	0時間20分	-0時間08分
2	学校運営事務	6時間44分	9時間20分	-2時間36分
3	会議・打合せ	1時間40分	2時間55分	-1時間15分
4	予算編成・執行	0時間12分	0時間01分	0時間11分
5	経理事務	0時間11分	0時間12分	-0時間01分
6	服務・労務管理	1時間42分	1時間15分	0時間27分
7	任用・配置	0時間27分	1時間17分	-0時間50分
8	評価	4時間55分	4時間45分	0時間10分
9	若手の育成	0時間57分	1時間36分	-0時間39分
10	育成	0時間40分	0時間49分	-0時間09分
11	会議・打合せ	2時間14分	1時間00分	1時間14分
12	防犯・防災・衛生	2時間45分	4時間01分	-1時間16分
13	会議・打合せ	0時間32分	0時間27分	0時間05分
14	学校行事	1時間24分	5時間38分	-4時間14分
15	指導・助言	0時間18分	0時間43分	-0時間25分
16	広報	1時間34分	0時間15分	1時間19分
17	その他（事務作業等）	1時間22分	3時間46分	-2時間24分
学外関係者対応				
18	保護者対応	2時間24分	2時間20分	0時間04分
19	PTA対応	1時間11分	1時間21分	-0時間10分
20	地域対応	1時間22分	2時間43分	-1時間21分
21	行政機関対応	0時間54分	0時間57分	-0時間03分
22	他校対応	0時間34分	0時間21分	0時間13分
23	業者対応	0時間51分	0時間38分	0時間13分
24	指導・助言	0時間11分	0時間13分	-0時間02分
25	その他（学外関係者対応）	0時間42分	0時間57分	-0時間15分
調査報告				
26	調査（校内用）	1時間52分	1時間32分	0時間20分
27	調査（対外用）	3時間08分	4時間34分	-1時間26分
28	指導・助言	0時間58分	1時間21分	-0時間23分
児童・生徒の指導管理				
29	分掌実務	0時間01分	0時間00分	0時間01分
30	指導・助言	0時間24分	0時間20分	0時間04分
31	学年・学級運営	0時間44分	0時間13分	0時間31分
32	指導・助言	0時間47分	0時間20分	0時間27分
33	授業運営	4時間14分	3時間38分	0時間36分
34	指導・助言	4時間32分	5時間13分	-0時間41分
35	その他（児童・生徒の指導管理）	5時間04分	2時間20分	2時間44分
研修				
36	研修	0時間15分	4時間13分	-3時間58分
その他				
37	移動	0時間24分	0時間55分	-0時間31分
38	休憩	0時間41分	0時間23分	0時間18分
39	その他、業務	5時間48分	0時間53分	4時間55分
40	副校長業務支援	0時間11分	0時間00分	0時間11分

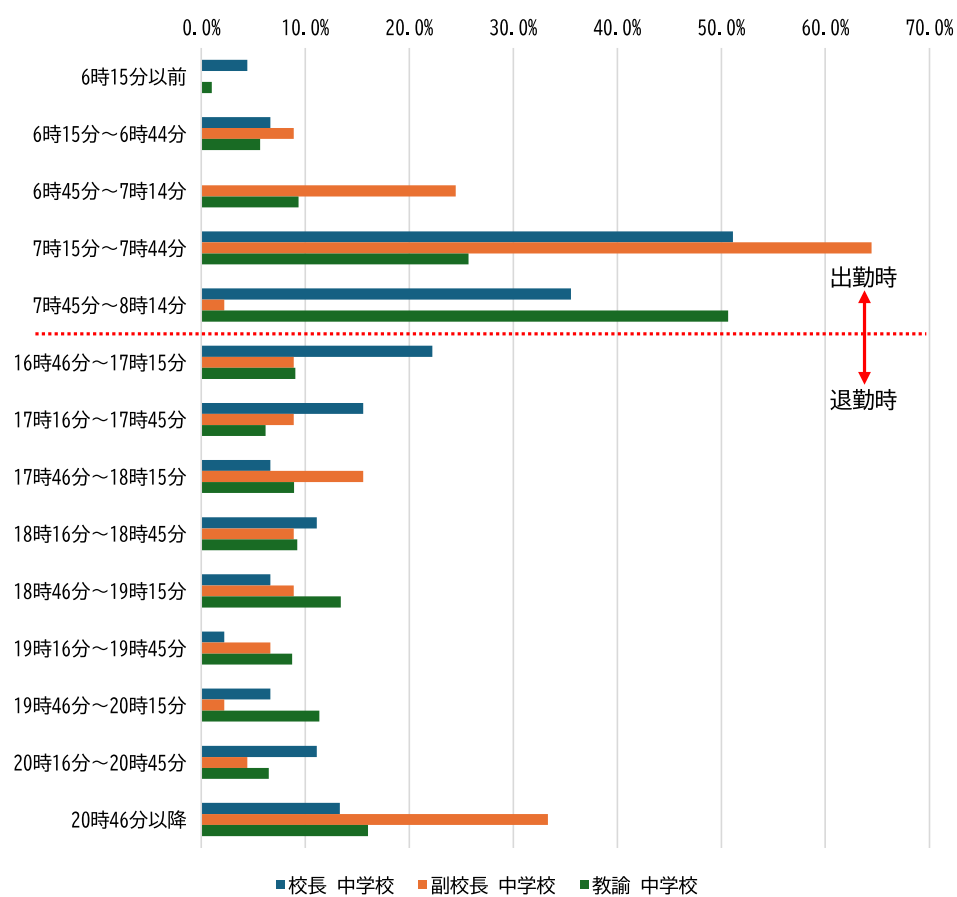
【1週間の業務時間の比較（中学校・校長）】

		今回調査	前回調査	前回比較
学校経営				
1	経営計画策定	0時間26分	0時間18分	0時間08分
2	学校運営事務	2時間46分	6時間12分	-3時間26分
3	会議・打合せ	5時間53分	3時間39分	2時間14分
4	予算編成・執行	0時間00分	0時間36分	-0時間36分
5	経理事務	0時間00分	0時間06分	-0時間06分
6	サービス・労務管理	0時間13分	0時間00分	0時間13分
7	任用・配置	1時間46分	6時間03分	-4時間17分
8	評価	6時間46分	9時間42分	-2時間56分
9	若手の育成	0時間50分	0時間24分	0時間26分
10	育成	0時間36分	2時間00分	-1時間24分
11	会議・打合せ	1時間16分	1時間18分	-0時間02分
12	防犯・防災・衛生	0時間50分	2時間30分	-1時間40分
13	会議・打合せ	0時間36分	0時間24分	0時間12分
14	学校行事	9時間00分	2時間27分	6時間33分
15	指導・助言	0時間20分	0時間45分	-0時間25分
16	広報	2時間20分	1時間00分	1時間20分
17	その他（事務作業等）	0時間10分	0時間18分	-0時間08分
学外関係者対応				
18	保護者対応	0時間53分	0時間45分	0時間08分
19	PTA対応	0時間23分	1時間15分	-0時間52分
20	地域対応	4時間56分	1時間15分	3時間41分
21	行政機関対応	1時間46分	1時間42分	0時間04分
22	他校対応	0時間23分	0時間12分	0時間11分
23	業者対応	0時間10分	0時間09分	0時間01分
24	指導・助言	0時間13分	0時間06分	0時間07分
25	その他（学外関係者対応）	1時間40分	2時間27分	-0時間47分
調査報告				
26	調査（校内用）	1時間26分	0時間00分	1時間26分
27	調査（対外用）	7時間50分	1時間36分	6時間14分
28	指導・助言	0時間50分	0時間54分	-0時間04分
児童・生徒の指導管理				
29	分掌実務	0時間23分	2時間09分	-1時間46分
30	指導・助言	0時間33分	0時間45分	-0時間12分
31	学年・学級運営	0時間26分	0時間15分	0時間11分
32	指導・助言	0時間00分	0時間15分	-0時間15分
33	授業運営	0時間03分	0時間51分	-0時間48分
34	指導・助言	1時間06分	0時間21分	0時間45分
35	その他（児童・生徒の指導管理）	3時間50分	1時間39分	2時間11分
研修				
36	研修	0時間20分	3時間30分	-3時間10分
その他				
37	移動	0時間36分	3時間45分	-3時間09分
38	休憩	0時間43分	0時間24分	0時間19分
39	その他、業務	0時間43分	0時間48分	-0時間05分
40	副校長業務支援	0時間06分	0時間00分	0時間06分

【1週間の業務時間の比較（中学校・副校長）】

		今回調査	前回調査	前回比較
学校経営				
1	経営計画策定	0時間30分	0時間18分	0時間12分
2	学校運営事務	6時間56分	6時間42分	0時間14分
3	会議・打合せ	4時間20分	4時間03分	0時間17分
4	予算編成・執行	0時間00分	0時間00分	0時間00分
5	経理事務	0時間00分	0時間09分	-0時間09分
6	服務・労務管理	3時間33分	0時間15分	3時間18分
7	任用・配置	0時間33分	0時間51分	-0時間18分
8	評価	3時間00分	6時間12分	-3時間12分
9	若手の育成	0時間50分	1時間12分	-0時間22分
10	育成	0時間00分	2時間09分	-2時間09分
11	会議・打合せ	1時間53分	0時間42分	1時間11分
12	防犯・防災・衛生	2時間53分	3時間24分	-0時間31分
13	会議・打合せ	0時間36分	0時間24分	0時間12分
14	学校行事	2時間30分	3時間00分	-0時間30分
15	指導・助言	0時間16分	1時間12分	-0時間56分
16	広報	3時間16分	1時間24分	1時間52分
17	その他（事務作業等）	6時間00分	6時間06分	-0時間06分
学外関係者対応				
18	保護者対応	0時間50分	1時間09分	-0時間19分
19	PTA対応	0時間40分	0時間54分	-0時間14分
20	地域対応	2時間53分	1時間51分	1時間02分
21	行政機関対応	2時間20分	1時間45分	0時間35分
22	他校対応	0時間20分	0時間30分	-0時間10分
23	業者対応	0時間56分	0時間27分	0時間29分
24	指導・助言	0時間06分	0時間30分	-0時間24分
25	その他（学外関係者対応）	0時間36分	0時間21分	0時間15分
調査報告				
26	調査（校内用）	1時間16分	1時間36分	-0時間20分
27	調査（対外用）	7時間23分	6時間42分	0時間41分
28	指導・助言	1時間10分	0時間39分	0時間31分
児童・生徒の指導管理				
29	分掌実務	0時間13分	0時間45分	-0時間32分
30	指導・助言	0時間20分	0時間15分	0時間05分
31	学年・学級運営	0時間00分	0時間03分	-0時間03分
32	指導・助言	0時間23分	0時間27分	-0時間04分
33	授業運営	0時間03分	0時間18分	-0時間15分
34	指導・助言	0時間23分	0時間54分	-0時間31分
35	その他（児童・生徒の指導管理）	3時間00分	1時間03分	1時間57分
研修				
36	研修	1時間26分	1時間15分	0時間11分
その他				
37	移動	0時間43分	0時間48分	-0時間05分
38	休憩	0時間20分	0時間42分	-0時間22分
39	その他、業務	5時間33分	0時間09分	5時間24分
40	副校長業務支援	0時間00分	0時間00分	0時間00分

【1週間の時間外勤務の比較（中学校）】



VI 参考資料

①学校調査 調査票

問6 平日や土曜日の補充学習教室実施について、実施の有無と実施回数・時間についてうかがいます。
(実施している場合は、令和6年度の予定回数と時間を各欄にご記入ください)

曜 日	実施の有無 (あてはまる番号1つに✓)	回 数	時 間 (※) 下線部分を記載してください
① 平 日	☐ 1. 有 ☐ 2. 無	週 ☐ 回	1回あたり 時間 分
② 土曜日	☐ 1. 有 ☐ 2. 無	週 ☐ 回	1回あたり 時間 分

問7 勤務時間外に学校にかかってくる保護者等からの電話件数(1週間あたりの平均件数)についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

① 朝

☐ 1. 10件未満	✓2. 10件以上~20件未満
☐ 3. 20件以上~30件未満	☐ 4. 30件以上

② 放課後

☐ 1. 10件未満	☐ 2. 10件以上~20件未満
☐ 3. 20件以上~30件未満	☐ 4. 30件以上

<小学校にうかがいます> (中学校は問10へお進みください)
問8 現在の専科教員の担当教科・領域についてうかがいます。(あてはまる番号全てに✓)

☐ 1. 国語	☐ 2. 社会	☐ 3. 算数	☐ 4. 理科
☐ 5. 生活	☐ 6. 音楽	☐ 7. 図画工作	☐ 8. 家庭
☐ 9. 体育	☐ 10. 外国語活動・外国語	☐ 11. その他 ()	

問9 専科指導のあり方について、ご意見があれば自由にご記入ください。(自由記入)

中野区立学校教員勤務実態調査【学校調査】

1 基本属性

問1 学校名をうかがいます。

学 校 名	
-------	--

問2 学校の種類についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 小学校	☐ 2. 中学校
---------------------------------	---------------------------------

2 児童・生徒数

問3 児童・生徒数(令和6年5月1日時点)についてうかがいます。下記項目にそれぞれ記入してください。

① 児童・生徒数(うち特別支援学級(固定)在籍者数)	名 (名)
② 不登校者数(30日以上欠席者のうち「不登校」を理由とする者)	名
③ 巡回指導対象児童・生徒数	名
④ 通級指導対象児童(小学校のみ)	名
⑤ 特別な教育的支援が必要な児童・生徒数(巡回指導・通級の児童・生徒は除く)	名
⑥ 日本語指導が必要な児童・生徒数	名
⑦ 生活保護・就学援助を受けている児童・生徒数(要保護、要保護)	名

3 学校経営

問4 地域主導の学校・地域交流行事回数をご記入ください。

年間(令和5年度実績)	☐ 回
-------------	----------------------------

問5 運営困難学級数等についてうかがいます。(学級数をご記入ください)

学級数	☐ 学級
-----	-----------------------------

4 部活動について

＜中学校における部活動のあり方についてうかがいます＞
(中学校のみ回答、小学校は問5へお進みください)

問10 現在、設置している運動部、文化部についてうかがいます。(あてはまる番号全てに✓)

部 名	合同	男子	女子
① 野球部	☐	☐	☐
② リッカー部	☐	☐	☐
③ バレーボール部	☐	☐	☐
④ バスケットボール部	☐	☐	☐
⑤ 陸上部	☐	☐	☐
⑥ 卓球部	☐	☐	☐
⑦ テニス部 (硬式・軟式)	☐	☐	☐
⑧ バドミントン部	☐	☐	☐
⑨ 柔道部	☐	☐	☐
⑩ 剣道部	☐	☐	☐
⑪ 吹奏楽・弦楽合部	☐	☐	☐
⑫ 茶道部	☐	☐	☐
⑬ 華道部	☐	☐	☐
⑭ 美術部	☐	☐	☐
⑮ 和太鼓部	☐	☐	☐
⑯ その他運動部系 ()	☐	☐	☐
⑰ その他運動部系 ()	☐	☐	☐
⑱ その他文化部系 ()	☐	☐	☐
⑲ その他文化部系 ()	☐	☐	☐

問11 顧問はどのように決めていますか。(あてはまる番号1つに✓)

- ☐1. 全教員が顧問に当たることを原則とし、一つの部に複数名の顧問を配置することとしている
- ☐2. 全教員が顧問に当たることを原則とし、都どの顧問の人数は部員数等に依りて配置している
- ☐3. 全教員が複数の顧問に当たることを原則としている
- ☐4. 運動部のみ複数名の顧問を配置している
- ☐5. 希望する教員が顧問に当たることを原則としている
- ☐6. その他 ()

問12 週当たりの活動日数について決まっていますか。(あてはまる番号1つに✓)

- ☐1. ある () 日以内 ☐2. ない (顧問等の判断)

問13 今後の部活動についての考えをうかがいます。(あくはまる番号1つに✓)

- ☐1. 部活動はこれまで通りを行い、顧問や指導も主に教員が行うべき
- ☐2. 部活動はこれまで通りを行うが、顧問や指導は主に部活動指導員や外部へ委ねるべき
- ☐3. 部活動の日数や時間を減らし、顧問や指導は主に教員が行うべき
- ☐4. 部活動の日数や時間を減らし、顧問や指導も主に部活動指導員や外部へ委ねるべき
- ☐5. 学校の課外活動としての部活動を廃止すべき
- ☐6. その他 ()

問14 問13で選択した回答の理由も含め、今後の部活動のあり方について、自由に記入ください。(自由記入)

5 業務改善

問15 業務改善に向けた取組等の実施回数についてうかがいます。下記項目にそれぞれ記入してください。

取 組	回 数
① 職員会議	☐ 回/月
② ノー残業デー	☐ 回/月
③ 校内研修	☐ 回/月
④ ノー部活動デー (中学校のみ)	☐ 回/月

問16 情報の持ち出し制限についての状況をうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

- ☐1. 個人情報・成績情報の持ち出し禁止
- ☐2. 個人情報・成績情報の持ち出し許可制 (管理職の許可を得ることで持ち帰ることができる)
- ☐3. 個人情報・成績情報の持ち出し届出制 (届け出るだけで持ち帰ることができる)
- ☐4. 個人情報・成績情報の持ち出しルールなし

問17 現在使用しているICT機器、各種システム、ソフトウェア、教材、インターネット環境等の使い勝手や改善してほしい点についてご意見をうかがいます。（自由記入）

問18 新たに導入を希望するICT機器、各種システム、ソフトウェア、教材、インターネット環境等があれば、自由にご記入ください。（自由記入）

6 勤務時間縮減

問19 勤務時間縮減に向け、実施している取組についてうかがいます。（あてはまる番号全てに✓）

☐1. 校務の格数人での担当

☐2. 校内会議の精選・会議時間の短縮

☐3. 学校行事の精選

☐4. サポートスタッフの活用

☐5. ICTの活用

☐6. 対応時間の目標設定や管理職による呼びかけ

☐7. 特に何も行っていない

☐8. その他（具体的に）

問20 勤務時間縮減に向けた有効な取組についてうかがいます。（あてはまる番号全てに✓）

☐1. 校務の格数人での担当

☐2. 校内会議の精選・会議時間の短縮

☐3. 学校行事の精選

☐4. リポートスタッフの活用

☐5. ICTの活用

☐6. 対応時間の目標設定や管理職による呼びかけ

☐7. その他（具体的に）

7 外部人材の活用

問21 増員したい外部人材についてうかがいます。（あてはまる番号全てに✓）

☐1. 外国語活動指導助手（ALT）

☐2. スクールカウンセラー

☐3. スクールソーシャルワーカー

☐4. 特別支援介助員

☐5. 日本語指導員

☐6. 撤活動指導員

☐7. ICT支援員

☐8. 副校長補佐

☐9. スクール・サポート・スタッフ

☐10. エデュケーション・アシスタント

☐11. 学校図書館指導員

☐12. 不登校児童・生徒対応の巡回支援員

☐13. 放課後や長期休業中の補習などの指導・補助スタッフ

☐14. プール外部指導員

☐15. 宿泊行事外部指導員

☐16. その他（）

問22 外部人材活用による効果についてうかがいます。（自由記入）

8 校務支援システム

問23 校務支援システムの使用方法が分からないなどの対応は、主に誰が行っていますか。（あてはまる番号全てに✓）

☐1. 校内の担当者

☐2. 校内の詳しい教職教員

☐3. 契約業者

☐4. 教育委員会の担当者

☐5. その他（）

問24 校務支援システムのメリットについて記入してください。（自由記入）

問25 校務支援システムの課題や改善点について記入してください。（自由記入）

9 学納金

問26 学納金の徴収は誰が主に担当していますか。(あてはまる番号1つに✓)

① 学納金 (学用品、教材費等)

☐ 1. 副校長	☐ 2. 学級担任	☐ 3. 学級担任以外の教員
☐ 4. 事務職員	☐ 5. その他 ()	

② 部活動に係る費用 (中学校のみ)

☐ 1. 副校長	☐ 2. 顧問の教員	☐ 3. 顧問以外の教員
☐ 4. 事務職員	☐ 5. PTA	☐ 6. その他 ()

問27 未納金の督促は誰が主に担当していますか。(あてはまる番号1つに✓)

① 学納金 (学用品、教材費等)

☐ 1. 副校長	☐ 2. 学級担任	☐ 3. 学級担任以外の教員
☐ 4. 事務職員	☐ 5. その他 ()	

② 部活動に係る費用 (中学校のみ)

☐ 1. 副校長	☐ 2. 顧問の教員	☐ 3. 顧問以外の教員
☐ 4. 事務職員	☐ 5. その他 ()	

10 働き方改革への取り組み

問28 あなたの学校は、働き方改革に積極的に取り組んでいると感じますか。
(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 取り組んでいる	☐ 2. まあ取り組みている
☐ 3. あまり取り組みていない	☐ 4. 取り組みていない

問29 問28で回答した理由は何ですか。(自由記入)

--

質問は以上です。
調査にご協力いただき、ありがとうございました。

回答を入力したWordデータを調査実施事業者（一般財団法人日本開発模範研究所）あてに送信し
てください。

《メールアドレス： c-tsunaga@ued.or.jp》

2 ワーク・ライフバランスについて

問7 昨年度に取得した年次有給休暇の日数、及び取得した有給休暇のうち、長期休業中に取得した日数についてうかがいます。

昨年度取得した年次有給休暇の日数 (合計)	日
うち、長期休業中に取得した日数	日

問8 年次有給休暇は取りやすいですか。(長期休業中以外)(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 取りやすい	☐ 2. まあまあ取りやすい
☐ 3. やや取りにくい → 問9へお進みください	☐ 4. とても取りにくい → 問9へお進みください

問9 問8で、「3. やや取りにくい」「4. とても取りにくい」と回答した方にうかがいます。
年次有給休暇が取りにくい理由は何ですか。(自由記入)

問10 昨年度の週休日の出勤や変更についてうかがいます。

週休日の変更を行って出勤した日数	日
週休日の変更をせず自主的に出勤した日数	日
週休日の変更をせず地域やPTAの行事に参加した日数 または部活動等に参加した日数	日

問11 自宅から学校までの通勤時間についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 15分未満	☐ 2. 15分以上～30分未満
☐ 3. 30分以上～45分未満	☐ 4. 45分以上～1時間未満
☐ 5. 1時間以上～1時間30分未満	☐ 6. 1時間30分以上～2時間未満
☐ 7. 2時間以上	

問12 同居するお子さんの有無についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓。及び人数と年齢を記入)

☐ 1. 子どもがいる → _____人 (歳、 歳、 歳、 歳)
☐ 2. 子どもはいない → 問14へお進みください

中野区立学校教員勤務実態調査【管理職調査】

1 基本属性

問1 性別をうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 男性	☐ 2. 女性	☐ 3. その他(答えたくない)
--------------------------------	--------------------------------	---

問2 年齢をうかがいます。(あてはまる番号1つに✓) ※令和7年3月31日現在の年齢をご回答ください。

☐ 1. 30歳代	☐ 2. 40歳代	☐ 3. 50歳代	☐ 4. 60歳代
----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------	----------------------------------

問3 職名をうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 校長	☐ 2. 副校長
--------------------------------	---------------------------------

問4 現在の雇用形態をうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 正規任用(再任用を除く)	☐ 2. 再任用
--	---------------------------------

問5 経歴年数をうかがいます。※令和7年3月31日現在

教員としての通算年数(下記の合計年数)	年 月
うち、正規任用年数(再任用を除く)	年 月
うち、再任用年数	年 月
うち、臨時的任用年数	年 月
うち、非常勤講師年数	年 月
うち、指導主事の行政経歴年数	年 月

問6 現任校での勤務期間をうかがいます。(あてはまる番号1つに✓) ※令和7年3月31日現在

☐ 1. 1年未満	☐ 2. 1年以上～2年未満
☐ 3. 2年以上～3年未満	☐ 4. 3年以上～4年未満
☐ 5. 4年以上～5年未満	☐ 6. 5年以上～6年未満
☐ 7. 6年以上	

問13 子どもがいることで、勤務時間や業務内容等に対する職場からの配慮の有無についてうかがいます。
(あてはまる番号1つに✓)

□1. 配慮がある

□2. 配慮はない

問14 身近に介護を必要とする人の有無についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

□1. 介護を必要とする人がいる

□2. 介護を必要とする人はいない → 問16へお進みください

問15 身近に介護を必要とする人がいることで、勤務時間や業務内容に対して職場からの配慮の有無について
うかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

□1. 配慮がある □2. 配慮はない

問16 育児や介護と仕事との両立にあたり、今後望む支援策等についてうかがいます。
(あてはまる番号すべてに✓)

- 〔1〕、各種休暇が取りやすくなること
- 〔2〕、短時間勤務がでること
- 〔3〕、フレックスタイムなど柔軟な勤務時間
- 〔4〕、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ勤務
- 〔5〕、業務日目の軽減（休業以外の日に出張）
- 〔6〕、持ち帰業務数の軽減
- 〔7〕、勤務場所を遠征でること
- 〔8〕、通勤等における自家車利用
- 〔9〕、その他（ ）

問17 業務終了後は、帰りやすい雰囲気ですか。(あてはまる番号1つに✓)

□1. 帰りやすい

□2. ままお帰りやすい

□3. やや帰りにくい

□4. とても帰りにくい

問18 ワーク・ライフバランスの満足度についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

□1. 満足している

□2. まま満足している

□3. あまり満足していない

□4. 満足していない

問19 問18で回答した理由は何ですか。

© 2006 The Authors
Journal compilation © 2006 Blackwell Publishing Ltd

3 勤務実態について

問20 1 3のうち、授業観察や教員への指導に当たっている、およその時間についてうかがいます。
(あてはまる番号1つに✓)

- 1. 15分以上～30分未満
- 2. 15分以上～30分未満
- 3. 30分以上～45分未満
- 4. 45分以上～1時間未満
- 5. 1時間以上～1時間30分未満
- 6. 1時間30分以上～2時間未満
- 7. 2時間以上

問21 1 日のうち、児童・生徒への指導に当たっている、およその時間についてうかがいます。
(あてはまる番号1つに✓)

- 1. 15分未満
- 2. 15分以上～30分未満
- 3. 30分以上～45分未満
- 4. 45分以上～1 時間未満
- 5. 1 時間以上～1 時間30分未満
- 6. 1 時間30分以上～2 時間未満
- 7. 2 時間以上

問22 13のうち、保護者や地域への対応に当たっている、およその時間についてうかがいます。
(あてはまる番号1つに✓)

- 1. 15分未満
- 2. 15分以上～30分未満
- 3. 30分以上～45分未満
- 4. 45分以上～1時間未満
- 5. 1時間以上～1時間30分未満
- 6. 1時間30分以上～2時間未満
- 7. 2時間以上

問23 1日のうち、会議や打ち合わせに当たっている、およその時間についてうかがいます。
(あてはまる番号1つに✓)

□1. 15分未満
□2. 15分以上～30分未満
□3. 30分以上～45分未満
□4. 45分以上～1時間未満
□5. 1時間以上～1時間30分未満
□6. 1時間30分以上～2時間未満
□7. 2時間以上

問24 1日のうち、教職員の勤怠管理に当たっている、およその時間についてうかがいます。

(あてはまる番号1つに✓)

□1. 15分未満
□2. 15分以上～30分未満
□3. 30分以上～45分未満
□4. 45分以上～1時間未満
□5. 1時間以上～1時間30分未満
□6. 1時間30分以上～2時間未満
□7. 2時間以上

問25 1口のうち、行政機関対応や調査回答に当たっている、およその時間についてうかがいます。
(あてはまる番号1つに✓)

□1. 15分未満	□2. 15分以上～30分未満
□3. 30分以上～45分未満	□4. 45分以上～1時間未満
□5. 1時間以上～1時間30分未満	□6. 1時間30分以上～2時間未満
□7. 2時間以上	

問26 1日のうち、もっと増やしたい、または減らしたい時間があれば、自由にご記入ください。

--

4 学校経営の充実について

問27 現在、学校経営において重視していることについてうかがいます。
(①～⑮までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	特に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	重視して いない
① 教員の人材育成	□1	□2	□3	□4
② 地域や関係機関との連携	□1	□2	□3	□4
③ 授業の充実	□1	□2	□3	□4
④ 生活指導の充実	□1	□2	□3	□4
⑤ 教員とのコミュニケーション	□1	□2	□3	□4
⑥ 職務事故防止	□1	□2	□3	□4
⑦ 校内研修の充実	□1	□2	□3	□4
⑧ 学校を支える地域人材・資源の活用	□1	□2	□3	□4
⑨ カリキュラム・マネジメント	□1	□2	□3	□4
⑩ 教員の意識改革	□1	□2	□3	□4
⑪ 業務改善及び業務軽減	□1	□2	□3	□4
⑫ 校内組織の見直し・改善	□1	□2	□3	□4
⑬ 安全管理	□1	□2	□3	□4
⑭ 特別な配慮を要する児童・生徒への対応	□1	□2	□3	□4
⑮ その他 ()	□1	□2	□3	□4

問28 現在、校内の学習指導を充実させるために重視していることについてうかがいます。
(①～⑮までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	特に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	重視して いない
① 学習の見直しをもつ時間	□1	□2	□3	□4
② 考えたり話し合ったりする時間	□1	□2	□3	□4
③ 学習を振り返る時間	□1	□2	□3	□4
④ 教員からの説明の時間	□1	□2	□3	□4
⑤ 課題を解決したり、実験・実技等をしたりする時間	□1	□2	□3	□4
⑥ 児童・生徒の発言や発表の時間	□1	□2	□3	□4
⑦ 学習内容についての教員への質問の時間	□1	□2	□3	□4
⑧ 練習や演習の時間	□1	□2	□3	□4
⑨ 学習指導や児童・生徒に個別に対応する時間	□1	□2	□3	□4
⑩ その他 ()	□1	□2	□3	□4

問29 校内の教員が行う学習方法や学習活動で、今後重視する必要があると思うことについてうかがいます。
(①～⑬までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	特に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	重視して いない
① 教員主導の講義	□1	□2	□3	□4
② 自作プリントの使用	□1	□2	□3	□4
③ A Iドリルの使用	□1	□2	□3	□4
④ 話し合いや作業等グループでの協働的な学習	□1	□2	□3	□4
⑤ 具体物を使うなど、教材の工夫	□1	□2	□3	□4
⑥ 自分で考えたり調べたりするなどの個別学習	□1	□2	□3	□4
⑦ ものづくりや見学・調査等の体験的な活動	□1	□2	□3	□4
⑧ 自分の考え等を言葉や文章、絵などで表現する活動	□1	□2	□3	□4
⑨ 教科横断的な学習や学科学的な学習	□1	□2	□3	□4
⑩ 計算や漢字の練習等の反復的な学習	□1	□2	□3	□4
⑪ 定着状況を把握するための小テスト等	□1	□2	□3	□4
⑫ 前学年の学び直しや前時の復習等	□1	□2	□3	□4
⑬ その他 ()	□1	□2	□3	□4

問30 授業の準備と実施後の評価における時間の確保についてうかがいます。
(①～⑩までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに×)

	十分に確保できている	やや確保できている	あまり確保できていない	確保できていない
① 教材研究をする時間	□1	□2	□3	□4
② 教材を作成する時間	□1	□2	□3	□4
③ 授業の構成を考える時間	□1	□2	□3	□4
④ 学習環境を整備する時間	□1	□2	□3	□4
⑤ 他の教員等と必要に応じて打ち合わせをする時間	□1	□2	□3	□4
⑥ 児童・生徒のノート等を確認する時間	□1	□2	□3	□4
⑦ 児童・生徒の学習状況を把握・評価する時間	□1	□2	□3	□4
⑧ 指導の振り返り・分析をする時間	□1	□2	□3	□4
⑨ 教材や使用機器等の片付けをする時間	□1	□2	□3	□4
⑩ 個別に補充的な指導をする時間	□1	□2	□3	□4

問31 今後、授業の前後で以下の時間がどの程度必要だと考えますか。
(①～⑩までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに×)

	特に必要	必要	あまり必要ではない	必要ではない
① 教材研究をする時間	□1	□2	□3	□4
② 教材を作成する時間	□1	□2	□3	□4
③ 授業の構成を考える時間	□1	□2	□3	□4
④ 学習環境を整備する時間	□1	□2	□3	□4
⑤ 他の教員等と必要に応じて打ち合わせをする時間	□1	□2	□3	□4
⑥ その他 ()	□1	□2	□3	□4
⑦ 児童・生徒のノート等を確認する時間	□1	□2	□3	□4
⑧ 児童・生徒の学習状況を把握・評価する時間	□1	□2	□3	□4
⑨ 指導の振り返り・分析をする時間	□1	□2	□3	□4
⑩ 教材や使用機器等の片付けをする時間	□1	□2	□3	□4
⑪ 個別に補充的な指導をする時間	□1	□2	□3	□4
⑫ その他 ()	□1	□2	□3	□4

問32 現在、校内の生徒指導を充実させるために重視していることについてうかがいます。
(①～⑩までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに×)

	特に重視している	やや重視している	あまり重視していない	重視していない
① 人権教育の充実	□1	□2	□3	□4
② いじめの未然防止及び早期対応	□1	□2	□3	□4
③ 不登校の未然防止及び早期対応	□1	□2	□3	□4
④ 児童・生徒の自己肯定感・自己有用感を育む教育の推進	□1	□2	□3	□4
⑤ 多様性を尊重する教育の充実	□1	□2	□3	□4
⑥ 規範意識の醸成	□1	□2	□3	□4
⑦ 小中連携教育の充実	□1	□2	□3	□4
⑧ 教員の資質・能力の向上	□1	□2	□3	□4
⑨ 指導体制の整備・充実	□1	□2	□3	□4
⑩ 家庭・地域との連携・協働	□1	□2	□3	□4

5 小学校における専科教員について

<小学校の校長・副校長の方にはうかがいます> (中学校の校長・副校長の方は問35へお進みください)

問33 小学校において、専科教員による指導が効果的であると考える教科等と開始学年についてうかがいます。
①効果的であると考える教科等の欄に×をつけ、②開始学年の欄に具体的な開始学年をご記入ください。
(例：国語が3年生からが効果的であると考える場合は、1国語に×、下段に3を記入)

①効果的であると考える教科等	□1 国語	□2 社会	□3 算数	□4 理科	□5 生活	□6 音楽	□7 図画工作	□8 家庭科	□9 体育	□10 道徳	□11 外国語活動・外国語	□12 総合的な学習の時間
②開始学年												

問34 専科教員について、特に有益だと考えるものについてうかがいます。(あてはまる番号すべてに×)

□1. 多面的・多角的な児童理解	□2. 専門的な指導	□3. 教員の協働性
□4. 児童の発達に即した指導	□5. 中学校教育への円滑な接続	□6. 学級担任の負担軽減
□7. 開放的な学級運営	□8. その他 ()	

6 仕事に対する意識について

問35 仕事に対する意識についてうかがいます。

(①～⑦までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない
① 自分の能力が発揮できる	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
② 達成感や満足感を得られる	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
③ 仕事にやりがいを感じている	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
④ あまりにも仕事が多すぎる	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑤ 仕事がこなさざれない	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑥ 期限に達した仕事をすることがよくある	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑦ 仕事に行き詰まることよくある	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4

問36 仕事に関する悩みについてうかがいます。

(①～⑧までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	あてはまる	ほぼあてはまる	ほぼあてはまらない	全くあてはまらない
① 教員の人材育成が難しい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
② 保護者対応が難しい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
③ 関係機関等との調整が負担である	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
④ 児童・生徒への対応が難しい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑤ ICTの急速な進展への対応が難しい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑥ 外部機関や地域への対応が負担である	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑦ 学校組織をマネジメントすることが難しい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑧ 職場の人間関係	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4

問37 その他、仕事に関する悩みがあれば、自由にご記入ください。

問38 管理職としての満足感についてうかがいます。

(①～③までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

9

	満足している	まあまあ満足している	あまり満足していない	満足していない
① 学校経営	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
② 仕事のやりがい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
③ 管理職としての生活全体を総合的に見て	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4

7 教員の多忙や負担の軽減について

問39 1日のうち実際の休憩時間の合計は、平均して何分くらいですか。

平均

分

問40 昨年と比較し、超過勤務時間はどうなっていますか。(あてはまる番号1つに✓)

☐1. かなり増えている ー 問41へお進みください

☐2. やや増えている → 問41へお進みください

☐3. 変わらない

☐4. やや減っている

☐5. かなり減っている

問41 (問40で、「1. かなり増えている」、「2. やや増えている」を選択した方へ)

勤務時間が長時間化する主な要因は何だと思いますか。自由にご記入ください。

問42 仕事を家に持ち帰ることはありますか。(あてはまる番号1つに✓)

☐1. ぶくある

☐2. たまにある

☐3. ほとんどない

☐4. まったくない

問43 「中野区立学校における働き方改革推進プラン」の内容をご存じですか。(あてはまる番号1つに✓)

☐1. 推進プランの内容を知っている

☐2. 推進プランがあることは知っているが、内容までは知らない

☐3. 推進プランの存在を知らない

10

問44 在校時間が長くなっていない教員に、声掛け、助言、指導等を行っていますか。（あてはまる番号1つに✓）

☐1. 意識して行っている

☐2. たまに行っている

☐3. あまり行っていない

☐4. ほとんど行っていない

問45 あなた自身は勤務時間を意識した働き方ができていると感じますか。（あてはまる番号1つに✓）

☐1. できている

☐2. まあまあできている

☐3. あまりできていない

☐4. ほとんどできていない

問46 教員の多忙や負担の軽減について効果がある（あった）対応策についてうかがいます。
（あてはまる番号すべてに✓）

☐1. 定時退庁日の設定

☐2. 退校時刻の設定

☐3. 1日の在校時間の上限設定

☐4. 会議や研修の見直し

☐5. 出席する地域行事の出席者の分担

☐6. 休日出勤の振替休暇の取得奨励

☐7. 部活動休養日の設定

☐8. 教職員の勤務時間の把握

☐9. 育児や介護など家庭の事情を抱えている教職員の負担軽減

☐10. 交代ができるようにするための担当者の複数化

☐11. 部活動指導員の配置

☐12. 外部人材の活用

☐13. ICT機器を活用した事務の効率化

☐14. ICT支援員の配置（授業支援、ホームページ更新等）

☐15. 学期制の変更（3学期制への変更）

☐16. 留守番電話・転送電話サービスの導入

☐17. 学校情報配信メールのリモート化（学校以外における配信可）

☐18. 調査や調査等の回答のマークシート化

☐19. 授業の持ち時数の軽減

☐20. 庶務事務システム（勤務管理）の導入

☐21. デジタル教科書の導入

☐22. 多機能印刷機の導入

☐23. 1人1台端末の導入

☐24. A Iドリルの導入

☐25. その他（
）

問47 働き方改革の推進に向けて、効果的な取り組みは何だと思いますか。自由に記入してください。

問48 今後、あなたの実労働時間はどのようになると思いますか。（あてはまる番号1つに✓）

☐1. とても長くなる

☐2. やや長くなる

☐3. あまり変わらない

☐4. やや短くなる

☐5. とても短くなる

問49 教員の働き方改革全般について、何かご意見があれば、自由に記入してください。

質問は以上です。
調査にご協力いただき、ありがとうございます。

回答を入力した地・データを調査実施事業者（一般財団法人日本開発構想研究所）あてに送信し
てください。

《メールアドレス： c-tsunaguide@ed.or.jp》

VI - 10

11

12

③－１教員調査（小学校）

問6. 現任校での勤務期間をうかがいます。（あてはまる番号1つに✓） ※令和7年3月31日現在

☐ 1. 1年未満	☐ 2. 1年以上～2年未満
☐ 3. 2年以上～3年未満	☐ 4. 3年以上～4年未満
☐ 5. 4年以上～5年未満	☐ 6. 5年以上～6年未満
☐ 7. 6年以上	

2 ワーク・ライフバランスについて

問7. 昨年度に取得した年次有給休暇の日数、及び取得した有給休暇のうち、長期休業中に取得した日数についてうかがいます。（教員1年目の方は記入不要）

昨年度取得した年次有給休暇の日数 (合計)	日
うち、長期休業中に取得した日数	日

問8. 年次有給休暇は取りやすいですか。（長期休業中以外）（あてはまる番号1つに✓）

☐ 1. 取りやすい	☐ 2. まあまあ取りやすい
☐ 3. やや取りにくい →問9へお進みください	☐ 4. とても取りにくい →問9へお進みください

問9. 問8で、「3. やや取りにくい」「4. とても取りにくい」と回答した方にかかいます。
年次有給休暇が取りにくい理由は何ですか。（自由記入）

<全員にかかいます>

問10. 昨年度の週休日の出勤や変更についてうかがいます。

週休日の変更を行って出勤した日数	日
週休日の変更をせず自主的に出勤した日数	日
週休日の変更をせず地域やPTAの行事に参加した日数 または駅活動等に参加した日数	日

中野区立学校教員勤務実態調査（小学校 教員調査）

1 基本属性

問1. 性別をうかがいます。（あてはまる番号1つに✓）

☐ 1. 男性	☐ 2. 女性	☐ 3. その他（答えたくない）
--------------------------------	--------------------------------	---

問2. 年齢をうかがいます。（あてはまる番号1つに✓） ※令和7年3月31日現在の年齢を、回答ください。

☐ 1. 20歳代	☐ 2. 30歳代
☐ 3. 40歳代	☐ 4. 50歳代
☐ 5. 60歳代	

問3. 職名をうかがいます。（あてはまる番号1つに✓）

☐ 1. 主幹教諭	☐ 2. 指導教諭
☐ 3. 主任教諭	☐ 4. 教諭
☐ 5. 主幹養護教諭・主任養護教諭・養護教諭	☐ 6. 主幹栄養教諭・主任栄養教諭・栄養教諭
☐ 7. その他（ ）	

問4. 現在の雇用形態をうかがいます。（あてはまる番号1つに✓）

☐ 1. 正規任用（再任用を除く）	☐ 2. 再任用	☐ 3. 臨時任用 （期限付任用教員、産休休代替教員）
--	---------------------------------	---

問5. 経歴年数をうかがいます。 ※令和7年3月31日現在

教員としての通算年数 (下記の合計年数)	年 月
うち、正規任用年数 (再任用を除く)	年 月
うち、再任用年数	年 月
うち、臨時任用年数	年 月
うち、非常勤講師年数	年 月
うち、指導主事等の 行政経歴年数	年 月

問11 自宅から学校までの通勤時間についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 15分未満	☐ 2. 15分以上～30分未満
☐ 3. 30分以上～45分未満	☐ 4. 45分以上～1時間未満
☐ 5. 1時間以上～1時間30分未満	☐ 6. 1時間30分以上～2時間未満
☐ 7. 2時間以上	

問12 同居するお子さんの有無についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓。及び人数と年齢を記入)

☐ 1. 子どもがいる→ <u> </u> △(歳、 歳、 歳、 歳)
☐ 2. 子どもはいない →問14へお進みください

問13 子どもがいることで、勤務時間や業務内容等に対する職場からの配慮の有無についてうかがいます。
(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 配慮がある	☐ 2. 配慮はない
-----------------------------------	-----------------------------------

問14 身近に、介護を必要とする人の有無についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 介護を必要とする人がいる	☐ 2. 介護を必要とする人はいない →問16へお進みください
--	--

問15 身近に介護を必要とする人がいることで、勤務時間や業務内容等に対する職場からの配慮の有無についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 配慮がある	☐ 2. 配慮はない
-----------------------------------	-----------------------------------

問16 育児や介護と仕事との両立にあたり、今後望む支援等についてうかがいます。
(あてはまる番号すべてに✓)

☐ 1. 各種休暇が取りやすくなること	☐ 2. 短時間勤務ができること
☐ 3. フレックスタイムなど柔軟な勤務時間	☐ 4. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ勤務
☐ 5. 業務負担の軽減(授業以外の負担軽減)	☐ 6. 持ち帰り業務の軽減
☐ 7. 勤務場所を選択できること	☐ 8. 通勤等における自家用車利用
☐ 9. その他()	

問17 業務終了後は、帰りやすい雰囲気ですか。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 帰りやすい	☐ 2. まあまあ帰りやすい
☐ 3. やや帰りにくい	☐ 4. とても帰りにくい

問18 ワーク・ライフバランスの満足度についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 満足している	☐ 2. まあまあ満足している
☐ 3. あまり満足していない	☐ 4. 満足していない

問19 問18で回答した理由は何ですか。(自由に記入してください)

--

3 校務運営について

問20 校務分掌についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 現在、主事を担当している	☐ 2. 現在、主任を担当していない →問21、22へお進みください
--	--

問21 問20で「1. 現在、主任を担当している」と回答した方に、具体的な担当名称をうかがいます。
(あてはまる番号すべてに✓)

☐ 1. 教務主任	☐ 2. 生活指導主任
☐ 3. 進路指導主任	☐ 4. 保健主任
☐ 5. 学年主任	☐ 6. 研究主任
☐ 7. 教科主任	☐ 8. 経営支援部主任(名称は問わない)
☐ 9. その他()	

問22 担当している校務分掌名称をうかがいます。(あてはまる番号すべてに✓)

☐ 1. 教務	☐ 2. 生活指導
☐ 3. 進路指導	☐ 4. 保健・環境
☐ 5. 校内研究・課題研修	☐ 6. 庶務・会計
☐ 7. 特別支援教育コーディネーター	☐ 8. 児童会指導
☐ 9. 広報	☐ 10. 渉外・地域連携
☐ 11. 経営支援部	☐ 12. その他()

4 学級担任・担任教科について

問23 学級担任等についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 学級担任をしている →問24へお進みください
☐ 2. 特別支援学級(固定)の担任をしている →問25へお進みください
☐ 3. 学級担任をしておらず、専科指導を担当している →問26へお進みください
☐ 4. 学級担任をしておらず、少人数指導を担当している
☐ 5. 学級担任をしなくても、通級指導を担当している
☐ 6. 学級担任をしておらず、巡回指導を担当している
☐ 7. その他()

問24 問23で「1. 学級担任をしている」と回答した方にかかいます。

①担任している学級の児童数は何人ですか。(※令和6年9月1日現在)

担任している学級の児童数 (下記の合計数)	人
うち30名以上の長期欠席者 (不登校を理由とする)の児童数	人
うち、日本語指導を 必要とする児童数	人
うち、特別な教育的支援を 要する児童数	人

②担任をしている学級の1週間の授業時数、及びそのうちの担当授業時数(持ち時数)は何コマですか。

担任をしている学級の授業時数	コマ
うち担当授業時数(持ち時数)	コマ

問25 問23で「2. 特別支援学級(国定)の担任をしている」と回答した方にかかいます。担任している学級

の児童数は何人ですか。(※令和6年9月1日現在)

担任をしている学級の児童数 (下記の合計数)	人
うち30名以上の長期欠席者 (不登校を理由とする)の児童数	人
うち、日本語指導を 必要とする児童数	人
うち、特別な教育的支援を 要する児童数	人

問26 問23で「3. 学級担任をしておらず、専科指導を担当している」と回答した方に、専科指導の教科・領

域についてかかいます。(あてはまる番号すべてに✓)

☐ 1. 国語	☐ 2. 社会
☐ 3. 算数	☐ 4. 理科
☐ 5. 生活	☐ 6. 音楽
☐ 7. 図画工作	☐ 8. 家庭
☐ 9. 体育	☐ 10. 外国語活動・外国語
☐ 11. その他 ()	

<学級担任以外の方にかかいます> (学級担任の方は問28へお進みください)

問27 1週間の担当授業時数(持ち時数)、及び空き時間、空き時間のうち会議等の業務に使っている時数についてかかいます。

1週間の担当授業時数	コマ
1週間のうち、空き時間	コマ
空き時間のうち 会議等の業務に使っている時数	コマ

<全員にかかいます>

問28 小学校において、専科教員による指導が効果的であると考ええる教科等と開始学年についてかかいます。

①効果的であると考ええる教科等の欄に✓をつけ、②開始学年の欄に具体的な開始学年をご記入ください。

(例: 国語が3年生からが効果的であると考ええる場合は、1国語に✓、下段に3と記入)

☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5	☐ 6	☐ 7	☐ 8	☐ 9	☐ 10	☐ 11	☐ 12
国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画 工作	家庭	体育	道徳	外国 語	総合 的な 学習 の時 間
①効果的である と考え る教科等											
②開始学年											

問29 専科教員について、特に有益だと考えることを3つ選び、該当する数字に✓をつけてください。

☐ 1. 多面的・多角的な児童理解	☐ 2. 専門的な指導
☐ 3. 教員の協働性	☐ 4. 児童の発達に応じた指導
☐ 5. 中学校教育への円滑な接続	☐ 6. 学級担任の負担軽減
☐ 7. 開放的な学級運営	☐ 8. その他 ()

5 教科指導に対する意識について

＜全員にうかがいます＞

問30 現在、授業の目標を達成するために、1 単位時間の授業の中で重視していることについてうかがいます。(①～⑩までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに○)

	特に重視 している	やや重視 している	あまり重視 していない	重視して いない
①学習の奨励しをもつ時間	□1	□2	□3	□4
②考えたり話し合ったりする時間	□1	□2	□3	□4
③学習を振り返る時間	□1	□2	□3	□4
④教員からの説明の時間	□1	□2	□3	□4
⑤課題を解決したり、実験・実技等したりする時間	□1	□2	□3	□4
⑥児童の発言や発表の時間	□1	□2	□3	□4
⑦学習内容についての教員への質問の時間	□1	□2	□3	□4
⑧練習や演習の時間	□1	□2	□3	□4
⑨相談指導や児童に個別に対応する時間	□1	□2	□3	□4
⑩その他 ()	□1	□2	□3	□4

問31 現在行っている学習方法や学習活動で、今後重視していく必要があると思うことについてうかがいます。(①～⑬までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに○)

	特に必要	必要	あまり必要 ではない	必要 ではない
①教員主導の講義	□1	□2	□3	□4
②自作プリントの使用	□1	□2	□3	□4
③A1ドリルの使用	□1	□2	□3	□4
④話し合いや作業等グループでの協力的な学習	□1	□2	□3	□4
⑤具体物を使うなど、教材の工夫	□1	□2	□3	□4
⑥自分で考えたり調べたりするなどの個別学習	□1	□2	□3	□4
⑦ものづくりや見学・調査等の体験的な活動	□1	□2	□3	□4
⑧自分の考え等を言葉や文章、絵などで表現する活動	□1	□2	□3	□4
⑨教科横断的な学習や合作的な学習	□1	□2	□3	□4
⑩計算や漢字の練習等の反復的な学習	□1	□2	□3	□4
⑪定着状況を把握するための小テスト等	□1	□2	□3	□4
⑫前学年の学び直しや前時の復習等	□1	□2	□3	□4
⑬その他 ()	□1	□2	□3	□4

7

問32 授業の準備・授業実施後の評価等についてうかがいます。現在、授業の前後において、以下の時間は十分に確保できていますか。(①～⑩までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに○)

	十分に確保 できている	やや確保で きている	あまり確保 できていない	確保できて いない
1. 授業の準備				
①教材研究をする時間	□1	□2	□3	□4
②教材を作成する時間	□1	□2	□3	□4
③授業の構成を考える時間	□1	□2	□3	□4
④学習環境を整備する時間	□1	□2	□3	□4
⑤他の教員等と必要に応じて打合せをする時間	□1	□2	□3	□4
2. 授業の実施後				
⑥児童のノート等を確認する時間	□1	□2	□3	□4
⑦児童の学習状況を把握・評価する時間	□1	□2	□3	□4
⑧指導の振り返り・分析をする時間	□1	□2	□3	□4
⑨教材や使用機器等の片付けをする時間	□1	□2	□3	□4
⑩個別に補充的な指導をする時間	□1	□2	□3	□4

問33 今後、授業の前後の以下の時間がどの程度必要だと考えますか。(①～⑬までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに○)

	特に必要	必要	あまり必要 ではない	必要 ではない
1. 授業の準備				
① 教材研究をする時間	□1	□2	□3	□4
② 教材を作成する時間	□1	□2	□3	□4
③ 授業の構成を考える時間	□1	□2	□3	□4
④ 学習環境を整備する時間	□1	□2	□3	□4
⑤ 他の教員等と必要に応じて打合せをする時間	□1	□2	□3	□4
⑥ その他 ()	□1	□2	□3	□4
2. 授業の実施後				
⑦ 児童のノート等を確認する時間	□1	□2	□3	□4
⑧ 児童の学習状況を把握・評価する時間	□1	□2	□3	□4
⑨ 指導の振り返り・分析をする時間	□1	□2	□3	□4
⑩ 教材や使用機器等の片付けをする時間	□1	□2	□3	□4
⑪ 個別に補充的な指導をする時間	□1	□2	□3	□4
⑫ その他 ()	□1	□2	□3	□4

8

6 電子機器の使用状況について

<全員にうかがいます>

問34 授業での電子機器の利用状況についてうかがいます。

(それぞれの項目について最もあてはまる番号1つに✓)

	毎日1回以上 利用している	週に1回以上 利用している	月に1回以上 利用している	学期に1回 以上利用している	利用して いない
①電子黒板	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
②実物投影機	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
③パソコン	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5
④タブレットPC	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4	☐ 5

→すべて5を選択した方(すべての電子機器を利用していない方)は、問36へお進みください。

問35 問34で1～4を選択した機器は使いやすいと感じますか。(それぞれ最もあてはまる番号1つに✓)

	使いやすい	まあまあ 使いやすい	やや使い にくい	使いにくい
①電子黒板	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
②実物投影機	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
③パソコン	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
④タブレットPC	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4

7 仕事に対する意識について

<全員にうかがいます>

問36 仕事に対する意識についてうかがいます。

(①～⑦までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	あてはまる	ほぼあては まる	ほぼあては まらない	全くあては まらない
①自分の能力が発揮できる	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
②達成感や満足感を得られる	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
③仕事にやりがいを感じている	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
④あまりにも仕事が多すぎる	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑤仕事がこなしきれない	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑥期限に迫られた仕事をすることがよくある	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑦仕事に行き詰まることがよくある	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4

問37 仕事に関する悩みについてうかがいます。

(①～⑯までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	あてはまる	ほぼあては まる	ほぼあては まらない	全くあては まらない
①生徒の悩みや相談に対応する時間が十分にとれない	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
②保護者対応が負担である	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
③部活動の指導が負担である	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
④育児や介護と仕事との両立が難しい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑤特別な支援が必要な生徒への対応が難しい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑥生徒の学力差が大きくて授業がしにくい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑦生徒の学習意欲が低い	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑧年間の授業時数が足りない	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑨生徒が何を考えているのか分からない	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑩学習内容が定着していない児童・生徒が多い	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑪授業準備の時間が十分にとれない	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑫作成しなければならぬ事務書類が多い	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑬教育委員会が学校現場の状況を把握していない	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑭校内に気軽に相談できる人がいない	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑮校務分掌の仕事が負担である	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
⑯職場の人間関係	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4

問38 その他、仕事に関する悩みがあれば、自由にご記入ください。

問39 教員としての満足感についてうかがいます。

(①～④までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	とても満足	ほぼ満足	やや不満	不満
①学習指導	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
②生活指導	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
③仕事のやりがい	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4
④教員生活全体を総合的にみて	☐ 1	☐ 2	☐ 3	☐ 4

8 教員の多忙や負担の軽減について

＜全員にうかがいます＞

問40 1日のうち実際の休憩時間の合計は、平均して何分ぐらいですか。

东		平均
---	--	----

問41 昨年度と比較し、超過勤務時間はどうなっていますか。(あてはまる番号1つに○)

□ 1. かなり増えている → 問題1にお答えください

□ 2. やや増えている → 問題2にお答えください

□ 3. 変わらない

□ 4. やや減っている

□ 5. かなり減っている

問42 問41で、「1. かなり増えている」、「2. やや増えている」を選択した方にうかがいます。
勤務時間が長時間化する主な要因は何だと思えますか。自由に記入ください。

＜全員にうかがいます＞

問43 仕事を家に持ち帰ることはありますか。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. よくある ☐ 2. たまにある ☐ 3. ほとんどない ☐ 4. まったくない

問44 「中野区立学校における働き方改革推進プラン」の内容をご存じですか。(あてはまる番号1つに✓)

□ 1. 推進プランの内容を知っている

□ 2. 推進プランがあることは知っているが、内容までは知らない

□ 3. 推進プランの存在を知らない

調45 あなた自身は勤務時間を意識した働き方ができていると感じますか。(おてはまる番号1つに✓)

☐ 1. できている
☐ 2. まおまおできている
☐ 3. あまりできていない
☐ 4. ほとんどできていない

質問は以上です。

調査にご協力いただき、ありがとうございます。

「勤務実態調査」と「業務記録票」を配付した封筒に入れ、封をして、取りまとめ担当の方にお渡しください。

③－2教員調査（中学校）

中野区立中学校教員勤務実態調査【中学校 教員調査】

1 基本属性

問1 性別をうかがいます。（あてはまる番号1つに✓）

☐ 1. 男性

☐ 2. 女性

☐ 3. その他（答えたくない）

問2 年齢をうかがいます。（あてはまる番号1つに✓） ※令和7年3月31日現在の年齢をご回答ください。

☐ 1. 20歳代

☐ 2. 30歳代

☐ 3. 40歳代

☐ 4. 50歳代

☐ 5. 60歳代

問3 職名をうかがいます。（あてはまる番号1つに✓）

☐ 1. 主幹教諭

☐ 2. 指導教諭

☐ 3. 主任教諭

☐ 4. 教諭

☐ 5. 主幹養護教諭・主任養護教諭・養護教諭

☐ 6. 主幹栄養教諭・主任栄養教諭・栄養教諭

☐ 7. その他（ ）

問4 現在の雇用形態をうかがいます。（あてはまる番号1つに✓）

☐ 1. 正規任用（再任用を除く）

☐ 2. 再任用

☐ 3. 臨時任用（期間付任用教員、産休代替教員）

問5 経歴年数をうかがいます。 ※令和7年3月31日現在

教員としての通算年数 （下記の合計年数）	年	月
うち、正規任用年数 （再任用を除く）	年	月
うち、再任用年数	年	月
うち、臨時任用年数	年	月
うち、非常勤講師年数	年	月
うち、指導主事等の 行政経歴年数	年	月

問6 現任校での勤務期間をうかがいます。（あてはまる番号1つに✓） ※令和7年3月31日現在

☐ 1. 1年未満

☐ 2. 1年以上～2年未満

☐ 3. 2年以上～3年未満

☐ 4. 3年以上～4年未満

☐ 5. 4年以上～5年未満

☐ 6. 5年以上～6年未満

☐ 7. 6年以上

2 ワーク・ライフバランスについて

問7 昨年度に取得した年次有給休暇の日数、及び取得した有給休暇のうち、長期休業中に取得した日数についてうかがいます。（教員1年目の方は記入不要）

昨年度取得した年次有給休暇の日数 （合計）	☐ 日
うち、長期休業中に取得した日数	☐ 日

問8 年次有給休暇は取りやすいですか。（長期休業中以外）（あてはまる番号1つに✓）

☐ 1. 取りやすい

☐ 2. まあまあ取りやすい

☐ 3. やや取りにくい →問9へお進みください

☐ 4. とても取りにくい →問9へお進みください

問9 問8で、「3. やや取りにくい」「4. とても取りにくい」と回答した方にうかがいます。
年次有給休暇が取りにくい理由は何か。（自由記入）

問10 昨年度の週休日の出勤や変更についてうかがいます。
<全員にうかがいます>

週休日の変更を行って出勤した日数	☐ 日
週休日の変更をせず自主的に出勤した日数	☐ 日
週休日の変更をせず地域やPTAの行事に参加した日数 または部活動等に参加した日数	☐ 日

問11 自宅から学校までの通勤時間についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 15分未満	☐ 2. 15分以上～30分未満
☐ 3. 30分以上～45分未満	☐ 4. 45分以上～1時間未満
☐ 5. 1時間以上～1時間30分未満	☐ 6. 1時間30分以上～2時間未満
☐ 7. 2時間以上	

問12 同居するお子さんの有無についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓。及び人数と年齢を記入)

☐ 1. 子どもがいる→	人 (歳、 歳、 歳)
☐ 2. 子どもはいない	→問14へお進みください

問13 子どもがいることで、勤務時間や業務内容等に対する職場からの配慮の有無についてうかがいます。
(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 配慮がある	☐ 2. 配慮はない
-----------------------------------	-----------------------------------

問14 身近に、介護を必要とする人の有無についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 介護を必要とする人がいる	☐ 2. 介護を必要とする人はいない
--	---

問15 身近に介護を必要とする人があることで、勤務時間や業務内容等に対する職場からの配慮の有無についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 配慮がある	☐ 2. 配慮はない
-----------------------------------	-----------------------------------

問16 育児や介護と仕事との両立にあたり、今後望む支援策等についてうかがいます。
(あてはまる番号すべてに✓)

☐ 1. 各種休暇が取りやすくなること	☐ 2. 短時間勤務ができること
☐ 3. フレックスタイムなど柔軟な勤務時間	☐ 4. 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ勤務
☐ 5. 業務負担の軽減(授業以外の負担軽減)	☐ 6. 持ち帰業務の軽減
☐ 7. 勤務場所を遠征できること	☐ 8. 通勤等における自家利用車利用
☐ 9. その他 ()	

問17 業務終了後は、帰りやすい雰囲気ですか。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 帰りやすい	☐ 2. まあまあ帰りやすい
☐ 3. やや帰りにくい	☐ 4. とても帰りにくい

問18 ワーク・ライフバランスの満足度についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 満足している	☐ 2. まあまあ満足している
☐ 3. あまり満足していない	☐ 4. 満足していない

問19 問18で回答した理由は何か、自由にご記入ください。

--

3 校務運営について

問20 校務分掌についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 現在、主任を担当している	☐ 2. 現在、主任を担当していない
→問21、22へお進みください	→問22へお進みください

問21 問20で「1. 現在、主任を担当している」と回答した方に、具体的な担当名称をうかがいます。
(あてはまる番号すべてに✓)

☐ 1. 教務主任	☐ 2. 生活指導主任
☐ 3. 進路指導主任	☐ 4. 保健主任
☐ 5. 学年主任	☐ 6. 研究主任
☐ 7. 教科主任	☐ 8. 経営支援部主任(名称は問わない)
☐ 9. その他 ()	

<全員にうかがいます>

問22 担当している校務分掌名称をうかがいます。(あてはまる番号すべてに✓)

☐ 1. 教務	☐ 2. 生活指導
☐ 3. 進路指導	☐ 4. 保健・環境
☐ 5. 校内研究・課題研修	☐ 6. 庶務・会計
☐ 7. 特別支援教育コーディネーター	☐ 8. 生徒会指導
☐ 9. 広報	☐ 10. 渉外・地域連携
☐ 11. 経営支援部	☐ 12. その他 ()

4 学級担任・担任教科について

問23 学級担任等についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 学級担任をしている
☐ 2. 特別支援学級(固定)の担任をしている
☐ 3. 副担任をしている
☐ 4. 学級担任をしておらず、巡回指導を担当している
☐ 5. その他 ()

問24 担当する教科・領域についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 国語	☐ 2. 社会
☐ 3. 数学	☐ 4. 理科
☐ 5. 音楽	☐ 6. 美術
☐ 7. 保健体育	☐ 8. 技術・家庭
☐ 9. 外国語	☐ 10. その他 ()

5 中学校の部活動について

問25 現在、部活動の顧問をしていますか。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 顧問をしている →問26へお進みください	☐ 2. 顧問をしていない →問34へお進みください
---	--

問26 問25で「1. 顧問をしている」と回答した方にうかがいます。担当している部活動は、週平均何日活動していますか。(あてはまる番号1つに○)

☐ 1. 1日	☐ 2. 2日
☐ 3. 3日	☐ 4. 4日
☐ 5. 5日	☐ 6. 6日
☐ 7. 7日	

問27 担当部活動の土・日曜日の活動状況についてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

※土日の部活動について活動日が決まっていない場合は、令和6年4月から調査に現在までの実績

☐ 1. 土・日曜日両日に活動	☐ 2. 主に土曜日に活動
☐ 3. 主に日曜日に活動	☐ 4. 土日は活動をしていない

問28 生徒の健康や学習時間の確保を考慮した、1週間当たりの望ましい活動日数についてうかがいます。

(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 1日	☐ 2. 2日
☐ 3. 3日	☐ 4. 4日
☐ 5. 5日	☐ 6. 6日
☐ 7. 7日	

問29 担当をしている部活動についてうかがいます。(あてはまる番号すべてに✓)

☐ 1. 野球部	☐ 2. サッカー部
☐ 3. バレーボール部	☐ 4. バスケットボール部
☐ 5. 陸上部	☐ 6. 卓球部
☐ 7. テニス部(硬式・軟式)	☐ 8. バドミントン部
☐ 9. 柔道部	☐ 10. 剣道部
☐ 11. 吹奏楽部・弦楽器部	☐ 12. 茶(華)道部
☐ 13. 美術部	☐ 14. 和太鼓部
☐ 15. その他運動部系	☐ 16. その他文化部系

問30 担当する部活動において、ご自身が指導可能な知識や技術を備えているかについてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 十分備えている	☐ 2. ある程度備えている
☐ 3. あまり備えていない	☐ 4. 全く備えていない

問31 担当部活動の審判や指導者資格を取得する際に、私費による支払いがあったかどうかについてうかがいます。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. ある	☐ 2. ない
--------------------------------	--------------------------------

問32 今後の部活動についての考えをうかがいます。(あてはまる番号1つに○)

☐ 1. 部活動はこれまで通りに行い、顧問や指導も主に教員が行うべき
☐ 2. 部活動はこれまで通りに行うが、顧問や指導は主に外部へ委ねるべき
☐ 3. 部活動の日数や時間を減らし、顧問や指導は主に教員が行うべき
☐ 4. 部活動の日数や時間を減らし、顧問や指導も主に外部へ委ねるべき
☐ 5. 学校の課外活動としての部活動は廃止すべき
☐ 6. その他 ()

問33 問32で選択した回答の理由も含め、今後の部活動のあり方について、自由にご記入ください。

--

6 教科指導に対する意識について

＜全員にうかがいます＞

問34 現在、授業の目標を達成するために、1 単位時間の授業の中で重視していることについてうかがいます。(①～⑩までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに○)

	特に重視 している	やや重視 している	あまり 重視して いない	重視して いない
①学習の泉通しをもつ時間	□1	□2	□3	□4
②考えたり話し合ったりする時間	□1	□2	□3	□4
③学習を振り返る時間	□1	□2	□3	□4
④教員からの説明の時間	□1	□2	□3	□4
⑤課題を解決したり、実験・実技等をしたりする時間	□1	□2	□3	□4
⑥生徒の発言や発表の時間	□1	□2	□3	□4
⑦学習内容についての教員への質問の時間	□1	□2	□3	□4
⑧練習や演習の時間	□1	□2	□3	□4
⑨和顔指導や生徒に個別に対応する時間	□1	□2	□3	□4
⑩その他 ()	□1	□2	□3	□4

問35 現在行っている学習方法や学習活動で、今後重視していく必要があると思うことについてうかがいます。(①～⑩までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに○)

	特に必要	必要	あまり必要 ではない	必要 ではない
①教員主導の講義	□1	□2	□3	□4
②自作プリントの使用	□1	□2	□3	□4
③A Iドリルの使用	□1	□2	□3	□4
④話し合いや作業等グループでの協力的な学習	□1	□2	□3	□4
⑤具体物を使うなど、教材の工夫	□1	□2	□3	□4
⑥自分で考えたり調べたりするなどの個別学習	□1	□2	□3	□4
⑦ものづくりや見学・調査等の体験的な活動	□1	□2	□3	□4
⑧自分の考え等を言葉や文章、絵などで表現する活動	□1	□2	□3	□4
⑨教科横断的な学習や総合的な学習	□1	□2	□3	□4
⑩計算や漢字の練習等の反復的な学習	□1	□2	□3	□4
⑪定着状況を把握するための小テスト等	□1	□2	□3	□4
⑫前学年の学習直しや前時の復習等	□1	□2	□3	□4
⑬その他 ()	□1	□2	□3	□4

7

問36 授業の準備・授業実施後の評価等についてうかがいます。現在、授業の前後において、以下の時間は十分に確保できていますか。(①～⑩までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに○)

1. 授業の準備	十分に確保 できている	やや確保 できている	あまり 確保できて いない	確保できて いない
①教材研究をする時間	□1	□2	□3	□4
②教材を作成する時間	□1	□2	□3	□4
③授業の構成を考える時間	□1	□2	□3	□4
④学習環境を整備する時間	□1	□2	□3	□4
⑤他の教員等と必要に応じて打合せをする時間	□1	□2	□3	□4
2. 授業の実施後	十分に確保 できている	やや確保 できている	あまり 確保できて いない	確保できて いない
⑥生徒のノート等を確認する時間	□1	□2	□3	□4
⑦生徒の学習状況を把握・評価する時間	□1	□2	□3	□4
⑧指導の振り返り・分析をする時間	□1	□2	□3	□4
⑨教材や使用機器等の片付けをする時間	□1	□2	□3	□4
⑩個別に補充的な指導をする時間	□1	□2	□3	□4

問37 今後、授業の前後で以下の時間がどの程度必要だと考えますか。(①～⑩までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに○)

1. 授業の準備	特に必要	必要	あまり必要 ではない	必要 ではない
①教材研究をする時間	□1	□2	□3	□4
②教材を作成する時間	□1	□2	□3	□4
③授業の構成を考える時間	□1	□2	□3	□4
④学習環境を整備する時間	□1	□2	□3	□4
⑤他の教員等と必要に応じて打合せをする時間	□1	□2	□3	□4
⑥その他 ()	□1	□2	□3	□4
2. 授業の実施後	特に必要	必要	あまり必要 ではない	必要 ではない
⑦生徒のノート等を確認する時間	□1	□2	□3	□4
⑧生徒の学習状況を把握・評価する時間	□1	□2	□3	□4
⑨指導の振り返り・分析をする時間	□1	□2	□3	□4
⑩教材や使用機器等の片付けをする時間	□1	□2	□3	□4
⑪個別に補充的な指導をする時間	□1	□2	□3	□4
⑫その他 ()	□1	□2	□3	□4

8

7 電子機器の使用状況について

<全員にうかがいます>

問38 授業での電子機器の利用状況についてうかがいます。

(それぞれの項目について最もあてはまる番号1つに✓)

	毎日 1回以上 利用している	週に 1回以上 利用している	月に 1回以上 利用している	学期に 1回以上 利用している	利用して いない
①電子黒板	□1	□2	□3	□4	□5
②実物投影機	□1	□2	□3	□4	□5
③パナコン	□1	□2	□3	□4	□5
④タブレットPC	□1	□2	□3	□4	□5

→すべて5を選択した方(すべての電子機器を利用していない方)は、問40へ進むください。

問39 問38で1～4を選択した機器は使いやすいと感じますか。(それぞれ最もあてはまる番号1つに✓)

	使いやすい	まあまあ 使いやすい	やや 使にくい	使いに く
①電子黒板	□1	□2	□3	□4
②実物投影機	□1	□2	□3	□4
③パナコン	□1	□2	□3	□4
④タブレットPC	□1	□2	□3	□4

8 仕事に対する意識について

<全員にうかがいます>

問40 仕事に対する意識についてうかがいます。

(①～⑦までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	あてはまる	ほぼ あてはまる	ほぼ あてはまらない	全くあては まらない
①自分の能力が発揮できる	□1	□2	□3	□4
②達成感や満足感を得られる	□1	□2	□3	□4
③仕事にやりがいを感じている	□1	□2	□3	□4
④あまりにも仕事が多すぎる	□1	□2	□3	□4
⑤仕事がこなしきれない	□1	□2	□3	□4
⑥期限内に終われた仕事することがよくある	□1	□2	□3	□4
⑦仕事に行き詰まることがよくある	□1	□2	□3	□4

問41 仕事に関する悩みについてうかがいます。

(①～⑩までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	あてはまる	ほぼ あてはまる	ほぼ あてはまらない	全くあては まらない
①生徒の悩みや相談に対応する時間が十分にとれない	□1	□2	□3	□4
②保護者がぶか負担である	□1	□2	□3	□4
③部活動の指導が負担である	□1	□2	□3	□4
④育児や介護と仕事との両立が難しい	□1	□2	□3	□4
⑤特別な支援が必要な生徒への対応が難しい	□1	□2	□3	□4
⑥生徒の学力差が大きくて授業がしにくい	□1	□2	□3	□4
⑦生徒の学習意欲が低い	□1	□2	□3	□4
⑧年間の授業時数が足りない	□1	□2	□3	□4
⑨生徒が何を考えているのか分からない	□1	□2	□3	□4
⑩学習内容が定着していない児童・生徒が多い	□1	□2	□3	□4
⑪授業準備の時間が十分にとれない	□1	□2	□3	□4
⑫作成しなければならない事務書類が多い	□1	□2	□3	□4
⑬教育委員会が学校現場の状況を把握していない	□1	□2	□3	□4
⑭校内に気軽に相談できる人がいない	□1	□2	□3	□4
⑮校務分掌の仕事が負担である	□1	□2	□3	□4
⑯職場の人間関係	□1	□2	□3	□4

問42 その他、仕事に関する悩みがあれば、自由にご記入ください

問43 教員としての満足感についてうかがいます。

(①～④までの項目それぞれについて、最もあてはまる番号1つに✓)

	とても満足	ほぼ満足	やや不満	不満
①学習指導	□1	□2	□3	□4
②生活指導	□1	□2	□3	□4
③仕事のやりがい	□1	□2	□3	□4
④教員生活全体を総合的にみて	□1	□2	□3	□4

9 教員の多忙や負担の軽減について

<全員にうかがいます>

問44 1日のうち実際の休憩時間の合計は、平均して何分ぐらいですか。

平均		分
----	--	---

問45 昨年度と比較し、経過勤務時間はどうなっていますか。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. かなり増えている →問46へお進みください	☐ 2. やや増えている →問46へお進みください
☐ 3. 変わらない	☐ 4. やや減っている
☐ 5. かなり減っている	

問46 問45で、「1. かなり増えている」、「2. やや増えている」を選択した方にうかがいます。

勤務時間が長時間化する主な要因は何だと思いますか。自由に記入ください。

--

<全員にうかがいます>

問47 仕事を家に持ち帰ることはありますか。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. よくある	☐ 2. たまにある
☐ 3. ほとんどない	☐ 4. まったくない

問48 「中野区立学校における働き方改革推進プラン」の内容をご存じですか。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. 推進プランの内容を知っている	☐ 2. 推進プランがあることは知っているが、内容までは知らない
☐ 3. 推進プランの存在を知らない	

問49 あなた自身は勤務時間を意識した働き方ができていると感じますか。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. できている	☐ 2. まあまあできている
☐ 3. あまりできていない	☐ 4. ほとんどできていない

問50 教員の多忙や負担の軽減について効果がある(あった)対応策についてうかがいます。

(あてはまる番号すべてに✓)

☐ 1. 定時退庁日の設定	☐ 2. 退校時刻の設定
☐ 3. 1日の在校時間の上限設定	☐ 4. 会議や研修の見直し
☐ 5. 出席する地域行事の出席者の分担	☐ 6. 休日出勤の振替休暇の取得奨励
☐ 7. 部活動休業日の設定	☐ 8. 教職員の勤務時間の把握
☐ 9. 育児や介護など家庭の事情を抱えている教職員の負担軽減	☐ 10. 交代ができるようにするための担当者の権数化
☐ 11. 部活動指導員の配属	☐ 12. 外部人材の活用
☐ 13. ICT機器を活用した事務の効率化	☐ 14. ICT支援員の配置(授業支援、ホームページ更新等)
☐ 15. 学期制の変更(3学期制への変更)	☐ 16. 留守番電話・転送電話サービスの導入
☐ 17. 学校情報配信メールのリモート化(学校以外における配信可)	☐ 18. 調査や調査等の回答のマークシート化
☐ 19. 授業の持ち時数の軽減	☐ 20. 庶務事務システム(勤怠管理)の導入
☐ 21. デジタル教科書の導入	☐ 22. 多機能印刷機の導入
☐ 23. 1人1台端末の導入	☐ 24. A1ドリの導入
☐ 25. その他()	

問51 今後、あなたの実労働時間はどのようになると思いますか。(あてはまる番号1つに✓)

☐ 1. とても長くなる	☐ 2. やや長くなる
☐ 3. やや短くなる	☐ 4. とても短くなる

問52 教員の働き方改革全般について、何かご意見があれば、自由に記入ください。

--

質問は以上です。

調査にご協力いただき、ありがとうございます。

「勤務実態調査」と「業務記録票」を配付した封筒に入れ、封をして、取りまとめ担当の方にお渡しください。

④業務記録調査 調査票（管理職 1日目）

業務記録【管理職調査】

日付 令和6年 9月24日（火曜日）	1日目
--------------------	-----

① 今日の勤務は、1～4のどれにあたりますか。1つに○をつけてください。	
1. 勤務日	2. 年休（終日） 3. 年休（部分） 4. 週休日
② 今日、あなたが学校に出勤した時刻と学校から退勤した時刻を、24時間制でご記入ください。 （例）退勤時刻が午後6時5分の場合 ⇒ 18時05分とお答えください。	
出勤時刻 _____ 時 _____ 分	退勤時刻 _____ 時 _____ 分
③ 今日、あなたが所定の休憩時間内にとった休憩時間の合計を1分単位でご記入ください。 ※休憩時間をとらなかった日は、「0」分にご記入ください。週休日、年休（終日）の場合は、無記入としてください。	
休憩時間 _____ 分	
④ 勤務中のストレスについて、0を「全く感じない」状態、10を「これまでに経験した中で一番強く感じる」として、今日の勤務の状態が何点にあたりますか。1つに○をつけてください。	
全く感じない ←	→ これまでに経験した中で一番強く感じる
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	
⑤ 職名をうかがいます。1つに○をつけてください。	
1. 校長	2. 副校長

⑥業務記録をご記入ください。学校内の正期勤務時間外の業務、自宅などの学校外で行った業務もご記入ください。 ※記入欄は裏面にもあります。

学校 名称	業務内容	5:00	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00	2:00	3:00	4:00	5:00
		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1	新年度計画 決定	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	学校運営 業務	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	会議・ 打ち合せ	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	学務管理・ 教行	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	経理業務	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	総務・ 労務管理	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	任用・配置	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	評価	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	学年の育成	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	育成	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
11	会議・ 打ち合せ	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
12	防犯・防 災・衛生	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
13	会議・ 打ち合せ	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
14	学校行事	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
15	指導・助言	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
16	広域	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
17	その他（事 務作業等）	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
18	保護者対応	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
19	町会対応	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
20	地域対応	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
21	行政機関 対応	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
22	他校対応	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
23	業者対応	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
24	指導・助言	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
25	その他（学 務関係）	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25

日付 令和6年 9月24日（火曜日）	1日目
---------------------------	------------

① 今日の勤務は、1～4のどれにあたりますか。1つに○をつけてください。

1. 勤務日	2. 年休（終日）	3. 年休（部分）	4. 週休日
--------	-----------	-----------	--------

② 今日、あなたが学校に出勤した時刻と学校から退勤した時刻を、24時間制でご記入ください。
 （例）退勤時刻が午後6時5分の場合 ⇒ 18時05分とお答えください。

出勤時刻	時	分	退勤時刻	時	分
------	---	---	------	---	---

③ 今日、あなたが所定の休憩時間内にとった休憩時間の合計を1分単位でご記入ください。

※休憩時間をとらなかった日は、「0」分でご記入ください。週休日、年休（終日）の場合は、無記入としてください。

休憩時間	時	分
------	---	---

④ 勤務中のストレスについて、0を「全く感じない」状態、10を「これまでに経験した中で一番強く感じる」として、今日の勤務の状態が何点にあたりますか。1つに○をつけてください。

全く感じない	←		→	これまでに経験した中で一番強く感じる
		0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10		

⑤ 職名をうかがいます。1つに○をつけてください。

1. 主幹教諭	2. 指導教諭	3. 主任教諭
4. 教諭	5. 主幹養護教諭・主任養護教諭・養護教諭	
6. 栄養教諭	7. その他	

業務記録【教員調査】

日付 令和6年 9月24日 (火曜日)

1日目

⑤ 業務記録を記入していく。学校内での正統勤務時間外の業務、自宅などの学校外で行った業務も記入していく。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119	120	121	122	123	124	125	126	127	128	129	130	131	132	133	134	135	136	137	138	139	140	141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500	501	502	503	504	505	506	507	508	509	510	511	512	513	514	515	516	517	518	519	520	521	522	523	524	525	526	527	528	529	530	531	532	533	534	535	536	537	538	539	540	541	542	543	544	545	546	547	548	549	550	551	552	553	554	555	556	557	558	559	560	561	562	563	564	565	566	567	568	569	570	571	572	573	574	575	576	577	578	579	580	581	582	583	584	585	586	587	588	589	590	591	592	593	594	595	596	597	598	599	600	601	602	603	604	605	606	607	608	609	610	611	612	613	614	615	616	617	618	619	620	621	622	623	624	625	626	627	628	629	630	631	632	633	634	635	636	637	638	639	640	641	642	643	644	645	646	647	648	649	650	651	652	653	654	655	656	657	658	659	660	661	662	663	664	665	666	667	668	669	670	671	672	673	674	675	676	677	678	679	680	681	682	683	684	685	686	687	688	689	690	691	692	693	694	695	696	697	698	699	700	701	702	703	704	705	706	707	708	709	710	711	712	713	714	715	716	717	718	719	720	721	722	723	724	725	726	727	728	729	730	731	732	733	734	735	736	737	738	739	740	741	742	743	744	745	746	747	748	749	750	751	752	753	754	755	756	757	758	759	760	761	762	763	764	765	766	767	768	769	770	771	772	773	774	775	776	777	778	779	780	781	782	783	784	785	786	787	788	789	790	791	792	793	794	795	796	797	798	799	800	801	802	803	804	805	806	807	808	809	810	811	812	813	814	815	816	817	818	819	820	821	822	823	824	825	826	827	828	829	830	831	832	833	834	835	836	837	838	839	840	841	842	843	844	845	846	847	848	849	850	851	852	853	854	855	856	857	858	859	860	861	862	863	864	865	866	867	868	869	870	871	872	873	874	875	876	877	878	879	880	881	882	883	884	885	886	887	888	889	890	891	892	893	894	895	896	897	898	899	900	901	902	903	904	905	906	907	908	909	910	911	912	913	914	915	916	917	918	919	920	921	922	923	924	925	926	927	928	929	930	931	932	933	934	935	936	937	938	939	940	941	942	943	944	945	946	947	948	949	950	951	952	953	954	955	956	957	958	959	960	961	962	963	964	965	966	967	968	969	970	971	972	973	974	975	976	977	978	979	980	981	982	983	984	985	986	987	988	989	990	991	992	993	994	995	996	997	998	999	1000	1001	1002	1003	1004	1005	1006	1007	1008	1009	1010	1011	1012	1013	1014	1015	1016	1017	1018	1019	1020	1021	1022	1023	1024	1025	1026	1027	1028	1029	1030	1031	1032	1033	1034	1035	1036	1037	1038	1039	1040	1041	1042	1043	1044	1045	1046	1047	1048	1049	1050	1051	1052	1053	1054	1055	1056	1057	1058	1059	1060	1061	1062	1063	1064	1065	1066	1067	1068	1069	1070	1071	1072	1073	1074	1075	1076	1077	1078	1079	1080	1081	1082	1083	1084	1085	1086	1087	1088	1089	1090	1091	1092	1093	1094	1095	1096	1097	1098	1099	1100	1101	1102	1103	1104	1105	1106	1107	1108	1109	1110	1111	1112	1113	1114	1115	1116	1117	1118	1119	1120	1121	1122	1123	1124	1125	1126	1127	1128	1129	1130	1131	1132	1133	1134	1135	1136	1137	1138	1139	1140	1141	1142	1143	1144	1145	1146	1147	1148	1149	1150	1151	1152	1153	1154	1155	1156	1157	1158	1159	1160	1161	1162	1163	1164	1165	1166	1167	1168	1169	1170	1171	1172	1173	1174	1175	1176	1177	1178	1179	1180	1181	1182	1183	1184	1185	1186	1187	1188	1189	1190	1191	1192	1193	1194	1195	1196	1197	1198	1199	1200	1201	1202	1203	1204	1205	1206	1207	1208	1209	1210	1211	1212	1213	1214	1215	1216	1217	1218	1219	1220	1221	1222	1223	1224	1225	1226	1227	1228	1229	1230	1231	1232	1233	1234	1235	1236	1237	1238	1239	1240	1241	1242	1243	1244	1245	1246	1247	1248	1249	1250	1251	1252	1253	1254	1255	1256	1257	1258	1259	1260	1261	1262	1263	1264	1265	1266	1267	1268	1269	1270	1271	1272	1273	1274	1275	1276	1277	1278	1279	1280	1281	1282	1283	1284	1285	1286	1287	1288	1289	1290	1291	1292	1293	1294	1295	1296	1297	1298	1299	1300	1301	1302	1303	1304	1305	1306	1307	1308	1309	1310	1311	1312	1313	1314	1315	1316	1317	1318	1319	1320	1321	1322	1323	1324	1325	1326	1327	1328	1329	1330	1331	1332	1333	1334	1335	1336	1337	1338	1339	1340	1341	1342	1343	1344	1345	1346	1347	1348	1349	1350	1351	1352	1353	1354	1355	1356	1357	1358	1359	1360	1361	1362	1363	1364	1365	1366	1367	1368	1369	1370	1371	1372	1373	1374	1375	1376	1377	1378	1379	1380	1381	1382	1383	1384	1385	1386	1387	1388	1389	1390	1391	1392	1393	1394	1395	1396	1397	1398	1399	1400	1401	1402	1403	1404	1405	1406	1407	1408	1409	1410	1411	1412	1413	1414	1415	1416	1417	1418	1419	1420	1421	1422	1423	1424	1425	1426	1427	1428	1429	1430	1431	1432	1433	1434	1435	1436	1437	1438	1439	1440	1441	1442	1443	1444	1445	1446	1447	1448	1449	1450	1451	1452	1453	1454	1455	1456	1457	1458	1459	1460	1461	1462	1463	1464	1465	1466	1467	1468	1469	1470	1471	1472	1473
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

